はじめに

このたびは「SoftBank 911T」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

●SoftBank 911Tをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
●本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
●本書を万一紛失または損傷したときは、**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。
●ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

SoftBank 911Tは、3G方式に対応しております。

ご注意
- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

- ●電話機
- ●電池パック（TSBAR1）
- ●電池カバー
- ●急速充電器（TSCS01）
- ●卓上ホルダー（TSEAR1）
- ●USBケーブル（TSDAC1）
- ●取扱説明書
- ●ファーストステップガイド
- ●BeatJam 2007 for 911T ガイドブック
- ●ユーティリティーソフトウェア(CD-ROM)※1※2

※1 試供品です。オプション品としてのお取扱いはございません。
※2 付属のユーティリティーソフトウェアは予告無く変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
　なお、最新版ユーティリティーソフトウェアはソフトバンクホームページ内（www.softbank.jp）よりダウンロードいただけます。

● その他オプション品につきましては、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。
● 本機は、microSD™メモリカード（以降、メモリカードと記載）を利用できますが、本製品にはメモリカードが同梱されていません。メモリカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のメモリカードをご利用ください。記憶容量が2Gバイト（※2007年2月現在）までのメモリカードに対応していますが、市販されているすべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。

目次

1 ご利用になる前に

2 基本的な操作のご案内

3 文字の入力方法

4 アドレス帳

5 TVコール

6 デジタルTV

7 カメラ

8 メディアプレイヤー

9 メモリカード

10 データ管理

11 外部接続

12 設定

13 セキュリティ

14 便利な機能

15 イドコロメール

16 オプションサービス

17 メール

18 インターネット

19 S!アプリ

20 コミュニケーション

21 S! GPSナビ

22 エンタテイメント

23 S! FeliCa

24 Abridged English Manual

25 付録

本書の見かた

本書では、911Tを「本機」と表記しています。あらかじめご了承ください。

記号について

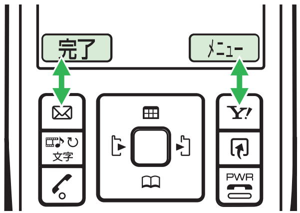
本書では、操作の説明に「▶」と「→」を使用しています。
「▶」は項目を順に選択し、目的の操作まで進みます。
「→」は操作の手順を示しています。
項目の選択は基本的に■で行います。また、操作説明は省略している場合があります。

ディスプレイ表示、ボタン表示について

本書で記載しているディスプレイ表示、ボタン表示は説明用に簡略化しているため、実際のディスプレイ表示、ボタン表示と異なります。

ソフトボタンの使いかた

画面下の左右に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタンを押します。



- ﾒﾆｭｰ の操作を行う場合は、Rソフトボタン[Y!]を押します。
- 操作完了などの操作を行う場合は、Lソフトボタン[✉]を押します。

補　足

- ソフトボタンの表示は、利用する機能によって異なります。
- 本書ではソフトボタンを押す場合の操作を以下のように記載しています。
  →[Y!](メニュー)

マルチファンクションボタンの使いかた

上下や左右を押して項目を選んだり、カーソルを移動します。また中央を押して選んだ内容を決定・実行します。

操作（本書での表記）	機能
上を押すとき	待ち受けウィンドウを表示する※ 音量を大きくする カーソルを上に移動する
下を押すとき	アドレス帳を呼び出す※ 音量を小さくする カーソルを下に移動する
左を押すとき	発信履歴を呼び出す※ カーソルを左に移動する
右を押すとき	着信履歴を呼び出す※ カーソルを右に移動する
中央を押すとき	待受画面からメインメニューを呼び出す 選択している項目を決定・実行する 撮影する（シャッター）

※ 待受画面から呼び出せる機能はマルチファンクションボタンの設定（12-10ページ）で変更できます。

安全上のご注意

・ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
・製品本体および取扱説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
・お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使い方をご指導ください。
・表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解のうえ本文をお読みください。

表示の説明

表示	表示の意味
⚠危険	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと"を示します。
⚠警告	"取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことが想定されること"を示します。
⚠注意	"取扱いを誤った場合、使用者が傷害※2を負うことが想定されるか、または物的損害※3の発生が想定されること"を示します。

※1　重傷とは失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
禁止	⃠は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
指示	❗は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

⚠危険

分解禁止

電話機・電池パック・充電用機器・ステレオイヤホン（オプション品）・Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）・マイク付オーディオリモコン（オプション品）を分解・改造・修理しないこと

発熱・破裂・発火・感電・けが・故障の原因となります。
電話機の改造は電波法違反になります。
故障したときの修理は、最寄りの「**ソフトバンクショップ**」または「**お問い合わせ先**」（25-34ページ）までご連絡ください。

火気禁止

電話機・電池パック・充電用機器・ステレオイヤホン（オプション品）・Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）・マイク付オーディオリモコン（オプション品）を火の中に入れたり、加熱しないこと
また、水にぬれた場合でも加熱用機器（電子レンジなど）で強制的に乾燥させないこと

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

火気禁止

電話機・電池パック・充電用機器・ステレオイヤホン（オプション品）・Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）・マイク付オーディオリモコン（オプション品）を火やストーブのそばなど、高温になる場所で充電・使用・放置しないこと

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

⚠危険

電話機・電池パック・充電用機器・ステレオイヤホン（オプション品）・Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）・マイク付オーディオリモコン（オプション品）を水、汗、海水などの液体でぬらさないこと
屋外や浴室など水などがかかる場所に置かないこと
また、周りにコップや花びんなど、液体の入った容器を置かないこと

水ぬれ禁止

発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。誤って水などの中に落としたときは、すぐに電源を切り、電池パックを外してください。また、充電中、水などの液体がかかってしまった場合は、直ちに電源プラグを抜いてください。ぬれた電池パックは充電しないでください。最寄りの「**ソフトバンクショップ**」または「**お問い合わせ先**」（25-34ページ）までご連絡ください。

禁止

電話機と電池パックの取り付けや電話機と充電用機器などの接続は、無理な取り付けまたは接続をしないこと
また、コード類などを使用して（＋）（－）を逆に接続しないこと

電池パックの液もれや破裂・発熱・発火・感電・故障の原因となります。

禁止

電池パックの端子部（金属端子部分）に金属片（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないこと

電池パックがショートして、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。

禁止

Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）の乾電池を充電・加熱・分解・ショートさせたり、火の中に入れたりしないこと

発火・破裂・故障・火災の原因となります。

指示

電話機の電池パックは、付属または指定の電池パックを使用すること
また、電池パックはこの電話機だけに使用すること

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

指示

電話機の電池パックを充電するときは、付属または指定の充電用機器を使用すること
また、充電用機器はこの電話機の電池パックの充電だけに使用すること

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

指示

電池パック・Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）の乾電池が液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがあるため直ちにきれいな水で洗い流すこと
また、目に入った場合はこすらずにきれいな水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けること
機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ること

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたり、失明のおそれがあります。

⚠警告

禁止

自動車などの運転中に電話機を使用しないこと
また、電話機の通話以外の機能（メール・ゲーム・カメラ・テレビ・ビデオ・音楽再生・電話機内蔵のモバイルライトなど）も使用しないこと
交通事故の原因となります。運転をしながら携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

指示

引火ガスが発生する場所では、必ず事前に電源を切ること
ガスに引火する恐れがあり、火災の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では携帯電話機の電源も切り、充電もしないでください。また、ガソリンスタンド構内でS!FeliCa対応端末をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（ICカードロックを設定されている場合はロックを解除した上で電源をお切りください。）

禁止

ストラップ・TVロッドアンテナ・USBケーブル・ビデオ出力ケーブル（オプション品）・ステレオイヤホン（オプション品）・マイク付オーディオリモコン（オプション品）などを持って振り回さないこと
けがなどの事故や破損の原因となります。

指示

高精度な電子機器の近くでは電話機の電源を切ること
電子機器に影響を与える場合があります。
影響を与えるおそれのある機器の例：心臓ペースメーカ・補聴器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。
医用電気機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。

プラグをコンセントから抜く

長時間使用しないときやお手入れをするときは、急速充電器のプラグをコンセントから抜くこと
感電・火災・故障の原因となります。

指示

航空機内などの使用を禁止された場所では電話機の電源を切ること
電子機器などに影響を与え、事故の原因となります。航空機内での携帯電話機の使用は法律で禁止されています。

指示

通話・メール・撮影・テレビ視聴などをするときは周囲の安全を確認すること
安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

⚠警告

指示

指定の電源・電圧で使用すること

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災の原因となります。

急速充電器：家庭用AC100～240V

シガーライター充電器（オプション品）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

急速充電器のプラグにほこりが付着しているときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などで、ほこりをふき取ること

プラグやコンセントにほこりが付着していると、火災の原因となります。

指示

車載用機器などは、次のことを守り設置、配線を行うこと

- **運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならないこと**
- **シートベルトの脱着部やドアなどの可動部に挟まないこと**

コード類が足や運転装置にからむと運転の妨げになり、事故の原因となります。また、車載用機器などの落下に驚いて、急ブレーキや急ハンドルの操作により事故の原因となります。

指示

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに電話機の使用を中止すること

また、電源を切って電話機に触れないこと

落雷・感電の原因となります。雷鳴が聞こえた場合は、使用を中止し、屋内などの安全な場所へ移動してください。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること

発熱・破裂・発火の原因となります。最寄りの「**ソフトバンクショップ**」または「**お問い合わせ先**」（25-34ページ）までご連絡ください。

指示

急速充電器を家庭用ACコンセントに差し込むときは、プラグに金属製ストラップなどの金属類が触れないようにして、確実に差し込むこと

感電・ショート・火災の原因となります。

⚠警告

電話機・電池パック・充電用機器に発煙・異臭などの異常が発生したり、破損したときは、すぐに次の作業を行うこと

指示

1．充電中であれば、急速充電器またはシガーライター充電器（オプション品）を家庭用ACコンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。
2．電話機が熱くないことを確認し、電話機の電源を切り、電池パックを取り外してください。

そのまま使用（充電）すると、電池パックが発熱・破裂・発火したり、電話機が発熱する原因となります。異常がある場合は、最寄りの「**ソフトバンクショップ**」または「**お問い合わせ先**」（25-34ページ）までご連絡ください。

電話機・電池パックを落としたり、強い衝撃を与えないこと

禁止

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

ズボンのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないこと

禁止

無理な力がかかるとディスプレイや電池パックなどが破損し、発熱・発火・けがの原因となります。

植込み型心臓ペースメーカ、植込み型除細動器や医用電気機器の近くで電話機を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ること

指示

1．植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、植込み型心臓ペースメーカなどの装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
2．満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電話機の電源を切ってください。電波により植込み型心臓ペースメーカなどの作動に影響を与える場合があります。
3．医療機関の屋内では、次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には電話機を持ち込まない
   - 病棟内では、電話機の電源を切る
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電話機の電源を切る
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う

⚠警告

4．医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（不要電波問題対策協議会「平成9年4月」）に準拠、ならびに「電波の医用機器などへの影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

禁止

急速充電器はAC100〜240Vの家庭用電源以外では使用しないこと

指定以外の電源をご使用になると火災や充電器の発熱･発火・故障の原因となります。

禁止

Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）の乾電池の極性［(＋）と（ー)］を間違えて挿入しないこと

機器の故障、乾電池の液漏れの原因となります。

禁止

Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）の乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池を挿入したままにしないこと

機器の故障、乾電池の液漏れの原因となります。

禁止

Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）の乾電池を乳幼児の手の届く場所には置かないこと

誤って飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの傷害の原因となりますので、ただちに医師へ相談してください。

⚠注意

禁止

電話機・電池パックを直射日光のあたるところや炎天下の車内など、高温になる場所で使用・放置しないこと

発熱・発火・故障の原因となります。

禁止

電話機・電池パック・充電用機器を幼児の手の届く場所には置かないこと

電池パック、メモリカード（市販）などを誤って飲み込んだり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

充電用機器の端子（金属部分）に針金などの金属を接触させないこと

発熱・やけどの原因となります。

禁止

急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）を家庭用ACコンセントやソケットから抜くときは、コードを引っ張らないこと

コードの破損により感電･発熱･発火の原因となります。急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）を持って抜いてください。

禁止

急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）のコードを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないこと

また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないこと

コードの破損により感電･発熱･発火の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で急速充電器を抜き差ししないこと

感電・故障の原因となります。

禁止

電話機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないこと

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないこと

電話機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なうおそれがあります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと
落下して、けがや故障の原因となります。バイブレーター設定中は特に気をつけてください。

禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないこと
不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに、端子部にテープなどを貼り絶縁してから、個別回収にお出しになるか、最寄りの「**ソフトバンクショップ**」までお持ちください。
電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

禁止

汗をかいた手で触ったり、汗をかいて湿気のこもった衣服のポケットなどに入れないこと
汗や湿気によって内部が腐食し、発熱・故障の原因となることがあります。

禁止

シガーライター充電器（オプション品）は、自動車のエンジンを切った状態で使用しないこと
自動車用バッテリー消耗の原因となります。

禁止

Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）の乾電池に単4形以外の乾電池は使用しないこと
機器の故障、乾電池の液漏れの原因となります。

指示

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、指定のヒューズと交換すること
指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。
ヒューズの交換については、シガーライター充電器（オプション品）の取扱説明書を参照してください。

指示

テレビを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を離して使用すること
視力低下になる可能性があります。

指示

テレビの視聴時以外はTVロッドアンテナを収納すること
TVロッドアンテナを引き出したままで通話などをすると、顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

⚠注意

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談すること

指示

本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。これにより、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

使用箇所	使用材料／表面処理
外装ケース（ディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系焼付け塗装処理
外装ケース（ボタン操作側の側面、メインカメラ側、電池カバー）、ボタン、サイドキー、メモリカードスロットキャップ（硬質部）、イヤホンマイク端子キャップ（硬質部）、ネジカバー（ディスプレイ裏面側、メインカメラ側）	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（ディスプレイ裏面側、ボタン操作側の天面、ボタン操作側の底面）、外部接続端子キャップ（硬質部）	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理※
ディスプレイパネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化インク処理
キーパネル	ウレタン系UV硬化樹脂
メインカメラパネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
スピーカー穴メッシュ	不織布
メモリカードスロットキャップ（軟質部）、イヤホンマイク端子キャップ（軟質部）、外部接続端子キャップ（軟質部）	エラストマー樹脂
充電端子	ステンレス鋼／金メッキ（下地：ニッケルメッキ）
赤外線ポート	アクリル樹脂
ネジ、ストラップ金具	鉄／ニッケルメッキ
TVロッドアンテナ（先端部）	PC・ABS樹脂
TVロッドアンテナ（引き出し部・先端側）	PA樹脂
TVロッドアンテナ（引き出し部・根元側）	エラストマー樹脂
TVロッドアンテナ（スリーブ部）	カドミウムレス黄銅
TVロッドアンテナ（ヒンジ部）	ステンレス鋼
スライド（平板部）	ステンレス鋼／フッ素系焼付け塗装処理
スライド（レール部）	POM樹脂
スライド（ストッパー部）	エラストマー樹脂

※シルバーのみ「下地：スズメッキ」

⚠注意

レシーバー・スピーカーにピンなどの金属片が吸着していないか確かめてから使用すること

指示

金属片が耳や手などにささるなどして、けがの原因となります。

心臓の弱い方は、電話機の着信バイブレーター（振動）や着信音量の設定に気をつけること

指示

驚いたりして、心臓に影響を与える可能性があります。

モバイルライトを撮影や簡易ライト用途以外に使用しないこと

禁止

目がくらむことにより視力障害・けがの原因となります。

USBケーブルによる充電・シガーライター充電器（オプション品）による充電・急速充電器による充電などの際は、紙・布・布団などをかぶせたりしないこと

禁止

発熱・発火・やけど・故障の原因となります。

ステレオイヤホン（オプション品）・Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）・マイク付オーディオリモコン（オプション品）などの使用中は、音量を上げすぎないこと
また、長時間連続して使用しないこと

指示

大きな音で耳を刺激することによって聴力に悪い影響を与えたり、適度な音量でも長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音が外にもれてまわりの方の迷惑になったり、周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。

メモリカードスロットにメモリカード（市販）以外のものを入れないこと

禁止

発熱・感電・故障の原因となります。
通常はキャップをはめた状態でご使用ください。

メモリカード（市販）の取り付けや取り外しをするときは、顔などを近づけないこと
また、小さなお子様には触らせないこと

禁止

カードから指を急に離した際にカードが飛び出して、けがの原因となります。

メモリカード（市販）のデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモリカードを取り出したり、電話機の電源を切らないこと

禁止

データ消失・故障の原因となります。

⚠注意

禁止

メモリカード（市販）は対応品以外のものを使用しないこと

データ消失・故障の原因となります。

記憶容量が2Gバイト（※2007年2月現在）までのメモリカードに対応しています。

禁止

USBケーブル・ビデオ出力ケーブル（オプション品）・ステレオイヤホン（オプション品）・Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）・マイク付オーディオリモコン（オプション品）などを子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所に保管しないこと

誤って、首などに巻きつけたりすると、けがの原因となります。

禁止

赤外線通信を使用するときは、赤外線ポートを目に向けないこと

目に影響を与えることがあります。

禁止

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて発光させないこと

視力障害の原因となります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。

禁止

USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないこと

故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。

禁止

USIMカードは指定以外のものを使用しないこと

指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。

禁止

TVロッドアンテナを無理に折り曲げないこと

けがやTVロッドアンテナの変形・破損の原因となります。

指示

スライド開閉時に髪の毛や指、充電用機器のコード、ストラップなどをはさみ込まないように気をつけること

はさみ込んだ状態で無理に外そうとしたり、スライドさせたりすると、傷害や破損の原因となります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- この電話機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話やテレビ視聴が困難になることがあります。また、通話・テレビ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話やテレビ映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- この電話機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。また劇場や乗り物などによっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。
- この電話機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や映像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。
- この電話機はデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。
- デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。
- この電話機は国内でのご利用を前提としたものです。国外へ持ち出してのご利用はできません。
  This product is exclusively for use in Japan.
- 以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。
  - ・誤った使い方をしたとき
  - ・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  - ・動作中に電源を切ったとき
  - ・電池の充電量がなくなった（放電しきった）とき
  - ・故障したり、修理に出したとき
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。
- メモリカード（市販）をご使用される場合は、ご使用前にメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
- 携帯電話を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では携帯電話が熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。
- 海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。
  また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、リビア、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。
  輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

●補聴器をお使いでこの電話機をご使用になる場合、一部の補聴器の動作に干渉することがあります。もし干渉がある場合は補聴器メーカーまたは販売業者までご相談ください。

自動車内でのご使用にあたって

●運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されていますので、ご使用にならないでください。
●駐停車が禁止されていない安全な場所に自動車を止めてからご使用ください。

航空機内でのご使用について

●航空機内では、ご使用にならないでください。
電源も入れないでください。航空機内で携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。

お取り扱いについて

●この電話機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。
●この電話機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。
●電話機をお手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
●雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水にぬらさないよう十分ご注意ください。電話機・電池パック・充電用機器・ステレオイヤホン(オプション品)・Bluetooth®ステレオヘッドセット(オプション品)・マイク付オーディオリモコン(オプション品)などは防水仕様ではありません。
●電池パックは電源を入れたままはずさないでください。故障の原因となります。
●電話機から電池パックを長い間はずしていたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化することがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきまして、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●電池パックは消耗品で、リチウムイオン電池を使用しています。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換が必要です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
●交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックは、普通ゴミと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックは端子部を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ソフトバンクショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

Li-ion

●この電話機のディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。
●マイク付オーディオリモコン(オプション品)はイヤホンマイク端子に、ステレオイヤホン(オプション品)はマイク付オーディオリモコンの端子にしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込んでいると、通話時、相手の方にノイズが聞こえる場合がありますのでご注意ください。

●ステレオイヤホン(オプション品)・Bluetooth®ステレオヘッドセット(オプション品)・マイク付オーディオリモコン(オプション品)などをご使用中に音量を上げすぎないでください。耳に負担がかかり障害が出たり、適度な音量でも長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音が外にもれてまわりの方の迷惑になったり、歩行中などでは周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。
●通常は、イヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップなどをはめた状態でご使用ください。キャップをはめずに使用していると、ほこり・水などが内部に入り故障の原因となります。
●ステレオイヤホン(オプション品)・マイク付オーディオリモコン(オプション品)などを端子から抜くときは、コード部分を引っ張らずプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると破損・故障の原因となります。
●この電話機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（1-5ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まることがあります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないようにしてください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。
●機種変更・故障修理などで、電話機を交換するときは、電話機に保存されたメールやデータなどを引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
●USIMカードを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを濡らさないでください。また、湿気の多いような場所に置かないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを火のそばや、ストーブのそばなど高温の場所にて使用および放置しないでください。故障の原因となります。
●USIMカードを保管する際、直射日光や高温多湿な場所は避けてください。放置した場合、故障の原因となります。
●USIMカードは乳幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。誤って飲み込んだり、けがの原因となったりする場合があります。
●USIMカードの取扱いについては、ご使用前にUSIMカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。
●TVロッドアンテナを引き出した状態で、電話機をポケットやカバンなどに入れないでください。無理な力がかかると、TVロッドアンテナの破損の原因となります。

機能制限について

●機種変更または解約した場合、本機では以下の機能が利用できなくなります。
・カメラ
・デジタルTV
・メディアプレイヤー
・S!アプリ
●本機を長期間お使いにならなかった場合、上記の機能が利用できなくなる可能性があります。その際はネットワーク自動調整（1-15ページ）を行ってください。

モバイルカメラについて

●カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
●カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
●大切なシーン（結婚式など）を撮影される場合は、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
●カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
●撮影が禁止されている場所での撮影はおやめください。

モバイルライト、イルミネーションについて

●高温もしくは低温下または湿気の多いところではご使用にならないでください。モバイルライトの寿命が短くなることがあります。
●モバイルライトおよびイルミネーションには寿命があります。発光を繰り返すうち、光量が減ってきます。

著作権などについて

●音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

肖像権などについて

●他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社東芝　モバイルコミュニケーション社（以下、東芝といいます。）が提供する東芝製携帯電話上のソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます。）を使用その他の処分をされる前にこのソフトウェア使用許諾契約（以下、本契約といいます。）を注意深くお読みください。本契約のすべての条項に同意できない限り、お客様は本ソフトウェアを使用その他の処分を行うことはできません。本契約は、お客様と東芝との間で締結されたものとみなされ、本契約と共に提供される東芝またはそのライセンサーの著作物たる本ソフトウェアに関して適用されます。

１．使用許諾

東芝はお客様ご本人に対し、東芝製携帯電話上の本ソフトウェアを使用する譲渡不能かつ非独占的な権利を許諾します。お客様は本ソフトウェア、その関連書類、本契約で許諾された権利の一部または全部を、改変、翻訳、レンタル、コピーまたは譲渡することはできません。また本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標またはその他のいかなるマークも除去することはできません。さらに本ソフトウェアをベースにした派生品を作成することもできません。

2．著作権

本ソフトウェアは使用許諾されるもので販売されるものではありません。本ソフトウェアに関するいかなる知的財産権もお客様に譲渡されるものではありません。本ソフトウェアに関するすべての権利は東芝またはそのライセンサーが保有するものであり、本契約に明示的に記載されていない限り、いかなる権利もお客様が有するものではありません。また、お客様は、本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標その他のいかなるマークも除去することはできません。

3．リバースエンジニアリング

お客様は本ソフトウェアの一部またはすべてをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、改変、翻訳もしくは逆アセンブルすることができません。お客様が法人の場合には自己の従業員に本項に規定する禁止事項を遵守せしめるものとします。本項および本契約の規定を遵守できなかった場合は、東芝はお客様に対する何らの催告を要せず直ちに本契約を解除できるものとします。

4．保証

本ソフトウェアは現状有姿で提供され、東芝は本ソフトウェアに関し、その品質、性能、商品性および特定の目的への適合性に対する保証を含め、あらゆる明示または黙示の保証も致しません。

5．責任の限定

東芝は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害について一切責任を負いません。いかなる場合においても、本ソフトウェアおよび本契約に基づく東芝の責任は、本ソフトウェアに対してお客様が実際に支払った金額があれば当該金額を上限とします。

また、修理や点検の場合、お客様の東芝製携帯電話に登録された情報内容（アドレス情報など）が変化、消去するおそれがあります。情報内容は、別にメモを取るなど必ずお控えください。情報が変化、消失したことによる損害などの請求につきましては、東芝は一切責任を負いません。

6．準拠法
　本契約は、日本国法に準拠するものとし、本契約に関し紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

7．輸出管理
　お客様は、本ソフトウェアに関し、「外国為替及び外国貿易法」及び関連法令ならびに「米国輸出管理法および同規則」（以下、関連法令等という。）を遵守するものとします。お客様は、関係法令等に基づき必要とされる日本国政府または関係国政府等の許可を得ることなく、関係法令等で禁止されているいかなる仕向地、自然人若しくは法人に対しても直接または間接的に本ソフトウェアを輸出、再輸出しないものとし、また第三者をして輸出させてはならないものとします。

8．第三者ライセンサーの権利
　お客様は、本ソフトウェアに関する東芝のライセンサーが、自己の権利と名において本契約内容を実現する権利を有することを了承するものとします。

以上

商標・特許

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more the following United States Patents and／or their counterparts in other nations :

4,901,307	5,504,773	5,109,390
5,535,239	5,267,262	5,600,754
5,416,797	5,778,338	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261
5,568,483	5,414,796	5,659,569
5,056,109	5,506,865	5,228,054
5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784		

Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。

microSD™はSD Card Associationの商標です。

Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの商標です。

Bluetoothは、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD (“MPEG-4 VIDEO”) AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG-LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC.
SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

T9 Text Input is covered by Japan Pat.No.特許 3532780,3492981 and other patents pending.

SOFTBANK およびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

本製品は、インターネットブラウザとその他のアプリケーションソフトウエアとして、株式会社 ACCESS の NetFront Browser、NetFront Messaging Client、NetFront IMS Client、NetFront Browser DTV Profile Wireless Edition および NetFront Document Viewer を搭載しています。

ACCESS™ NetFront®

本製品の一部分に Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

Adobe、Adobe ロゴ、Reader は、米国アドビ システムズ社の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Copyright © 2006 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Patents Pending.

ACCESS、NetFront は、株式会社 ACCESS の日本またはその他の国における商標または登録商標です。

本製品には、オムロン株式会社の OKAO® Vision を使用しています。「OKAO」「OKAO Vision」はオムロン株式会社の登録商標です。

「Yahoo!」および「Yahoo!」「Y!」のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。

Microsoft®, Microsoft® PowerPoint® は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
Microsoft® Word, Microsoft® Excel, Microsoft® Office は、米国 Microsoft Corporation の商品名称です。
Microsoft®、Windows® は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Microsoft® Windows® の正式名称は Microsoft® Windows® Operating System です。

その他、本書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

911Tの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率(SAR：Specific Absorption Rate)について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
携帯電話機911TのSARは、0.405W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省　電波利用ホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会　くらしの中の電波ホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

「ソフトバンクのボディ SAR ポリシー」について

＊ボディ（身体）SARとは：携帯電話機本体を身体に装着した状態で、携帯電話機にイヤホンマイク等を装着して連続通話をした場合の最大送信電力時での比吸収率（SAR）のことです。
＊＊比吸収率（SAR）：6分間連続通話状態で測定した値を掲載しています。
当社では、ボディ SARに関する技術基準として、米国連邦通信委員会（FCC）の基準および欧州における情報を掲載しています。詳細は「米国連邦通信委員会（FCC）の電波ばく露の影響に関する情報」「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。
＊＊＊身体装着の場合：一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

ソフトバンクのホームページからも内容をご確認いただけます。
http://www.softbankmobile.co.jp/corporate/legal/emf/emf03.html

「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR：Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた基準で実施され、下記のとおり本取扱説明書の記載に従って身体に装着した場合は1.040W/kgです。

身体装着の場合：携帯電話機911Tでは、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.5センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.5センチの距離に携帯電話を固定出来る装身具を使用し、ベルトクリップやホルスター等には金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの電波ばく露要件を満たさない場合もあるので使用を避けてください。
比吸収率（SAR）に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい方は下記のホームページを参照してください。

Cellular Telecommunications & Internet Association（CTIA）のホームページ
http://www.phonefacts.net.（英文のみ）

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」
携帯電話機911Tは無線送受信機器です。本品は国際指針の推奨する電波の許容値を超えないことを確認しています。この指針は、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。
携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSAR許容値は2W/kgで身体に装着した場合のSARの最高値は0.643W/kg*です。

SAR測定の際には、送信電力を最大にして測定するため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。これは、携帯電話機は、通信に必要な最低限の送信電力で基地局との通信を行うように設計されているためです。
世界保健機構は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機構のホームページをご参照ください。

（http://www.who.int/emf）（英文のみ）

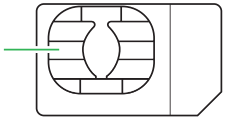
＊身体に装着した場合の測定試験はFCCが定めた基準に従って実施されています。値は欧州の条件に基づいたものです。

USIMカードのお取り扱い

USIMカードは、お客様の電話番号や情報などが記憶されたICカードです。USIMカード対応のソフトバンク携帯電話に取り付けてご使用ください。

USIMカードをご利用になる前に

- 本機のご利用にはUSIMカードが必要です。
- USIMカードにはアドレス帳やSMSを保存できます（4-11、17-13ページ）。
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のソフトバンク携帯電話にもご利用いただけます。
- 他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入し故障したときは、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
- USIMカードに関するその他の内容については、USIMカードに付属の取扱説明書をご覧ください。



USIMカードについてのご注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約の際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登録された情報内容は、控えを取っておかれることをおすすめします。登録された情報内容が消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIMカードやソフトバンク携帯電話（USIMカード挿入済）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。詳しくは、**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。

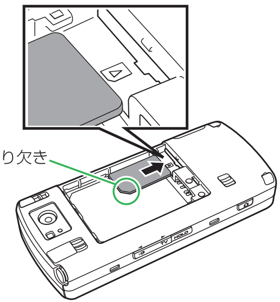
USIM カードを取り付ける／取り外す

●USIMカードの取り付けや取り外しは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

USIMカードを取り付ける

1 IC部分（1-1ページ）を下にしてUSIMカードをまっすぐ差し込む

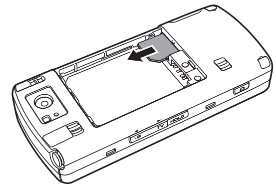
●USIMカードと挿入口にある刻印の切り欠きを合わせてください。



2 USIMカードを奥まで押し込む

USIMカードを取り外す

1 USIMカードをまっすぐ引き抜く



重　要

- USIMカードを取り扱う際には、IC部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、無理に取り付けたり取り外そうとすると、USIMカードが変形し破損の原因となります。
- 取り外したUSIMカードをなくさないようにご注意ください。

補　足

- 本機を修理／解約／機種変更したときや、USIMカードを変更したとき、本機やメモリカードに保存した着うた®／着うたフル®／メロディ／ムービー／S!アプリ／生活アプリ／ブックなどのファイルがご利用できなくなることがあります。あらかじめご了承ください。また、本機にお買い上げ時と異なるUSIMカードを取り付けた場合、お買い上げ時に登録されているS!アプリ、S!タウン、ブックサーフィンのファイルはご利用できなくなる可能性があります。

PINについて

USIMカードには、PIN ／ PIN2と呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので、忘れないように別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

PIN

PINとは、第三者による本機の無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。「**PIN設定**」（13-1ページ）を「**ON**」にしている場合は、電源を入れたときにPINを入力しないと本機を使用することができません。PINは変更できます（13-1ページ）。
お買い上げ時は「**9999**」に設定されています。

PIN2

PIN2とは、USIMカード内に保存されているデータを変更する場合などに使用する4～8桁の暗証番号です。PIN2は変更できます（13-1ページ）。
お買い上げ時は「**9999**」に設定されています。

PINロック解除コード（PUK）

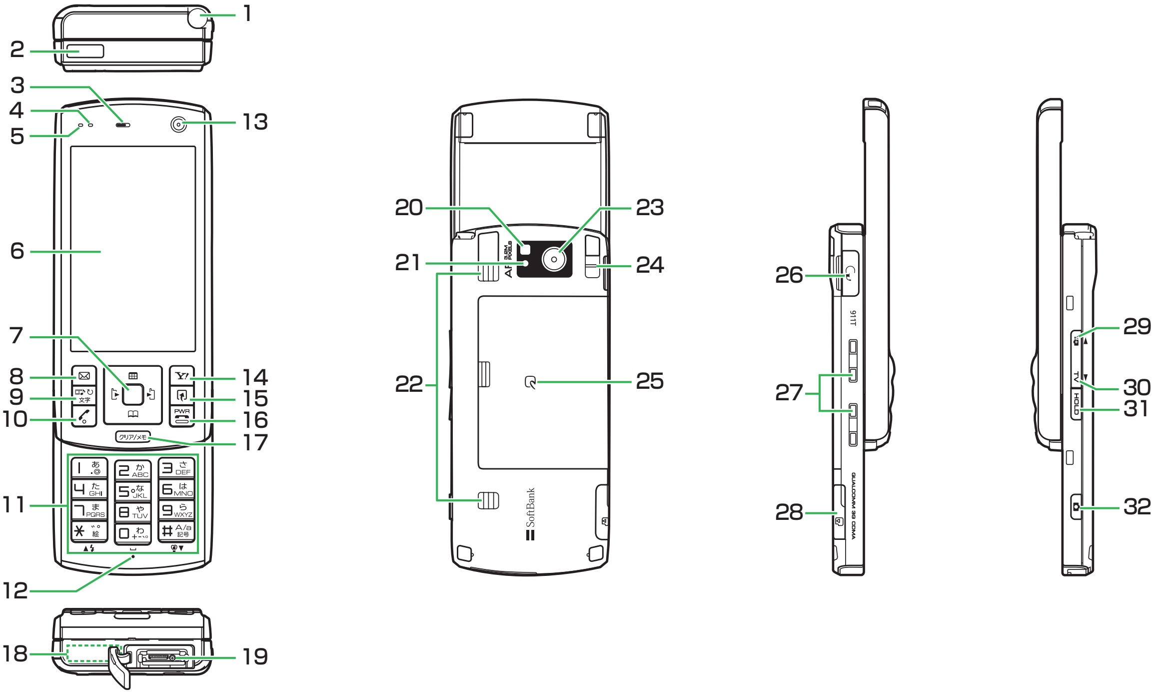
PINロック解除コード（PUK ／ PUK2）とは、PIN ／ PIN2ロック状態を解除するために使用する暗証番号です。間違ったPIN ／ PIN2を3回続けて入力すると、PIN ／ PIN2ロック状態になります。PINロック解除コードは、**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。

重　要

- 間違ったPINロック解除コードを10回続けて入力すると、USIMカードがロック(USIMロック)されます。USIMカードがロックされた場合は、ロックを解除する方法はありません。**お問い合わせ先**(25-34ページ)までご連絡ください。

各部の名称と機能

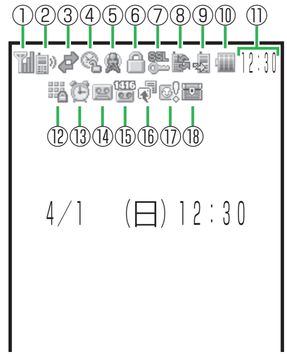
本体


1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
32
クリア/メモ
PWR
SoftBank
HOLD
TV

1　**TVロッドアンテナ**：テレビの電波を受信します。TVロッドアンテナは引き出して使用することができます。
2　**赤外線ポート**：赤外線でデータを送受信するときに使用します（11-1ページ）。
3　**レシーバー（受話口）**
4　**イルミネーション**：電話の着信やメールの受信などがあるとイルミネーションが点滅します。
5　**充電ランプ**:充電中は点灯し、充電が完了すると消灯します。
6　**ディスプレイ**
7　**マルチファンクションボタン**[マルチファンクションボタン]：カーソルを上下左右に移動するときやマルチファンクションボタンに設定された機能（12-10ページ）を呼び出すときなどに使用します。
センターボタン[■]：待受画面からメインメニューを表示させるときに使用します。また、ディスプレイの最下段中央の表示に連動し、選択している項目を決定したり操作を実行します。カメラ利用時はシャッターボタンとして使用します。
8　**Lソフトボタン**[✉]：待受画面からメールメニューを呼び出すことができます。また、ICカードロック（23-4ページ）を設定している場合は、待受画面で長く（約1秒以上）押すと、ICカードロックを一時解除できます。
9　**メディアプレイヤーボタン**[文字]：待受画面からメディアプレイヤーのオーディオメニューを呼び出すことができます。また、TVコールをかけるときや受けるときに使用します。
10　**開始ボタン**[✓]：電話をかけるときや受けるときに使用します。
11　**ダイヤルボタン**：電話番号や文字を入力するときなどに使用します。また、待受画面でダイヤルボタンを長く（約1秒以上）押すと、ボタンに割り当てられた行のアドレス帳を検索することができます。
＊／ボタン[＊ 絵]：＊の入力や絵文字、顔文字、濁点・半濁点の入力などに使用します。また、リスト表示された画面を前ページへスクロールさせたり、カメラでモバイルライトの点灯・消灯に使用します。[＊ 絵]を長く（約1秒以上）押すと、マイステータス（20-6ページ）を表示することができます。
＃／ボタン[＃ A/a 記号]：＃や記号の入力、大文字・小文字の切り替えなどに使用します。また、リスト表示された画面を次ページへスクロールさせることができます。
待受画面で[＃ A/a 記号]を長く（約1秒以上）押すと、マナーモード設定／解除の切り替えができます（2-10ページ）。
12　**マイク（送話口）**
13　**サブカメラ**：TVコールなどに使用します。
14　**Rソフトボタン**[Y!]：待受画面からYahoo!ケータイを呼び出すことができます。また、待受画面で長く（約1秒以上）押すと、Yahoo!ケータイのメニューを呼び出すことができます。
15　**ショートカットボタン**[ショートカット]：ショートカットメニュー（14-34ページ）を呼び出すことができます。
16　**電源／終了ボタン**[PWR]：電源のオン／オフや通話を終了するとき、操作を終了し待受画面に戻るときに使用します。
17　**クリア／メモボタン**[クリア/メモ]：入力した文字を消したり、操作を戻すときに使用します。また、待受画面では簡易留守録の設定／解除や再生に使用します。
18　**内蔵アンテナ部分**：本機の通信用アンテナは本体に内蔵されています。内蔵アンテナ部分を手で触れたり覆ったりすると、電波感度が弱まることがあります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないようにしてください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。

19 外部接続端子：急速充電器や各種オプション品を接続するときに使用します。
20 モバイルライト：カメラ撮影時のライトとして使用します。
21 カメラ／ムービーランプ：カメラ、ムービー起動時に点滅します。
22 スピーカー
23 メインカメラ：静止画や動画を撮影するときに使用します。
24 ストラップ取り付け穴
25 ICカード内蔵部分：S! FeliCa対応サービス利用のためのICカードが内蔵されています。マーク付近をリーダー／ライターにかざします。
26 イヤホンマイク／AV OUT端子：ステレオイヤホン（オプション品）やビデオ出力ケーブル（オプション品）を差し込みます。
27 充電端子：卓上ホルダーで充電するときに使用します。
28 メモリカードスロット：メモリカードを差し込みます。
29 上サイドキー：サークルトークメンバーリストを起動するとき（20-12ページ）に使用します。マナーモードを設定するとき、簡単お知らせメール（15-3ページ）を送信するとき、モバイルライトを点灯するとき、マイステータス（20-6ページ）を表示するときに使用します。なお、キーの機能は変更できます（12-11ページ）。
30 下サイドキー：ワイドメニュー（1-19ページ）を表示するときに使用します。また､待受画面で長く(約1秒以上)押すと、デジタルTVを視聴することができます（6-4ページ）。
31 HOLDキー：本体を閉じてを長く（約1秒以上）押すと、ホールド（13-7ページ）の設定／解除の切り替えができます。また、顔認証画像を設定している場合は、顔認証を行うことができます（13-4ページ）。
32 カメラキー：カメラを起動するときなどに使用します。また、カメラ利用時はシャッターボタンとして使用します。

ディスプレイ



① **（電波状態）**
電波の状態を4段階で表示します。
：強　：中　：弱　：微弱
（圏外）
（オフラインモードON）（2-11ページ）
② ／ **（音声／ TVコール通話中）**
（電話回線利用時のデータ通信中）
（測位中）
／ **（クイックGPS実行中／一時停止中）**（21-3ページ）
③ **（パケット送受信中）**
（位置情報付きピクチャーファイル表示中）

（マイステータス・オンライン中）（20-7ページ）
（パケット通信待機中）
（パケット通信エリア内）
（3G網未接続）
④ （ICカードロック一時解除中）（23-4ページ）
（ICカードロック中）（23-4ページ）
⑤ （新着S!キャスト）（22-1ページ）
（コンテンツ・キー受信）
コンテンツ・キー（17-3ページ）の配信を待っている状態で、操作中にコンテンツ・キーを受信した場合に表示します。
（メールボックス容量フル）
（送信失敗メール）
（新着メール）（17-2ページ）
（配信レポート）
（新着メール・配信レポート）
⑥ （ホールド設定中）（13-7ページ）
（PCサイト接続中）（18-4ページ）
（ライブモニター新着情報）（14-3、18-16ページ）
（メモリカード挿入中）（9-1ページ）
⑦ （SSL対応サイト接続中）
セキュリティで保護されているサイトに接続中、表示します（18-2ページ）。
／ （Bluetooth®接続中／接続待機中）（11-6ページ）
（Bluetooth®接続中(SCMS-T対応機器)）
（Bluetooth®一部切断）
（Bluetooth®切断）
（赤外線通信中）（11-2ページ）
（USB接続中）（11-13ページ）
⑧ （ソフトウェア更新）（25-13ページ）
（外部接続によるデータ同期中）

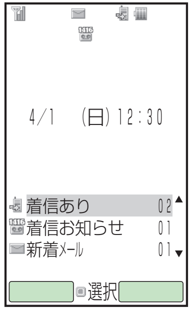
（デジタルTV録画中）（6-7ページ）
／ （S!アプリ実行中／一時停止中）（19-2ページ）
（音楽ファイル再生中）（8-2ページ）
（音楽ファイル再生保留中）
（ムービーファイル再生中）（8-2ページ）
（ストリーミング中）（8-8ページ）
⑨ （不在着信あり）（2-7ページ）
（マナーモード（サイレント）設定中）（12-1ページ）
（マナーモード（アラーム）設定中）（12-1ページ）
（マナーモード（運転中モード）設定中）（12-1ページ）
／ ／ (オリジナルマナーモード設定中)(12-1ページ)
⑩ （電池レベル）
電池残量を4段階で表示します。
：十分残っています　：残りわずかです
：少なくなっています　：充電してください
（充電中）（1-12ページ）
⑪時計表示
⑫ （誤動作防止設定中）（13-6ページ）
（キー操作ロック中）（13-2ページ）
⑬ （アラーム設定中）（14-5ページ）
⑭ ／ ／ ／ ／ ／ （簡易留守録ON／簡易留守録あり）（2-4、14-7ページ）
／ ／ ／ ／ （簡易留守録OFF／簡易留守録あり）（2-4、14-7ページ）
⑮ （留守番電話メッセージあり）（16-4ページ）
（音声電話呼出なし転送中）（16-2ページ）
（TVコール呼出なし転送中）（16-2ページ）
（音声電話・TVコール呼出なし転送中）（16-2ページ）
⑯ （お知らせ一発メニュー再表示）（1-9ページ）
⑰ （ホットステータス登録要求あり）（20-2ページ）
⑱ （シークレットモード設定中）（13-5ページ）

お知らせ一発メニューについて

未確認の情報があることをお知らせします。また、その情報を表示させることができます。

1 **お知らせ一発メニュー表示→確認したい項目を選択→●**

未確認情報が表示されます。



お知らせ一発メニューの表示内容

- **スヌーズ終了**：スヌーズを設定したアラームが鳴り、アラームを一時停止した場合に表示されます。スヌーズを解除できます（14-7ページ）。
- **着信あり**：不在着信があったことをお知らせします。最新の20件までを確認できます（2-7ページ）。
- **着信お知らせ**：留守番電話センターに伝言メッセージをお預かりしていることをお知らせします（16-4ページ）。
- **簡易留守録**：簡易留守録のメッセージがあることをお知らせします（2-4ページ）。
- **新着メール**：新着のS!メール／SMSがあることをお知らせします（17-2ページ）。
- **未送信メールあり**：未送信のS!メール／SMSがあることをお知らせします。
- **送信失敗（一部）**：一部の宛先へ未送信のS!メールがあることをお知らせします。
- **配信確認**：未読の配信レポートがあることをお知らせします（17-16ページ）。
- **サークルトーク不在**：サークルトークの着信があったことをお知らせします。最新の20件までを確認できます（2-7ページ）。
- **ホットステータス通知**：新着のホットステータス通知情報があることをお知らせします（20-2ページ）。
- **新着S!キャスト**：新着の情報があることをお知らせします（22-1ページ）。
- **S!キャスト情報**：情報のダウンロードに失敗したことをお知らせします（22-2ページ）。
- **新着天気予報**：新着の天気予報があることをお知らせします（22-3ページ）。
- **ライブモニタ更新失敗**：新着情報の受信に失敗したことをお知らせします（14-3ページ）。

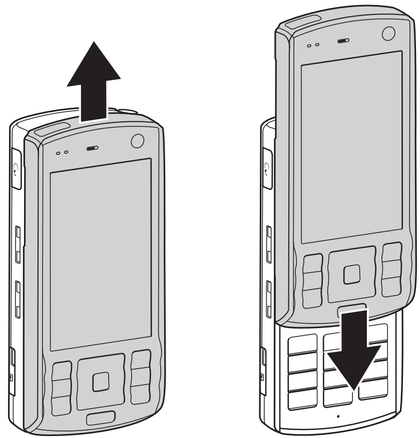
- ソフトウェア更新：ソフトウェアを更新したことをお知らせします(25-13ページ)。
- コンテンツ・キー一杯：コンテンツ・キーをこれ以上保存できないことをお知らせします。
- S!アプリ再開：一時停止中のS!アプリがあることをお知らせします。
- ICカード起動要求：外部起動要求があったことをお知らせします。

補　足

- お知らせ一発メニューの表示を終了したい場合は、[PWR]を押します。お知らせ一発メニューの表示が終了すると待受画面に「」が表示されます。また、[]を長く(約1秒以上)押してお知らせ一発メニューを再表示させることもできます。
- 未確認の情報が100件を超えた場合は、件数に「>100」が表示されます。
- 「**新着S!キャスト**」、「**S!キャスト情報**」、「**ライブモニタ更新失敗**」、「**ICカード起動要求**」については、最新の情報1件のみ確認できます。

本体の開閉のしかた

本機で、ダイヤルボタンを使った入力操作などを行うときは、ディスプレイのある本体前面部を上方向にスライドさせます。カチッと音がするまで十分に引き上げてください。戻すときは下方向にゆっくりとスライドさせます。



重　要

- 本体前面部の裏側にシールなどを貼り付けないでください。本体を開閉するときにシールなどが引っかかるおそれがあります。
- 本体を開閉するときにはダイヤルボタンに指が触れないようご注意ください。誤操作の原因となります。

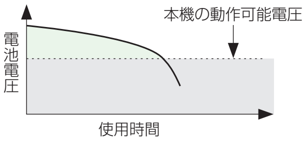
電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

電池パックについて

●本機の電池パックはリチウムイオン電池を使用しています。使用時間にともなって下図のように徐々に電圧が下がる性質があります。



●高温環境や低温環境では性能が低下し、使用時間が短くなります。また、高温下での使用は電池パックの寿命を短くすることがあります。
●低温下での充電は、十分な性能が得られません。充電は5℃～35℃の場所で行ってください。
●電池パック単体で保管する場合は、電池パックの端子部がショートしないようにケースなどに入れて、なるべく乾燥した涼しいところで保管してください。このとき、あまり充電されていない状態で保管することをおすすめします。
●利用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。利用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
●環境保護のため、不要になった電池パックは、端子部を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ソフトバンクショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。
●衝撃を与えたり、落としたりしないでください。

電池の消耗について

●電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。月に10%～20%、半年で約半分程度の自然放電を行います。
●電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受、モバイルライトの利用、S!アプリの起動などは、電池の消耗が多くなります。

電池レベルについて

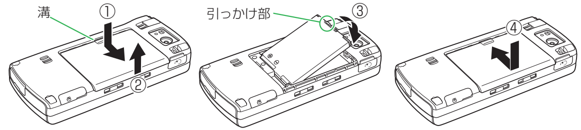
●ディスプレイの電池レベル表示（1-7ページ）は、ご使用の時間経過とともに変化します。電池レベル表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。電池切れ「」になるとメッセージや電池アラーム音でお知らせし、約30秒後に電源が切れます。

充電を行うときは

●電池パック単体では充電できません。必ず本機に電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。また、指定の急速充電器、卓上ホルダー、シガーライター充電器（オプション品）を使用してください。
●充電端子、電池パックの端子部、外部接続端子などを時々乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。

●「**充電器との接続を確認してください**」と表示された場合は、充電端子、電池パックの端子部、外部接続端子などを乾いた綿棒などで清掃し、セットし直してください。
それでも表示が消えない場合は、直ちに充電を中止し、最寄りの**ソフトバンクショップ**へお持ちいただくか、**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。
●湿気の多いところでは充電しないでください。
●電源を入れたまま充電できますが、充電時間は電源を切ったときにくらべて長くなります。
●電源を入れて充電している場合は、充電中は画面上に「 」が表示され、充電が完了すると「 」へ変わります。
●充電中は本機や急速充電器などが温かくなることがありますが、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性がありますので、その場合には直ちに使用を中止してください。
●充電中に電話がかかってきたときは、通常の着信と同様に着信音やバイブレーター、イルミネーションの点滅でお知らせします。

電池パックを取り付ける／取り外す



1 **電池カバーの溝を押さえながらスライドさせ(①)、取り外す(②)**

2 **本体の端子部に電池パックの端子部を押し当てながら、電池パックを押し込む(③)**

●電池パックを取り外す場合は、引っかけ部に爪をかけて持ち上げます。

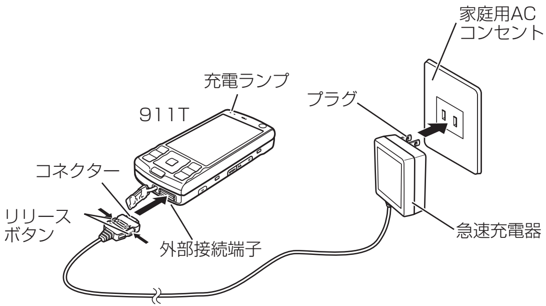
3 **電池カバーを取り付ける(④)**

重　要

● 電池パックは、電源を切ってから取り外してください。また、引っかけ部以外のところから持ち上げて外さないようにしてください。

急速充電器を利用して充電する場合

充電時間	約120分



1 本機に急速充電器のコネクターを取り付ける

●本機の外部接続端子のキャップを開け、急速充電器のコネクターの刻印がある面を上にして接続します。

2 家庭用ACコンセントにプラグを差し込む

充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

3 充電ランプが消灯したらプラグを家庭用ACコンセントから抜く

4 本機からコネクターを抜く

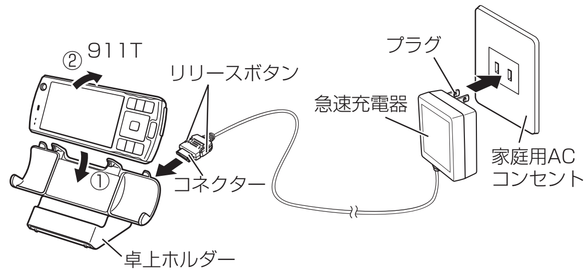
●コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜きます。

重　要

- 急速充電器は家庭用AC100～240Vの電源に対応しています。
- 急速充電器のプラグは日本国内用です。

卓上ホルダーを利用して充電する場合

充電時間	約120分



1 卓上ホルダーに急速充電器のコネクターを取り付ける

●急速充電器のコネクターの刻印がある面を上にして、卓上ホルダーの電源端子に接続します。

2 家庭用ACコンセントに急速充電器のプラグを差し込む

3 本機を卓上ホルダーに乗せ(①)、カチッと音がするまで押し込む(②)

充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

4 充電ランプが消灯したら、本機の上部を手前に引いて卓上ホルダーから外す

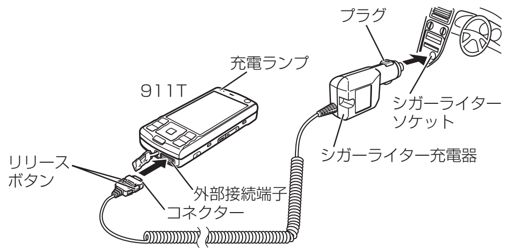
5 急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントから抜く

重　要

- 急速充電器、卓上ホルダーは家庭用AC100～240Vの電源に対応しています。
- 急速充電器のプラグは日本国内用です。

シガーライター充電器（オプション品）を利用して充電する場合

充電時間	約120分



1 本機にシガーライター充電器のコネクターを取り付ける

●本機の外部接続端子のキャップを開け、シガーライター充電器のコネクターの刻印がある面を上にして接続します。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む

充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

3 充電ランプが消灯したらプラグをシガーライターソケットから抜く

4 本機からコネクターを抜く

●コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜きます。

重　要

- 車のバッテリーの消耗を防ぐため、必ずエンジンをかけてご使用ください。
- 車からはなれる際はシガーライター充電器を外してください。キーを抜いてもシガーライターが使える車（キーを抜いても充電ランプが点灯する車）で使用した場合は、車のバッテリーが消耗され、バッテリーがあがる原因となります。
- 運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **PWRを長く（約1秒以上）押す**

電源が入り、待受画面が表示されます。

補　足

- 電源を入れると、以下の動作を行います。
  - ・ウェイクアップ音が鳴ります（12-4ページ）。
  - ・充電ランプが点灯します。
  - ・カメラ／ムービーランプが点灯します。
  - ・イルミネーションが点滅します。
- 「**PIN設定**」（13-1ページ）を「**ON**」にしている場合は、電源を入れたあとにPINを入力してください。
- お買い上げ後、初めて本機の電源を入れた場合や「**オールリセット**」、「**設定リセット**」（13-7ページ）を行ったあとには、以下の画面が表示されます。
  - ・日付／時刻の設定（1-15ページ）
  - ・ネットワーク自動調整（1-15ページ）

  （待受画面で■、✉、Y!、▾のいずれかを押した場合）

電源を切る

1 **PWRを長く（約1秒以上）押す**

電源が切れます。

補　足

- 電源を切る場合に、以下の動作を行います。
  ・シャットダウン音が鳴ります（12-4ページ）。
  ・イルミネーションが点滅します。

ネットワーク自動調整をする

Yahoo!ケータイ、メール、S!アプリなどをお使いになる上で必要な情報をネットワークから取得します。
お買い上げ後、最初に■、✉、Y!、▾を押すと、ネットワーク自動調整画面が表示されます。

1 待受画面→■、✉、Y!、▾

2 「YES」→■

ネットワークに接続し、情報の取得を行います。

重　要

- ネットワーク自動調整を行わないと、本機でご利用になれる機能が一部制限されます。
- USIMカードを差し替えた場合は、必ずネットワーク自動調整を行ってください。

補　足

- ネットワーク自動調整は、メインメニューからも行えます（12-14ページ）。

日付／時刻の設定

待受画面に表示される日付／時刻を設定します。設定された日付／時刻は、メイン都市切替（14-27ページ）で設定した都市の日付／時刻となります。

1 待受画面→■→「設定」→■

2 「一般設定」→■→「時計設定」→■

3 「日時設定」→■→日付／時刻を入力→■

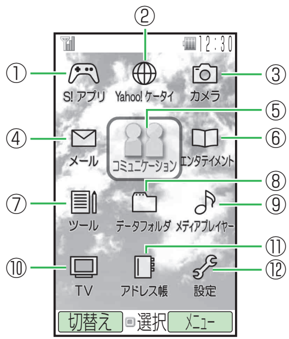
- 年は西暦の下2桁、月、日、時、分は、それぞれ2桁で入力します。また、時刻は24時間制で入力します。
- 日付／時刻の入力中に◐を押すと、カーソルを移動できます。また、◐を押すと、カーソル上の数字を繰り上げたり、繰り下げることができます。
- 日時設定を行うと自動的に曜日が設定されます。

補　足

- 入力できる日付は、2000年1月2日から2099年12月30日までです。
- 時刻を12時間制で表示できます（12-8ページ）。
- 時計表示は変更できます（12-6ページ）。
- サマータイム（14-26ページ）を設定できます。

機能の呼び出しかた

待受画面で[■]を押すと、メインメニューが表示されます。
[◎]で目的のアイコンを選択したあと[■]を押すと、各項目内のメニューが表示されます。



メインメニュー

①**S!アプリ**

ゲームなどの機能を呼び出すことができます（19章）。

・S!アプリライブラリ　・S!アプリ設定
・メモリカード同期　・S!アプリルート証明
・インフォメーション

②**Yahoo!ケータイ**

インターネットから、画像やメロディなどをダウンロードしたり、パソコンのサイトを表示したりできます（18章）。

・Yahoo!ケータイ　・ブックマーク
・お気に入り　・URL入力
・アクセス履歴　・ライブモニター
・PCサイトブラウザ　・ブラウザ設定

③**カメラ**

静止画や動画を撮影できます（7章）。

・モバイルカメラ　・デジタルカメラ
・ビデオカメラ　・ムービーメール
・ムービー写メール　・バーコードリーダー

④**メール**

S!メールやSMSの送受信ができます（17章）。

・メールボックス　・新規作成
・新着メール受信　・下書き
・テンプレート　・未送信ボックス
・サーバーメール操作　・設定

⑤**コミュニケーション**

他のユーザとコミュニケーションを行ったり、ショッピングを楽しむことができます（20章）。

・S!タウン　・S!ループ
・ホットステータス　・サークルトーク

⑥**エンタテイメント**

最新の情報を確認したり、電子コミックやくーまんの部屋を楽しんだりできます（22章）。

・S!キャスト　・ブックサーフィン
・ケータイ書籍　・くーまんの部屋

⑦**ツール**

便利な機能を呼び出すことができます(14､21､23､25章)。

・アラーム
・簡易留守録
・メモ帳
・電卓
・辞書
・カレンダー
・予定リスト
・便利機能
・フォトdeショー
・生活アプリ
・S! GPSナビ
・バックアップ
・ソフトウェア更新

⑧**データフォルダ**

保存した画像やメロディなどの各種ファイルを管理できます(10章)。

・ピクチャー
・着うた・メロディ
・S!アプリ
・ミュージック
・ムービー
・TV
・生活アプリ
・ブック
・テンプレート
・Flash(R)
・メインメニュー
・画面デコ
・ミニツール
・その他ファイル
・メモリ容量確認

⑨**メディアプレイヤー**

音楽ファイルやムービーファイルを再生できます(8章)。

・オーディオ
・ムービー
・ストリーミング

⑩**TV**

デジタルTVを視聴・録画できます(6章)。

・TV視聴
・番組表
・TVリンク
・TVプレイヤー
・出力先設定
・画質設定
・起動時画面設定

⑪**アドレス帳**

電話番号やE-mailアドレス、顔写真などをアドレス帳に登録できます(4章)。

・オーナー情報
・アドレス帳
・新規登録
・通話履歴
・グループ設定
・S!アドレスブック
・設定
・メモリ容量確認

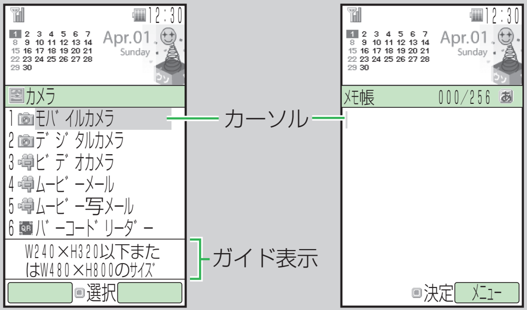
⑫**設定**

各種設定を行うことができます(12、13章)。

・音・バイブ設定
・ディスプレイ設定
・一般設定
・セキュリティ設定
・通話設定
・外部接続
・待受くーまん
・優先動作設定
・メモリ設定

補 足

- メインメニューを選択後に表示される項目は、アイコン表示とタブ表示（右記）とではアイコンや一部表示順が異なります。
- お買い上げ時に設定されている各項目の初期値は機能一覧（25-2ページ）を参照してください。
- カーソルとは、文字の入力画面で表示される「｜」または「■」、メニュー画面などで表示される「　　　　」をいいます。
- メニュー画面でのガイド表示には、カーソルで選択している項目の内容が表示されます。



メインメニューの表示方法を切り替える

メインメニューの表示方法には、アイコン表示とタブ表示があります。
メインメニューをタブメニューに切り替えると、選択している項目内のメニューを表示することができます。

1 待受画面→■→✉（切替え）

●アイコンメニューに戻るには、タブメニュー表示中に✉（切替え）を押します。

2 項目を選択

右側に選択している項目のメニューが表示されます。□または■を押してカーソルを右に移動させると、選択している項目のメニューを選択することができます。



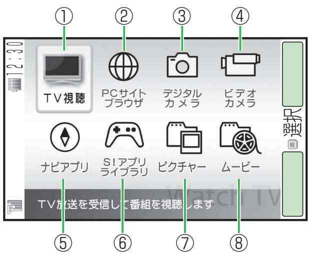
タブメニュー

補　足

- タブメニュー画面でY!(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  並び替え(右記)／**画面デコ**(12-6ページ)／**設定リセット**

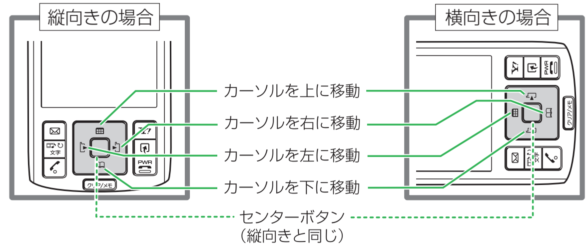
ワイドメニューを利用する

待受画面で▾を押すと、ワイドメニューから機能を呼び出して、横向き画面でPCサイトブラウザやゲームを楽しんだり、デジタルTVを視聴したりできます。



①TV視聴（6章）
②PCサイトブラウザ（18-4ページ）
③デジタルカメラ（7-6ページ）
④ビデオカメラ（7-11ページ）
⑤ナビアプリ（21-1ページ）
⑥S!アプリライブラリ（19-2ページ）
⑦ピクチャー（10-3ページ）
⑧ムービー（10-5ページ）

●横向き画面でのマルチファンクションボタンの各操作は、縦向き画面での操作と以下のように対応しています。



オリジナルメインメニューを設定する

メインメニューの項目を並び替えたり、メニューアイコンやアイコン文字色、フォーカス枠を変更することができます。

1 待受画面→■

■項目を並び替える

Y!(メニュー)→「並び替え」→■→項目を選択→■→移動先を選択→■

●並び替えた項目をお買い上げ時の状態に戻すには、「**並び替えリセット**」を選択します。

■項目名の文字色を変更する

Y!(メニュー)→「文字色」→■→文字色を選択→■

■アイコン・背景を一括して変更する

Y!(メニュー)→「メニュー画像設定」→■→「オリジナル」／「ユーザ作成」／「本体」→■

●「**オリジナル**」を選択すると、お買い上げ時のメインメニューに戻ります。

●「**本体**」を選択した場合は、メインメニューに設定するファイルを選択します。
●個別にアイコン･背景を変更するときは、「**ユーザ作成**」を選択します。

■背景を変更する

[Y!]（メニュー）→「メニュー背景変更」→[■]→「本体」／「メモリカード」→[■]→壁紙を選択→[■]

■アイコンを変更する

項目を選択→[Y!]（メニュー）→「メニューアイコン変更」→[■]→「本体」／「メモリカード」→[■]→アイコン画像を選択→[■]

■フォーカス枠を変更する

[Y!]（メニュー）→「フォーカス色」→[■]→パターンを選択→[■]

■アイコン・背景の設定をリセットする

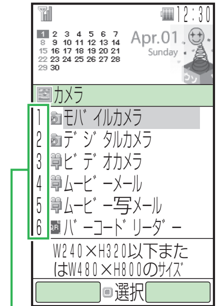
[Y!]（メニュー）→「ユーザ作成リセット」→[■]→「YES」→[■]

補　足

● 「**文字色**」、「**フォーカス色**」、「**メニューアイコン変更**」、「**メニュー背景変更**」は、「**メニュー画像設定**」を「**ユーザ作成**」に設定しているときのみ設定できます。

ダイヤルボタンで項目を選択する

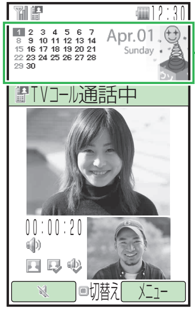
メインメニューや各機能の項目をダイヤルボタン（[0]～[9]、[*]、[#]）で選択することができます。



ダイヤルボタンに対応している番号

ミニツールで情報を確認する

待受画面や操作中にカレンダーやメモ帳、お天気情報、再生中の楽曲情報など別の情報を画面上部に表示して、2つの画面を同時に確認しながら便利に利用することができます。



ミニツールを設定する

ワイド表示設定を「OFF」にすると、待受画面やメール作成時の本文入力画面、メール閲覧画面で、ミニツールを表示できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ ワイド表示設定

1 表示画面を選択→■

■各表示画面を一括して設定する

✉(一括)→「ワイド表示ON」/「ワイド表示OFF」→■

2 「ON」/「OFF」→■

●「**待受表示**」の設定を変更する場合は、再度壁紙の設定を行います。

ミニツールに表示するコンテンツを設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ ミニツール設定

1 「ミニツール」→■

■本体にあらかじめ用意されているコンテンツを設定する

「プリセット」→■(2回)

■コンテンツを選択して設定する

「本体」→■→コンテンツを選択→■(2回)

ミニツールにアニメーションを設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ ミニツール設定

1 「ミニフォト」→■→「画像設定」→■

■本体にあらかじめ用意されているコンテンツを設定する

「デザイン設定」→■→「プリセット」→■(3回)→✉(設定)

■コンテンツを選択して設定する

「デザイン設定」→■→「本体」→■→コンテンツを選択→■(3回)→✉(設定)

2 「画像リスト」→■→画像リストを選択→■→✉(設定)

●あらかじめ画像リストにデータフォルダの画像を登録する必要があります。1件の画像リストには最大5フレームまで登録できます。

✉(編集)→画像リスト項目を選択→■→「本体」/「メモリカード」→■→画像を選択→■(2回)→✉(設定)

■選択したフォルダ内の画像をアニメーション表示する

「フォルダ指定」→■→フォルダを選択→■→✉(設定)

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する

「固定」→■→✉(設定)

補　足

- 「**フォルダ指定**」でセキュリティロック(10-15ページ)されたフォルダを選択した場合、操作用暗証番号(下記)の入力が必要です。

暗証番号

本機のご使用にあたっては、「操作用暗証番号」、「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」、「インターネット規制用暗証番号」が必要になります。

- 「操作用暗証番号」、「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」、「インターネット規制用暗証番号」は忘れないように、別にメモなどを取り、他人に知られないよう管理してください。万一お忘れになった場合は、お手続きが必要となります。詳しくは、**お問い合わせ先**(25-34ページ)までご連絡ください。
- いずれの暗証番号についても、他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

操作用暗証番号について

4桁の暗証番号で、本機の各機能を操作するときに使用します。操作用暗証番号は変更できます(13-1ページ)。
お買い上げ時は「**9999**」に設定されています。

交換機用暗証番号について

ご契約時の4桁の暗証番号で、オプションサービスを一般電話から操作する場合や、インターネットの有料情報申し込みに必要な番号です。

発着信規制用暗証番号について

ご契約時の4桁の暗証番号で、発着信規制の設定を行う場合に必要な番号です。発着信規制用暗証番号は変更できます(16-8ページ)。

インターネット規制用暗証番号について

インターネット規制の設定を行う場合に必要な番号です。インターネット規制用暗証番号は変更できます(13-10ページ)。

電話をかける

1 待受画面で電話番号を入力し、[発信]を押す

電話がかかります。

●電話をかける前に、電波の状態を確認してください(1-6ページ)。
●一般電話へかける場合は、必ず市外局番から入力してください。
●携帯電話・自動車電話・PHSへかける場合は、「0」から始まる電話番号を全桁入力してください。
●間違えて入力したときは[PWR]を押すか、[クリア/メモ]を長く（約1秒以上）押して待受画面に戻します。[クリア/メモ]を押すと、右端から1桁ずつ消去できます。
●相手がお話中のときは「プープー…」という話中音が聞こえます。[PWR]を押して電話を切り、しばらくたってからもう一度かけ直してください。

2 通話が終わったら、[PWR]を押す

重　要

- 本機の通信用アンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分(1-5ページ)を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まる場合があります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。電波感度が弱まると、発着信、メールの送受信、ウェブの接続ができなくなる場合があります。
- TVロッドアンテナは、テレビの電波を受信するためのものです。視聴時以外は収納してご使用ください。

重　要

- ステレオイヤホン(オプション品)やマイク付オーディオリモコン(オプション品)を本体に巻きつけないでください。また、ステレオイヤホンを内蔵アンテナ部分に近づけるとノイズが入ることがあります。
- 本機の向きや位置によって通話品質が変わることがあります。
- 通話料金上限(2-9ページ)を設定しているとき、設定した上限金額に達した場合は、音声電話を発信できません。通話中に上限金額に達した場合は通話が切断されます。

補　足

- 待受画面で電話番号を入力したあと[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  音声発信／**TVコール**(5-1ページ)／**サークルトーク発信**(20-12ページ)／**国際発信**(2-2ページ)／**メール送信**(17-4、17-9ページ)／**ポーズ**(14-36ページ)／**マニュアルハイフン(ー)**(「ー」を表示)／**番号非通知**(12-13ページ)／**番号通知**(12-13ページ)
- 通話中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  終話／**保留**／**私の音声ミュート**／**全音声ミュート**／**アドレス帳**(4-7ページ)／**通話履歴**／**録音開始**／**オーナー情報**／**プッシュトーンOFF**
- 本機ではインターネット閲覧中に音声電話を受けたり、音声通話中にメール受信などを同時に行うことができます。これをマルチ接続といいます。

国際電話のかけかた

日本国内で国際電話をかける操作を説明します。

●国際電話サービスをご利用になるには、別途お申し込みが必要です。詳しくは、**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。操作方法については14-33ページを参照してください。

●本機は国際ローミングに対応していないため、海外ではご利用になれません。

国際コードと国番号を付加する

1 待受画面で電話番号を入力→[Y!]（メニュー）→「国際発信」→[■]

2 相手の国を選択→[■]

電話番号の前に「+」と国番号が付加されます。

3 [✓]を押す

電話がかかります。

補足

- 待受画面で[✓]を押したあと、[0]を長く（約1秒以上）押して「+」を入力してから国番号を入力することもできます。

電話番号を通知する

発信者番号通知サービスをご利用の場合は、相手の電話機のディスプレイにお客様の電話番号を表示させることができます（12-13ページ）。

以前かけた電話番号にもう一度かける

以前かけた電話の日時や電話番号（発信履歴）を最新の20件まで記憶し、電話をかけ直すことができます。

1 待受画面で[•□]を押す

電話をかけた相手の電話番号と日時が表示されます。アドレス帳に登録されている相手の場合は、名前が表示されます。

2 かけたい相手を選択し、[✓]を押す

電話がかかります。

●サークルトークを発信するには、[▴]を長く（約1秒以上）押します。

3 通話が終わったら、[PWR]を押す

補足

- マルチファンクションボタンの設定（12-10ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- 発信履歴の内容は、電源を切っても削除されません。
- 通話の状況によっては、すべての履歴が残らない場合があります。
- 発信履歴を表示したあと[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  発信／**TVコール**（5-1ページ）／**サークルトーク発信**（20-12ページ）／**国際発信**（左記）／**メール送信**（17-4、17-9ページ）／**アドレス帳登録**（4-2ページ）／**拒否リスト追加**（12-12ページ）／**削除**／**番号非通知**（12-13ページ）／**番号通知**（12-13ページ）／**通話履歴ロック**（2-8ページ）
- シークレットメモリ（4-3ページ）に設定している相手に電話をかけても、シークレットモード（13-5ページ）が「**表示しない**」の場合は、発信履歴に電話番号だけ表示されます。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、[通話キー]を押す

電話がつながります。

2 通話が終わったら、[PWR]を押す

補　足

- 着信中に[●]を押して電話を受けることもできます。
- エニーキーアンサー（12-11ページ）を「**ON**」にしている場合は、[通話キー]や[●]の他、[0]～[9]、[＊]、[＃]のいずれを押しても電話を受けることができます。
- オープン通話（12-11ページ）を「**ON**」にしている場合は、本体を開くだけで電話を受けることができます。
- かかってきた電話に出られなかった場合は、お知らせ一発メニュー（1-8ページ）が表示されます。
- アドレス帳に登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前や顔写真が表示されます。ただし、シークレットメモリ（4-3ページ）に設定している相手から電話がかかってきても、シークレットモード（13-5ページ）が「**表示しない**」の場合は、電話番号のみ表示されます。
- 相手から電話番号の通知のない着信は、「**通知不可**」、「**非通知**」、「**公衆電話**」のいずれかが表示されます。
- 着信中に[◎]または[▲]／[▼]を押して、着信音量を調節できます。
- 着信中に[サイドキー]を長く（約1秒以上）押して、着信音を停止できます。

電話に出られないとき

着信を保留にする

かかってきた電話／TVコールにすぐに出られないときは、その電話を保留にできます。

1 電話／TVコールがかかってきたら、[PWR]を押す

相手には現在電話に出られないことがアナウンスされます。

2 電話に出られるようになったら、[通話キー]を押す

電話／TVコールがつながります。

3 通話が終わったら、[PWR]を押す

重　要

- 応答保留中でも電話／TVコールをかけてきた相手には通話料金がかかります。
- 応答保留中に[PWR]を押した場合は、保留中の通話が終了します。

補　足

- 応答保留中に[●]を押して電話／TVコールを受けることもできます。
- エニーキーアンサー（12-11ページ）を「**ON**」にしている場合は、応答保留中に[通話キー]や[●]、[文字]（TVコールの場合）の他、[0]～[9]、[＊]、[＃]のいずれを押しても電話を受けることができます。
- 電波の届かない場所にいるときや通話中のため電話に出られないときに指定した番号へ転送したり（16-2ページ）、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりするサービス（16-4ページ）があります。

メッセージを録音する（簡易留守録）

音声電話に出られないときに相手のメッセージを録音できます。最大5件、1件あたり最大30秒録音できます。

1 電話がかかってきたら、クリア/メモを長く(約1秒以上)押す

応答メッセージが再生されたあと、録音が始まります。

●録音可能時間が経過するか、通話が終了すると自動的に停止します。

重　要

- TVコール(5-1ページ)や割込通話(16-5ページ)では簡易留守録を使用できません。
- 録音されたメッセージが5件になると録音できません。メッセージを削除してください。

補　足

- ■を長く(約1秒以上)押してもメッセージを録音することができます。
- 応答メッセージ再生中または相手のメッセージ録音中に■を押すと、通話できます。
- メッセージ録音中にY!(スピーカー)を押すと、録音中のメッセージをスピーカーで聞くことができます。
- 応答メッセージ再生中または相手のメッセージ録音中に上下キーを押して、音量を調節できます。

録音されたメッセージを再生する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 簡易留守録

1 「再生」→■

2 メッセージを選択→■

未再生のメッセージには「(未再生アイコン)」が、再生済みのメッセージには「(再生済みアイコン)」が表示されます。

補　足

- メッセージが録音されている場合は、待受画面でクリア/メモを押してもメッセージを一覧表示できます。

メッセージを削除する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 簡易留守録

1 「再生」→■

2 メッセージを選択→Y!(メニュー)→「削除」→■→「YES」→■

着信を拒否する

かかってきた音声電話を拒否できます。

1 電話がかかってきたら、Y!(拒否)を押す

補　足

- 転送電話サービス(16-2ページ)と留守番電話サービス(16-4ページ)を停止している場合は、着信中に✉(転送)を押すと、着信を拒否します。
- 割込通話サービス(16-5ページ)が設定されていて、通話中にかかってきた割込通話の着信を拒否する場合は、Y!(メニュー)を押して「**着信拒否**」を選択します。
- 電話の着信制限(12-12ページ)をすることで、かかってきた電話を自動的に拒否することもできます。

通話中の操作

受話音量を調節する

相手の声の大きさをマルチファンクションボタンを使って調節できます。

1 通話中に◎を押す

現在の設定が表示されます。

2 ◎で受話音量を調節する

補　足

- 通話中に▲または▼を押しても受話音量を調節できます。
- 通話中に調節した受話音量は、通話が終わると、元の設定に戻ります。

相手の声を録音する

音声通話中に相手の声を録音できます。1件あたり60秒まで録音できます。

1 音声通話中→Y!(メニュー)→「録音開始」→●

●録音可能時間が経過するか、通話が終わると自動的に停止します。手動で停止する場合は、●を押します。

補　足

- 録音した音声は、データフォルダ(10-1ページ)の「**着うた・メロディ**」フォルダに保存されます。
- 再生方法は、14-25ページを参照してください。
- Bluetooth®対応機器(オプション品)でハンズフリー通話をしている場合は、録音できません。

通話中に番号メモを登録する

メモ内容は、あとで確認したり、電話をかけたりできます。メモは最大5件まで記憶できます。

1 通話中にダイヤルボタンを押す

通話を終了すると、通話中番号メモが自動的に登録されます。

●以下の数字と記号を最大32桁までメモできます。

0～9 ＊ ＃ ＋ － P

●通話中番号メモの確認方法については14-25ページを参照してください。

補 足

- TVコール通話中にも、通話中番号メモができます。
- 通話中にダイヤルボタンを押したあと[Y!](メニュー)を押して、「**通話中番号メモ**」を選択しても番号メモを登録することができます。

ハンズフリー通話に切り替える

スピーカーから相手の声が聞こえるように切り替えることができます。

1 通話中に[✉](🔊)を押す

●[✉]（🔇）を押すと元に戻ります。

補 足

- ハンズフリー通話時は、片方のスピーカーからのみ相手の声が出力されます。

通話履歴の確認

以前かけた電話やかかってきた電話（日時や電話番号）、および以前かけたサークルトークやかかってきたサークルトークをそれぞれ最新の20件まで確認できます。

発信履歴を確認する

1 待受画面で[•□]を押す

●発信履歴を表示中に[•□] ／ [□•]を押すと着信履歴が表示されます。

●[✉]（[サークルトーク]／[音声発信]）を押すたびに、サークルトーク発信履歴と発信履歴が切り替わります。

●発信履歴では以下のアイコンが表示されます。

[音声発信]：音声発信を行った場合に表示されます。

[TVコール発信]：TVコールの発信を行った場合に表示されます。

●サークルトーク発信履歴では以下のアイコンが表示されます。

[個人サークルトーク]：個人にサークルトークの発信を行った場合に表示されます。

[グループサークルトーク]：グループにサークルトークの発信を行った場合に表示されます。

補　足

- マルチファンクションボタンの設定（12-10ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニュー（1-16ページ）の「**アドレス帳**」から、通話履歴を表示させることもできます。
- 履歴に表示された相手を選択し、[通話]を押すと相手に電話をかけることができます。[文字]を押したあと[■]を押すと、相手にTVコールをかけることができます。
- 履歴に表示された相手を選択し、[サイド]を押すとサークルトーク発信ができます（20-12ページ）。
- 発信履歴の内容は、電源を切っても消去されません。
- 発信履歴の件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に削除されます。
- アドレス帳に登録している相手に電話をかけた場合は、履歴に相手の名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ（4-3ページ）に設定している相手に電話をかけても、シークレットモード（13-5ページ）が「**表示しない**」の場合は、履歴に電話番号のみ表示されます。
- 発信履歴を表示したあと、[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  発信／**TVコール**（5-1ページ）／**サークルトーク発信**（20-12ページ）／**国際発信**（2-2ページ）／**メール送信**（17-4、17-9ページ）／**アドレス帳登録**（4-2ページ）／**拒否リスト追加**（12-12ページ）／**削除**／**番号非通知**（12-13ページ）／**番号通知**（12-13ページ）／**通話履歴ロック**（2-8ページ）

着信履歴を確認する

1 待受画面で[◻•]を押す

- 着信履歴を表示中に[•◻]／[◻•]を押すと発信履歴が表示されます。
- [✉]（[サークルトーク着信]／[着信]）を押すたびに、サークルトーク着信履歴と着信履歴が切り替わります。
- 着信履歴では以下のアイコンが表示されます。
  - [アイコン]／[アイコン]：音声／TVコール着信時
  - [アイコン]／[アイコン]：音声／TVコール不在着信時
  - [アイコン]／[アイコン]：音声／TVコール拒否時
  - [アイコン]／[アイコン]：非通知の音声／TVコール着信拒否時
  - [アイコン]　　：公衆電話からの音声着信時
- サークルトーク着信履歴では以下のアイコンが表示されます。
  - [アイコン]：サークルトーク着信時
  - [アイコン]：サークルトーク不在着信時
  - [アイコン]：サークルトーク拒否時
  - [アイコン]：非通知のサークルトーク着信拒否時

補　足

- マルチファンクションボタンの設定（12-10ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニュー（1-16ページ）の「**アドレス帳**」から、通話履歴を表示させることもできます。
- 履歴に表示された相手を選択し、［通話］を押すと相手に電話をかけることができます。［TV］を押したあと［●］を押すと、相手にTVコールをかけることができます。
- 履歴に表示された相手を選択し、［サイド］を押すとサークルトーク発信ができます（20-12ページ）。
- 着信履歴の内容は、電源を切っても消去されません。
- 着信履歴の件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に削除されます。
- アドレス帳に登録している相手から電話がかかってきた場合は、履歴に相手の名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ（4-3ページ）に設定している相手から電話がかかってきても、シークレットモード（13-5ページ）が「**表示しない**」の場合は、履歴に電話番号のみ表示されます。
- 着信履歴を表示したあと、［Y!］（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  発信／**TVコール**（5-1ページ）／**サークルトーク発信**（20-12ページ）／**国際発信**（2-2ページ）／**メール送信**（17-4、17-9ページ）／**アドレス帳登録**（4-2ページ）／**拒否リスト追加**（12-12ページ）／**削除**／**番号非通知**（12-13ページ）／**番号通知**（12-13ページ）／**通話履歴ロック**（右記）

通話履歴ロックを設定する

通話履歴およびサークルトーク履歴を確認するときに操作用暗証番号の入力が必要となるように設定することができます。

1 **待受画面で［●○］／［○●］→［Y!］（メニュー）→「通話履歴ロック」→［●］**

2 **操作用暗証番号（1-22ページ）を入力**

3 **「ロックする」／「解除する」→［●］**

補　足

- サークルトーク履歴表示中でも、通話履歴ロックを設定することができます。

通話時間を確認する

直前の通話時間や前回までの合計通話時間を確認できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話時間・料金

■通話時間の合計を確認する

「累積」→［●］→「時間」→［●］

■直前の通話時間を確認する

「直前の通話」→［●］→「時間」→［●］

■通話時間の合計をリセットする

「累積」→［●］→「時間」→［●］→［Y!］（メニュー）→「リセット」→［●］→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→［●］

重　要

- 表示される通話時間は目安です。
- 累積通話時間では、メールやインターネットの通信時間、サークルトークの接続時間や発言時間は含まれません。
- 累積通話時間は、277時間46分39秒以上は加算されません。

通話料金を確認する

前回通話したときの通話料金やUSIMカードに保存されている累積通話料金を確認します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話時間・料金

■前回の通話料金を確認する

「直前の通話」→■→「料金」→■

■通話料金の合計を確認する

「累積」→■→「料金」→■

■通話料金の合計をリセットする

「累積」→■→「料金」→■→✉(メニュー)→「リセット」→■→PIN2(1-3ページ)を入力→■→「YES」→■

■表示通貨を設定する

「通貨設定」→■→✉(メニュー)→「設定変更」→■→PIN2(1-3ページ)を入力→■→通貨単位(3文字)を入力→■→レートを入力→■→「YES」→■

■通話後に料金を表示するかどうかを設定する

「通話料金表示」→■→「ON」／「OFF」→■

重　要

- 表示される通話料金は目安です。実際に請求される通話料金とは異なる場合があります。
- 多者通話(16-6ページ)をした場合は、電話をかけた相手すべてを合わせた通話料金が表示されます。
- 累積通話料金では、メールやインターネットの通信料金、サークルトークの発言回数料金は含まれません。
- 国際電話をかけた場合は、通話料金は表示されません。

通話料金の上限を設定する

音声電話とTVコールの通話料金の上限を設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話時間・料金

1 **「通話料金上限」→■**

●上限を設定している場合は、通話料金の残高を確認できます。

2 **✉(メニュー)→「料金上限設定」→■**

3 **PIN2(1-3ページ)を入力→■(2回)→上限金額を入力→■**

重　要

- 設定した上限金額に達すると音声電話・TVコールを発信できません。通話中に上限金額に達した場合は通話が切断されます。

ご自分の電話番号とE-mailアドレスの確認

お客様の電話番号や「**オーナー情報**」(4-10ページ)で登録した名前、E-mailアドレスなどを確認します。

メイン
メニュー ▶ アドレス帳

1 「オーナー情報」→■

お客様の電話番号とE-mailアドレスが表示されます。

通話中に確認する

1 通話中→Y!(メニュー)→「オーナー情報」→■

マナーモードを設定/解除する

公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑にならないようマナーモードに切り替えることができます。マナーモードにすると、画面上に「」が表示されます。

- ●映画館・劇場・美術館などでの鑑賞中は電源をお切りください。
- ●電車や新幹線の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従ってください。
- ●航空機内では、運航の安全に支障をきたすおそれがありますので電源をお切りください。
- ●病院・研究所などの使用が禁止されている場所では、精密機器などに影響を及ぼす場合がありますので電源をお切りください。
- ●レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないようご注意ください。
- ●街の中では、通行の妨げにならないように十分ご注意ください。

マナーモードに切り替える

1 待受画面で#を長く(約1秒以上)押す

マナーモードに切り替わります。

マナーモードを解除する

1 マナーモード中に#を長く(約1秒以上)押す

マナーモードが解除されます。

重 要

- マナーモードを設定しても、カメラ利用時のシャッター音、録画開始音・終了音は鳴ります。
- マイステータスでサークルトークの応答ステータスを「**自動参加**」に設定している場合(20-4、20-6ページ)は、サークルトークがかかってくると自動的に接続し、マナーモードを設定していてもスピーカーから相手の声が聞こえます。

補 足

- マナーモードのバイブレーターやアラーム(12-2ページ)の設定は変更できます。

オフラインモードを設定／解除する

電源を切らずに電波の送受信を停止して、電話の発着信やメールの送受信などネットワークサービスを利用できないようにします。オフラインモードを「**ON**」にすると、画面上の電波状態の表示が「」に変わります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ オフラインモード

1 ●→「ON」／「OFF」→●

重　要

- オフラインモードを「**ON**」にすると、電話を受けることができなくなります。通常使用するときは「**OFF**」にしてください。
- オフラインモードを「**ON**」にすると、110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安本部）への発信ができなくなります。
- オフラインモードを「**ON**」にすると、Bluetooth®通信や赤外線通信でのデータの送受信を行うことはできません。

緊急通報について

以下の場合でも、110番（警察）、119番（消防・救急）、118番（海上保安本部）へは発信することができます。

●キー操作ロック中（13-2ページ）

●発着信規制設定中（16-7ページ）

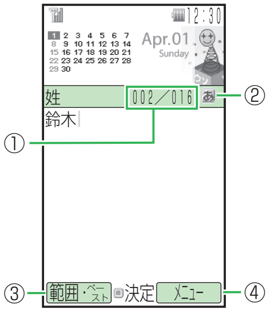
重　要

- TVコールで緊急通報した場合は、音声通話となります。

文字入力について

本機では、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字、記号、絵文字、顔文字を入力できます。
入力方式には、標準方式、ポケベル方式（3-8ページ）、T9方式、マルチタップ方式の4種類があります。本書では、標準方式での入力例を中心に記載します。

文字の入力画面



①入力文字数／登録可能文字数が表示されます。登録可能文字数は、機能によって異なります。
②現在の文字入力モードがアイコンで表示されます。
③文字の範囲を指定できます。
　文字の範囲を指定中に■を押して、コピーや単語登録などの操作を行うことができます（3-11、3-12ページ）。
④ (メニュー）を押して、メール本文の装飾や編集などの操作を行うことができます（3-12、17-6ページ）。

文字入力モードを変更する

1 文字の入力画面→

●利用できない文字入力モードは表示されません。

2 文字入力モードを選択→■

文字入力モードが変更されます。

文字入力モードアイコン

あ：全角かな（漢字変換）
A：全角英大文字
a：全角英小文字
A：半角英大文字
a：半角英小文字
0：全角数字
0：半角数字
アドレス：アドレスライブラリ（3-8ページ）の入力
絵文字：絵文字の入力
顔文字：顔文字の入力
マイ絵文字：マイ絵文字の入力

補　足

- 入力方式（3-15ページ）で標準方式、ポケベル方式、T9方式、マルチタップ方式の切り替えができます。上記のアイコンは標準方式で表示されるアイコンです。ポケベル方式に設定した場合は、アイコンの表示が「あ」から「あ」に変わります。

ボタンの割り当て（標準方式）

ボタン ＼ 文字入力モード	全角かな（漢字変換）※	半角カタカナ	全角英大文字 半角英大文字	全角英小文字 半角英小文字	全角数字 半角数字
1 あ .@	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	.@－＿1	.@－＿1	1
2 か ABC	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABC2	abc2	2
3 さ DEF	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEF3	def3	3
4 た GHI	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHI4	ghi4	4
5 な JKL	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL5	jkl5	5
6 は MNO	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO6	mno6	6
7 ま PQRS	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS7	pqrs7	7
8 や TUV	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUV8	tuv8	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ9	wxyz9	9
0 わ	わをんー、。	ﾜｦﾝｰ､｡	～／？！0	～／？！0	0
＊ 絵	絵文字・顔文字・カスタム・濁点 半濁点・長音（ー）・読点（、）・句点（。）	濁点・半濁点 長音(-)･読点(､)･句点(｡)	絵文字・顔文字・カスタム		絵文字・顔文字 カスタム
＃ A/a 記号	記号・英数字・アドレス 大文字・小文字切り替え	記号・英数字・アドレス 大文字・小文字切り替え	記号・英数字・アドレス 大文字・小文字切り替え		記号・英数字 アドレス
■	入力中の文字を確定／入力を終了				入力を終了
	カーソルの移動、で改行 で未確定文字変換	カーソルの移動	カーソルの移動 で改行		
クリア/メモ	入力した文字の削除（3-12 ページ）				
文字	逆順で表示				―

※ ユーザ辞書（3-11ページ）の読み仮名入力時は、全角かな、長音（ー）のみ入力できます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

全角かな（漢字変換）入力モードで文字を入力して漢字などに変換します。

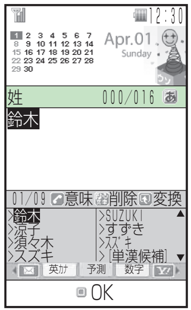
例 名前の「**須々木**」を入力する

1 文字の入力画面→「すずき」を入力

● 3(3回)→▢→3(3回)→＊(1回)→2(2回)を押します。

2 ▢

● クリア/メモを押すと、「**すずき**」のあとに続けて入力できます。



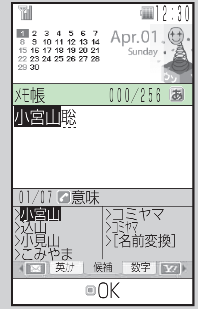
3 ▢で「須々木」を選択→▢

「**須々木**」が確定されます。

●文字の入力を終了するときは、確定したあと▢を押します。

補 足

● 全角かな（漢字変換）入力モードでは、入力した文字が単語や熟語、文節単位で変換されますが、目的の漢字に変換されない場合は、▢で文字の範囲をもう一度指定してから▢を押して変換します。例えば、「**こみやまさとし**」と入力して▢を押して変換すると、「**小宮山聡**」が表示されます。「**こみや**」と「**まさとし**」の組み合わせにするときは、右の画面でクリア/メモを押し、カーソルを「**こみや**」に指定してから▢を押し、変換候補を選択します。



● 文字の変換中、濁点や半濁点にならない文字のあとで＊を押すと「ー」、「、」、「。」が表示されます。

小文字（a、っなど）を入力する

数字入力モード以外では、カーソル上の文字（未確定）の大文字、小文字を切り替えることができます（対応している文字のみ）。

例「**あ**」を小文字に切り替える

1 文字の入力画面→1

「**あ**」が入力されます。

2 #→■

「**ぁ**」が確定されます。

濁点（゛）／半濁点（゜）を入力する

全角かな（漢字変換）入力モードと半角カタカナ入力モードでは、カーソル上の文字（未確定）を濁点や半濁点に変えることができます（対応している文字のみ）。

例「**が**」を入力する

1 文字の入力画面→2

「**か**」が入力されます。

2 *→■

「**が**」が確定されます。

- 「**は**」のように濁点と半濁点の両方を付けられる文字の場合は、*を押して濁点、半濁点を切り替えます。

補 足

- カーソル上に濁点や半濁点に対応していない文字があるとき、またはカーソルが文字(未確定)の右側にあるときに*を押すと、長音(ー)、読点(、)、句点(。)を入力できます。

単漢字で変換する

全角かな（漢字変換）入力モードで目的の漢字が表示されない場合、同じ読みの漢字（1文字単位）の変換候補を表示させてから、選択できます。

例「**鱸**」（すずき）を入力する

1 文字の入力画面→「すずき」を入力

2 [⊡]（2回）

漢字の変換候補が表示されます。

- 入力画面に「**単漢候補**」が表示されない場合は、単漢字で変換できません。

3 「鱸」を選択→[■]

「**鱸**」が確定されます。

補足

- 全角かな（漢字変換）入力モードで、下記の読み（いっぱん、がくじゅつ...）をひらがなで入力→[⊡]（2回）で単漢字変換に切り替えると、表にある特殊な文字を表示できます。

読み	文字（記号）
いっぱん	＃＆＊＠§☆など、すべて「**きごう**」に含まれます。
がくじゅつ	＋－±×÷＝など、すべて「**きごう**」に含まれます。
かっこ	‘’　“”　（）など、すべて「**きごう**」に含まれます。
ぎりしゃ	ΑΒΓαβγなど。
たんい	°′″℃￥＄など、すべて「**きごう**」に含まれます。
ろしあ	АБВабвなど。
きじゅつ	、。，．・：など、すべて「**きごう**」に含まれます。
きごう	、。，．・：など。
けいせん	─│┌┐┘└など。

名前を変換する

名前の変換をするときに、1文字単位の名前の変換候補を表示させて選択することができます。

例「**亜香梨**」（あかり）を入力する

1 文字の入力画面→「あかり」を入力→[□]→[◎]で「名前変換」を選択→[■]

2 「亜」を選択→[■]

3 文字の入力方法

3 「香」を選択→■

4 「梨」を選択→■(2回)

英字／数字／カタカナに変換する

全角かな（漢字変換）入力モードから文字入力モードを変更しなくても、カタカナやそのボタンに割り当てられている英数字に変換できます。

例 全角かな（漢字変換）入力モードで「TOM」（半角）と入力する

1 文字の入力画面→文字の割り当てられたボタンを押す

- 8(1回)→6(3回)→□→6(1回)を押し、「**やふは**」を入力します。

2 ✉(英カナ)

英字とカタカナの変換候補が表示されます。

- ✉（英カナ）／Y!（数字）を押して、英カナ変換と数字変換を切り替えることができます。

3 ○→✥で「TOM」(半角)を選択→■

「TOM」（半角）が確定されます。

補　足

- 日付や時刻を入力したい場合に、全角かな(漢字変換)入力モードのままで入力できます。例えば、1 2 3 0を順に押して「**あかさわ**」と入力し、Y!(数字)を押すと、「**12／30**」や「**12:30**」が表示されます。

文字を逆順で表示する

数字入力モード以外では、文字が未確定のとき、文字を押すたびにカーソル上の文字をボタン割り当て一覧（3-2ページ）の逆の順番に表示させることができます。

例 2に割り当てられた文字を入力する

2を押す

か→き→く→け→こ

2のあと文字を押す

か→こ→け→く→き

記号を入力する

全角記号と半角記号を入力できます。

1 文字の入力画面→#

全角記号ウィンドウが表示されます。

2 記号を選択→■

選択した記号が入力され、記号ウィンドウが閉じます。

- 記号ウィンドウに表示されている記号を連続して入力する場合は、文字を押して記号を選択します。

補　足

- 一度選択した記号は、記号ウィンドウ上部の履歴エリアに表示されます。履歴エリアの記号を選択して入力することもできます。

英数字を入力する

全角英数字、半角英数字を入力できます。

1 文字の入力画面→[#]（2回）

全角英数字ウィンドウが表示されます。
●機能によっては[#]を押す回数が異なります。

2 英数字を選択→[■]

●英数字ウィンドウに表示されている英数字を選択し、そのまま連続して入力することができます。

絵文字を入力する

入力できる絵文字については25-15ページを参照してください。

1 文字の入力画面→[*]

絵文字ウィンドウが表示されます。
●機能によっては入力できない場合もあります。

2 絵文字を選択→[■]

選択した絵文字が入力され、絵文字ウィンドウが閉じます。
●絵文字ウィンドウに表示されている絵文字を連続して入力する場合は、[文字]を押して絵文字を選択します。

補 足

- 一度選択した絵文字は、絵文字ウィンドウ上部の履歴エリアに表示されます。履歴エリアの絵文字を選択して入力することもできます。
- 絵文字は、文字の入力画面で[文字]→「**絵文字**」を選択しても入力できます。
- [変換]を押して変換した場合に変換候補に絵文字が表示されることがあります。

顔文字を入力する

1 文字の入力画面→[*]（2回）

顔文字ウィンドウが表示されます。
●機能によっては[*]を押す回数が異なります。

2 顔文字を選択→[■]

選択した顔文字が入力され、顔文字ウィンドウが閉じます。
●顔文字ウィンドウに表示されている顔文字を連続して入力する場合は、[文字]を押して顔文字を選択します。

補 足

- 「**かお**」と入力し、[変換]を押して変換した場合も、変換候補に12種類の顔文字が表示されます。
- 顔文字は、文字の入力画面で[文字]→「**顔文字**」を選択しても入力できます。

スペースを入力する

1 文字の入力画面→

スペースが入力されます。

●確定済みの文字の前にスペースを入れるときは、記号ウィンドウから入力します（3-6ページ）。

改行を入力する

1 文字の入力画面→文字を入力し、確定する

2 改行したい位置でを押す

「」が表示され、改行されます。

●入力する画面によっては改行できない場合もあります。

E-mailアドレス／URLの一部を入力する

アドレスライブラリを利用して、E-mailアドレスやURLの一部を簡単に入力できます。

例 E-mailアドレスの一部「.co.jp」を入力する

1 文字の入力画面→→「アドレス」→

アドレスライブラリが表示されます。

2 「.co.jp」→

「**.co.jp**」が入力されます。

ポケベル方式で入力する

入力方式（3-15ページ）を「**ポケベル入力**」に変更します。文字を入力する場合は、2つの数字を組み合わせて1つの文字にします。組み合わせは、以下のとおりです。

先に押すボタン＼後に押すボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&			
8	や	(	ゆ	)	よ	＊	#			
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

●は、入力後にを押して、大文字と小文字を切り替えられます。

●、の場合、すべて半角になります。

●、、、の場合、ひらがなはカタカナになります。

●、の場合、英字は小文字で入力されます。

例「**よしお**」を入力する

1 **文字の入力画面**→[8 や TUV][5 な JKL]→[3 さ DEF][2 か ABC]→[1 あ .@][5 な JKL]→[■]

「**よしお**」が確定されます。

文字の変換機能

本機では、東芝のかな漢字変換エンジン「モバイル ルポ™」を搭載しています。モバイル ルポ™では、「本を買う」「犬を飼う」のように前後の言葉のつながりから最適な変換をするAI変換を採用しています。さらに、入力予測（下記）を利用することで、長文メールも簡単にすばやく入力することができます。

※モバイル ルポ™は株式会社 東芝の商標です。

また、ユーザ辞書（3-11ページ）に特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などを登録しておくと、文字入力時に呼び出すことができます。

入力予測を利用する

入力予測には変換予測とフレーズ予測があります。変換予測は、全角かな（漢字変換）入力モードで入力した文字から予測される変換候補を表示する機能です。フレーズ予測は、一度確定した文章からフレーズ（句）を学習し、先頭のフレーズをもう一度入力することにより、あとに続くフレーズの候補を表示する機能です。入力予測を利用することで目的の語句を簡単にはやく入力することができます。

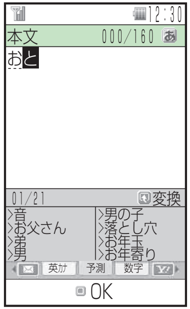
使い込む程に予測辞書として言葉が学習され、変換候補の精度があがっていきます。また、入力予測の設定を解除したり、予測辞書をお買い上げ時の状態に戻すことができます（3-15ページ）。

変換予測を利用して入力する

例「**お父さん**」を入力する

1 文字の入力画面→[1あ](5回)→[4た](5回)

「**おと**」を入力すると、予測エリアに「**おと**」から予測される変換候補が表示されます。



2 [○]→[◎]で「お父さん」を選択→[■]

「**お父さん**」が確定されます。

フレーズ予測を利用して入力する

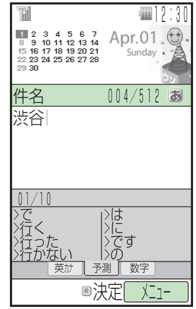
例 一度確定したフレーズ「**渋谷でライブ**」をもう一度入力する

1 文字の入力画面→「し」を入力

予測エリアに「**渋谷**」が表示されます。

2 [○]→[◎]で「渋谷」を選択→[■]

「**渋谷**」が確定されます。予測エリアに「**で**」が表示されます。



3 [○]→[◎]で「で」を選択→[■]

「**で**」が確定されます。予測エリアに「**ライブ**」が表示されます。



4 [🎤]→[✣]で「ライブ」を選択→[■]

「**ライブ**」が確定されます。

よく使う言葉をユーザ辞書に登録する

ユーザ辞書とは、特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などを登録しておく機能です。100語まで登録できます。
登録した語句を呼び出すには、文字の入力画面で、ユーザ辞書に登録した読み仮名を入力し、変換します。

1 **文字の入力画面→[Y!](メニュー)→「ユーザ設定」→[■]→「単語設定」→[■]→「単語登録」→[■]**

2 **「登録語句」→[■]→語句を入力→[■]**

- 12文字まで登録できます。
- 記号や絵文字も登録できます。

3 **「読み仮名」→[■]→読み仮名を入力→[■]**

- 8文字まで登録できます。
- 全角ひらがなで入力します。

4 **[Y!](完了)**

補　足

- 同じ読み仮名の語句は、4件まで登録できます。

入力中の文字をユーザ辞書に登録する

1 **文字の入力画面→登録したい文字の先頭へカーソルを移動→[✉](範囲・ペースト)**

2 **「始点」→[■]→文字の最後へカーソルを移動→[■]**

- 12文字まで登録できます。
- 記号や絵文字も登録できます。

3 **「単語登録」→[■]**

範囲選択した語句が設定されたユーザ辞書登録画面が表示されます。

4 **「読み仮名」→[■]→読み仮名を入力→[■]**

5 **[Y!](完了)**

登録した語句を編集する

1 **文字の入力画面→[Y!](メニュー)→「ユーザ設定」→[■]→「単語設定」→[■]→「単語編集」→[■]**

2 **語句を選択→[✉](編集)→語句／読み仮名を選択→[■]→語句／読み仮名を編集→[■]**

3 **[Y!](完了)**

文字の編集

文字の入力画面で入力されている文字の編集を行うことができます。また、クリップボード（右記）に記憶された文字データは、文字の入力画面で貼り付けることができます。

入力した文字を修正する

1 文字の入力画面→修正したい文字の前へカーソルを移動→クリア/メモ

1文字削除されます。

●カーソルの右側の文字をすべて削除する場合は、クリア/メモを長く（約1秒以上）押します。

2 正しい文字を入力

補足

- カーソルが文末にあるとき、クリア/メモを押すと左側の一文字が削除されます。クリア/メモを長く（約1秒以上）押すと、左側のすべての文字が削除されます。
- 文字の入力画面→Y!（メニュー）→「**ジャンプ**」→■→「**最後へジャンプ**」／「**先頭へジャンプ**」を選択すると文末または文頭へカーソルがジャンプします。

コピー／切り取り／貼り付けをする

文字の編集を行う場合は、クリップボードを使うと便利です。クリップボードとは、文字のコピーや切り取りを行った内容を一時的に記憶しておく場所のことです。範囲選択した文字、絵文字をコピーや切り取りをし、入力画面でカーソル位置に貼り付け（ペースト）ができます。

1 文字の入力画面→コピー／切り取りを行いたい文字の先頭へカーソルを移動→✉（範囲・ペースト）

2 「始点」→■→文字の最後へカーソルを移動→■

3 「切り取り」／「コピー」→■

指定した範囲の文字がクリップボードに記憶されます。

4 貼り付ける位置へカーソルを移動→✉（範囲・ペースト）→「ペースト」→■→貼り付ける文字を選択→■

補足

- クリップボードの記憶を消去したい場合は、文字の入力画面→✉（範囲・ペースト）→「**ペースト**」→■→クリップボードを選択→Y!（メニュー）→「**1件削除**」／「**全件削除**」を選択します。
- クリップボードに記憶できる件数は、最新の20件までです。

元に戻す

直前に行った操作を元に戻すことができます。

1 文字の入力画面→[Y!](メニュー)→「元に戻す」→[■]

重 要

- 一括変換(3-14ページ)や置き換え(3-15ページ)を行った文字は元に戻せません。

文字データを引用する

メール本文に署名(17-22ページ)を挿入したり、メモ帳(14-8ページ)やアドレス帳(4-2ページ)に登録している内容をカーソル位置に挿入できます。

1 文字の入力画面→[Y!](メニュー)→「挿入」→[■]

2 引用したい項目を選択

■アドレス帳
「アドレス帳」→[■]→アドレス帳を選択→[■]→引用したい項目を選択→[■]

■ご自分の名前、電話番号など
「オーナー情報」→[■]→引用したい項目を選択→[■]

■定型文
「定型文」→[■]→定型文を選択→[■]

■顔文字
「顔文字」→[■]→顔文字の種類を選択→[■]→顔文字を選択→[■]

■S!メール／SMSの署名
「署名」→[■]→「署名1」／「署名2」→[■]

■メモ帳
「メモ帳」→[■]→メモ帳を選択→[■]

■メール本文
「メールボックス」→[■]→フォルダを選択→[■]→メールを選択→[■]

■URLの履歴
「アドレス送信履歴」→[■]→URLを選択→[■]

重 要

- 操作の状況によっては挿入できない項目もあります。

その他の文字編集機能

メモ帳に登録する

文字の入力画面で範囲選択した文字をメモ帳（14-8ページ）に登録できます。

1 **文字の入力画面→登録したい文字の先頭へカーソルを移動→✉(範囲・ペースト)**

2 **「始点」→■→文字の最後へカーソルを移動→■**

3 **「メモ帳登録」→■→メモ帳を選択→■**

●すでに登録されているメモ帳を選択した場合は、上書きされます。

アドレス帳に登録する

文字の入力画面で範囲選択した電話番号やE-mailアドレスをアドレス帳に登録できます。範囲選択した内容が数字のときには、「**電話番号**」に登録され、「@」を1つ含む半角英数字や「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）のときには、「**Eメール**」に登録されます。

●アドレス帳については4-2ページを参照してください。

1 **文字の入力画面→登録したい文字の先頭へカーソルを移動→✉(範囲・ペースト)**

2 **「始点」→■→文字の最後へカーソルを移動→■**

3 **「アドレス帳登録」→■→「新規登録」／「追加登録」→■**

重　要

● アドレス帳に登録できない文字や記号が選択範囲に含まれていると、アドレス帳に登録できません。

補　足

● 範囲選択した数字の間に「＊#/P−+( )」が含まれていても、電話番号として認識されます。ただし、「/( )」は登録時に省かれます。

確定した文字を変換する（一括変換）

一度確定した文字を範囲選択して再変換できます。ただし、漢字、絵文字は一括変換できません。

1 **文字の入力画面→変換したい文字の先頭へカーソルを移動→✉(範囲・ペースト)**

2 **「始点」→■→文字の最後へカーソルを移動→■**

3 **「一括変換」→■**

■ひらがなを漢字に変換する

「かな漢字変換」→■→変換候補を選択→■

■すべて全角に変換する

「全角変換」→■

■すべて半角に変換する

「半角変換」→■

■英字をすべて大文字に変換する

「大文字変換」→■

■英字をすべて小文字に変換する

「小文字変換」→■

クリップボードの内容に置き換える

範囲選択した文字をクリップボード（3-12ページ）の内容に置き換えることができます。

1 文字の入力画面→置き換えたい文字の先頭へカーソルを移動→✉(範囲・ペースト)

2 「始点」→■→文字の最後へカーソルを移動→■

3 「置き換え」→■→クリップボードから置き換える文字を選択→■

削除する

1 文字の入力画面→削除したい文字の先頭へカーソルを移動→✉(範囲・ペースト)

2 「始点」→■→文字の最後へカーソルを移動→■

3 「削除」→■

予測辞書／変換辞書をリセットする

入力予測機能（3-9ページ）で学習した内容をお買い上げ時の状態に戻します。

1 文字の入力画面→Y!(メニュー)→「ユーザ設定」→■→「学習リセット」→■

2 「予測辞書」／「変換辞書」→■→「YES」→■

入力予測を設定する

入力予測機能（3-9ページ）を利用するかどうかの設定ができます。

1 文字の入力画面→Y!(メニュー)→「ユーザ設定」→■→「入力予測」→■→「入力予測」／「フレーズ予測」→■

2 「ON」／「OFF」→■

入力方式を設定する

入力方式を標準方式、ポケベル方式（3-8ページ）、T9方式、マルチタップ方式から選択できます。

- T9方式：1つのボタンを押すごとに、そのボタンに割り当てられた文字の候補が表示され、その中から選択することができます。
- マルチタップ方式：1つのボタンに複数の文字が割り当ててあり、ボタンを押すたびに文字が替わります。

1 文字の入力画面→Y!(メニュー)→「ユーザ設定」→■→「入力方式」→■

2 「標準入力」／「ポケベル入力」／「T9方式」／「マルチタップ方式」→■

文字サイズを変更する

文字の入力画面で表示される文字サイズを選択できます。

1 文字の入力画面→Y!(メニュー)→「ユーザ設定」→■→「文字サイズ」→■

2 文字サイズを選択→■

カスタムウィンドウを設定する

よく使用する記号や絵文字などをカスタムウィンドウに設定して、簡単に記号や絵文字などを入力することができます。

1 文字の入力画面→Y!(メニュー)→「ユーザ設定」→■→「カスタムパレット」→■

2 「パレット登録」→■→記号・絵文字を入力→■

■**カスタムパレットの表示を設定する**

「表示設定」→■→「表示する」/「表示しない」→■

オリジナルの顔文字を作成する

1 文字の入力画面→(絵文字/記号/文字)→「顔文字」→■→「ユーザ作成」→■

2 未登録の項目を選択→✉(編集)→顔文字を作成→■(2回)

アドレス帳の登録

アドレス帳は、本体、USIMカード、メモリカードに保存できます。本体には最大1,000件、USIMカード、メモリカードの場合は容量によって異なります。また、USIMカードは、登録できる項目の最大文字数などが異なる場合もあります。

大切なデータを失わないために
アドレス帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化することがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なアドレス帳などは控えを取っておかれることをおすすめします。アドレス帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

項目	内容	登録の可／不可		
		本体	メモリカード	USIMカード
名前／姓 名前／名	16文字まで（USIMカードは「名前」として）登録できます。	○	○	○
ヨミガナ（姓） ヨミガナ（名）	16文字まで（USIMカードは「ヨミガナ」として）登録できます。	○	○	○
メモリ番号	4桁	○	○	○
電話番号	最大5件、1件につき32桁まで登録できます。（USIMカードは1件のみ登録）	○	○	○
Eメール	最大5件、1件につき128文字まで登録できます。（USIMカードは1件のみ60文字まで登録）	○	○	○
住所	郵便番号、国、都道府県、市町村、番地、住所付加情報を登録できます。郵便番号は20桁まで、国は32文字まで、都道府県、市町村、番地、住所付加情報は64文字まで登録できます。	○	○	－
役職	32文字まで登録できます。	○	○	－
会社名	32文字まで登録できます。	○	○	－
誕生日	生年月日を登録できます。	○	○	－
URL	128文字まで登録できます。	○	○	－
グループ	グループを設定できます。	○	○	○
顔写真	着信時に表示させる静止画を登録できます。	○	－	－
個別設定	相手先別に着信イルミネーションや着信音パターン、シークレットメモリなどを設定できます。	○	－	－
位置情報	位置情報を登録し、地図や位置情報を表示できます。	○	－	－
メモ	256文字まで登録できます。	○	－	－

基本的な項目をアドレス帳に登録する

アドレス帳には相手の名前や電話番号、E-mailアドレスなどを登録できます。アドレス帳の保存先は、あらかじめ指定できます（4-11ページ）。

メインメニュー ▶ アドレス帳

1 「新規登録」→■

■名前を設定する

「名前」→■→「姓」／「名」→■→名前（姓／名）を入力→■→✉（決定）

●ヨミガナや表示名は、名前を入力すると自動的に入力されます。ヨミガナを編集する場合は、「**ヨミガナ（姓）**」／「**ヨミガナ（名）**」を選択します。

■電話番号を設定する

「電話番号」→■→電話番号を入力→■→種類を選択→■

●マニュアルハイフン「-」やポーズ「P」（14-36ページ）を入力する場合は、電話番号入力中にY!（メニュー）を押したあと、「**マニュアルハイフン(-)**」／「**ポーズ(P)**」を選択します。

■E-mailアドレスを設定する

「Eメール」→■→E-mailアドレスを入力→■→種類を選択→■

2 ✉（完了）

重　要

● USIMカードのアドレス帳に登録する場合（4-11ページ）は、「**名前**」の項目に姓と名を両方入力します。

補　足

● 新規登録は以下の方法でも行うことができます。
待受画面→□→✉（新規）
● アドレス帳を登録するには、「**名前**」、「**電話番号**」、「**Eメール**」のいずれかを設定してください。
● アドレス帳の保存先に同姓同名の表示名がある場合は、✉（完了）を押したあと上書きするかどうかのメッセージが表示されます。上書きしない場合は「**NO**」を選択すると、新規登録されます。

顔写真を設定する

メインメニュー ▶ アドレス帳

1 「新規登録」→■

■カメラで撮影して設定する

「顔写真」→■→「写真撮影」→■→撮影する→■

●撮影方法については7-6ページを参照してください。

■データフォルダの画像を設定する

「顔写真」→■→「本体」／「メモリカード」→■→「ピクチャー」／「デジタルカメラ」→■→画像を選択→■

●選択した画像が、設定する画像サイズに合わない場合は画像サイズの調節を行います（7-22ページ）。

2 ✉（完了）

●保存を行うには、「**名前**」、「**電話番号**」、「**Eメール**」のいずれかを設定してください。

重　要

● プロパティ（10-9ページ）で転送不可となっているピクチャーファイルは、顔写真に登録できません。

着信音などを個別に設定する

メインメニュー▶ アドレス帳

1 **「新規登録」→[■]→「個別設定」→[■]**

■着信イルミネーションを設定する

「音声着信」／「TVコール着信」／「メール受信」／「サークルトーク着信」／「ホットステータス通知」→[■]→「イルミネーション設定」→[■]→色／「OFF」／「通常設定連動」を選択→[■]

■着信音量を設定する

「音声着信」／「TVコール着信」／「メール受信」／「サークルトーク着信」／「ホットステータス通知」→[■]→「着信音量」→[■]→「個別設定」／「通常設定連動」→[■]→着信音量を調節→[■]

■着信音を設定する

「音声着信」／「TVコール着信」／「メール受信」／「サークルトーク着信」／「ホットステータス通知」→[■]→「着信音」→[■]→「固定パターン」／「固定メロディ」／「本体」／「メモリカード」／「通常設定連動」→[■]→着信音パターンを選択→[■]

■バイブレーターを設定する

「音声着信」／「TVコール着信」／「メール受信」／「サークルトーク着信」／「ホットステータス通知」→[■]→「バイブ設定」→[■]→パターン／「OFF」／「通常設定連動」を選択→[■]

■メール受信・ホットステータス通知の鳴動時間を設定する

「メール受信」／「ホットステータス通知」→[■]→「鳴動時間」→[■]→「時間指定」／「一周期」／「通常設定連動」→[■]→鳴動時間を入力→[■]

■保存するメールフォルダを設定する

「メール受信」→[■]→「メールフォルダ設定」→[■]→フォルダを選択／「設定なし」→[■]

■シークレットメモリを設定する

「シークレット」→[■]→「ON」／「OFF」→[■]

●シークレットメモリのアドレス帳は、シークレットモード（13-5ページ）を「**表示する**」にすると表示されます。シークレットメモリには、「」が表示されます。

2 **[✉](完了)**

●保存を行うには、「**名前**」、「**電話番号**」、「**Eメール**」のいずれかを設定してください。

補　足

- 「**通常設定連動**」を選択した場合は、音·バイブ設定(12-3ページ)やイルミネーション設定(12-9ページ)に従います。
- シークレットメモリに設定している相手へ電話をかけても、シークレットモード(13-5ページ)が「**表示しない**」の場合は、発信履歴に電話番号だけが記録されます。
- シークレットメモリに設定している相手から電話がかかってきても、シークレットモードが「**表示しない**」の場合は、電話番号のみが表示されます。

位置情報を設定する

メインメニュー▶ アドレス帳

1 「新規登録」→■→「個人情報」→■→「位置情報なし」→■

■現在地の位置情報を設定する
「現在地」→■→測位開始→■→✉（決定）

■位置履歴から設定する
「位置履歴」→■→位置情報を選択→■→✉（決定）

■位置メモリストから設定する
「位置メモリスト」→■→位置情報を選択→■→✉（決定）

■位置情報付きのピクチャーファイルから設定する
「ピクチャー」→■→ファイルを選択→■→✉（決定）

2 ✉（完了）

●保存を行うには、「**名前**」、「**電話番号**」、「**Eメール**」のいずれかを設定してください。

その他の項目を設定する

メインメニュー▶ アドレス帳

1 「新規登録」→■

■住所／役職／会社名を設定する
「個人情報」→■→各項目を選択→■→項目を入力→■→✉（決定）

■誕生日を設定する
「個人情報」→■→「誕生日」→■→誕生日を入力→■→✉（決定）

●「**誕生日**」を設定する場合、年は西暦の4桁で、月や日はそれぞれ2桁で入力します。

■URLを設定する
「個人情報」→■→「URL」→■→URLを入力→■→種類を選択→■→✉（決定）

■グループを設定する
「グループなし」→■→グループを選択→■

■メモを設定する
「メモ」→■→メモを入力→■

■メモリ番号を変更する
現在のメモリ番号→■→メモリ番号を入力→■

2 ✉（完了）

●保存を行うには、「**名前**」、「**電話番号**」、「**Eメール**」のいずれかを設定してください。

補　足

● 保存先設定(4-11ページ)を「**本体**」または「**メモリカード**」にしている場合は本体に登録されているグループから、「**USIM**」にしている場合はUSIMカードに登録されているグループから登録できます。

発信履歴／着信履歴の電話番号を登録する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ 通話履歴

1 電話番号を選択→[Y!](メニュー)→「アドレス帳登録」→[■]→「新規登録」→[■]

●登録されているアドレス帳に追加する場合は、「**追加登録**」を選択したあと、追加したいアドレス帳を選択します。

補足

- 受信メールの電話番号やE-mailアドレスをアドレス帳に登録することもできます。
- 待受画面で電話番号を入力し、[■]を押してアドレス帳に登録することもできます。
- 待受画面で[•□]または[□•]を押して、通話履歴を表示させることもできます。

アドレス帳の登録件数を確認する

●シークレットモード（13-5ページ）を「**表示しない**」にしている場合は、シークレットメモリの件数は含みません。

メインメニュー ▶ アドレス帳

1 「メモリ容量確認」→[■]

●[Y!]（件数）／[Y!]（使用率）を押して、登録件数／使用率を切り替えることができます。

グループ設定

グループには、グループ名とグループアイコンを登録できます。また、グループごとに着信イルミネーションや着信音量、着信音パターン、バイブレーターを設定できます。ただし、アドレス帳ごとに設定している場合は、アドレス帳の設定が優先されます。

グループ名とグループアイコンを登録する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ グループ設定

1 グループを選択→[■]

●[Y!]（メニュー）を押して「**USIMへ切替え**」／「**本体へ切替え**」を選択すると、本体登録とUSIM登録とを切り替えることができます。

2 グループ名を選択→[■]→グループ名を入力→[■]

3 グループアイコンを選択→[■]

4 [✉](完了)

補足

- グループ名を選択し、[Y!](メニュー)を押すと以下の操作を行うこともできます。

  アイコン変更

グループオプションを設定する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ グループ設定

1 グループを選択→■

2 「グループオプション」→■

■着信イルミネーションを設定する

「音声着信」/「TVコール着信」/「メール受信」/「サークルトーク着信」/「ホットステータス通知」→■→「イルミネーション設定」→■→色/「OFF」/「通常設定連動」を選択→■

■着信音量を設定する

「音声着信」/「TVコール着信」/「メール受信」/「サークルトーク着信」/「ホットステータス通知」→■→「着信音量」→■→「個別設定」/「通常設定連動」→■→着信音量を調節→■

■着信音を設定する

「音声着信」/「TVコール着信」/「メール受信」/「サークルトーク着信」/「ホットステータス通知」→■→「着信音」→■→「固定パターン」/「固定メロディ」/「本体」/「メモリカード」/「通常設定連動」→■→着信音パターンを選択→■

■バイブレーターを設定する

「音声着信」/「TVコール着信」/「メール受信」/「サークルトーク着信」/「ホットステータス通知」→■→「バイブ設定」→■→パターン/「OFF」/「通常設定連動」を選択→■

■メール受信・ホットステータス通知の鳴動時間を設定する

「メール受信」/「ホットステータス通知」→■→「鳴動時間」→■→「時間指定」/「一周期」/「通常設定連動」→■→鳴動時間を入力→■

■保存するメールフォルダを設定する

「メール受信」→■→「メールフォルダ設定」→■→フォルダを選択/「設定なし」→■

3 ✉(完了)

補　足

- グループを選択中に(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(選択しているグループによっては表示されない項目があります)。
  リセット/USIMへ切替え/本体へ切替え
- 「**グループオプション**」を選択中に(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  オプションリセット
- 「**通常設定連動**」を選択した場合は、音・バイブ設定(12-3ページ)やイルミネーション設定(12-9ページ)に従います。

アドレス帳の利用

1 待受画面→[□]

●[□]または[□]を押すと、50音順の前の行または次の行を表示できます。

2 相手を選択→[■]

●[□]または[□]を押すと、同じ行の前または次のアドレス帳を表示できます。

■電話をかける場合

電話番号を選択→[✓]

■S!メール／ SMSを送信する場合

電話番号／ E-mailアドレスを選択→[Y!]（メニュー）→「メール送信」→[■]

●S!メールの作成については17-4ページを参照してください。

●SMSの作成については17-9ページを参照してください。

補　足

- 待受画面で[0]〜[9]を長く（約1秒以上）押して、ボタンに割り当てられた行の検索画面を呼び出すこともできます。
- シークレットメモリ（4-3ページ）のアドレス帳は、シークレットモード（13-5ページ）を「**表示する**」にすると表示されます。シークレットメモリのアドレス帳には、「[アイコン]」が表示されます。
- ホットステータスメンバーリスト（20-3ページ）に登録しているアドレス帳は、相手の現在の状況（ホットステータス情報）が表示されます。
- マルチファンクションボタンの設定（12-10ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。

補　足

- メインメニューの「**アドレス帳**」から、アドレス帳を表示させることもできます。
- アドレス帳を表示したあと、[Y!]（メニュー）を押して以下の操作を行うことができます（登録状況によって表示される項目が異なります）。
  発信／国際発信／検索切替／削除／エクスポート／外部送信／コピー／移動／表示切替／ソート／ホットステータス登録／ホットステータス情報／待受ウィンドウ
- アドレス帳を表示したあと、相手を選択して[✓]を押しても電話をかけることができます。アドレス帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号にかかります。

アドレス帳の表示を切り替える

アドレス帳は「**本体／ USIM**」、「**本体**」、「**USIM**」、「**メモリカード**」で切り替えて表示します。本体に保存されているアドレス帳は「[本体アイコン]」、USIMカードに保存されているアドレス帳は「[USIMアイコン]」、メモリカードに保存されているアドレス帳は「[SDアイコン]」が表示されます。

1 待受画面→[□]

2 [Y!]（メニュー）→「表示切替」→[■]→保存先を選択→[■]

4

アドレス帳

アドレス帳の検索方法

アドレス帳の検索方法は6種類あります。検索切替を行うと、次にアドレス帳を開くときに、前回選択した検索方法が起動します。

1 **待受画面→[Q]**

2 **[Y!](メニュー)→「検索切替」→[■]**

■リスト表示で検索する（初回起動時）
「リスト表示」→[■]→アドレス帳を選択→[■]

■ヨミガナの頭文字を2タッチで検索する
「2タッチ検索」→[■]→[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかを押す→[1]～[5]のいずれかを押す→アドレス帳を選択→[■]

■ヨミガナで検索する
「ヨミガナ検索」→[■]→ヨミガナを入力→[■]→アドレス帳を選択→[■]

■メモリ番号で検索する
「メモリ番号検索」→[■]→メモリ番号を入力→[■]

■電話番号で検索する
「電話番号検索」→[■]→電話番号を入力→[■]→アドレス帳を選択→[■]

■グループから検索する
「グループ検索」→[■]→グループを選択→[■]→アドレス帳を選択→[■]

補　足

- 2タッチで検索するときに使用するボタン割り当ては、以下のとおりです。例えば、「**よ**」から始まるヨミガナのアドレス帳を呼び出す場合は、[8][5]の順に押します。英字を呼び出す場合は[*]を、その他を呼び出す場合は[#]を押します。

	後に押すボタン				
先に押すボタン	1	2	3	4	5
1	あ	い	う	え	お
2	か	き	く	け	こ
3	さ	し	す	せ	そ
4	た	ち	つ	て	と
5	な	に	ぬ	ね	の
6	は	ひ	ふ	へ	ほ
7	ま	み	む	め	も
8	や	ー	ゆ	ー	よ
9	ら	り	る	れ	ろ
0	わ	を	ん	ー	ー

- 2タッチ検索には、アドレス帳に登録されているヨミガナが使用されます。

アドレス帳を並び替える

1 **待受画面→[Q]→[Y!](メニュー)→「ソート」→[■]**

2 **「ヨミガナ順」／「誕生日順」→[■]**

アドレス帳の内容をコピー／移動する

本体、メモリカード、USIMカード間でアドレス帳をコピー／移動できます。

1 待受画面→[キー]

■1件コピー／移動する

アドレス帳を選択→[Y!]（メニュー）→「コピー」／「移動」→[■]→「1件」→[■]

■複数選択してコピー／移動する

[Y!]（メニュー）→「コピー」／「移動」→[■]→「複数選択」→[■]→アドレス帳を選択→[■]→[✉]（コピー）／[✉]（移動）

■全件コピー／移動する

[Y!]（メニュー）→「コピー」／「移動」→[■]→「全件」→[■]

2 「本体」／「USIM」／「メモリカード」→[■]

重　要

- アドレス帳に登録できる項目は、本体、USIMカード、メモリカードで異なります（4-1ページ）。

補　足

- 複数選択時に[Y!]（メニュー）を押すと、以下の操作を行うこともできます。
  詳細／**全件チェック**／**全チェック解除**

アドレス帳の編集

アドレス帳は、個別に編集、削除を行うことができます。

1 待受画面→[キー]

2 アドレス帳を選択→[■]

3 項目を選択→[■]→項目を編集→[■]

4 [✉]（完了）→「保存」／「新規保存」→[■]

補　足

- マルチファンクションボタンの設定（12-10ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- アドレス帳の項目を選択中に[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます（選択している項目によっては表示されない項目があります）。
  編集／**発信**／**メール送信**／**国際発信**／**番号非通知**／**番号通知**／**ホットステータス登録**／**ホットステータス情報**／**タイプ変更**／**項目削除**／**顔写真変更**／**顔写真削除**／**ファイル名表示**

アドレス帳を削除する

1 待受画面→[key]

■1件削除する

アドレス帳を選択→[menu]（メニュー）→「削除」→[●]→「1件」→[●]→「YES」→[●]

■複数選択して削除する

[menu]（メニュー）→「削除」→[●]→「複数選択」→[●]→アドレス帳を選択→[●]→[mail]（削除）→「YES」→[●]

■全件削除する

[menu]（メニュー）→「削除」→[●]→「全件」→[●]→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→[●]

オーナー情報について

お客様ご自身の情報を「**オーナー情報**」に登録できます。登録できる項目は、名前、ヨミガナ、ご自分の電話番号（5件まで）、E-mailアドレス（5件まで）、顔写真、住所、誕生日、位置情報です。また、登録した情報は、通話中に確認したり（2-10ページ）、メール作成時などに挿入して利用できます。

情報を登録する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ オーナー情報

1 項目を選択→[menu]（メニュー）→「編集」→[●]→情報を入力→[●]

■名前を設定する場合

「名前」→[●]→[menu]（メニュー）→「編集」→[●]→[mail]（決定）

2 [mail]（完了）

補　足

- 各項目の設定方法については4-2ページを参照してください。
- 操作1で[mail]（送信）を押すと、ご自分の電話番号をS!メールやBluetooth®通信、赤外線通信で送信することができます。

オーナー情報から位置情報を利用する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ オーナー情報

1 「個人情報」→[●]→「位置情報あり」→[menu]（メニュー）

●位置情報を登録していない場合は、「**位置情報なし**」を選択します。

■位置情報から地図を確認する

「地図表示」→[●]→「送信する」／「今後確認せず送信」→[●]→ナビアプリを起動し地図表示

●「**今後確認せず送信**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

■位置情報をS!メールで送信する

「位置情報メール」→[●]→メール作成画面

■位置情報を編集する

「位置情報追加」→[●]

■位置情報を削除する

「位置情報削除」→[●]

補　足

- 位置情報を登録していない場合は、「**位置情報追加**」のみ選択することができます。

スピードダイヤルで電話をかける

本体アドレス帳に登録されているメモリ番号0000～0099の下2桁と[発信]を押すだけで電話をかけることができます。

1 待受画面→メモリ番号の下2桁を入力→[発信]

入力したメモリ番号の相手に電話がかかります。

補　足

- メモリ番号0000～0009に登録されている相手の場合、下1桁のメモリ番号と[発信]を押してください。
- アドレス帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、1件目に登録されている電話番号にかかります。

アドレス帳の設定

アドレス帳の保存先を設定する

アドレス帳を新規登録する場合の保存先を設定できます。

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ 設定

1 「保存先設定」→[■]

2 「毎回選択」／「本体」／「USIM」／「メモリカード」→[■]

●毎回保存先を指定する場合は、「**毎回選択**」を選択します。

アドレス帳の使用を禁止する

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ 設定

1 「アドレス帳使用禁止」→[■]

2 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

3 「禁止する」→[■]

●アドレス帳を使用したい場合、操作用暗証番号を入力することで、一時的にアドレス帳使用禁止が解除されます。

重　要

- アドレス帳使用禁止を「**禁止する**」にしている場合は、スピードダイヤル(左記)で電話をかけることはできません。

S!アドレスブック

S!アドレスブックとは、本機のアドレス帳をネットワーク上のサーバーで管理できるサービスです。
S!アドレスブックには以下の機能があります。

機能	内容
アドレス帳バックアップ（同期）	携帯電話のメニューからアドレス帳をサーバーにバックアップできます。バックアップ方法は、手動または自動から選ぶことができます（4-14ページ）。
アドレス帳読込み（同期）	携帯電話の機種変更時などにサーバーにあるアドレス帳を携帯電話に読み込むことができます。読み込み方法は、3種類の方式から選ぶことができます（4-14ページ）。
アドレス帳の編集※	サーバーのアドレス帳を、パソコンからインターネット経由で編集することができます。
アドレス帳のインポート／エクスポート※	サーバーのアドレス帳を、パソコンにダウンロードできます。また、パソコン内のアドレス帳をネットワーク上のサーバーへアップロードすることもできます。
バースデー通知※	サーバーのアドレス帳に誕生日情報が登録されている場合、それぞれの誕生日が近づくと、誕生日が近づいたことをアドレス帳所有者にメール（SMS）でお知らせします。
Eメールアドレスお知らせ機能※	最新のEメールアドレスを、指定したお知らせ先に一斉にお知らせすることができます。

※詳しくは、下記を参照してください（参照のURLは2007年2月現在のものです）。
http://www.softbank.jp/SAB

ご契約について

●S!アドレスブックのご利用には、別途お申し込みが必要です。お近くの**ソフトバンクショップ**または**お客さまセンター**（25-34ページ）でお申し込みください。
●S!アドレスブックのお申し込みが完了すると、ユーザー IDとパスワードの通知メール（SMS）が送られてきます。ユーザー IDとパスワードの通知メールが届かないときは、お客さまセンター（25-34ページ）までご連絡ください。
●S!アドレスブックのご利用は、月額料金がかかります。
●機種変更の場合、新しくお使いになる機種によって以下のように対応します。
・3Gシリーズ（S!アドレスブック対応）：サーバー内のアドレス帳は保持され、そのままお使いいただけます。
・3Gシリーズ（S!アドレスブック非対応）：S!アドレスブックの契約は継続され、サーバー内のアドレス帳は保持されます。ただし、携帯電話からの操作はできません(パソコンからの操作は可能です)。
・V3、V4、V5、V6、V8シリーズ：S!アドレスブックは自動的に解約され、サーバー内のアドレス帳は削除されます。
●S!アドレスブックを解約した場合、サーバー上のアドレス帳はすべて消去されます。

利用上のご注意

- パスワードを忘れた場合、以下の操作で確認できます。
  待受画面→[Y!]→「**設定・申込**」→「**利用状況の確認**」
  ・以降の操作は画面の指示に従ってください。
- 通信状況や電池切れにより、同期が失敗してしまった場合は、もう一度やり直してください。同期タイプの設定にかかわらず「**通常同期**」で同期される場合があります。
- 本機でアドレス帳全件消去後に、同期タイプ「**通常同期**」「**サーバーのみ更新**」「**サーバーへ保存**」で同期を行うと、サーバー上のアドレス帳が消去されます。また、サーバー上のアドレス帳を全件消去後に、同期タイプ「**通常同期**」「**本体のみ更新**」「**本体へ読込み**」で同期を行うと、本機のアドレス帳は基本的に消去されます。
- アドレス帳の項目「**顔写真**」「**個別設定**」は同期の対象外です。同期タイプ「**本体へ読込み**」で同期を行うと、本機に設定されていたこれらの項目の内容もすべて消去されます。
- サービスの解約や同期時の誤動作による本機およびサーバー上のアドレス帳の情報の消失について、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本機とサーバー上のアドレス帳の整合性を保つため、こまめに同期を行うことをおすすめします。また、本機またはサーバー上のアドレス帳で多量の編集（修正・追加・削除など）を行った場合、その後の同期に時間がかかることがあります。

アドレス帳の同期を行う

サーバーで管理しているアドレス帳に接続して、本機のアドレス帳との違いを補い合うことができます。

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ S!アドレスブック ▶ 同期開始

1 **「開始する」→[■]→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力**

- 以降の操作は画面の指示に従ってください。

重　要

- 同期を開始すると、ネットワークに接続します。ネットワークの接続中は通信料が発生します。同期が終了すると、自動的にネットワークの接続を解除します。

補　足

- はじめて同期する場合は、設定にかかわらず「**通常同期**」が行われます（4-14ページ）。
- 変更しない限り、最初に設定した同期タイプ（お買い上げ時は「**通常同期**」）が適応されます。

アドレス帳の同期設定を行う

自動同期を設定する

同期を行う条件を、手動または自動から選択できます。自動に設定すると、定期的に同期が行われます。

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ S!アドレスブック ▶ 同期設定

1 「自動同期設定」→■→「ON」／「OFF」→■

●「**ON**」を選択した場合は、以下の操作で同期スケジュールを設定します。
操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「**アドレス帳編集後**」／「**毎週**」／「**毎月**」→■
「**毎週**」または「**毎月**」を選択した場合は同期を開始する曜日と時刻、または日付と時刻を設定します。

●「**アドレス帳編集後**」を選択した場合は、本機のアドレス帳を編集すると、約10分後に自動同期を行います。

2 ✉（保存）

補　足

● 自動同期に設定した場合の同期タイプは、手動の場合と同じ同期タイプが適応されます。変更しない限り、最初に設定した同期タイプ（お買い上げ時は「**通常同期**」）が適応されます。

同期タイプを設定する

同期タイプには以下の種類があります。

同期タイプ	説明	注意事項
通常同期	本機のアドレス帳更新情報のバックアップ（サーバー上のアドレス帳へ反映）、サーバー上のアドレス帳の更新情報の読み込み（本機へ反映）を同時に行います。	本機とサーバー上のアドレス帳で同じフィールドを更新していた場合は、基本的にサーバー上のアドレス帳の更新情報を優先（サーバー上のアドレス帳の更新情報を本機へ反映）します。
サーバーのみ更新	本機のアドレス帳更新情報をバックアップ（サーバー上のアドレス帳へ反映）します。	サーバー上のアドレス帳の更新情報は本機へは反映されません。
本体のみ更新	サーバー上のアドレス帳の更新情報を読み込み（本機のアドレス帳へ反映）ます。	本機のアドレス帳更新情報はサーバー上のアドレス帳へは反映されません。
サーバーへ保存	既存のサーバー上のアドレス帳をすべて消去し、新たに本機のアドレス帳をすべてバックアップ（サーバー上のアドレス帳へ反映）します。	サーバー上のアドレス帳はすべて消去されますので、ご注意ください。

同期タイプ	説明	注意事項
本体へ読込み	既存の本機のアドレス帳をすべて消去し、新たにサーバー上のアドレス帳をすべて読み込み（本機のアドレス帳へ反映）ます。 ただし、本機のアドレス帳が保存できる件数（1,000件）以上は読み込めません。サーバー上のアドレス帳で編集を行った日付が新しい順に本機のアドレス帳に読み込まれます。	本機のアドレス帳はすべて消去されますので、ご注意ください。 また、本機のアドレス帳に設定された同期非対象項目（4-13ページ）はすべて無効になりますのでご注意ください。

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ S!アドレスブック ▶ 同期設定

1 **「同期タイプ」→■→同期タイプを選択→■→✉（保存）**

同期ログを確認する

同期の履歴を表示します。

メインメニュー ▶ アドレス帳 ▶ S!アドレスブック ▶ 同期ログ

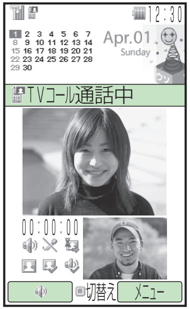
1 **同期ログを選択→■**

TVコールについて

本機ではTVコールを利用できます。TVコールとは、TVコール対応機どうしで、相手の表情を見ながら通話できる機能です。

●本機は3GPPで標準化された3G-324Mに準拠しています。

TVコール画面の見かた



- ：TVコール通話中
- ：私の音声ミュート中
- ：全音声ミュート中
- ：動き優先モード中
- ：標準モード中
- ：画質優先モード中
- ：ハンズフリー中
- ：ハンズフリー(Bluetooth®接続)中
- ：カメラ画像Off中
- ：静止画送信中
- ：音声接続完了表示
- ：映像接続完了表示

TVコールをかける

TVコールをかけると、カメラで撮影している画像を相手に送信します。撮影中の画像の代わりに静止画を送信することもできます。また、TVコール通話中にメインカメラとサブカメラを切り替えることができます。

1 電話番号を入力し、[TV/文字]を押す

TVコールがかかります。

●自画像確認（5-4ページ）を「**ON**」に設定している場合、カメラ画像で相手に送信する自画像を確認し、[■]を押して発信します。

2 通話が終わったら、[PWR]を押す

重　要

- 通話料金上限(2-9ページ)を設定しているとき、設定した上限金額に達した場合は、TVコールを発信できません。通話中に上限金額に達した場合は通話が切断されます。

補　足

- TVコール対応機以外にTVコールをかけた場合は、警告画面が表示され音声発信が行えます。3Gサポートエリア外にいる相手にTVコールをかけた場合は警告画面が表示されます。
- 通話中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
終話／**保留**／**音声ミュート設定**／**画面設定**／**代替画像**(5-3ページ)／**静止画送信**(5-4ページ)／**アドレス帳**(4-7ページ)／**通話履歴**／**オーナー情報**

TVコールを受ける

1 TVコールがかかってきたら、[通話]／[文字]を押す

カメラ映像を送信するかどうかの確認画面が表示され、TVコールがつながります。カメラ映像を送信する場合は、「**YES**」を選択し、[●]を押します。

●着信中に[✉]（[画像]）を押すと、カメラ画像を確認してから相手に自画像を送信できます。

2 通話が終わったら、[PWR]を押す

補足

- 着信中に[●]を押してTVコールを受けることもできます。
- 着信中のTVコールを保留にできます(2-3ページ)。
- 着信中に[Y!](メニュー)を押して「**着信拒否**」を選択すると、TVコールを拒否できます。
- エニーキーアンサー（12-11ページ）を「**ON**」にしている場合は[通話]や[●]、[文字]の他、[0]～[9]、[*]、[#]のいずれを押してもTVコールを受けることができます。
- オープン通話(12-11ページ)を「**ON**」にしている場合は、本体を開くだけでTVコールを受けることができます。
- かかってきたTVコールに出られなかった場合は、お知らせ一発メニュー(1-8ページ)が表示されます。
- アドレス帳に登録している相手からTVコールがかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ(4-3ページ)に設定している相手からTVコールがかかってきても、シークレットモード(13-5ページ)が「**表示しない**」の場合は、電話番号のみ表示されます。
- 着信中に[◇]を押して、着信音量を調節できます。

補足

- 通話中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
終話／**保留**／**音声ミュート設定**／**画面設定**／**代替画像**（5-3ページ）／**静止画送信**（5-4ページ）／**アドレス帳**（4-7ページ）／**通話履歴**／**オーナー情報**

TVコール通話中の操作

受話音量を調節する

1 通話中→[◇]

ミュートを設定する

1 通話中→[Y!](メニュー)→「音声ミュート設定」→[●]

2 「私の音声ミュート」／「全音声ミュート」→[●]

●通話中に音声ミュートを解除する場合は、通話中に[●]を押します。

相手の声の出力先を切り替える

相手の声の出力先を、スピーカーまたはレシーバーに切り替えます。

1 通話中→[✉]([スピーカー]／[消音])

5 TVコール

ズームを利用する

1 **通話中→[•□•]**

重　要

- ズーム機能は、送信画像が静止画に設定されている場合、利用できません。

カメラを切り替える

1 **通話中→[■]**

表示画面を切り替える

画面に表示される画像の位置や大きさを変更します。

1 **通話中→[Y!](メニュー)→「画面設定」→[■]**

2 **「画面切替」→[■]**

■相手の画像を大きく、自分の画像を小さく表示する
「相手画像大」→[■]
■相手の画像だけ表示する
「相手画像のみ」→[■]
■自分の画像を大きく、相手の画像を小さく表示する
「自画像大」→[■]
■自分の画像だけ表示する
「自画像のみ」→[■]

受信画質を変更する

あらかじめ設定してある受信画質（5-4ページ）を、通話中に変更できます。

1 **通話中→[Y!](メニュー)→「画面設定」→[■]**

2 **「受信画質」→[■]**

3 **受信画質を選択→[■]**

代替画像を変更する

1 **通話中→[Y!](メニュー)→「代替画像」→[■]**

2 **「代替画像ON」→[■]**

■本体にあらかじめ登録されている画像を選択する
「プリセット画像」→[■]
■データフォルダ／メモリカードから送信する画像を選択する
「本体」／「メモリカード」→[■]→画像を選択→[■]
- 選択した画像が設定する画像サイズに合わない場合は、画像サイズの調節を自動的に行います。

補　足

- 通話終了後は代替画像設定（5-4 ページ）で設定した内容に戻ります。

送信画像に静止画を設定する

1 通話中→[Y!](メニュー)→「静止画送信」→[■]

2 「静止画送信ON」→[■]

3 「本体」/「メモリカード」→[■]→画像を選択→[■]

TVコール設定

TVコールの発着信方法や表示画像などをあらかじめ設定できます。

代替画像を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール設定

1 「代替画像」→[■]→「ON」→[■]

●「**OFF**」を選択すると、カメラ映像が送信されます。

●通話中に代替画像の変更(5-3ページ)ができます。

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する

「プリセット画像」→[■](2回)

■データフォルダ/メモリカードの画像を設定する

「本体」/「メモリカード」→[■]→画像を選択→[■](2回)

自画像確認を設定する

TVコールの発信前に自動的にサブカメラを起動して、自画像(送信画像)の確認をすることができます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール設定

1 「自画像確認」→[■]→「ON」/「OFF」→[■]

受信画質を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール設定

1 「受信画質」→[■]

2 受信画質を選択→[■]

●通話中に受信画質の変更(5-3ページ)ができます。

自動応答を設定する

自動応答を「**ON**」に設定すると、自動応答リストに登録されている電話番号からTVコール着信があった場合、ボタン操作をせずにTVコールを受けるように設定できます。

●マナーモードの設定(12-1ページ)にかかわらずスピーカーから「ピーピーピー」と音が鳴り、自動的にTVコールがつながります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール設定

1 「自動応答」→[■]→「ON/OFF」→[■](2回)→「ON」/「OFF」→[■]

自動応答リストに登録する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール設定

1 「自動応答」→■→「自動応答リスト」→■

2 ✉(追加)→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

■アドレス帳から登録する

「アドレス帳」→■→相手を選択→■→電話番号を選択→■(2回)

■電話番号を直接入力して登録する

「電話番号入力」→■→電話番号を入力→■(2回)

■通話履歴から登録する

「通話履歴」→■→相手を選択→■(2回)

補　足

- すでに電話番号が登録されている場合、「**自動応答リスト**」を選択したあと Y! (メニュー)を押して以下の操作を行うこともできます。

  編集/**削除**

音声ミュートを設定する

TVコール通話中の送話または送受話の音声をミュートに設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール設定

1 「音声ミュート設定」→■

2 ミュートの方法を選択→■

●通話中に音声ミュートの設定(5-2ページ)ができます。

受話音声の出力先を設定する

相手の声の出力先をスピーカー、レシーバーのどちらにするかを設定できます。相手の声をスピーカーから聞くには、「**ON**」に設定します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール設定

1 「スピーカーホン」→■

2 「ON」/「OFF」→■

補　足

- スピーカーホンを「**ON**」にすると、片方のスピーカーからのみ相手の声が出力されます。

保留画像を設定する

応答保留時や通話中保留時に相手に送信する画像を設定できます。

メイン メニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ TVコール設定

1 **「保留設定」→■→「通話中保留」／「応答保留」→■**

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する

「プリセット画像」→■（2回）

■データフォルダ／メモリカードの画像を設定する

「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■（2回）

デジタルTVについて

地上デジタル放送とワンセグについて

●ワンセグは地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービスです。
ワンセグとは、地上デジタル放送の電波の一部を使用して、携帯電話などの小型機器でもご家庭と同じようにテレビやデータ放送の視聴を可能にした、携帯・移動体向けの地上デジタルテレビサービスです。
地上デジタル放送の6MHzの帯域を13分割して送る日本独自の放送方式によって実現したサービスで、13分割された1つの部分（セグメント）だけで放送されるため「ワンセグ」と呼ばれるようになりました。
「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。
社団法人 地上デジタル放送推進協会
パソコンから：http://www.d-pa.org/
携帯電話から：http://www.d-pa.org/1seg/k/

補　足

- 地上デジタル放送およびワンセグは、地上波のUHF帯の電波を利用して放送されています。
- 本書では、ワンセグを「デジタルTV」と記載しています。

デジタルTV利用時のご注意

●デジタルTVのご利用時は、TVロッドアンテナを引き出してください（6-2ページ）。
●TVロッドアンテナは、デジタルTVの電波を受信するためのものです。デジタルTVの視聴時以外は収納してください（6-2ページ）。
●デジタルTVは日本国内専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。
●自転車やバイク、自動車などの運転中は、デジタルTVを利用しないでください。周囲の音が聞こえにくく、映像や音声に気をとられ交通事故の原因になります。また、歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。特に踏切や横断歩道ではご注意ください。
●デジタルTVの利用中にメールを受信すると、デジタルTVの映像や音声に影響を与えることがあります。
●事故や故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。なお、機種変更・故障修理などで、電話機を交換するときは、電話機に保存された情報（デジタルTVから録画したデータ、TVリンクなど）を引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
●USIMカードを取り付けていない場合や、ソフトバンクのご契約を解約されているときは、デジタルTVを視聴できません。
●チャンネル設定（6-3ページ）で割り当てられるチャンネルは、2007年2月現在の情報をもとに設定してあります。地域ごとの放送チャンネルに変更があった場合は、「**放送波スキャン**」で地域を設定してください。

デジタルTV放送の電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。
・放送局から遠い地域または極端に近い地域
・山間部やビルの陰
・移動中の電車、車、地下街、トンネルの中など
・高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
・その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電池レベルについて

電池残量が「▯(レベル1)」のときは、充電中を除きデジタルTVを利用できません。視聴中に電池残量が「▯(レベル1)」になると、デジタルTVは自動的に終了します。

充電について

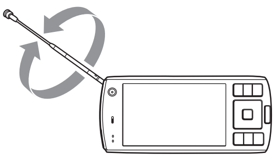
充電しながらデジタルTVを利用することができます。

- デジタルTV視聴中や録画中の充電は、充電時間が長くなったり、充電が完了しない場合があります。
- 充電中に急速充電器のコードをTVロッドアンテナに近づけると、映像が乱れることがあります。

TVロッドアンテナを引き出す／収納する

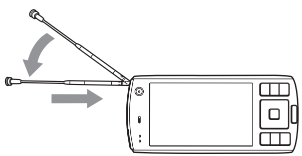
TVロッドアンテナの引き出しかた

TVロッドアンテナを最後までまっすぐ引き出し、根元を持って電波をよく受信できる角度に調節する



TVロッドアンテナの収納のしかた

TVロッドアンテナをまっすぐにして、ゆっくりと押し入れて収納する

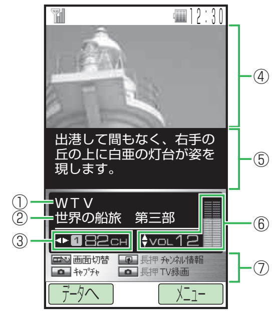


重　要

- 先端部分を持って角度を調節したり、過剰な力を加えたりしないでください。折れ曲がる場合があります。
- TVロッドアンテナをご使用になるときは、完全に引き出してください。ただし、放送局が極端に近いときは、TVロッドアンテナを縮めると映像や音声が鮮明になる場合があります。

デジタルTV視聴中画面について

デジタルTVを起動するとTV視聴画面はフルスクリーンモードで表示されます。メインメニューからの起動時画面は変更することができます（6-6ページ）。



映像モード



データ放送モード



横向き画面



フルスクリーンモード

①放送局名
②番組名
③チャンネル番号
④映像エリア
⑤字幕表示エリア
⑥音量
⑦キーガイド表示

デジタルTVを利用する

チャンネル設定

地域によって受信できるチャンネルが異なりますので、初めてテレビをご利用になる場合には、受信を行う地域を設定する必要があります。

メインメニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■(2回)

2 「手動設定」→■

■自動で地域を設定する場合

「放送波スキャン」→■

3 エリアを選択→■→都府県を選択→■

●選択した都府県によっては、さらに地域を選択する必要があります。また、エリアに「**北海道**」を選択した場合は、地域を選択してください。

デジタルTVを見る

メインメニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→[●]

2 チャンネルを選択する

■ダイヤルボタンでダイレクト選局する

[0]～[9]、[＊]、[#]を押してチャンネルを選択する

- 「10」チャンネルは[＊]、「11」チャンネルは[0]、「12」チャンネルは[#]を押して選択できます。
- データ放送モードで視聴中、データ放送側でダイヤルボタンを使う操作がある場合は、ダイレクト選局できません。

■チャンネルを1つずつ変更する

[◀]／[▶]

■受信可能なチャンネルを自動的に検索する（チャンネルサーチ）

[◀]（約1秒以上）／[▶]（約1秒以上）

■ チャンネルリストから選択する

[Y!]（メニュー）→「設定」→[●]→「チャンネル設定」→[●]→[✉]（詳細）→チャンネルを選択→[●]

3 デジタルTVを終了するときは[PWR]／[クリア/メモ]

- データ放送モードで視聴中の場合は、[クリア/メモ]を押してもデジタルTVを終了することはできません。

重 要

- デジタルTV起動中に電池パックを取り外さないでください。「**チャンネル設定**」（6-10ページ）、放送用メモリ（6-12ページ）、「**TVリンク**」（6-7ページ）などのデータが変化･消失する場合があります。

補 足

- 待受画面で[▼]を長く（約1秒以上）押してもデジタルTVを視聴できます。また、待受画面で[▼]を押して、ワイドメニュー（1-19ページ）から「**TV視聴**」を選択することもできます。
- マナーモードを「**サイレント**」または「**アラーム**」に設定中（12-1ページ）は、確認画面が表示されます。マナーモードを一時解除する場合は、「**YES**」を選択します。一時解除しない場合は、「**NO**」を選択します。ただし、イヤホン接続時は表示されません。
- ステレオイヤホン（オプション品）とBluetooth®ステレオヘッドセット(オプション品)を接続して、デジタルTVの音声をワイヤレスで聴くことができます。ただし、Bluetooth®ステレオヘッドセットによっては、音楽ファイルやムービーファイルの再生に対応していても、デジタルTVの音声を聴くことができないものがあります。
- デジタルTV視聴中に[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

録画（6-7ページ）／**キャプチャ**（6-9ページ）／**字幕**（6-5ページ）／**音声切替え**（6-6ページ）／**番組表**（6-5ページ）／**TVリンク**（6-7ページ）／**設定**（6-10ページ）／**キーガイド表示**

デジタルTV視聴中の操作について

機能	操作（映像モード）	操作（データ放送モード）
音量を調節	／ または ／ を押す※1	／ を押す
映像モード／データ放送モードの画面切り替え	（データへ）を押す	（TVへ）を押す
縦向き画面／横向き画面／フルスクリーン画面の切り替え	を押す	を押す
データ放送の全画面切り替え	―	を長く（約1秒以上）押す
オンスクリーンディスプレイ（OSD機能）※2を表示	を長く（約1秒以上）押す	を長く（約1秒以上）押す※3
番組を録画	を長く（約1秒以上）押す	を長く（約1秒以上）押す※3
映像をキャプチャ	を押す	を押す※3
カーソルを移動	―	／ を押す

※1 横向き画面での操作のときは、、／ に割り当てられる機能が異なります。詳しくは、1-19ページを参照してください。
※2 デジタルTV視聴中に番組名、放送局名、リモコン番号･チャンネル、放送波受信状態の情報を表示する機能です。
※3 データ放送の全画面表示時は操作できません。

補　足

- ステレオイヤホン（オプション品）とBluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）を接続しているときは、ボリュームキー（＋）／（－）を押して音量調節のみ行うことができます（8-5ページ）。

番組表を利用する

電子番組表（EPG）S!アプリを利用して、番組を選択してデジタルTVを起動することができます。

メインメニュー ▶ TV

1 「番組表」→

番組表が表示されます。詳しい操作方法は、番組表のヘルプをご覧ください。

字幕／音声を設定する

字幕表示を設定する

デジタルTV視聴中に字幕を表示するかどうかを設定します。

メインメニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→

2 （メニュー）→「字幕」→

3 「ON」／「OFF」→

重 要

- TV視聴画面をフルスクリーン(6-3ページ)にしている場合は、字幕設定を「**ON**」にしても字幕は表示されません。

音声を設定する

デジタルTV視聴中の音声出力方法を設定します。

メインメニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 (メニュー)→「音声切替え」→■

3 「主音声」/「副音声」→■

音声の出力先を設定する

メインメニュー ▶ TV

1 「出力先設定」→■

2 「スピーカー/イヤホン」/「ワイヤレス」→■

●「**ワイヤレス**」を選択した場合は、登録済みデバイス(11-6ページ)からワイヤレス機器を選択してください。Bluetooth®ステレオヘッドセット(オプション品)を使用する場合は、8-4ページを参照してください。

デジタルTVの画質を設定する

メインメニュー ▶ TV

1 「画質設定」→■

2 「ファイン」/「ノーマル」/「シネマ」→■

デジタルTVの起動画面を設定する

メインメニューからデジタルTVを起動したときに表示する視聴画面を設定できます。

メインメニュー ▶ TV

1 「起動時画面設定」→■

2 「縦向き」/「横向き」/「フルスクリーン」→■

データ放送を利用する

デジタルTVでは、映像・音声の他にデータ放送を利用できます。番組と関連した静止画や動画を含むさまざまな情報を利用することができます。

1 デジタルTV視聴画面→(データへ)

データ放送モードに切り替わります。

●(TVへ)を押すと、映像モードに戻ります。

重 要

- データ放送の受信には通信料は発生しません。ただし、インターネットを利用したサービスを利用するときは、通信料がかかります。

補　足

- 横向き画面でデータ放送を表示できません。
- データ放送モードで[文字]を長く(約1秒以上)押すと、データ放送を全画面で表示できます。元の画面に戻るには、[文字]を長く(約1秒以上)押します。

TVリンクを利用する

データ放送のメモ情報や、関連する情報画面をTVリンクに登録できます。TVリンクに登録しておくと、あとでメモ情報やインターネットに接続して情報画面から関連情報を表示できます。

TVリンクに登録する

TVリンクは最大50件登録できます。

1 データ放送モード中(6-6ページ)→「テレビリンク登録」などの項目を選択→[■]

●TVリンクの登録操作は番組によって異なります。詳しくは、データ放送内の情報をご覧ください。

TVリンクからメモ情報や情報画面を表示する

●TVリンク一覧画面のアイコンについて
TVリンクの種類によって、以下のアイコンが表示されます。

TVリンク（有効期限内／有効期限切れ）	内容
メモ情報（[icon]／[icon]）	データ放送の情報を表示
リンク通信コンテンツ（[icon]／[icon]）	データ放送サイトに接続
携帯コンテンツ（[icon]／[icon]）	携帯サイトに接続
PCコンテンツ（[icon]／[icon]）	PCサイトに接続

メイン メニュー ▶ TV

1 「TVリンク」→[■]→TVリンクを選択→[■]

●TVリンクによっては、インターネットに接続するかどうかの確認画面が表示されます。「**今後確認せず接続**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

補　足

- TVリンクの有効期限が経過している場合は、TVリンクを削除するかどうかの確認画面が表示されます。「**YES**」を選択すると、選択したTVリンクは削除されます。
- TVリンクを選択中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  1件削除／**全件削除**／**並び替え**

番組を録画／再生する

番組を録画する

視聴中の番組を録画することができます。映像・音声の他に、字幕やデータ放送の情報も録画できます。
●1件あたり最大4時間まで録画できます。

メイン メニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→[■]→録画する番組を表示

●チャンネルの選択方法については6-4ページを参照してください。

2 Y'(メニュー)→「録画」→■

番組録画が開始されます。

3 ■／▯→「YES」→■

録画が終了し、本体のデータフォルダの「**TV**」フォルダに保存されます。

重 要

- お客様が録画されたものは、個人で楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用できません。
- 番組によっては著作権などの制限により録画できない場合があります。

補 足

- 視聴中の画面表示にかかわらず、W320×H240またはW320×H180の画像サイズで録画されます。
- 以下の場合に、録画を終了して自動的にデータフォルダに保存します。
  - ・録画中に音声電話／TVコールやサークルトークの着信があったとき
  - ・録画中に電池残量が「▯(レベル 1)」になったとき
  - ・データフォルダが一杯になったとき
  - ・録画時間が4時間を超えたとき
- 番組録画中にY'(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。

  字幕(6-5ページ)／**音声切替え**(6-6ページ)／**明るさ**(6-10ページ)／**キーガイド表示**

録画した番組を再生する

メインメニュー ▶ TV

1 「TVプレイヤー」→■

2 再生する番組を選択→■

補 足

- 以下の操作でも録画した番組を再生できます。
  メインメニュー→「**データフォルダ**」→「**TV**」→再生する番組を選択する
- マナーモードを「**サイレント**」または「**アラーム**」に設定中(12-1ページ)は、確認画面が表示されます。マナーモードを一時解除する場合は、「**YES**」を選択します。一時解除しない場合は、「**NO**」を選択します。ただし、イヤホン接続時は表示されません。
- 番組再生中にY'(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。

  字幕(6-5ページ)／**音声切替え**(6-6ページ)／**設定**(6-10ページ)／**キーガイド表示**

番組再生中／一時停止中の操作について

機能	操作（映像モード）	操作（データ放送モード）
早送り	▢を押す※1※2	—
巻き戻し	▢を押す※1※2	—
高速早送り	早送り中に▢を押す※1※2※3	—
高速巻き戻し	巻き戻し中に▢を押す※1※2※3	—
コマ送り	▢を押す※1※4	—
コマ戻し	▢を押す※1※4	—
音量を調節	▢／▢または▢／▢を押す※1	▢／▢を押す
映像モード／データ放送モードの画面切り替え※2	▢（データへ）を押す	▢（TVへ）を押す
縦向き画面／横向き画面／フルスクリーン画面の切り替え※2	▢を押す	▢を押す
データ放送の全画面切り替え	—	▢を長く（約1秒以上）押す※2
オンスクリーンディスプレイ（OSD機能）※5を表示	▢を長く（約1秒以上）押す	▢を長く（約1秒以上）押す※2※6
カーソルを移動	—	▢／▢を押す

※1 横向き画面での操作のときは、▢、▢／▢に割り当てられる機能が異なります。詳しくは、1-19ページを参照してください。
※2 再生中のみ
※3 高速早送り中に▢／高速巻き戻し中に▢を押すと、通常の早送り／巻き戻しに戻ります。通常の再生に戻すには、高速早送り中に▢／高速巻き戻し中に▢を押します。
※4 一時停止中のみ
※5 番組再生中／一時停止中に番組再生状態や放送局名の情報を表示する機能です。
※6 データ放送の全画面表示時は操作できません。

映像をキャプチャする

視聴中の番組の映像を静止画で保存（キャプチャ）できます。

メインメニュー ▶ TV

1 **「TV視聴」→▢→番組を表示**

● チャンネルの選択方法については6-4ページを参照してください。

2 **▢（メニュー）→「キャプチャ」→▢→「YES」→▢**

本体のデータフォルダの「**ピクチャー**」フォルダに保存されます。

重　要

● お客様が録画されたものは、個人で楽しむ他は著作権上、権利者に無断で使用できません。

補　足

- 番組録画中は映像をキャプチャできません。
- 番組によっては著作権などの制限によりキャプチャできない場合があります。
- 視聴中の画面表示にかかわらず、W320×H240またはW320×H180の画像サイズでキャプチャされます。

デジタルTV設定

デジタルTV使用時のバックライトを設定する

デジタルTVのバックライトの明るさを設定します。

メインメニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 ✉(メニュー)→「設定」→■→「明るさ」→■

3 バックライトの明るさを選択→■

チャンネルを設定する

視聴するチャンネルリストを設定したり、新しくチャンネルリストを追加することができます。チャンネルリストは最大3件まで登録できます。

チャンネルリストを設定／追加する

メインメニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 ✉(メニュー)→「設定」→■→「チャンネル設定」→■

3 「未登録」を選択→■→「手動設定」→■

■自動で地域を設定する場合

「放送波スキャン」→■

4 エリアを選択→■→都府県を選択→■

- 選択した都府県によっては、さらに地域を選択する必要があります。また、エリアに「**北海道**」を選択した場合は、地域を選択してください。

補　足

- 登録済みのチャンネルリスト選択中に✉(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  名称編集／**削除**

6 デジタルTV

視聴するチャンネルリストを選択する

メイン メニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 Y!(メニュー)→「設定」→■→「チャンネル設定」→■

3 チャンネルリストを選択→■

データ通信を設定する

データ通信確認画面を設定する

データ通信による接続時に確認画面を表示するかどうかを設定できます。

メイン メニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 Y!(メニュー)→「設定」→■→「データ放送設定」→■

3 「接続確認」→■→「確認する」／「確認しない」→■

セキュア通信確認画面を設定する

セキュア通信（SSL）で暗号化やデジタル署名などのセキュリティ機能を使用したデータ通信を行うときに、確認画面を表示するかどうかを設定できます。

メイン メニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 Y!(メニュー)→「設定」→■→「データ放送設定」→■

3 「セキュア通信確認」→■→「確認する」／「確認しない」→■

メモリアクセス確認画面を設定する

デジタルTVの放送用メモリを参照時に確認画面を表示するかどうかを設定できます。

メイン メニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 Y!(メニュー)→「設定」→■→「データ放送設定」→■

3 「メモリアクセス確認」→■→「確認する」／「確認しない」→■

放送用メモリを消去する

データ放送を通じて、本機内に保存された放送局用の情報を消去することができます。

メイン メニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 Y!(メニュー)→「設定」→■→「データ放送設定」→■

3 「放送用メモリ消去」→■

■選択した放送局のメモリを消去する

放送局を選択→Y!（メニュー）→「1件消去」→■→「YES」→■

■すべての放送局のメモリを消去する

Y!（メニュー）→「全件消去」→■→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→■

■放送局のメモリを1件消去する

放送局を選択→■→メモリを選択→Y!（メニュー）→「1件消去」→■→「YES」→■

■放送局のメモリを全件消去する

放送局を選択→■→Y!（メニュー）→「全件消去」→■→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→■

位置情報の送信を設定する

データ放送利用時に位置情報の送信要求があったとき、位置情報を自動的に送信するかどうかを設定します。

メイン メニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 Y!(メニュー)→「設定」→■→「データ放送設定」→■

3 「位置情報送信」→■

■毎回確認画面を表示させる

「毎回確認する」→■

■確認画面を表示せずに位置情報を送信する

「送信する」→■

■確認画面を表示させずに位置情報の送信もしない

「送信しない」→■

重　要

- 測位機能ロック中(21-4ページ)は測位できません。位置情報を送信するには測位機能ロックを「**OFF**」にしてください。
- 位置情報送信を「**毎回確認する**」または「**送信する**」に設定しても、S! GPSナビの位置情報送信(21-4ページ)を「**送信しない**」に設定している場合は、位置情報は送信されません。

製造番号通知を設定する

データ放送利用時に、本体の製造番号（IMEI）をお客様のユーザIDとして自動的に送信するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 Y!(メニュー)→「設定」→■→「データ放送設定」→■

3 「製造番号通知」→■→「通知する」／「通知しない」→■

コンテンツの保存先を設定する

データ放送利用時に取得したコンテンツの保存先を設定できます。

メインメニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 Y!(メニュー)→「設定」→■→「データ放送設定」→■

3 「保存先設定」→■→「本体」／「メモリカード」→■

オフタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動的にデジタルTVを終了するように設定できます。

メインメニュー ▶ TV

1 「TV視聴」→■

2 Y!(メニュー)→「設定」→■→「オフタイマー」→■→「30分」／「60分」／「120分」／「OFF」→■

補　足

- 番組を録画中にオフタイマーの設定時間になった場合でも録画は継続され、録画終了後にデジタルTVを終了します。

カメラについて

本機は、オートフォーカス機能、デジタルズーム機能に対応した有効画素数324万画素のカメラを搭載しています。本機では、静止画や動画を撮影できます。また、QRコード（バーコード）を読み取ることもできます（7-13ページ）。

カメラ利用時のご注意

- ●撮影した静止画は「JPEG形式」で、動画は「MPEG-4形式」で保存されます。
- ●手ぶれにご注意ください。本機が動かないようにしっかり持って撮影するか、手ぶれ軽減機能（7-8ページ）を「**ON**」に設定して撮影を行ってください。
- ●レンズカバーに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなります。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- ●撮影する場合は、レンズに指やストラップなどがかからないように注意してください。

ディスプレイ表示について

撮影中の画面について

カメラ／ムービー撮影中の画面には、ファインダー画面とプレビュー画面があります。「**デジタルカメラ**」／「**ビデオカメラ**」の場合は、横向き画面（1-19ページ）で撮影することができます。

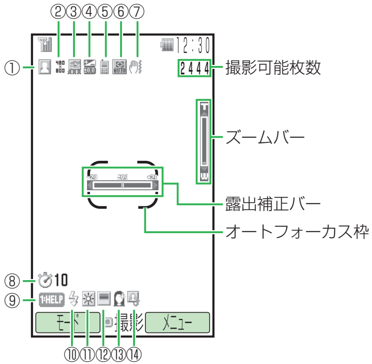
■ファインダー画面

カメラ／ムービーを起動し、撮影するまでの画面です。

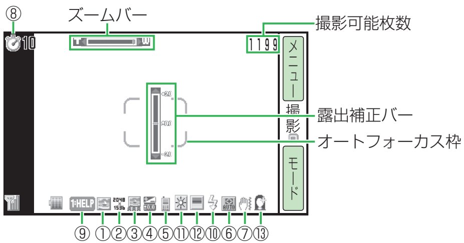
■プレビュー画面

撮影後の画面です。

カメラ機能で表示されるアイコン



ファインダー画面※1



横向きファインダー画面（1-19ページ）※2

※1 画面は「**モバイルカメラ**」（7-5ページ）の場合です。
※2「**デジタルカメラ**」（7-5ページ）の場合のみ横向き画面を利用できます。

①撮影モード／連写

- ：デジタルカメラ
- ：モバイルカメラ
- ：バーコードリーダー
- ：サブカメラ使用中
- ：連写（高速）
- ：連写（中速）
- ：連写（低速）

②画像サイズ

- ：W2048×H1536
- ：W2048×H1232
- ：W1600×H1200
- ：W1280×H960
- ：W640×H480
- ：W480×H800
- ：W240×H320
- ：W144×H176
- ：W120×H160
- ：W112×H112
- ：W96×H128

③画質

：ファイン　：ノーマル　：エコノミー

④露出補正

…… ：－2.0…±0…＋2.0

⑤保存先

：本体　：メモリカード

⑥フォーカスモード

：オート　：マクロ　：遠景

⑦手ぶれ軽減

：手ぶれ軽減ON

⑧セルフタイマー

05：5秒　10：10秒　20：20秒

⑨キーガイド表示

1:HELP：キーガイド表示

7

カメラ

⑩モバイルライト

- ：モバイルライト点灯中

⑪ホワイトバランス

- ：太陽光
- ：曇り
- ：蛍光灯（昼光）
- ：蛍光灯（昼白）
- ：白熱灯

⑫色調調整

- ：鮮やか
- ：あっさり

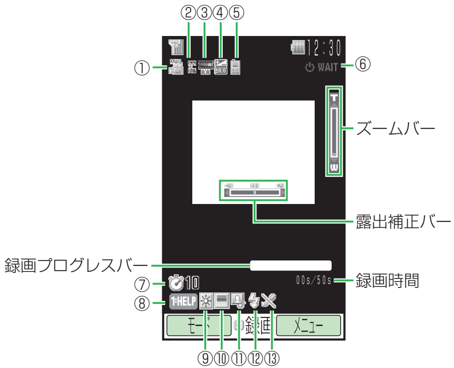
⑬撮影シーン

- ：美白
- ：赤みプラス
- ：夜景
- ：感度アップ
- ：文字

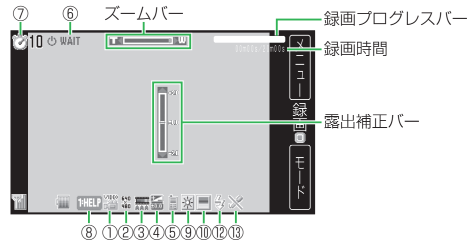
⑭自分撮り設定

- ：自分撮り設定中

ムービー機能で表示されるアイコン



ファインダー画面※1



横向きファインダー画面（1-19ページ）※2

※1 画面は「**ムービーメール**」（7-11ページ）の場合です。

※2「**ビデオカメラ**」（7-11ページ）の場合のみ横向き画面を利用できます。

①録画モード

- ：ビデオカメラ起動中
- ：ムービー写メール起動中
- ：ムービーメール起動中
- ：サブカメラ使用中

②録画サイズ

- ：ビデオカメラ（W640×H480）
- ：ビデオカメラ（W320×H240）
- ：ムービーメール（W176×H144）
- ：ムービー写メール（W128×H96）

③画質

- ：ファイン
- ：ノーマル
- ：エコノミー

④露出補正

…… ：−2.0…±0…+2.0

⑤保存先

- ：本体
- ：メモリカード

7

カメラ

⑥状態表示

- WAIT ：スタンバイ中
- REC ：録画中
- PLAY ：再生中
- PAUSE ：一時停止中
- STOP ：停止中
- FWD ：早送り
- REV ：巻き戻し
- SLOW ：スロー再生

⑦セルフタイマー

- 05 ：5秒
- 10 ：10秒
- 20 ：20秒

⑧キーガイド表示

- 1:HELP ：キーガイド表示

⑨ホワイトバランス

- ：太陽光
- ：曇り
- ：蛍光灯（昼光）
- ：蛍光灯（昼白）
- ：白熱灯

⑩色調調整

- ：鮮やか
- ：あっさり

⑪自分撮り設定

- ：自分撮り設定中

⑫モバイルライト

- ：モバイルライト点灯中

⑬音声録音

- ：音声録音OFF設定中

ファインダー画面でのカメラ、ビデオの共通操作

ズームを調節する

を押すとズームを調節できます。
各撮影モードおよび録画モードの倍率については7-6、7-11ページを参照してください。

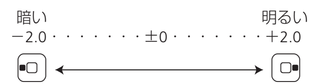


重　要

- セルフタイマー（7-18ページ）起動中は、ズームを利用できません。
- 倍率を上げるほど画質は粗くなります。

露出を補正する

を押すと、明るさを調節できます。



補　足

- 蛍光灯の下など、撮影環境によっては画像に縞模様が出る場合がありますが、明るさを調節することにより軽減させることができます。

7　カメラ

モバイルライトを利用する

[*]を押すと、モバイルライトの点灯／消灯が切り替わります。モバイルライトを点灯すると、ファインダー画面に「[icon]」が表示されます。

キーガイド表示を利用する

[1]を押すと、ファインダー画面表示中のボタン操作方法が表示されます。キーガイド表示を終了させる場合は、もう一度[1]を押します。

自分撮りを利用する

自分撮りを設定すると、鏡を見ているときと同じ状態で撮影することができます。自分を撮影するときに[#]を押すと、自分撮り用のカメラの「**ON**」／「**OFF**」を切り替えることができます。また、自分撮りを設定すると、ファインダー画面に「[icon]」が表示されます。

補　足

- 自分撮り用のカメラを「**ON**」に切り替えると、静止画撮影モードの場合はモバイルカメラモード（W240×H320）に、動画撮影モードの場合はムービーメールモード（W176×H144）になります。

静止画について

フレームやセルフタイマー、シャッター音、画像効果の設定などができ、撮影した静止画は「JPEG形式」（パソコンで主流の保存形式）で本体のデータフォルダ（10章）やメモリカード（9章）に保存されます。また、撮影した静止画をピクチャーつく～る（7-22ページ）を利用して編集したり、顔写真（7-7ページ）を撮影してアドレス帳に登録できます。

静止画撮影モードについて

静止画の撮影モードには、「**モバイルカメラ**」、「**デジタルカメラ**」があります。

■モバイルカメラ

壁紙設定などで利用する場合の静止画を撮影します。

■デジタルカメラ

パソコンなどの外部接続機器へ表示をする場合の高画質な静止画を撮影します。

撮影モード	画像サイズ	最大ズーム
モバイルカメラ	W480×H800	約2.5倍
	W240×H320	約6.4倍
	W144×H176	約10.7倍
	W120×H160	約12.8倍
	W112×H112	約12.8倍
	W96×H128	約16倍
デジタルカメラ	W2048×H1536	−
	W2048×H1232	−
	W1600×H1200	約1.3倍
	W1280×H960	約1.6倍
	W640×H480	約3.2倍

静止画の撮影方法について

オートフォーカス機能を利用し、自動的にピントを合わせて静止画を撮影することができます。撮影する被写体によってフォーカスモードを切り替えてください（7-8ページ）。

■**オート**

[文字]／[▣]を軽く押すと、画面中央の被写体に自動でピント調整が行われます。画面中央に撮影したい被写体がないときは、被写体にピントを合わせたまま、撮りたい構図を画面に表示して撮影することもできます（7-7ページ）。

■**マクロ**

被写体との距離が近い場合に利用します。撮影シーン（7-9ページ）を「**文字**」に設定すると、フォーカスモードが自動的に「**マクロ**」に設定されます。

■**遠景**

オートフォーカス機能を利用せずに風景などを撮影します。撮影シーン（7-9ページ）を「**夜景**」に設定すると、フォーカスモードが自動的に「**遠景**」に設定されます。

補　足

- 動いている被写体を撮影する場合や被写体との距離や撮影場所の明るさによっては、自動でピントが合わないことがあります。

静止画を撮影する

メインメニュー ▶ カメラ

1 「モバイルカメラ」／「デジタルカメラ」→[■]

2 ディスプレイに被写体を表示→[■]／[▣]

シャッター音が鳴り、プレビュー画面が表示されます。

■**フォーカスモードが「オート」の場合**

[文字]／[▣]を軽く押す→画面中央のフォーカス枠が白色から緑色に変わる→[■]／[▣]を押す

●ピントが合わなかった場合はフォーカス枠が赤色に変わります。

3 [■]

保存先設定（7-18ページ）で「**本体**」を設定している場合は、データフォルダ（10-1ページ）の「**ピクチャー**」フォルダに保存され、ファインダー画面に戻ります。「**メモリカード**」に設定している場合は、「**モバイルカメラ**」で撮影した静止画は「**ピクチャー**」フォルダに、「**デジタルカメラ**」で撮影した静止画は「**デジタルカメラ**」フォルダに保存され、ファインダー画面に戻ります。

重 要

- 暗い場所では光量が不足するため、画質が落ちて白い点が見えることがあります。明るい場所で撮影するか、モバイルライトを使用することをおすすめします。

補 足

- 待受画面で◻を押してもファインダー画面が表示されます。
- ファインダー画面を表示中に無操作の状態で約1分30秒経過すると待受画面に戻ります。
- ファインダー画面を表示中に◻(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。撮影モードによっては表示されない項目もあります。
  画像サイズ／**データフォルダ**／**自分撮り設定**／**撮影シーン**／**連写モード**／**フレーム撮影**／**アイコン表示切替**／**保存設定**／**撮影設定**／**機能設定**
- 撮影したあと、◻(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。撮影モードによっては表示されない項目もあります。
  外部送信／**スクリーン表示切替**／**ズーム**／**顔写真設定**／**画像編集**／**保存先変更**
- 保存先は変更できます(7-18ページ)。また、「**モバイルカメラ**」(7-5ページ)で撮影した静止画、保存先を本体に設定した「**デジタルカメラ**」(7-5ページ)で撮影した静止画は、フォルダを変更することもできます。

オートフォーカスロック撮影をする

撮影したい被写体が画面中央にないときは、あらかじめピントを固定した状態（フォーカスロック）で構図を変えて静止画を撮影できます。

●オートフォーカスロック撮影を行う場合は、あらかじめフォーカスモード（7-8ページ）を「**オート**」に設定してください。

メインメニュー ▶ カメラ

1 **「モバイルカメラ」／「デジタルカメラ」→◻**

2 **ディスプレイに被写体を表示→◻／◻を軽く押す**

画面中央のフォーカス枠が白色から緑色に変わります。

●ピントが合わなかった場合はフォーカス枠が赤色に変わります。

3 **構図を決める→◻／◻→◻**

撮影した静止画を顔写真に設定する

撮影した静止画をアドレス帳の顔写真（4-2ページ）に設定できます。顔写真を撮影する場合は、撮影モード（7-5ページ）を「**モバイルカメラ**」に、画像サイズ（7-6ページ）を「**W112×H112**」にあらかじめ設定してください。

1 **プレビュー画面→◻(メニュー)→「顔写真設定」→◻**

■顔写真付きのアドレス帳を新規作成する

「新規登録」→◻→アドレス帳を作成

■アドレス帳に顔写真を追加登録する

「追加登録」→■→アドレス帳を選択→■→アドレス帳を編集

- 「**追加登録**」を選択し、すでに顔写真が登録されているアドレス帳を選択した場合は「**YES**」を選択し、✉（完了）を押して顔写真を変更できます。
- アドレス帳の登録方法については4-2ページを参照してください。

静止画撮影で利用できる機能

撮影モードを設定する

撮影モードを設定すると、ファインダー画面に「▣」（デジタルカメラ）または「▣」（モバイルカメラ）が表示されます。

1 ファインダー画面→✉（モード）

■壁紙設定などで利用する場合の静止画を撮影する

「モバイルカメラ」→■

■高画質な静止画を撮影する

「デジタルカメラ」→■

補　足

- 「**デジタルカメラ**」や「**モバイルカメラ**」の画像サイズを変更する場合は、7-15ページを参照してください。

フォーカスモードを設定する

フォーカスモードを設定すると、ファインダー画面に「▣」（オート）、「▣」（マクロ）、「▣」（遠景）が表示されます。

1 ファインダー画面→Y!（メニュー）→「機能設定」→■→「フォーカスモード」→■

2 フォーカスモードを選択→■

補　足

- 撮影シーン（7-9ページ）を「**文字**」に設定するとフォーカスモードが「**マクロ**」に、「**夜景**」に設定するとフォーカスモードが「**遠景**」に設定されます。
- フォーカスモードの設定は、カメラ終了時に「**オート**」に戻ります。

手ぶれ軽減機能を設定する

撮影時の手ぶれを抑えて撮影することができます。

1 ファインダー画面→Y!（メニュー）→「機能設定」→■→「手ぶれ軽減」→■

2 「ON」／「OFF」→■

重　要

- 撮影シーン（7-9ページ）を設定している場合には、手ぶれ軽減機能は利用できません。
- 手ぶれや被写体ぶれが大きい場合には、手ぶれ軽減機能を設定して撮影しても効果がない場合があります。
- 室内など、光量が十分でない場所では、手ぶれ軽減機能を設定して撮影した画像は、全体的に多少ざらついた感じがしたり、解像度が低いように感じる場合があります。

補　足

- 手ぶれ軽減の設定は、カメラ終了時に「**OFF**」に戻ります。

撮影シーンを設定する

撮影する場面に合ったシーンモードを設定できます。撮影シーンを設定すると、ファインダー画面に「」(美白)、「」(赤みプラス)、「」(夜景)、「」(感度アップ)、「」(文字)が表示されます。

シーンモード	説明
美白	肌の色を美白のように撮影します。
赤みプラス	肌の色を美しく撮影します。
夜景	夜景を撮影するのに適したシーンモードです。
感度アップ	暗い場所を明るく撮影するのに適したシーンモードです。
文字	文字を撮影するのに適したシーンモードです。
OFF	シーンモードの設定を無効にします。

1 ファインダー画面→(メニュー)→「撮影シーン」→■

2 シーンモードを選択→■

重　要

- 連写モード中(右記)や手ぶれ軽減機能(7-8ページ)設定中は、シーンモードを設定できません。

補　足

- 撮影シーンの設定は、カメラ終了時に「**OFF**」に戻ります。
- 撮影シーンを「**文字**」に設定するとフォーカスモードが「**マクロ**」に、「**夜景**」に設定するとフォーカスモードが「**遠景**」に設定されます。

連写を利用する

9枚の静止画を連続撮影できます。連写を設定すると、ファインダー画面に「」(高速)、「」(中速)、「」(低速)が表示されます。

1 ファインダー画面→(メニュー)→「連写モード」→■

2 連写速度を選択→■

重　要

- 画像サイズ(7-6ページ)を「**W480×H800**」に設定している場合や、撮影モード(7-5ページ)を「**デジタルカメラ**」にしている場合は、連写を利用できません。
- 連写モード中は、撮影シーン(左記)の各モードを利用できません。

補　足

- 連写は約2秒(高速)、約3秒(中速)、約4秒(低速)の間に9枚撮影します。
- 連写の設定は、カメラ終了時や撮影モード切り替え時に「**OFF**」に戻ります。

フレームを設定する

静止画を撮影する前に、フレームを設定して撮影することができます。本体のデータフォルダにあらかじめ用意されているフレームは10種類（W240×H320）です。

1 **ファインダー画面→[Y!]（メニュー）→「フレーム撮影」→[■]**

2 **「本体」／「メモリカード」→[■]→「ピクチャー」→[■]→フレームを選択→[■]**

■フレームを解除する

「OFF」→[■]

重　要

- 画像サイズ（7-6ページ）を「**W480×H800**」に設定している場合や、撮影モード（7-5ページ）を「**デジタルカメラ**」にしている場合は、フレーム撮影ができません。

補　足

- フレーム確認画面で、[*]または[#]や[◀]または[▶]を押すとフレームを切り替えることができます。
- フレームの設定は、カメラ終了時や撮影モード切り替え時に「**OFF**」に戻ります。

動画について

撮影した動画は「MPEG-4形式」（携帯電話で主流の保存形式）で本体（データフォルダ）やメモリカードに保存されます。

「**ビデオカメラ**」録画モードで、録画サイズ（7-11ページ）を「**W640×H480**」で撮影した動画は、本体（データフォルダ）のみに保存することができます。

- 「**ビデオカメラ**」録画モードで撮影したMPEG-4形式のファイル（.3G2）、またはデータフォルダに保存されているMPEG-4形式のファイル（.3G2）は、メールに添付したり、赤外線通信やBluetooth®通信を利用して送信できません。また、着信音パターンやアラーム音としても登録できません。
- 「**ムービーメール**」録画モードでは動画の圧縮形式に「**MPEG4**」または「**H. 263**」が選択できます。「**MPEG4**」は国内のソフトバンク携帯電話で広く使われている圧縮形式です。「**H. 263**」は海外の携帯電話などで使われています。動画の送信先でファイルを開けない場合、圧縮形式を変更してもう一度撮影してください。

7

カメラ

動画録画モードについて

動画の録画モードには、「**ビデオカメラ**」、「**ムービーメール**」、「**ムービー写メール**」があります。

■ビデオカメラ
長時間（最大20分）録画します。

■ムービーメール
メール添付用の動画を録画します。

■ムービー写メール
ソフトバンク携帯電話（PDC）のMPEG-4対応機に、メールに添付して送信するための動画を録画します。

録画モード	録画サイズ	最大ズーム
ビデオカメラ	W640×H480	―
	W320×H240	約3.2倍
ムービーメール	W176×H144	約3.2倍
ムービー写メール	W128×H96	約5.3倍

動画を撮影する

撮影した動画は、「**本体**」または「**メモリカード**」の「**ムービー**」フォルダに自動的に保存されます。

メインメニュー ▶ カメラ

1 「ビデオカメラ」／「ムービーメール」／「ムービー写メール」→[■]

2 ディスプレイに被写体を表示→[■]／[▯]

開始音が鳴り、録画が開始されます。

●録画モード（左記）を「**ビデオカメラ**」にしている場合は、[✉]（ポーズ）を押すと録画が一時停止します。[✉]（録画）を押すと録画が再開します。

3 [■]／[▯]

終了音が鳴り、プレビュー画面に撮影したはじめの画像が表示されます。

4 [■]

「**ムービーメール**」／「**ムービー写メール**」で録画時、自動保存設定（7-17ページ）を「**ON**」に設定している場合は、「**保存先設定**」（7-18ページ）で指定した保存先に自動的に保存され、ファインダー画面に戻ります。

補　足

- 待受画面で[◎]を長く（約1秒以上）押してもファインダー画面が表示されます。
- 録画中に表示される録画時間は目安です。
- ファインダー画面を表示中に無操作の状態で約1分30秒経過すると待受画面に戻ります。
- ファインダー画面を表示中に[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  録画サイズ／**データフォルダ**／**自分撮り設定**／**スクリーン表示切替**／**アイコン表示切替**／**音声録音**／**保存設定**／**撮影設定**／**機能設定**
- 録画中のキー操作時や本体を開いた状態での録画時、または本体を閉じた状態での録画中に本体を開いた場合は、ダイヤルボタンのキーバックライトは点灯しません。
- 撮影後のプレビュー画面で[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  再生／**外部送信**／**削除**／**スクリーン表示切替**／**アイコン表示切替**／**アドレス帳登録**／**保存先変更**
- プレビュー画面で早送り／巻き戻し、スロー再生の操作ができます。
  早送り／巻き戻し：再生中に[◎]（約1秒以上）
  スロー再生：一時停止中に[◎]（約1秒以上）
- 録画の一時停止中は、録画終了（保存）、録画中止の操作もできます。
  録画終了（保存）：[■]
  録画中止：[Y!]（中止）
- 保存先は変更できます（7-18ページ）。フォルダを変更することもできます。

撮影した動画を削除する

プレビュー画面に表示されている動画を削除できます。

1 プレビュー画面→[Y!]（メニュー）→「削除」→[■]→「YES」→[■]

撮影した動画を着信音パターンに設定する

「**ムービーメール**」、「**ムービー写メール**」で撮影した動画をアドレス帳の音声着信の着信音パターン（4-3ページ）に設定できます。

1 プレビュー画面→[Y!]（メニュー）→「アドレス帳登録」→[■]

■着信音パターンを設定したアドレス帳を新規作成する

「新規登録」→[■]→アドレス帳を作成

■アドレス帳に着信音パターンを追加登録する

「追加登録」→[■]→アドレス帳を選択→[■]→アドレス帳を編集

- 「**追加登録**」を選択し、すでに着信音パターンが登録されているアドレス帳を選択した場合は「**YES**」を選択し、[✉]（完了）を押して着信音パターンを変更できます。
- アドレス帳の登録方法については4-2ページを参照してください。

7 カメラ

動画撮影で利用できる機能

録画モードを設定する

録画モードを設定すると、ファインダー画面に「」（ビデオカメラ）、「」（ムービーメール）、「」（ムービー写メール）が表示されます。

1 ファインダー画面→（モード）

■長時間（最大20分）録画する
「ビデオカメラ」→■

■メール添付用の動画を録画する
「ムービーメール」→■

■MPEG-4対応のソフトバンク携帯電話用の動画を録画する
「ムービー写メール」→■

音声なしで録画する

音声のない動画を撮影できます。音声録音を「**OFF**」にすると、ファインダー画面に「」が表示されます。

1 ファインダー画面→（メニュー）→「音声録音」→■

2 「OFF」→■

補　足

- 音声録音の設定は、ムービー終了時や撮影終了時に「**ON**」へ戻ります。

動画の圧縮方法を設定する

「**ムービーメール**」で撮影する動画の圧縮方法を設定できます。

1 ファインダー画面→（メニュー）→「撮影設定」→■→「エンコード」→■

2 「MPEG4」／「H. 263」→■

補　足

- エンコード形式の設定は、ムービー終了時や録画モード切り替え時に「**MPEG4**」に戻ります。

QRコードについて

メインカメラでQRコードを読み取り、QRコードデータとして保存できます。保存できるのは最大10件です。ただし、データ容量が大きい場合は、保存できる件数が少なくなることがあります。また、読み取った情報から、URLへの接続、メールの送信、アドレス帳の登録などを行うこともできます。

重　要

- QRコードが汚れていたり影がかかっていたりすると読み取れないことがあります。
- QRコードのサイズやバージョンによっては、情報を読み取れないことがあります。

補　足

- 読み取ったQRコードが分割データの場合は、連続して読み取ることができます（最大16分割）。保存する場合は、1件のQRコードデータとして保存されます。

QRコードを読み取る

メインメニュー ▶ カメラ ▶ バーコードリーダー

1 「読取り」→■

2 QRコードをディスプレイのガイドにあわせる→■

- ◉で露出補正を行うことができます。
- 読み取ったQRコードが分割データの場合は、「**YES**」を選択し、読み取りを繰り返してください。すべて読み取るとQRコードデータが表示されます。

3 Y!（メニュー）→「保存」→■

補　足

- バーコードリーダーは、以下の方法でも起動できます。
  メインメニュー→「**ツール**」→「**便利機能**」→「**バーコードリーダー**」
- QRコード読み取り画面で✉（モード）を押すと、カメラモードを切り替えることができます。
- 読み取ったあとY!（メニュー）を押して、以下の操作を行うこともできます（表示される項目はQRコードデータによって異なります）。
  ここへ行く／**位置メモ登録**／**保存**／**コピー**／**メールへ挿入**

補　足

- 読み取ったデータによっては、■を押して、以下の操作を行うことができます。

データ	できる操作
MAILTO：から始まる	メール送信（17-4、17-9ページ）
MEMORY：から始まる	アドレス帳登録（4-2ページ）
URLを含む	URLへの接続と表示
Media Player URLを含む	URLへの接続と表示
メールアドレスを含む	メール送信、アドレス帳登録
TEL：から始まる	発信、メール送信、アドレス帳登録

保存したデータを確認する

メインメニュー ▶ カメラ ▶ バーコードリーダー

1 「読取りデータ確認」→■

2 QRコードデータを選択→■

補　足

- QRコードデータを選択中にY!（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  名称編集／**1件削除**／**全件削除**

7 カメラ

QRコードに含まれる位置情報を利用する

1 QRコードを読み取る→[Y!](メニュー)

■ナビアプリを起動する
「ここへ行く」→[■]→ナビアプリ起動

■読み取ったデータを位置メモリストに登録する
「位置メモ登録」→[■]

静止画／動画の設定

静止画の設定

静止画の画質を設定する

撮影した画像を保存するときの画質を設定できます（保存形式はJPEG形式です）。高画質であるほど圧縮率が低くファイルサイズが大きくなります。画質を設定すると、ファインダー画面に「[ファイン]」（ファイン）、「[ノーマル]」（ノーマル）、「[エコノミー]」（エコノミー）が表示されます。

1 ファインダー画面→[Y!](メニュー)→「撮影設定」→[■]

2 「画質」→[■]→画質を選択→[■]

静止画の画像サイズを設定する

画像サイズはファインダー画面にアイコン（7-2ページ）で表示されます。

1 ファインダー画面→[Y!](メニュー)→「画像サイズ」→[■]

2 画像サイズを選択→[■]

●画像サイズについては7-6ページを参照してください。

静止画に日付を入れる

静止画撮影時に撮影した日付を入れることができます。

1 ファインダー画面→Y!（メニュー）→「撮影設定」→■

2 「日付スタンプ」→■→「ON」→■

3 文字色を選択→■

重　要

- 画像サイズ（7-6ページ）を「**W112×H112**」に設定している場合は、日付スタンプを入れることはできません。

静止画の撮影ガイドラインを設定する

ファインダー画面に縦横の撮影ガイドラインを表示します。静止画撮影時の垂直・水平の目安として利用できます。

1 ファインダー画面→Y!（メニュー）→「機能設定」→■

2 「グリッド線」→■→「ON」／「OFF」→■

静止画撮影時のシャッター音を設定する

2種類から選択できます。

1 ファインダー画面→Y!（メニュー）→「機能設定」→■

2 「シャッター音」→■→「パターン1」／「パターン2」→■

補　足

- マナーモード（12-1ページ）を設定していても、シャッター音が鳴ります。
- シャッター音を確認する場合は、確認したいシャッター音を選択中に、✉（再生）を押します。

動画の設定

動画の画質を設定する

撮影した動画を保存するときの画質を設定できます（保存形式はMPEG-4形式またはH.263形式です）。高画質であるほど圧縮率が低く、ファイルサイズが大きくなります。画質を設定すると、ファインダー画面に「▦」（ファイン）、「▦」（ノーマル）、「▦」（エコノミー）が表示されます。

1 ファインダー画面→Y!（メニュー）→「撮影設定」→■

2 「画質」→■→画質を選択→■

補　足

- 録画モード（7-11ページ）を「**ムービー写メール**」にしている場合は、常に「**エコノミー**」で撮影されます。
- 録画モード（7-11ページ）を「**ビデオカメラ**」にして録画サイズを「**W640×H480**」に設定している場合は、常に「**ファイン**」で撮影されます。
- 画質によって録画できる時間が異なります。

録画サイズを設定する

録画モード（7-11ページ）を「**ビデオカメラ**」にしている場合の録画サイズを設定します。録画サイズはファインダー画面にアイコン（7-3ページ）で表示されます。

1 ファインダー画面→[Y!]（メニュー）→「録画サイズ」→[●]

2 録画サイズを選択→[●]

動画の撮影開始／終了音を設定する

2種類から選択できます。

1 ファインダー画面→[Y!]（メニュー）→「機能設定」→[●]

2 「開始／終了音」→[●]→「パターン1」／「パターン2」→[●]

補　足

- マナーモード（12-1ページ）を設定していても、開始／終了音が鳴ります。
- 開始／終了音を確認する場合は、確認したい開始／終了音を選択中に、[✉]（再生）を押します。

動画のフルスクリーン表示を設定する

ファインダー画面表示中、動画（ビデオカメラを除く）を画面の幅に合わせたサイズで表示します。

1 ファインダー画面→[Y!]（メニュー）→「スクリーン表示切替」→[●]

動画のプレビューを設定する

録画モード（7-11ページ）を「**ビデオカメラ**」にしている場合、撮影したあとのプレビュー画面表示の表示／非表示を設定できます。

1 ファインダー画面→[Y!]（メニュー）→「機能設定」→[●]→「プレビュー設定」→[●]

2 「ON」／「OFF」→[●]

静止画／動画の共通設定

自動保存を設定する

自動保存設定を「**ON**」に設定すると、撮影したあとのプレビュー画面は表示されず、「**保存先設定**」（7-18ページ）で指定した保存先に自動的に保存されます。

1 ファインダー画面→[Y!]（メニュー）→「保存設定」→[●]→「自動保存設定」→[●]

2 「ON」／「OFF」→[●]

重　要

- 「**ビデオカメラ**」で撮影した動画は、自動保存設定を行うことはできません。

保存先を変更する

撮影した静止画や動画の保存先を変更できます。保存先を設定すると、ファインダー画面に「 」（本体）または「 」（メモリカード）が表示されます。

1 **ファインダー画面→ (メニュー)→「保存設定」→ →「保存先設定」→**

2 **「本体」／「メモリカード」→ →フォルダを選択→**

重　要

- 「**ビデオカメラ**」の録画サイズ（7-11ページ）を「**W640×H480**」で撮影した場合は、保存先を「**メモリカード**」に設定できません。

補　足

- 保存先に「**メモリカード**」を設定した場合、「**デジタルカメラ**」（7-5ページ）で撮影した場合の保存先は、「**デジタルカメラ**」フォルダとなります。

セルフタイマーを設定する

セルフタイマーを設定すると、 ／ を押してから設定時間が経過したあとに撮影されます。セルフタイマーを設定すると、ファインダー画面に「20」（20秒）、「10」（10秒）、「05」（5秒）が表示されます。

1 **ファインダー画面→ (メニュー)→「撮影設定」→**

2 **「タイマー撮影」→**

3 **秒数を選択→**

重　要

- セルフタイマー起動中は、ズーム（7-4ページ）を利用できません。

補　足

- セルフタイマー起動中に または を押すと、撮影します。
- セルフタイマー起動中に (中止)または を押すと、撮影を中止します。
- セルフタイマーの設定は、撮影終了後に「**OFF**」に戻ります。

ホワイトバランスを設定する

撮影時の状況によって、画像の色合いが実際の色合いと異なる場合があります。その場合は、実際の色合いに近づくようにホワイトバランスを設定します。ホワイトバランスを設定すると、ファインダー画面に「 」（太陽光）、「 」（曇り）、「 」（蛍光灯（昼光））、「 」（蛍光灯（昼白））、「 」（白熱灯）が表示されます。

1 **ファインダー画面→ (メニュー)→「撮影設定」→**

2 **「ホワイトバランス」→**

3 **項目を選択→**

補　足

- ホワイトバランスの設定は、カメラ／ムービー終了時に「**オート**」に戻ります。

色調を調整する

色調を設定すると、ファインダー画面に「▤」（鮮やか）または「▤」（あっさり）が表示されます。

1 **ファインダー画面→Y!（メニュー）→「撮影設定」→●**

2 **「色調調整」→●**

3 **色調を選択→●**

補　足

- 色調調整は、カメラ／ムービー終了時に「**標準**」に戻ります。

画像効果を設定する

セピアや白黒で撮影できます。

1 **ファインダー画面→Y!（メニュー）→「撮影設定」→●→「画像効果」→●**

2 **画像効果を選択→●**

補　足

- 画像効果の設定は、カメラ／ムービー終了後に「**OFF**」に戻ります。

アイコン表示を設定する

静止画／動画撮影時や動画再生時のアイコン表示／非表示を設定できます。

1 **ファインダー画面→Y!（メニュー）→「アイコン表示切替」→●**

フリッカー調節を設定する

蛍光灯の近くなどで撮影するときに、現在の地域の周波数（自動／50Hz／60Hz）を設定することで、画面のちらつきを軽減できます。

1 **ファインダー画面→Y!（メニュー）→「機能設定」→●**

2 **「地域設定」→●→「自動」／「50 Hz」／「60 Hz」→●**

ファイル名を設定する

デジタルカメラモード以外で撮影した場合のファイル名を、撮影日時か「**任意のファイル名nnnn**」から選択できます。nnnnは0001～9999の連続した番号です。デジタルカメラモードで撮影した場合、本体に保存したファイルは撮影日時、メモリカードに保存したファイルは「**DCF_nnnn**」で、nnnnは0001～9999の連続した番号です。

1 **ファインダー画面→Y!（メニュー）→「保存設定」→●→「ファイル名設定」→●**

■日時を利用したファイル名にする

「日時」→●

■任意のファイル名にする

「ユーザ指定」→●→ファイル名を入力→●

テンキーショートカットを設定する

撮影時に利用できるショートカット機能を、有効にするかどうかを設定します。

1 **ファインダー画面→[Y!](メニュー)→「機能設定」→[■]→「テンキーショートカット」→[■]**

2 **「ON」/「OFF」→[■]**

補　足

- 静止画・動画撮影時に割り当てられているショートカットは以下のとおりです。

ボタン	静止画撮影	動画撮影
[1]※1	キーガイド表示	
[2]	カメラモード切替	
[3]	ムービーモード切替	
[4]	バーコード	
[5]	画質	
[6]	ホワイトバランス	
[7]	フォーカスモード	音声録音
[8]	撮影シーン	スクリーン表示切替※2
[9]	画像サイズ	録画サイズ※3
[0]	アイコン表示切替	
[*]※1	モバイルライト	
[#]※1	自分撮り設定	

※1 テンキーショートカットを「**OFF**」にしていても、使用できます。
※2 「**ビデオカメラ**」録画モード時はキー操作無効となります。
※3 「**ビデオカメラ**」録画モード時以外はキー操作無効となります。

撮影した静止画／動画の確認

本機のデータフォルダやメモリカードに保存した静止画や動画を確認する場合は、ファインダー画面から確認する方法とデータフォルダから確認する方法があります。

撮影した静止画を確認する

カメラ起動中にデータフォルダ内の静止画を確認できます。

1 **カメラのファインダー画面→[Y!](メニュー)→「データフォルダ」→[■]**

2 **静止画を選択→[■]**

- [✉](全画面)を押すとフルスクリーン表示できます。

補　足

- 静止画表示中に、[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(表示される項目はファイルの種類によって異なります)。
  各種設定へ(10-3ページ)/**1件削除**/**画像編集**/**位置情報**/**送信**/**プロパティ表示**

撮影した動画を確認する

ムービー起動中にデータフォルダ内の動画を確認できます。

1 **ムービーのファインダー画面→[Y!](メニュー)→「データフォルダ」→[■]**

2 **動画を選択→[■]**

● [1]を押すと、キーガイドを表示できます。

補　足

- 動画再生中に、[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(表示される項目はファイルの種類によって異なります)。
  各種設定へ(10-3ページ)／**1件削除**／**ミュート**／**ミュート解除**／**ノーマルスクリーン表示**／**フルスクリーン表示**／**コントローラ非表示**※／**コントローラ表示**※／**サーチタイム**(8-10ページ)／**送信**／**ウェブリンク**／**リンク表示設定**／**プロパティ表示**
  ※ フルスクリーン表示時のみ選択できます。
- 再生中に[◇]で音量を調節できます。ただし、音量を調節するとミュートは自動的に解除されます。

撮影した静止画／動画を送信する

自動保存設定（7-17ページ）を「**OFF**」にしている場合やプレビュー設定（7-17ページ）を「**ON**」にしている場合、撮影した直後に送信できます。

重　要

- 「**ビデオカメラ**」モードで録画した動画は送信できません。

メールで送信する

1 **プレビュー画面→[✉](メール)**

● S!メールの作成については17-4ページを参照してください。

補　足

- 添付する静止画がメールで送信できるファイルサイズを超えた場合は、確認画面が表示されます。「**圧縮して添付**」を選択すると、ファイルサイズを93Kバイト以下に圧縮して静止画を添付します。

赤外線通信／ Bluetooth®通信で送信する

1 **プレビュー画面→[Y!](メニュー)→「外部送信」→[■]**

2 **「赤外線送信」／「Bluetooth送信」→[■]**

● 赤外線送信については11-2ページを、Bluetooth®送信については11-7ページを参照してください。

撮影した静止画を編集する

プレビュー画面の静止画やデータフォルダ、メモリカードに保存されている静止画を画像編集できます。編集可能なファイルは、2.0Mバイト以下のJPEGファイル、1Mバイト以下のPNGファイルです。ただし、画像サイズがW480×H800（W800×H480）を超える画像はW480×H800に縮小され、画像サイズがW32×H32より小さい画像は編集できません。

- 「**上書き保存**」を行ったファイルは元のファイルに戻すことはできません。元のファイルを残しておきたい場合は、「**新規保存**」を選択してください。
- データフォルダが一杯の場合は、データフォルダの不要なファイルを削除してから画像編集を行ってください。

画像サイズを変更する

画像のサイズを「**W480×H800**」、「**W480×H640**」、「**W240×H400**」、「**W240×H320**」、「**W144×H176**」、「**W120×H160**」、「**W112×H112**」、「**W96×H128**」、「**ユーザ指定**」に変更できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ピクチャーつく〜る

1 「画像編集」→■→「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■

2 Y!（メニュー）→「画像サイズ変更」→■→画像サイズを選択→■

- 画像サイズを選択したあと◎で切り取る画像の位置を調節できます。

■横または縦に合わせる

✉（リサイズ）→「横に合わせる」／「縦に合わせる」→■

■画像を回転する

✉（リサイズ）→「回転」→■

3 Y!（切取り）→■→✉（完了）→「上書き保存」／「新規保存」→■

補足

- 「**モバイルカメラ**」の画像サイズ（7-6ページ）を「**W480×H800**」以外にして、プレビュー画面からY!（メニュー）を押し、「**画像編集**」を選択した場合は、画像サイズを「**W480×H800**」、「**W480×H640**」に変更できません。
- 画像サイズに「**ユーザ指定**」を選択した場合は、画像サイズ（W32〜480×H32〜800）を入力します。「**モバイルカメラ**」の画像サイズ（7-6ページ）を「**W480×H800**」以外にして、プレビュー画面からY!（メニュー）を押し、「**画像編集**」を選択した場合は、画像サイズ（W32〜240×H32〜400）を入力します。
- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力して■を押し、保存先を選択します。

画像に効果を付ける

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ピクチャーつく〜る

1 「画像編集」→■→「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■

2 Y!（メニュー）→「画像効果」→■→画像効果を選択→■

■色調を選択する

「カラーチェンジ」→■→◀／▶

3 [■]→[✉](完了)→「上書き保存」/「新規保存」→[■]

補　足

- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力して[■]を押し、保存先を選択します。

フレームを付ける

本体のデータフォルダにあらかじめ用意されているフレームは10種類（W240×H320）です。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ピクチャーつく〜る

1 「画像編集」→[■]→「本体」/「メモリカード」→[■]→画像を選択→[■]

2 [Y!](メニュー)→「フレーム合成」→[■]

3 「本体」/「メモリカード」→[■]→ピクチャー→[■]→フレームを選択→[■]

4 [■]→[✉](完了)→「上書き保存」/「新規保存」→[■]

補　足

- フレームを選択したあと[＊]または[＃]を押すと、フレームを切り替えることができます。
- フレームサイズが画像サイズより小さい場合は、[◎]でフレームの位置を調節できます。
- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力して[■]を押し、保存先を選択します。

スタンプを貼り付ける

本体のデータフォルダにあらかじめ用意されているスタンプは15種類です。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ピクチャーつく〜る

1 「画像編集」→[■]→「本体」/「メモリカード」→[■]→画像を選択→[■]

2 [Y!](メニュー)→「スタンプ貼り付け」→[■]

3 「本体」/「メモリカード」→[■]→ピクチャー→[■]→スタンプを選択→[■](2回)

4 [✉](決定)→[✉](完了)→「上書き保存」/「新規保存」→[■]

重　要

- スタンプサイズが画像サイズより大きい場合は、スタンプを貼り付けることができません。

補　足

- スタンプを選択したあと[＊]または[＃]を押すと、スタンプを切り替えることができます。
- [◎]でスタンプの位置を調節できます。
- 一度貼り付けたスタンプを取り消す場合は、スタンプを貼り付けたあと[Y!](メニュー)→「**全て元に戻す**」を選択します。
- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力して[■]を押し、保存先を選択します。

文字を貼り付ける

画像に5種類の文字サイズ、9種類の文字色、縁取り色から選択して文字を貼り付けることができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ピクチャーつく～る

1 「画像編集」→■→「本体」/「メモリカード」→■→画像を選択→■

2 (メニュー)→「テキスト貼り付け」→■

3 文字の大きさを選択→ ■→文字の入力→■

■文字色を変更する
(色変更) → / →■

■縁取り色を変更する
(色変更) → / →■

4 ■→(完了)→「上書き保存」/「新規保存」→■

補　足

- でモザイクをかける位置を調節できます。
- 入力可能文字数は大、中フォントで最大18文字、小さめフォント(標準)で最大24文字、小フォントで最大26文字、極小フォントで最大40文字です。「**モバイルカメラ**」の画像サイズ(7-6ページ)を「**W480×H800**」以外にして、プレビュー画面から(メニュー)を押し、「**画像編集**」を選択した場合は、大、中フォントで最大9文字、小さめフォント(標準)で最大12文字、小フォントで最大13文字、極小フォントで最大20文字です。
- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力して■を押し、保存先を選択します。

モザイクをかける

画像の一部にモザイクをかけて編集することができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ピクチャーつく～る

1 「画像編集」→■→「本体」/「メモリカード」→■→画像を選択→■

2 (メニュー)→「モザイク」→■

3 ■→(完了)→「上書き保存」/「新規保存」→■

補　足

- でモザイクをかける位置を調節できます。
- (範囲)を押したあとを押して、モザイクの大きさを変更できます。このとき(移動)を押すと、枠を移動できます。
- モザイクを貼り付けたあと、を押すと、モザイクの細かさを調整することができます。
- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力して■を押し、保存先を選択します。

画像を回転させる

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ピクチャーつく〜る

1 「画像編集」→■→「本体」/「メモリカード」→■→画像を選択→■

2 Y!(メニュー)→「回転」→■→✉(◀A)/Y!(A▶)→■

3 ✉(完了)→「上書き保存」/「新規保存」→■

補　足

- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力して■を押し、保存先を選択します。

画像を合成する

2つの画像を半透過して合成します。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ピクチャーつく〜る

1 「画像編集」→■→「本体」/「メモリカード」→■→画像を選択→■

2 Y!(メニュー)→「透かし合成」→■→「本体」/「メモリカード」→■→画像を選択→■

■半透過率を調整する

◀/▶

3 ■→✉(完了)→「上書き保存」/「新規保存」→■

補　足

- 合成する画像として選択できるのは、編集中の画像と同じ画像サイズの静止画です。
- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力して■を押し、保存先を選択します。

画像を組み合わせて壁紙を作成する

4つの画像を組み合わせて、1枚の壁紙を作成することができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ピクチャーつく〜る

1 「4分割壁紙作成」→■

2 [1]を選択→■→「本体」/「メモリカード」→■→画像を選択→■

3 [2]〜[4]の画像を選択

操作2を繰り返します。

●Y!（削除）を押すと設定している画像を解除できます。

4 ✉(完了)→「本体」/「メモリカード」→■

補　足

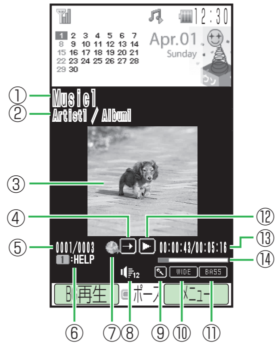
- 画像のサイズがW240×H400以外の場合は、✉(リサイズ)を押してサイズを変更してください。

メディアプレイヤーについて

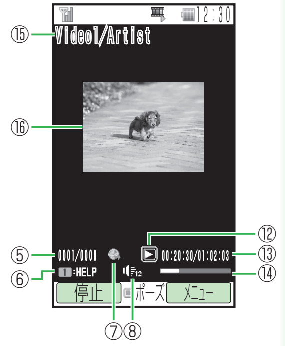
メディアプレイヤーでは、本体やメモリカードに保存されている音楽ファイルやムービーファイルを再生したり、ストリーミングができます。また、音楽ファイルを再生しながらメールを作成することもできます。

●メディアプレイヤーで再生できるファイル形式は、3GPP、3GPP2、MP4、SMCファイルです。ただし、ファイルによっては、再生できない場合があります。詳しくは、BeatJam 2007 for 911Tガイドブックをご覧ください。
●ストリーミング中は、S!メールを自動受信（17-23ページ）できません。
●本機とパソコンを付属のUSBケーブルで接続して、本機に音楽ファイルを転送することができます。
音楽ファイルの転送方法については、11-12ページを参照してください。
●ステレオイヤホン（オプション品）とBluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）を接続して、メディアプレイヤーの音楽ファイルをワイヤレスで再生することができます。また、市販のA2DPプロファイル対応Bluetooth®ヘッドセットを接続すると、音楽ファイル再生中の音声着信に応答してBluetooth®ヘッドセットを使用して通話することもできます。
●バックグラウンド再生中（8-11ページ）に使用する機能によっては、バックグラウンド再生が一時停止または停止することがあります。例えば、S!アプリを起動すると、バックグラウンド再生が一時停止します。
●電池残量が不足している場合は、メディアプレイヤーを利用できません。充電したあとで、利用してください。

ディスプレイ表示について



音楽ファイル再生画面



ムービーファイル再生画面

①曲名
②アーティスト名／アルバム名
③再生中画像
④プレイモード
　全曲再生　1曲リピート　全曲リピート
　ランダム　1曲再生
⑤ファイル番号／総ファイル数
⑥ガイド表示
⑦リンク情報
⑧再生音量
⑨ボイスキャンセル
⑩サラウンド
⑪イコライザ
⑫再生状態
　再生　早送り　一時停止
　巻き戻し　バッファリング中
　スロー再生　停止

⑬再生経過時間／総再生時間
⑭プログレスバー
⑮ファイル名／アーティスト名
⑯ムービー

メディアファイルを再生する

メインメニュー ▶ メディアプレイヤー

1 「オーディオ」／「ムービー」→■

■**ディスクサーチ**
データフォルダの「**着うた・メロディ**」フォルダ、「**ミュージック**」フォルダの内容をアーティスト別、アルバム別に表示します。

■**全曲一覧**
データフォルダの「**着うた・メロディ**」フォルダ、「**ミュージック**」フォルダの全曲一覧を表示します。

■**アーティスト別／アルバム別／フォルダ別**
データフォルダの「**着うた・メロディ**」フォルダ、「**ミュージック**」フォルダの内容を、アーティスト別／アルバム別／フォルダ別に表示します。

■**ムービー**
「本体」／「メモリカード」→■
データフォルダの「**ムービー**」フォルダの内容を表示します。

2 ファイルを選択→■

●メディアプレイヤーを終了する場合は、PWRを押します。
●音楽ファイルに歌詞データが含まれている場合は、再生中に7または9を押して歌詞を表示することができます（8-4ページ）。
●音楽ファイルにジャケット写真が含まれている場合は、一覧画面でファイルを選択するとジャケット写真が表示されます。再生中に8を押してジャケット写真を切り替えることができます。

補　足

- 待受画面で文字を押しても、オーディオメニューを表示することができます。
- マナーモードを「**サイレント**」または「**アラーム**」に設定中（12-1ページ）は、確認画面が表示されます。マナーモードを一時解除する場合は、「**YES**」を選択します。一時解除しない場合は、「**NO**」を選択します。ただし、イヤホン接続時は表示されません。
- 待受画面で文字を長く（約1秒以上）押すと、前回再生した音楽ファイルを再生します。
- ファイル選択中にY!（メニュー）を押して、以下の操作を行うこともできます（表示される項目はファイルの種類によって異なります）。
  プレイリストへ追加／ソート／コンテンツ・キー取得／プロパティ表示／表示切替
- ファイル再生／一時停止中にY!（メニュー）を押して、以下の操作を行うこともできます（表示される項目はファイルの種類によって異なります）。
  サーチタイム／プレイモード／サラウンド／イコライザ／ボイスキャンセル／ジャケット切替／プレイリストへ追加／ウェブリンク／プロパティ表示／ミュート／ミュート解除／ノーマルスクリーン表示／フルスクリーン表示／コントローラ表示／コントローラ非表示／リンク表示設定

音楽ファイルの出力先を設定する

メインメニュー ▶ メディアプレイヤー

1 「オーディオ」→■→「出力先設定」→■

2 「スピーカー／イヤホン」／「ワイヤレス」→■

●「**ワイヤレス**」を選択した場合は、登録済みデバイス（11-6ページ）からワイヤレス機器を選択してください。Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）を使用する場合は、8-4ページを参照してください。

音楽ファイル再生中の背景画像を設定する

メインメニュー ▶ メディアプレイヤー

1 「オーディオ」→■→「背景設定」→■

2 「ノーマル」／「くーまん」→■

再生中／一時停止中の操作について

機能	一時停止中／停止中の操作	再生中の操作
ファイルの先頭に戻る・前のファイルへスキップ	＊／◀を押す	＊／◀を押す
次のファイルへスキップ	＃／▶を押す	＃／▶を押す
早送り	▶を押し続ける※1※2※3	▶を押し続ける
巻き戻し	◀を押し続ける※1※2※3	◀を押し続ける
コマ戻し（ムービーファイルのみ）	◀を押す※2	—
コマ送り（ムービーファイルのみ）	▶を押す※2	—
スロー再生（ムービーファイルのみ）	▶を押し続ける※2	—
音量を調節	▲▼を押す	▲▼を押す
キーガイド表示	1を押す	1を押す

※1 音楽ファイルのみ
※2 一時停止中のみ
※3 Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）利用時は不可

補　足

- ファイル再生時に割り当てられているショートカットは以下のとおりです。

ボタン	音楽ファイル再生中	ムービーファイル再生中
[文字]	バックグラウンド再生	ー
[文字]（長押し）	マイライブラリ追加	TV 出力
[*]	ファイルの先頭に戻る・前のファイルへスキップ	
[#]	次のファイルへスキップ	
[1]	キーガイド表示	
[2]	プレイモード切替	ー
[3]	サラウンド	ミュート設定
[4]	イコライザ	スクリーン表示切替
[5]	ボイスキャンセル	ー
[7]	歌詞表示［前］	ー
[8]	ジャケット切替	ー
[9]	歌詞表示［次］	ー
[0]	ー	コントローラ表示

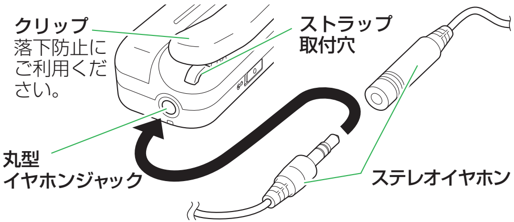
Bluetooth® ステレオヘッドセットの利用

ステレオイヤホンとBluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）を接続して、メディアプレイヤーの音楽ファイルをワイヤレスで再生することができます。

ステレオイヤホンの接続

1 側面にある丸型イヤホンジャックにステレオイヤホンを挿入する

ステレオイヤホンを図の位置で切り離すと、丸型イヤホンのプラグが現れ、Bluetooth®ステレオヘッドセットと接続することができます。



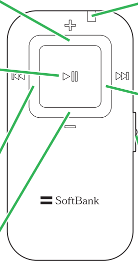
各部の名称と機能

ボリュームキー（＋）
音量を上げるときに使用します。

再生／一時停止ボタン
電源オン・再生・一時停止時に使用します。

スキップキー（戻）
音楽の曲戻しに使用します。

ボリュームキー（－）
音量を下げるときに使用します。



動作ランプ（緑）
Bluetooth®ステレオヘッドセットの動作中に点滅します。

スキップキー（送）
音楽の曲送りに使用します。

ホールドスイッチ
誤動作防止をするときに使用します。また、ロックがかかっていると、電源のオン・オフはできません。

電源を入れる／切る

Bluetooth®ステレオヘッドセットの▷||を押してください。
動作ランプ（緑）が「チカッ·チカッ…」と点滅し、電源が入ったことをお知らせします。
電源を切るときは、⏭（または⏮）と▷||を同時に押してください。

補　足

- メディアプレイヤーで音楽ファイルを聴かない状態が約10分以上続くと電源が切れます。

Bluetooth® ステレオヘッドセットを登録する

Bluetooth®ステレオヘッドセットを最初に本機に接続して使用するときは、以下の設定を行ってください。

- 初期登録時は、Bluetooth®ステレオヘッドセットの電源を入れずに行ってください。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth

1 **Bluetooth®ステレオヘッドセットの⏭（または⏮）と▷||を同時に押す**

動作ランプ（緑）が「チカチカチカ…」と速く点滅し、Bluetooth®の接続待ち状態になります。

- 操作2以降は約1分以内に行ってください。

2 **「デバイス検索」→■**

3 **「Stereo Headset」を選択→■**

4 **「1234」（パスキー）を入力→■→「YES」／「NO」→■**

- 「**YES**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

8

メディアプレイヤー

Bluetooth® ステレオヘッドセットを使用して音楽ファイルを再生する

1. **Bluetooth®ステレオヘッドセットの電源を入れる**
2. **メディアプレイヤーで音楽ファイルを再生する(8-2ページ)**

補 足

- Bluetooth®ステレオヘッドセットを接続している場合は、メディアプレイヤーで音楽ファイルを再生してください。データフォルダの「**ミュージック**」フォルダから音楽ファイルを再生した場合、Bluetooth®ステレオヘッドセットご利用時は1曲のみの再生となり、複数の曲を連続再生できません。

Bluetooth®ステレオヘッドセットにロックをかける

Bluetooth®ステレオヘッドセットには、誤操作を防止するためのホールドスイッチがあります。
ロックする場合は、ホールドスイッチを「🔒」側にしてください。

プレイリストを利用する

プレイリストを使って、自分だけの選曲集を作ることができます。全曲一覧やアーティスト別、アルバム別に選択して音楽ファイルを登録します。プレイリストはあらかじめ作成するリストの他に、再生中のファイルを登録するマイライブラリプレイリストがあります（8-9ページ）。

プレイリストを作成する

プレイリストは本体とメモリカードに10件ずつ作成できます。1つのプレイリストには、50曲まで登録できます。

1. **待受画面→[文字]→「プレイリスト」→[■]**
2. **[Y!](メニュー)→「プレイリスト作成」→[■]→「本体」／「メモリカード」→[■]**
3. **プレイリスト名を入力→[■]→「YES」→[■]**
4. **「全曲一覧」→[■]**

   ■アーティスト別／アルバム別に選択する
   「アーティスト別」／「アルバム別」→[■]→アーティスト／アルバムを選択→[■]
5. **音楽ファイルを選択→[■]**

   ●ファイルを複数選択する場合は、この操作を繰り返します。
6. **[✉](作成)**

プレイリストを再生する

1 待受画面→[文字]→「プレイリスト」→[■]

2 プレイリストを選択→[✉](再生)

補　足

- マナーモードを「**サイレント**」または「**アラーム**」に設定中(12-1ページ)は、確認画面が表示されます。マナーモードを一時解除する場合は、「**YES**」を選択します。一時解除しない場合は「**NO**」を選択します。ただし、イヤホン接続時は表示されません。
- プレイリストを選択中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  削除／**コピー**／**名称編集**／**プレイリスト作成**／**並び替え**

プレイリストを編集する

1 待受画面→[文字]→「プレイリスト」→[■]

2 プレイリストを選択

■名称を変更する

[Y!](メニュー)→「名称編集」→[■]→プレイリスト名を編集→[■]

■削除する

[Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「YES」→[■]

■コピーする

[Y!](メニュー)→「コピー」→[■]→「本体」／「メモリカード」→[■]

■プレイリストに音楽ファイルを追加する

[■]→[Y!](メニュー)→「曲追加」→[■]→「全曲一覧」→[■]→音楽ファイルを選択→[■]→[✉](追加)

- アーティスト別、アルバム別に音楽ファイルを選択する場合は、「**アーティスト別**」／「**アルバム別**」を選択し、アーティスト／アルバムを選択します。

■プレイリストの音楽ファイルを削除する

[■]→[Y!](メニュー)→「曲削除」→[■]→「1件」→[■]→「YES」→[■]

- 複数の音楽ファイルを削除する場合は、「**複数選択**」を選択して削除するファイルを選択し、[✉](削除)を押します。
- プレイリストに登録されているファイルをすべて削除するとプレイリストも削除されます。

■プレイリストの再生順を変更する

[■]→ファイルを選択→[✉](曲順)→[↕]で曲順を変更→[■]

補　足

- 登録したファイルをプレイリストから削除しても、元の音楽ファイルは削除されません。

再生履歴を利用する

再生履歴は、以前再生したファイルの確認、またはプレイリストへの登録を行うための機能です。再生履歴には、20件まで表示されます。

メインメニュー ▶ メディアプレイヤー

1 「オーディオ」→■→「プレイリスト」→■→「再生履歴」→■→ファイルを選択→■

■ムービーの再生履歴を利用する

「ムービー」→■→「再生履歴」→■→ファイルを選択→■

補足

- 再生履歴には、再生できるファイルだけが登録されます。
- 同じファイルを再生した場合、最新の履歴が登録されます。
- ファイル選択中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うこともできます(表示される項目はファイルの種類によって異なります)。
  プレイリストへ追加／削除／表示形式／プロパティ表示
- ファイル再生中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うこともできます(表示される項目はファイルの種類によって異なります)。
  サーチタイム／プレイモード／サラウンド／イコライザ／ボイスキャンセル／ジャケット切替／プレイリストへ追加／ウェブリンク／プロパティ表示／ミュート／ミュート解除／ノーマルスクリーン表示／フルスクリーン表示／コントローラ表示／コントローラ非表示／リンク表示設定

メディアファイルをダウンロードする

メロディやムービーをYahoo!ケータイなどからダウンロードします。

メインメニュー ▶ メディアプレイヤー

1 「オーディオ」／「ムービー」→■

2 「ミュージックダウンロード」／「ムービーダウンロード」→■→「YES」→■

●以降の操作は画面の表示に従ってください。

ストリーミングする

インターネットに接続して、動画や音楽をダウンロードしながら再生（ストリーミング）できます。

●ストリーミングご利用中は、一時停止した場合でも通信は継続され、パケット通信料が発生します。

●マナーモードを「**サイレント**」または「**アラーム**」（12-1ページ）に設定している場合は、確認画面が表示されます。一時解除する場合は、「**YES**」を選択します。一時解除しない場合は、「**NO**」を選択します。ただし、イヤホン接続時は表示されません。

メインメニュー ▶ メディアプレイヤー

1 「ストリーミング」→■→「URL入力」→■→URLを入力→■

ブックマークからストリーミングする

ブックマークされているサイトに接続し、ストリーミングします。

メインメニュー ▶ メディアプレイヤー

1 「ストリーミング」→■→「ブックマーク」→■

2 ブックマークを選択→■

再生履歴からストリーミングする

メインメニュー ▶ メディアプレイヤー

1 「ストリーミング」→■→「再生履歴」→■

2 タイトルを選択→■

メールやインターネットからストリーミングする

リンクを選択するとストリーミングできます。

■S!メール／SMSからストリーミングする

リンクを表示→■→「接続する」→■

■インターネットからストリーミングする

リンクを表示→■

●サイトによって、操作が異なる場合があります。

メディアプレイヤーのその他の機能

マイライブラリプレイリストに登録する

音楽ファイル再生中に[文字]を押すだけで、50曲までマイライブラリプレイリストに登録できます。

1 音楽ファイルを再生中／一時停止中→[文字]を長く（約1秒以上）押す

再生中の音楽ファイルをプレイリストに追加する

再生／一時停止中の音楽ファイルをプレイリストに登録できます。

1 音楽ファイルを再生中／一時停止中→[Y!]（メニュー）→「プレイリストへ追加」→■

2 プレイリストを選択→■

プレイモードを切り替える

音楽ファイルの再生方法を設定できます。

1 音楽ファイルを再生中／一時停止中→[Y!]（メニュー）→「プレイモード」→■

2 再生パターンを選択→■

サーチタイムを利用する

ファイルの再生開始の位置（時間）を指定して、再生を開始することができます。

1 **ファイルを再生中／一時停止中→[Y!]（メニュー）→「サーチタイム」→[■]**

2 **開始したい位置（時間）を入力→[■]**

指定された位置からファイルが再生されます。

サラウンドを設定する

音に広がりを持たせた演出を設定できます。

1 **音楽ファイルを再生中／一時停止中→[Y!]（メニュー）→「サラウンド」→[■]**

2 **効果を選択→[■]**

イコライザを設定する

特定の音域を強調した演出を設定できます。

1 **音楽ファイルを再生中／一時停止中→[Y!]（メニュー）→「イコライザ」→[■]**

2 **効果を選択→[■]**

ボイスキャンセルを設定する

再生中のファイル内の音声を抑え、音楽再生のみに近づけます。

1 **音楽ファイルを再生中／一時停止中→[Y!]（メニュー）→「ボイスキャンセル」→[■]**

2 **「ON」／「OFF」→[■]**

補　足

- 音楽ファイルの種類によっては、ボイスキャンセルを設定できない場合があります。
- モノラルの音楽ファイルを再生中にボイスキャンセルを「**ON**」にすると、再生音が聴こえにくくなります。
- サラウンド、イコライザとは同時に設定できません。

ファイルを送信する

音楽ファイル、ムービーファイルを他の携帯電話や赤外線／Bluetooth®対応機器（オプション品）に送信できます。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 **「着うた・メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」→[■]→音楽ファイル／ムービーファイル選択→[Y!]（メニュー）→「送信」→[■]**

2 **送信方法を選択→[■]**

●赤外線送信については11-2ページを、Bluetooth®送信については11-7ページを参照してください。

プロパティを確認する

音楽ファイル、ムービーファイルの詳細情報を表示します。

1 **ファイルを選択→[Y!](メニュー)→「プロパティ表示」→[■]**

補 足

- プロパティではファイル名、ファイルサイズまたは再生時間などが表示されます。表示される項目はファイルによって異なります。

バックグラウンドで再生する

音楽を聴きながら他の機能を使えます。

1 **音楽ファイルを再生/一時停止中→[✉](BG再生)**

補 足

- 音楽ファイルを再生中に[絵文字]を押しても、バックグラウンド再生になります。バックグラウンド再生中、待受画面でもう一度[絵文字]を押すとメディアプレイヤーが表示されます。

8

メディアプレイヤー

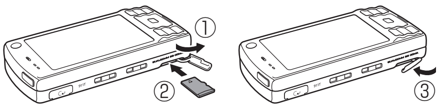
メモリカードをご利用になる前に

本機で撮影した静止画や動画、ダウンロードしたさまざまなファイルを保存できます。

- ●本書では、microSD™メモリカードを「メモリカード」と記載しています。
- ●メモリカードへのファイルの保存方法については、各機能の説明を参照してください。
- ●本機では、記憶容量が2Gバイト(※2007年2月現在)までのメモリカードに対応していますが、市販されているすべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。

メモリカードを取り付ける

必ず電源を切った状態で行ってください。メモリカードのファイル消失の原因となります。



1 メモリカードスロットのキャップを開ける(①)

2 金色の端子が見える面を下にして、左図の向きにメモリカードがロックするまで差し込む(②)

●メモリカードをカチッと音がするまでゆっくり奥に差し込みます。

3 メモリカードスロットのキャップを閉じる(③)

重　要

- キャップを開けるとき、キャップに無理な力を加えると、キャップが破損するおそれがあります。

メモリカードを取り外す

メモリカードを取り外すときは、取り付けるときとは逆の手順で行ってください。

重　要

- キャップを開けるとき、キャップに無理な力を加えると、キャップが破損するおそれがあります。
- メモリカードを取り外すときは、メモリカードを指先で軽く押し込んでから手をはなすと、メモリカードが少し飛び出てきます。
- メモリカードを取り外すとき、メモリカードが本体から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

メモリカードの利用

メモリカードに保存したピクチャーやムービーなどのファイルを確認、編集できます。また、本体のデータフォルダやアドレス帳などのファイルをメモリカードに移動、コピーできます（4-9、10-11ページ）。

- ●電池残量が少ないとファイルの読み込みや書き込みができない場合があります。
- ●ファイルの読み込み中、書き込み中、または初期化中にメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外したりしないでください。ファイル消失もしくはメモリカードが故障する原因になります。
- ●ファイルによっては、各種処理に時間がかかる場合があります。
- ●メモリカード内のファイルは誤った使いかたをしたり、事故や故障によって変化・消失する場合があります。大切なファイルはバックアップを取っておかれることをおすすめします。
- ●パソコンなどからメモリカードに取り込んだファイルは、表示／再生できない場合があります。
- ●メモリカード内に保存されているファイルで33文字以上の名前のファイルは表示されません。
- ●メモリカード内のファイルやフォルダの名前を大文字・小文字を問わず全角文字の同名にすると、パソコンなどではそれらを正しく表示できない場合があります。
- ●メモリカードに新たにラベルやシールを貼らないでください。

メモリカードのファイル管理

メモリカードには、以下のフォルダがあります。

フォルダ名	説明
DCIM	デジタルカメラ（7-5ページ）で撮影した静止画が保存されます。
PRIVATE	
MYFOLDER	
Mail	本体の各メールボックスと同じ構成です（17-11ページ）。
My Items	データフォルダの各フォルダ(ピクチャー、マイ絵文字、ムービー、着うた・メロディ、ミュージック、テンプレート、Flash(R)、着信音Flash(R)、ブック、S!アプリ、その他ファイル)が保存されます(10-1ページ)。その他、ブックマークのバックアップも保存されます。
TS_Folder	引っ越し機能(14-31ページ)でバックアップした設定データ、画面デコ用ファイル、メディアプレイヤーからのみ参照できるファイルが保存されます。
Utility	
Calendar	スケジュールのバックアップが保存されます。
Contacts	アドレス帳のデータやバックアップが保存されます。
Memo	メモ帳のバックアップが保存されます。
Rights	コンテンツ・キーのバックアップが保存されます。
Tasks	予定リストのバックアップが保存されます。

- ●ファイルによっては、再生できない場合があります。

メモリカードをフォーマット（初期化）する

メモリカードを初期化すると、メモリカード内のファイルがすべて削除されます。

●他の機器でフォーマット（初期化）したメモリカードは、本機では正常に使用できない場合があります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ メモリ設定 ▶ メモリカードフォーマット

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→■

保存されているファイルを確認する

メモリカードのファイルを確認する

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 □■

2 フォルダを選択→■

3 ファイルを選択→■

メモリカードの使用率を確認する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ メモリ設定 ▶ メモリ容量確認

1 「メモリカード」→■

補　足

● 以下の操作でも使用状況を確認することができます。
メインメニュー→「**データフォルダ**」→□■→「**メモリ容量確認**」
✉を押して、本体とメモリカードのメモリ容量確認画面を切り替えることができます。

データフォルダについて

撮影した静止画や動画、外部機器から受信したファイル、インターネットからダウンロードしたファイルなどがデータフォルダに保存されます。保存したファイルは、壁紙や着信音パターンなどとして設定したり、メールに添付（17-7ページ）できます。

データフォルダには最大約1Gバイトまたは作成したフォルダも含めて最大約2,500件（S!アプリ、生活アプリを除く）まで保存できます。S!アプリと生活アプリは、合わせて最大約100件まで保存できます。

- 「**ピクチャー**」／「**マイ絵文字**」／「**着うた・メロディ**」／「**S!アプリ**」／「**ミュージック**」／「**ムービー**」／「**生活アプリ**」／「**ブック**」／「**テンプレート**」のフォルダからは、ソフトバンクのポータルサイトへ直接アクセスし、データをダウンロードできます。

データフォルダの構成について

データフォルダに保存できるファイルと、保存されるフォルダは以下のとおりです。

データフォルダ

フォルダ	保存されるファイル
ピクチャー	撮影した静止画などの画像（ピクチャー）ファイル／「**マイ絵文字**」フォルダ
デジタルカメラ※1	「**デジタルカメラ**」で撮影した静止画
着うた・メロディ	メロディなどのサウンド、ボイスレコーダーで録音した音声ファイル
S!アプリ	ダウンロードしたS!アプリ
ミュージック	ダウンロードした音楽ファイル、着うたフル®
ムービー	撮影した動画などのファイル
TV※2	デジタル TV の録画ファイル
生活アプリ※2	生活アプリ
ブック	ダウンロードした電子コミックなど
テンプレート	メールテンプレート
Flash(R)	Flash® 画像ファイル／「**着信音 Flash(R)**」フォルダ
メインメニュー※2	メインメニュー用画像ファイル
画面デコ	画面デコ用のアイコン／パーツ
ミニツール※2	ミニツール画像ファイル／「**ミニフォト**」フォルダ
その他ファイル	上記以外のファイル

※1 メモリカードのデータフォルダ内のみ表示されます。
※2 本体のデータフォルダ内のみ表示されます。

データフォルダに保存できるファイル

データフォルダには、フォルダ別に以下のファイルを保存できます。

フォルダ名	ファイル形式（拡張子）	参照先
ピクチャー※1	JPEG(.JPEG、.JPG、.JPE) GIF(.GIF) PNG(.PNG)	10-3ページ
マイ絵文字	GIF(.GIF) GPK(.GPK)	10-3ページ
デジタルカメラ※2	JPEG(.JPG)	9-2ページ
着うた・メロディ※1	AMR(.AMR) SMAF(.MMF) MPEG-4※4(.3GP、.MP4、.M4A)	10-4ページ
S!アプリ	Java(.JAD、.JAR、.RMS)	19-1ページ
ミュージック※1	MPEG-4(.3GP※5、.MP4※5、.M4A、.SMC)	10-5ページ
ムービー※1	MPEG-4※4(.3GP、.3G2、.MP4)	10-5ページ
TV※1※3	DTV(.DTV)	10-5ページ
生活アプリ※3	Java(.JAD、.JAR、.RMS)	23-3ページ
ブック※1	CCF(.CCF) XMDF(.ZBK、.ZBF、.ZBS)	10-6ページ
テンプレート	HTMLメールテンプレート(.HMT)	10-6ページ
Flash(R)※1	SWF（.SWF）	10-6ページ
着信音Flash(R)	着信音Flash®（.SWF）	10-6ページ
メインメニュー※1※3	メインメニュー用画像ファイル(.TMF)	10-7ページ
画面デコ※1	/ / 画面デコ用ファイル（.TSBI1、.TSBW1、.TSBT1）	10-7ページ
ミニツール※1※3	ミニツール画像ファイル(.TGF)	10-7ページ
ミニフォト※3	ミニツールアニメーションファイル(.TFF)	10-7ページ
その他ファイル※1	vCard(.VCF) vCalendar(.VCS、.ICS) vMessage(.VMG) EML(.EML) vBookmark(.VBM、.URL) vNote(.VNT) Text(.TXT) PDF(.PDF) Word(.DOC) Excel(.XLS) PowerPoint®(.PPT) 上記以外のファイル※6(上記以外の拡張子)	10-7、10-8ページ

※1　それぞれのフォルダ内にフォルダを作成できます。
※2　メモリカードのデータフォルダ内のみ表示されます。DCF規格に準拠しない静止画ファイルは表示できません。
※3　本体のデータフォルダ内のみ表示されます。
※4　ファイルによっては再生できない場合があります。
※5　着うた®ファイルのみ保存されます。
※6　本機では表示／再生できません。

重　要

- 本機に保存されているファイルは誤った使いかたをしたり、事故や故障によって変化・消失する場合があります。大切なファイルはバックアップを取っておかれることをおすすめします。
- コンテンツの使用権が必要なファイルは、ファイル名の左側に表示されるアイコンに「🔒」がついています。コンテンツ・キーを保持していない場合、Y!（メニュー）を押して「**コンテンツ・キー取得**」を選択し、コンテンツ・キーの取得を行ってください。

補　足

- 本機の修理やUSIMカードを交換した場合、本体やメモリカードに保存した着うた®やS!アプリ、動画などのファイルがご利用できなくなる可能性があります。
- 本機でファイル名を変更したり、または作成したファイル名に「～」、「ー」が含まれていると、パソコン、PDAなどで開けない場合があります。ファイル名を変更することにより、開くこともあります。
- DCF規格とはJEIDA（日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。デジタルカメラ画像をさまざまな機器で利用できることを目的としています。
- 赤外線通信、Bluetooth®通信で送信できるファイルやメモリカードに移動できるファイルは、プロパティの転送・メモリカード転送の可・不可に従います。ただし、「**マイ絵文字**」フォルダのファイルは、プロパティの転送が「**不可**」の場合も赤外線通信、Bluetooth®通信での送信が可能です。
- Flash®（フラッシュ）とは、画像や音を組み合わせた多彩なアニメーション技術です。

保存されているファイルの確認

各種ファイルを確認／再生する

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選択→●

2 ファイルを選択→●

ダウンロードサイトを選択した場合

「**ピクチャー**」／「**マイ絵文字**」／「**着うた・メロディ**」／「**S!アプリ**」／「**ミュージック**」／「**ムービー**」／「**生活アプリ**」／「**ブック**」／「**テンプレート**」フォルダの「**ダウンロード**」を選択した場合は、インターネット上のダウンロードサイトに接続します。

ピクチャーファイルを選択／表示した場合

Y!（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

送信：以下の項目が表示されます。

- **●メール送信**　：メールに添付して送信します（17-7ページ）。
- **●赤外線送信**　：赤外線通信で送信します（11-2ページ）。
- **●Bluetooth送信**：Bluetooth®通信で送信します（11-7ページ）。

各種設定へ：以下の項目が表示されます。

- **●壁紙**　：壁紙に設定します。
- **●着信イラスト**：着信画像に設定します。
- **●メールアニメ**：メール受信画像に設定します。

画像編集：表示または再生している画像を編集します（7-22ページ）。
位置情報：位置情報の参照や、地図表示などをします。
削除：以下の項目が表示されます。
- **●1件**：選択しているファイルを削除します（10-13ページ）。
- **●複数選択**：複数のファイルを選択して削除します（10-13ページ）。
- **●全件**：表示されているフォルダ内のすべてのファイルを削除します（10-13ページ）。

名称編集：選択しているファイルの名称を編集します（10-12ページ）。
コピー：以下の項目が表示されます。
- **●1件**：選択しているファイルをコピーします（10-14ページ）。
- **●複数選択**：複数のファイルを選択してコピーします（10-14ページ）。
- **●全件**：表示されているフォルダ内のすべてのファイルをコピーします（10-14ページ）。

移動：以下の項目が表示されます。
- **●1件**：選択しているファイルを移動します（10-13ページ）。
- **●複数選択**：複数のファイルを選択して移動します（10-13ページ）。
- **●全件**：表示されているフォルダ内のすべてのファイルを移動します（10-13ページ）。

表示切替：以下の項目が表示されます。
- **●表示形式**：表示方法を切り替えます（10-9ページ）。
- **●ソート**：選択した条件でファイルを並び替えます（10-15ページ）。
- **●スライドショー**：フォルダ内にあるすべてのファイルを切り替えて表示します（10-15ページ）。

フォルダ作成：フォルダを新規作成します（10-12ページ）。
コンテンツ・キー取得：コンテンツ・キーの取得を行います。
プロパティ表示：ファイル名、ファイル形式、画像サイズ、ファイルサイズ、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、作成日時、再生／表示の可・不可、デジタルカメラ保存可・不可、設定情報が表示されます。

メロディファイルを選択／再生した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
各種設定へ：以下の項目が表示されます。
- **●着信音**：音声着信／TVコール着信／メール受信／配信確認受信／着信お知らせ／サークルトーク着信／ホットステータス通知の着信音に設定します。
- **●効果音**：ウェイクアップ音、シャットダウン音、オープン音、クローズ音に設定します。

コントローラ表示／コントローラ非表示：再生画面に表示されるアイコンの表示切替を行います。
プロパティ表示：ファイル名、ファイル形式、タイトル、ファイルサイズ、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、作成日時、再生／表示の可・不可、設定情報が表示されます。
「**送信**」、「**削除**」、「**名称編集**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**ソート**」、「**フォルダ作成**」、「**コンテンツ・キー取得**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

音楽ファイルを選択／再生した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

各種設定へ：以下の項目が表示されます。

- **●音声着信**：音声着信時の着信音に設定します。
- **●TVコール着信**：TVコール着信時の着信音に設定します。
- **●メール受信**：メール受信時の着信音に設定します。
- **●配信確認受信**：配信確認受信時の着信音に設定します。
- **●着信お知らせ**：着信お知らせ（16-5ページ）の着信音に設定します。
- **●サークルトーク着信**：サークルトーク着信時の着信音に設定します。
- **●ホットステータス通知**：ホットステータス通知着信時の着信音に設定します。

プロパティ表示：ファイル名、ファイルサイズ、再生時間、ビットレート、サンプリングレート、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、ファイル形式、タイトル、アーティスト、アルバム、著作権情報、作成日時、説明、再生／表示の可・不可、設定情報が表示されます。

「**送信**」、「**削除**」、「**名称編集**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**ソート**」、「**フォルダ作成**」、「**コンテンツ・キー取得**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

ムービーファイルを選択／再生した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

各種設定へ：以下の項目が表示されます。

- **●音声着信**：音声着信時の着信音に設定します。
- **●TVコール着信**：TVコール着信時の着信音に設定します。
- **●メール受信**：メール受信時の着信音に設定します。
- **●配信確認受信**：配信確認受信時の着信音に設定します。

表示切替：以下の項目が表示されます。

- **●表示形式**：表示方法を切り替えます（10-9ページ）。
- **●ソート**：選択した条件でファイルを並び替えます（10-15ページ）。

プロパティ表示：ファイル名、ファイルサイズ、再生時間、ビットレート、サンプリングレート、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、ファイル形式、タイトル、作者、著作権情報、作成日時、説明、再生／表示の可・不可、設定情報が表示されます。

「**送信**」、「**削除**」、「**名称編集**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**フォルダ作成**」、「**コンテンツ・キー取得**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

デジタルTVの録画ファイルを選択した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

表示切替：以下の項目が表示されます。

- **●表示形式**：表示方法を切り替えます（10-9ページ）。
- **●ソート**：選択した条件でファイルを並び替えます（10-15ページ）。

プロパティ表示：ファイル名、ファイルサイズ、再生時間、タイトル、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、ファイル形式、作成日時、再生／表示の可・不可が表示されます。

「**削除**」、「**名称編集**」、「**移動**」、「**フォルダ作成**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

ブックファイルを選択／表示した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

表示切替：以下の項目が表示されます。
- **●表示形式**：表示方法を切り替えます（10-9ページ）。
- **●ソート**：選択した条件でファイルを並び替えます（10-15ページ）。

ウェブリンク：指定されたサイトへ接続します。

プロパティ表示：ファイル名、ファイル形式、タイトル、ファイルサイズ、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、作者、権利者※、発売元※、出版元※、話数、作成日時、再生／表示の可･不可、説明、提供元が表示されます。

※ブックファイルの種類によっては表示されません。

「**送信**」、「**削除**」、「**名称編集**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**フォルダ作成**」、「**コンテンツ・キー取得**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

テンプレートを選択／表示した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

メール作成：選択したテンプレートを使用してメールを作成します。

プロパティ表示：ファイル名、ファイル形式、タイトル、ファイルサイズ、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、作成日時、再生／表示の可・不可が表示されます。

「**送信**」、「**削除**」、「**名称編集**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**ソート**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

Flash®画像ファイルを選択／表示した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

壁紙設定※1：壁紙に設定します。

各種設定へ※2：以下の項目が表示されます。
- **●音声着信**：音声着信時の着信音に設定します。
- **●TVコール着信**：TVコール着信時の着信音に設定します。
- **●メール受信**：メール受信時の着信音に設定します。
- **●配信確認受信**：配信確認受信時の着信音に設定します。

プロパティ表示：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、作成日時、再生／表示の可・不可、設定情報が表示されます。

「**送信**」、「**削除**」、「**名称編集**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**ソート**」、「**フォルダ作成**」※3、「**コンテンツ・キー取得**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

※１「**着信音Flash(R)**」フォルダのファイルを選択／表示した場合は表示されません。

※２「**着信音Flash(R)**」フォルダのファイルを選択／表示した場合に表示されます。

※３「**Flash(R)**」フォルダ内のみフォルダを新規作成できます。

メインメニュー用／ミニツール画像ファイルを選択／表示した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

メインメニューへ設定※1：メインメニューに設定します。
ミニツールへ設定※2：ミニツールに設定します。
表示切替：以下の項目が表示されます。
- **●表示形式**：表示方法を切り替えます（10-9ページ）。
- **●ソート**：選択した条件でファイルを並び替えます（10-15ページ）。

プロパティ表示：ファイル名、ファイル形式、タイトル、ファイルサイズ、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、作成日時、再生／表示の可・不可、設定情報が表示されます。

※1 メインメニュー用画像ファイルのみ表示されます。
※2 ミニツール画像ファイルのみ表示されます。

「**削除**」、「**名称編集**」、「**移動**」、「**フォルダ作成**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

画面デコ用ファイルを選択／表示した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

画面デコ設定：画面のアイコン／パーツを設定します（12-6ページ）。
プロパティ表示：ファイル名、ファイル形式、画像サイズ、ファイルサイズ、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、作成日時、再生／表示の可・不可が表示されます。

「**送信**」、「**削除**」、「**名称編集**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**ソート**」、「**フォルダ作成**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

vファイルを選択／表示した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

アドレス帳へ／カレンダー／予定へ／メモ帳へ／メールへ／ブックマークへ：表示したvファイルをスケジュールやアドレス帳などに登録します（10-11ページ）。
プロパティ表示：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、作成日時、再生／表示の可・不可が表示されます。

「**送信**」、「**削除**」、「**名称編集**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**ソート**」、「**フォルダ作成**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

テキストファイルを選択／表示した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

文字コード変換：文字コード種別を変更できます。
プロパティ表示：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、作成日時、再生／表示の可・不可が表示されます。

「**送信**」、「**削除**」、「**名称編集**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**ソート**」、「**フォルダ作成**」、「**コンテンツ・キー取得**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

補　足
- ファイルサイズやテキストの行数によっては、再生できない場合があります。

ドキュメントファイルを選択した場合

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

ソート：選択した条件でファイルを並び替えます（10-15ページ）。

プロパティ表示：ファイル名、ファイル形式、ファイルサイズ、保存・転送・メモリカード転送の可・不可、作成日時、再生／表示の可・不可が表示されます。

「**送信**」、「**削除**」、「**名称編集**」、「**コピー**」、「**移動**」、「**フォルダ作成**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（10-3ページ）を参照してください。

PC ドキュメントを表示する

PCドキュメントとは、パソコンで作成した文書やPDFファイルのことです。本機では、Microsoft® OfficeのWord、Excel、PowerPoint® ドキュメントファイルや、PDFドキュメントファイルを表示することができます。

ドキュメントファイルを表示する

●表示できるファイル形式（拡張子）は、Microsoft® Word (.doc)、Microsoft® Excel (.xls)、Microsoft® PowerPoint® (.ppt)、PDF（.pdf）です。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 **「その他ファイル」→[■] →ドキュメントファイルを選択→[■]**

Word、Excel、PowerPoint®、PDFファイル表示中の操作について

機能	操作（Word、Excel、PowerPoint®ファイル）	操作（PDFファイル）
上下左右に画面スクロール	[◎]を押す	[◎]を押す
ページ拡大	[■]を押す	[■]を押す
ページ縮小	[✉]を押す	[✉]を押す
等倍表示※	[1]を押す	[1]を押す
ページ全体表示	—	[2]を押す
右に90度ずつ回転	[3]を押す	[3]を押す
前ページ／シート／スライドへ移動	[4]を押す	[4]を押す
しおり一覧を表示	—	[5]を押す
次ページ／シート／スライドへ移動	[6]を押す	[6]を押す
最初のページ／シート／スライドへ移動	[7]を押す	[7]を押す
検索	[8]を押す	[8]を押す
最終のページ／シート／スライドへ移動	[9]を押す	[9]を押す
指定したページ／シート／スライドへ移動	[0]を押す	[0]を押す

※縮小／拡大表示時のみ有効

重　要

- ドキュメントファイルの内容によってはパソコンなどで表示した内容と異なる場合があります。
- ドキュメントファイルによっては表示に時間がかかることがあります。

補　足

- ドキュメントファイルを表示中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(選択しているファイルによっては表示されない項目があります)。
「**移動**」/「**表示**」/「**回転**」/「**検索**」/「**キーガイド表示**」/「**バージョン情報**」/「**スライドショー**」/「**しおり一覧**」/「**レイアウト設定**」/「**ファイル情報**」

データフォルダの表示方法を切り替える

「**ピクチャー**」、「**マイ絵文字**」、「**デジタルカメラ**」、「**ムービー**」、「**TV**」、「**ブック**」、「**メインメニュー**」、「**ミニツール**」、「**ミニフォト**」フォルダ内のファイル一覧画面をリスト表示とサムネイル表示に切り替えることができます。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 「ピクチャー」/「マイ絵文字」/「デジタルカメラ」/「ムービー」/「TV」/「ブック」/「メインメニュー」/「ミニツール」/「ミニフォト」→[●]→[Y!](メニュー)

2 「表示切替」→[●]→「表示形式」→[●]→表示方法を選択→[●]

メモリの使用率を確認する

データフォルダで使用しているメモリの使用率を確認できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ メモリ設定 ▶ メモリ容量確認

1 「データフォルダ」→[●]

●[Y!](件数)を押すと、登録件数を確認することができます。

補　足

- 以下の操作でも使用状況を確認することができます。[✉]を押して、本体とメモリカードのメモリ容量確認画面を切り替えることができます。
メインメニュー→「**データフォルダ**」→「**メモリ容量確認**」

プロパティを確認する

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選択→[●]

2 ファイルを選択→[Y!](メニュー)→「プロパティ表示」→[●]

ピクチャーファイルの利用

データフォルダ内のピクチャーファイルを壁紙、着信画像、TVコール、アドレス帳（顔写真）などに利用できます。

1 各機能からデータフォルダを参照

- 壁紙の設定については12-5ページを参照してください。
- 着信画像の設定については12-6ページを参照してください。
- TVコールの設定については5-4ページを参照してください。
- アドレス帳の顔写真の設定については4-2ページを参照してください。

2 「ピクチャー」→■→ファイルを選択→■

3 ✥で画像の位置を調節→Y!(切取り)→■

- 画像サイズの調節については7-22ページを参照してください。

重　要

- アニメーションのGIFファイルを選択した場合は、一番始めの画像(静止画)だけ表示されます。

補　足

- 機能によっては、画像サイズの調節ができない場合があります。画像サイズの調節ができない場合、アニメーションのGIFファイルはアニメーション表示されます。

メロディ・音楽ファイル／ムービー／Flash® の利用

データフォルダ内のメロディファイル、音楽ファイル、ムービーファイルを着信音や着信画像、アラームなどに利用できます。また、「**Flash(R)**」フォルダ内のFlash®を壁紙に設定したり、「**メインメニュー**」フォルダ内のファイルをメインメニューの画像に設定したりできます。

1 各機能からデータフォルダを選択

- メインメニュー画像の設定については1-19ページを参照してください。
- 音の設定については12-3ページを参照してください。
- 壁紙の設定については12-5ページを参照してください。
- スケジュールアラーム音の設定については14-14ページを参照してください。
- アラーム音の設定については14-6ページを参照してください。
- アドレス帳ごとの着信音の設定については4-3ページを参照してください。

2 「着うた・メロディ」／「ミュージック」／「ムービー」／「Flash(R)」／「着信音Flash(R)」／「メインメニュー」→■→ファイルを選択→■(2回)

データ管理

10

vファイルの利用

vファイルについて

vファイルは、本機のアドレス帳やカレンダーのスケジュール、予定リストなどを他のvファイル対応ソフトバンク携帯電話やパソコンなどとやりとりし、相互で利用できるようにしたファイルタイプの総称です。メールに添付（17-7ページ）したり、赤外線通信（11-2ページ）、Bluetooth®通信（11-7ページ）を利用して送受信できます。また、メモリカードを利用して、vファイルのやりとりができます。

- ●パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応するソフトウェアが必要となります。
- ●vファイルの内容によっては、やりとりがうまくいかない場合があります。
- ●vファイル内の文字数が多い場合は、一部のデータをやりとりできない場合があります。
- ●エクスポートまたはインポートするソフトによっては、vファイル内の文字が正しく表示されない場合があります。

vファイルを保存する

1 アドレス帳(4章)／カレンダー(14-10ページ)／予定リスト(14-19ページ)／メール(17-11ページ)／ブックマーク(18-5ページ)／メモ帳(14-8ページ)を表示

■1件保存する

保存するファイルを選択→[Y!]（メニュー）→「エクスポート」→[●]→「1件」→[●]

■複数のvファイルを保存する

[Y!]（メニュー）→「エクスポート」→[●]→「複数選択」→[●]→保存するファイルを選択→[●]→[✉]（保存）／[✉]（実行）

■全件保存する

[Y!]（メニュー）→「エクスポート」→[●]→「全件」→[●]

2 「本体」／「データフォルダ」／「メモリカード」→[●]→フォルダを選択→[●]

vファイルを各機能に取り込む

メインメニュー ▶ データフォルダ ▶ その他ファイル

■1件取り込む

vファイルを選択→[Y!]（メニュー）→「アドレス帳へ」／「カレンダー／予定へ」／「メールへ」／「ブックマークへ」／「メモ帳へ」→[●]→「1件」→[●]

■複数のvファイルを取り込む

vファイルを選択→[Y!]（メニュー）→「アドレス帳へ」／「カレンダー／予定へ」／「メールへ」／「ブックマークへ」／「メモ帳へ」→[●]→「複数選択」→[●]→vファイルを選択→[●]→[✉]（登録）

フォルダ／ファイルの編集

- 1つのフォルダに同名のフォルダは作成できません。
- 以下の半角記号や絵文字、改行アイコン「↵」は、フォルダ名に使用できません。「\/¥：；?"<>|.¥」

新しいフォルダを作成する

「**ピクチャー**」、「**着うた・メロディ**」、「**ミュージック**」、「**ムービー**」、「**TV**」、「**ブック**」、「**Flash(R)**」、「**メインメニュー**」、「**画面デコ**」、「**ミニツール**」、「**その他ファイル**」内に新しいフォルダを作成できます。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 各フォルダを選択→■

2 ファイルを選択→Y!(メニュー)→「フォルダ作成」→■

3 フォルダ名を入力→■

補　足

- 各フォルダのダウンロード項目、またはフォルダを選択中にY!(メニュー)を押して、「**フォルダ作成**」を選択してもフォルダを作成できます。

フォルダ／ファイル名を変更する

メインメニュー ▶ データフォルダ

■**フォルダ名を変更する**

作成したフォルダを選択→Y!（メニュー）→「フォルダ名編集」→■→フォルダ名を入力→■

- フォルダにセキュリティ（10-15ページ）が設定されている場合は、「**フォルダ名編集**」を選択したあと、操作用暗証番号（1-22ページ）の入力画面が表示されます。

■**ファイル名を変更する**

ファイルを選択→Y!（メニュー）→「名称編集」→■→ファイル名を入力→■

フォルダ／ファイルを削除する

フォルダを削除する

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 作成したフォルダを選択→Y!(メニュー)→「フォルダ削除」→■

2 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→■

ファイルを削除する

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選択→■

■1件削除する
ファイルを選択→Y!（メニュー）→「削除」→■→「1件」→■→「YES」→■

■複数選択して削除する
Y!（メニュー）→「削除」→■→「複数選択」→■→ファイルを選択→■→✉（削除）→「YES」→■

■全件削除する
Y!（メニュー）→「削除」→■→「全件」→■→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→■

補　足

- 各種機能で設定されているピクチャーファイルやメロディファイルなどを削除しようとすると、確認画面が表示されます。削除した場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。

フォルダを移動する

作成したフォルダを本体またはメモリカードに移動します。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 作成したフォルダを選択→Y!（メニュー）→「フォルダ移動」→■

2 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

補　足

- 各種機能で設定されているピクチャーファイルやメロディファイルなどを含んだフォルダを移動しようとすると、確認画面が表示されます。移動した場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。
- ファイル名が33文字以上のファイルは移動できません。ファイル名を変更するか、移動するファイルから除外してフォルダ移動を行ってください。

ファイルを移動する

本体またはメモリカードに保存されているファイルを別のフォルダに移動します。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選択→■

■1件移動する
ファイルを選択→Y!（メニュー）→「移動」→■→「1件」→■

■複数選択して移動する
Y!（メニュー）→「移動」→■→「複数選択」→■→ファイルを選択→■→✉（移動）

■全件移動する
Y!（メニュー）→「移動」→■→「全件」→■→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

2 「本体」／「メモリカード」→■

3 移動先のフォルダを選択→■

■新規にフォルダを作成して移動する
✉（新規）→フォルダ名を入力→■

重　要

- プロパティで転送およびメモリカード転送が「**不可**」となっているファイルは、移動元のデータフォルダ以外のフォルダに移動できません。
- デジタルカメラモードで撮影した静止画ファイルをメモリカードに移動する場合や、MPEG-4形式の音楽ファイル(.3GP、.MP4、.M4A)を移動する場合は、固有フォルダを選択してから移動先フォルダを選択します。

補　足

- 各種機能で設定されているピクチャーファイルやメロディファイルなどを移動しようとすると、確認画面が表示されます。移動した場合は、お買い上げ時の設定に戻ります。

フォルダをコピーする

作成したフォルダを本体またはメモリカードにコピーします。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 **作成したフォルダを選択→[Y!](メニュー)→「フォルダコピー」→[■]**

2 **操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「本体」/「メモリカード」→[■]**

3 **コピー先のフォルダを選択→[■]**

- コピー先に選択できるフォルダは、「**着うた・メロディ**」または「**ミュージック**」フォルダのみです。

補　足

- ファイル名が33文字以上のファイルはコピーできません。ファイル名を変更するか、コピーするファイルから除外してフォルダコピーを行ってください。

ファイルをコピーする

本体またはメモリカードに保存されているファイルを別のフォルダにコピーできます。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 **フォルダを選択→[■]**

■1件コピーする

ファイルを選択→[Y!]（メニュー）→「コピー」→[■]→「1件」→[■]

■複数選択してコピーする

[Y!]（メニュー）→「コピー」→[■]→「複数選択」→[■]→ファイルを選択→[■]→[✉]（コピー）

■全件コピーする

[Y!]（メニュー）→「コピー」→[■]→「全件」→[■]→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

2 **「本体」/「メモリカード」→[■]**

3 **コピー先のフォルダを選択→[■]**

■新規にフォルダを作成してコピーする

[✉]（新規）→フォルダ名を入力→[■]

重　要

- プロパティで転送が「**不可**」となっているファイルはコピーできません。ただし、「**マイ絵文字**」フォルダのファイルは、プロパティの転送が「**不可**」の場合もコピーが可能な場合があります。
- デジタルカメラモードで撮影した静止画ファイルをメモリカードにコピーする場合や、MPEG-4形式のファイル(.3GP、.MP4)をコピーする場合は、固有フォルダを選択してからコピー先フォルダを選択します。

フォルダにセキュリティを設定する

フォルダにセキュリティを設定すると、フォルダを選択したときに、操作用暗証番号（1-22ページ）の入力画面が表示されます。

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 作成したフォルダを選択→[Y!](メニュー)→「セキュリティロック」→[■]

2 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

3 「ON」／「OFF」→[■]

その他の編集機能

スライドショーを再生する

ピクチャーファイルを約2秒ごとに切り替えて表示します。

メインメニュー ▶ データフォルダ ▶ ピクチャー

1 ファイルを選択→[Y!](メニュー)→「表示切替」→[■]

2 「スライドショー」→[■]

ファイルを並び替える

メインメニュー ▶ データフォルダ

1 フォルダを選択→[■]

2 ファイルを選択→[Y!](メニュー)→「表示切替」→[■]→「ソート」→[■]

3 並び替える条件を選択→[■]

●メモリカード内のファイルはタイトル名での並び替えはできません。

赤外線通信について

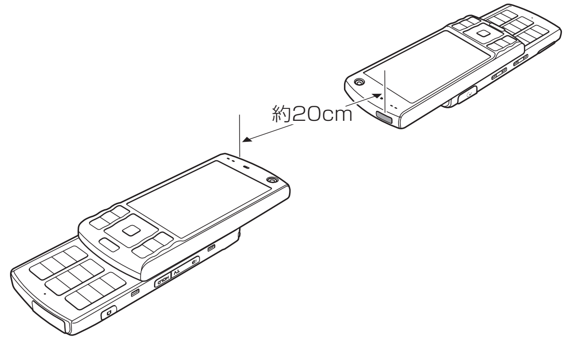
赤外線通信を利用してアドレス帳やスケジュール、撮影した静止画などを赤外線通信対応機や赤外線通信対応のパソコンなどと、送受信できます。

補足

- 本機の赤外線通信は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機器の仕様などにより、送受信できない場合があります。

赤外線通信利用時のご注意

- 赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
- ファイルの送受信が完了するまで、赤外線ポートを向き合わせたまま動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 赤外線通信を利用してファイルの送受信を行っているときに音声／TVコールの着信があった場合は、固定着信画像が表示され、固定メロディ着信音が鳴動します。着信に応答するとファイルの送受信は中止します。
- 赤外線通信を利用中は、Bluetooth®通信や充電機能以外のUSBの機能は利用できません。
- 本機と赤外線通信対応機などを約20cm以内に近づけ、両方の赤外線ポートがまっすぐ向き合うようにしてください。また、間に物を置かないようにしてください。
- ファイル送受信中は、IPサービス設定（13-6ページ）を「**ON**」にしていても、ホットステータスやサークルトークを利用できません。



赤外線通信の利用

赤外線通信を利用して、ファイルを送受信したり、ダイヤルアップ接続ができます。赤外線通信中は、画面上に「」が表示されます。

認証パスワードについて

認証パスワードは赤外線通信で全件送受信を行うための専用パスワード（任意の4桁）です。
全件送受信を行うときは、送信側／受信側とも同じ認証パスワードを入力する必要があります。

赤外線通信を設定する

赤外線通信対応機器から赤外線通信接続できるように設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ 赤外線通信 ▶ ON／OFF

1 「ON」→■

●赤外線通信接続待機状態を解除する場合は「**OFF**」を選択します。

重　要

- オフラインモード(2-11ページ)が「**ON**」のときは、赤外線通信を行うことはできません。
- 赤外線通信の設定を「**ON**」にしてから約3分間通信を行わなかった場合は、自動的に赤外線通信接続待機状態が解除されます。

ファイルを1件送信する

1 赤外線通信が利用できる機能を呼び出す

2 ファイルを選択→Y!(メニュー)→「送信」→■

●アドレス帳から呼び出した場合は「**外部送信**」、カレンダーから呼び出した場合は「**スケジュール送信**」、予定リストから呼び出した場合は「**予定リスト送信**」を選択します。

3 「赤外線送信」→■

重　要

- データフォルダに保存されている転送不可設定ファイルやお気に入りのファイルは送信できません。
- メモリカードのファイルを送信しているときに、メモリカードを抜くと、ファイルの消失やメモリカードの破損の原因となります。

補　足

- 受信先の機器によっては、vファイルの一部の情報が削除／変更される場合があります。

ファイルを受信する

赤外線通信の設定（左記）を「**ON**」にしている場合に、ファイルを受信できます。

1 待受画面で接続要求を受ける

2 「YES」→■

●ファイルの受信を拒否する場合は、「**NO**」を選択します。
●アドレス帳、スケジュール、予定リスト、メモ帳のファイルを受信した場合は、「**YES**」を選択すると、アドレス帳、スケジュール、予定リスト、メモ帳に登録されます。

3 「本体」／「メモリカード」→■

補　足

- vファイルによっては、一部の情報が受信できない場合があります。
- ファイル送受信中は、IPサービス設定（13-6ページ）を「**ON**」にしていても、ホットステータスやサークルトークを利用できません。
- vファイル以外のファイルを受信した場合は、ファイル形式（拡張子）によって登録されるフォルダが異なります（10-2ページ）。また、データフォルダに登録されているファイルと同じ名前のファイルを受信した場合は、受信したファイル名が変更される場合があります。

アドレス帳／カレンダー・予定リストを全件送信する

赤外線通信対応の携帯電話に、本体のアドレス帳やカレンダーのスケジュール･予定リストを全件送信できます。認証パスワードは送信側／受信側で任意の同じパスワードを入力してください。

●受信する機器によっては、受信できない場合や受信しても正しく表示できない場合があります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ 赤外線通信 ▶ 全件データ送信

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

2 「アドレス帳」／「カレンダー／予定」→■

●アドレス帳を送信する場合は、アドレス帳に登録している画像も含めて送信するかどうかの確認画面が表示されます。「**画像を含めない**」を選択すると、登録画像を含めずに送信できます。

●スケジュール／予定リストを送信する場合は、過去のスケジュールも含めて送信するかどうかの確認画面が表示されます。「**過去を含めない**」を選択すると、本機の現在時刻より以前のスケジュールを含めずに送信できます。

3 認証パスワード（11-1ページ）を入力

アドレス帳／カレンダー・予定リストを全件受信する

赤外線通信対応の携帯電話から、アドレス帳やカレンダーのスケジュール・予定リストを全件受信できます。認証パスワードは送信側／受信側で任意の同じパスワードを入力してください。

赤外線通信の設定(11-2ページ)を「**ON**」にしている場合に、ファイルを受信できます。

1 待受画面で接続要求を受ける

2 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

3 認証パスワード（11-1ページ）を入力

4 「追加登録」→■

■全件削除して登録する

「全て削除して登録」→■→「YES」→■

補　足

- ファイル送受信中は、IPサービス設定（13-6ページ）を「**ON**」にしていても、ホットステータスやサークルトークを利用できません。

ダイヤルアップ接続をする

赤外線通信対応のパソコンなどと赤外線通信を行い、本機を経由してインターネットにアクセスできます。パソコンなどのモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になるパソコンなどの取扱説明書をご覧ください。
赤外線通信の設定(11-2ページ)を「**ON**」にしている場合に、ダイヤルアップ接続ができます。

1 待受画面で接続要求を受ける

重 要

- 発信した相手から応答がない場合は、同じ相手には約3分以内に3回までしか発信されません。
- HSDPA(High Speed Downlink Packet Access)対応のエリア内では、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps の高速通信を行うことができます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

Bluetooth® について

Bluetooth®通信を利用してBluetooth®対応機器（オプション品）やBluetooth®を搭載したパソコンと、アドレス帳やスケジュール、データフォルダのファイルを送受信したり、またハンズフリー対応機器を利用できます。

- Bluetooth®ステレオヘッドセット（オプション品）を使用して音楽ファイルをワイヤレスで再生できます（8-4ページ）。

Bluetooth® 通信をご利用になる前に

Bluetooth®通信の取り扱いについて

- ワイヤレスLANやBluetooth®対応機器が使用する2.4GHz帯はさまざまな機器が共有して使用する電波帯です。そのためBluetooth®対応機器は同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 通信速度や通信距離は、通信機器間の距離や障害物、電波状況、Bluetooth®対応機器により異なります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth® 標準規格 Ver.1.2 準拠
出力	Bluetooth® 標準規格 Power Class2
見通し通信距離※1	約 10 m以内
対応プロファイル※2	HFP(Hands-Free Profile) HSP(Headset Profile) DUN(Dialup Networking Profile) OPP(Object Push Profile) FTP(File Transfer Profile)※3 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP（Audio/Visual Remote Control Profile)
使用周波数帯	2.4GHz(2.402GHz～2.480GHz)

※1　通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
※2　Bluetooth®対応機器間の通信目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3　サーバー機能のみサポートされています。

周波数について

本機のBluetooth®機能は､2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を利用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

●本機のBluetooth®機能の使用周波数は2.4GHzです。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局､アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1．万一、本機と｢他の無線局｣との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止(電波の発射を停止)してください。
2．不明な点、その他お困りのことが起きたときは**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。

2.4FH1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

Bluetooth®通信利用時のご注意

●本機はすべてのBluetooth®対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth®対応機器との動作を保証するものではありません。
●無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®によるデータ通信を行う際はご注意ください。
●Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●Bluetooth®通信を利用してファイルの送受信を行っているときに音声／TVコールの着信があった場合は、固定着信画像が表示され、固定メロディ着信音が鳴動します。着信に応答するとファイルの送受信は中止します。
●Bluetooth®通信を利用中は、赤外線通信や充電機能以外のUSBの機能は利用できません。
●ファイル送受信中は､IPサービス設定（13-6ページ）を「**ON**」にしていても、ホットステータスやサークルトークを利用できません。

Bluetooth® 通信の利用

Bluetooth®通信を利用して、ファイルを送受信したり、ダイヤルアップ接続ができます。

Bluetoothパスキー（認証用）について

Bluetoothパスキー（認証用）はBluetooth®対応機器どうしを接続するための専用コード（任意の4～16桁）です。機器登録を行うときは、送信側／受信側とも同じ認証用のBluetoothパスキーを入力する必要があります。

●Bluetoothパスキー（認証用）は、登録する機器ごとに異なる番号を設定できます。

Bluetooth® を設定する

Bluetooth®対応機器からBluetooth®接続できるように設定できます。また、Bluetooth®接続待機状態になると、画面上に「🔵」が表示されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ ON/OFF

1 「ON」→■

●Bluetooth®接続待機状態を解除する場合は「**OFF**」を選択します。

重　要

● オフラインモード(2-11ページ)が「**ON**」のときは、Bluetooth®通信を行うことはできません。

Bluetooth® 対応機器を検索して登録する

接続したいBluetooth®対応機器が登録済デバイスリストに登録されていない場合は、Bluetooth®対応機器を検索して登録できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth

1 「デバイス検索」→■

本機の検索に応答した機器の機器種別アイコンと機器名称が表示されます。

●機器種別アイコンは以下のとおりです。

- ：パソコン
- ：携帯電話
- ：LAN
- ：ヘッドセット
- ：ハンズフリー
- ：オーディオ機器
- ：周辺機器
- ：プリンタ
- ：その他

2 機器を選択→■→Bluetoothパスキー(認証用)を入力→■→「YES」／「NO」→■

Bluetooth®対応機器と接続されると、登録済デバイスリストに登録されます。

●本機とBluetooth®対応機器で同じ認証用のBluetoothパスキー（任意の4～16桁）を入力してください。

重　要

● 同じ認証用のBluetoothパスキー(任意の4～16桁)の入力はセキュリティ確保のため、約30秒以内に入力してください。

補　足

- 1回で検索できる機器は、最大8件です。
- 機器名称が取得できない場合は、機器のデバイスアドレスが表示されます。
- 登録済デバイスリストに登録できるBluetooth®対応機器は、最大20件です。21件目を登録すると、一番古いデバイス（信頼デバイスを除く）が削除されます。

信頼デバイスを設定する

登録したBluetooth®対応機器を信頼デバイスに設定すると、その機器から接続要求があった場合は、接続確認を行わずに接続できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 登録済デバイス

1 **機器を選択→[Y!]（メニュー）**

2 **「信頼設定」→[●]→「ON」→[●]**

ファイルを送受信する

ファイルを1件送信する

1 **Bluetooth®通信が利用できる機能を呼び出す→ファイルを選択→[Y!]（メニュー）→「送信」→[●]**

●アドレス帳から呼び出した場合は「**外部送信**」、カレンダーから呼び出した場合は「**スケジュール送信**」、予定リストから呼び出した場合は「**予定リスト送信**」を選択します。

2 **「Bluetooth送信」→[●]**

3 **送信先の機器を選択→[●]**

●送信先の機器が登録されていない場合は、[✉]（検索）を押したあと、送信先の機器を選択します。

重　要

- データフォルダに保存されている転送不可設定ファイルやお気に入りのファイルは送信できません。
- メモリカードのファイルを送信しているときに、メモリカードを抜くと、ファイルの消失やメモリカードの破損の原因となります。

補　足

- 受信側の機器の設定によっては、送信先の機器を選択して[●]を押したあと、同じ認証用のBluetoothパスキー（任意の4〜16桁）の入力画面が表示される場合があります。
- 受信側の機器によっては、vファイルの一部の情報が削除／変更される場合があります。

ファイルを受信する

Bluetooth®の設定（11-6ページ）を「**ON**」にしている場合に、ファイルを受信できます。

1 待受画面で接続要求を受ける→「YES」→■

●送信側に本機のデバイス情報が登録されていない場合は、同じ認証用のBluetoothパスキー（任意の4～16桁）の入力画面が表示されます。本機とBluetooth®対応機器で同じ認証用のBluetoothパスキー（任意の4～16桁）を入力してください。

2 「YES」→■

●ファイルの受信を拒否する場合は、「**NO**」を選択します。
●アドレス帳、スケジュール、予定リスト、メモ帳のファイルを受信した場合は、「**YES**」を選択すると、アドレス帳、スケジュール、予定リスト、メモ帳に登録されます。

3 「本体」／「メモリカード」→■

●ファイルを複数件受信する場合は、操作2、3を繰り返します。

重　要

- 待受画面以外を表示中は、ファイルを受信することはできません。

補　足

- ファイルを受信する場合は、接続要求を受ける前に待受画面にしてから操作を行ってください。
- vファイルによっては、一部の情報が受信できない場合があります。
- ファイル送受信中は、IPサービス設定（13-6ページ）を「**ON**」にしていても、ホットステータスやサークルトークを利用できません。

補　足

- vファイル以外のファイルを受信した場合は、ファイル形式（拡張子）によって登録されるフォルダが異なります（10-2ページ）。また、データフォルダに登録されているファイルと同じ名前のファイルを受信した場合は、受信したファイル名が変更される場合があります。

アドレス帳／カレンダー・予定リストを全件送信する

Bluetooth®対応の携帯電話に、本体のアドレス帳やカレンダーのスケジュール・予定リストを全件送信できます。
●受信する機器によっては、受信できない場合や受信しても正しく表示できない場合があります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 全件データ送信

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

2 「アドレス帳」／「カレンダー／予定」→■

●アドレス帳を送信する場合は、アドレス帳に登録している画像も含めて送信するかどうかの確認画面が表示されます。「**画像を含めない**」を選択すると、登録画像を含めずに送信できます。
●スケジュール／予定リストを送信する場合は、過去のスケジュールも含めて送信するかどうかの確認画面が表示されます。「**過去を含めない**」を選択すると、本機の現在時刻より以前のスケジュールを含めずに送信できます。

3 送信先の機器を選択→■

●送信先の機器が登録されていない場合は、✉（検索）を押したあと、送信先の機器を選択します。
●本機とBluetooth®対応機器で同じ認証用のBluetoothパスキー (任意の4～16桁)を入力してください。

アドレス帳／カレンダー・予定リストを全件受信する

Bluetooth®対応の携帯電話から、アドレス帳やカレンダーのスケジュール・予定リストを全件受信できます。
Bluetooth®の設定（11-6ページ）を「**ON**」にしている場合に、ファイルを受信できます。

1 待受画面で接続要求を受ける→「YES」→■

●送信側に本機のデバイス情報が登録されていない場合は、同じ認証用のBluetoothパスキー（任意の4～16桁）の入力画面が表示されます。本機とBluetooth®対応機器で同じ認証用のBluetoothパスキー（任意の4～16桁）を入力してください。

2 「追加登録」→■

■全件削除して登録する
「全て削除して登録」→■→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→■

重　要
- 待受画面以外を表示中は、ファイルを受信することはできません。

補　足
- ファイル送受信中は、IPサービス設定（13-6ページ）を「**ON**」にしていても、ホットステータスやサークルトークを利用できません。

外部機器と接続する

ハンズフリー対応機器と接続する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 登録済デバイス

1 ハンズフリー対応機器を選択→Y!（メニュー）

●ハンズフリー対応機器が登録されていない場合は、✉（検索）を押したあと、ハンズフリー対応機器を選択し、登録済デバイスリストへ登録してください（11-6ページ）。

2 「接続」→■

補　足
- ハンズフリー対応機器の設定によっては、操作2のあと、同じ認証用のBluetoothパスキー（任意の4～16桁）の入力画面が表示される場合があります。
- ハンズフリー対応機器と接続中に着信があった場合、ハンズフリー側ではハンズフリー機器が独自で持っている着信音が鳴動し、本体側では本体で設定した着信音が鳴動します。

ハンズフリー対応機器との接続を解除する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 登録済デバイス

1 ハンズフリー対応機器を選択→[Y!](メニュー)

2 「切断」→[■]

Bluetooth®通信を使ってダイヤルアップ接続をする

Bluetooth®対応機器とBluetooth®通信を行い、本機を経由してインターネットにアクセスできます。Bluetooth®対応機器のモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

1 待受画面で接続要求を受ける→「YES」→[■]→Bluetoothパスキー(認証用)を入力→[■]

●本機とBluetooth®対応機器で同じ認証用のBluetoothパスキー（任意の4～16桁）を入力すると接続されます。

重　要

- 発信した相手から応答がない場合は、同じ相手には約3分以内に3回までしか発信されません。
- HSDPA(High Speed Downlink Packet Access)対応のエリア内では、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps の高速通信を行うことができます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

Bluetooth® の設定

登録している機器のプロパティを確認する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 登録済デバイス

1 機器を選択→[■]

重　要

- 相手側の機器からの接続によりBluetoothパスキーを入力して登録済デバイスリストへ登録した場合、デバイス情報の一部が表示されません。

登録している機器名称を編集する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 登録済デバイス

1 機器を選択→[Y!](メニュー)→「デバイス名変更」→[■]

2 機器名称を入力→[■]

登録している機器を削除する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ 登録済デバイス

1 機器を選択→[Y!](メニュー)

2 「削除」→[●]→「YES」→[●]

マイデバイスを公開する

公開／非公開の設定をする

本機を他のBluetooth®対応機器へ公開するかしないかを設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ マイデバイス設定

1 「公開設定」→[●]

2 「公開」／「非公開」→[●]

●公開設定を「**非公開**」にしていても、接続要求を受ける場合があります。

マイデバイスの確認

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ マイデバイス設定

■自機情報を確認する

「デバイス情報」→[●]

■自機名称を編集する

「デバイス名変更」→[●]→自機名称を入力→[●]

ハンズフリーの設定

ハンズフリー対応機器と接続中の本機で発着信を行ったときに、ハンズフリー対応機器で通話をしたい場合は「**ハンズフリーモード**」に設定してください。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ Bluetooth ▶ マイデバイス設定

1 「ハンズフリー設定」→[●]

2 「ハンズフリーモード」→[●]

●電話の発着信をする際に本機を持って通話したい場合は、「**プライベートモード**」を選択します。

USBについて

パソコンと本機をUSBケーブルで接続して、音楽ファイルの送受信ができます。また、パソコンで本機のデータフォルダの中身を確認できます。

USBをご利用になる前に

- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する前に、USBホストドライバおよびPhone Monitorをパソコンにインストールする必要があります。インストール手順などについては、Phone Monitorユーザーマニュアルをご覧ください。
- ご利用いただけるパソコンの動作環境については、Phone Monitorユーザーマニュアルをご覧ください。
- パソコンとUSBケーブルの接続については、Phone Monitorユーザーマニュアルをご覧ください。
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続する場合は、必ずUSBケーブルのプラグをパソコンのUSBコネクターに直接差し込んでください。
- Bluetooth®通信起動中や赤外線通信起動中は、充電機能以外のUSB機能は利用できません。

パソコンから音楽ファイルを転送する

パソコンから音楽ファイルを転送するときは、本機をデータ転送モードにします。

- データ転送モードでは、オフラインモードになり、電話の発着信やメールの送受信、Yahoo!ケータイへの接続はできません。また、すべてのキー操作が無効になります。
- 音楽ファイルは、音楽転送ソフトウェアを使って転送しないと、本機では再生できません。
- 音楽ファイルの詳しい操作方法については、BeatJam 2007 for 911T ガイドブックをご覧ください。

メインメニューからデータ転送モードにする

USB接続時にデータ転送モードにならなかった場合や、データ転送モード解除後に再度接続する場合などメインメニューからデータ転送モードに切り替えることができます。

1 本機とパソコンをUSB接続する

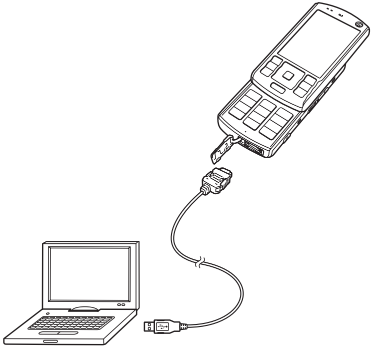
2 待受画面→■→「設定」→■→「外部接続」→■→「USB」→■→「データ転送」→■

補足

- データ転送モード中は、オフラインモードになります。通信中でオフラインに移行できない場合、確認画面が表示されます。
- メモリカードが正しくフォーマットされていない場合、警告画面が表示されます。メモリカードのフォーマットをしてから再度操作を行ってください。
- データ転送中画面でUSBケーブルを抜いた場合、確認画面が表示され、接続は解除されます。

USB接続時に転送モードにする

1 本体を開いた状態(待受画面表示中)で本機とパソコンをUSBケーブルで接続する→「YES」→■



補足

- 待受アプリ実行中でも、確認画面は表示されます。
- 以下の場合、待受画面表示中にパソコンとUSB接続しても転送モードになりません。
  - ・キー操作ロック中
  - ・メモリカード未挿入時
  - ・確認画面設定(11-14ページ)を「**表示しない**」にしているとき

データを転送する

1 本機をデータ転送モードにする

2 パソコン側の操作で本機にデータを転送する

重 要

● データ転送中画面でメモリカードを抜かないでください。

データ転送モードを解除する

1 接続先のパソコンで、デバイスの取り外し操作をする

データ転送モード確認画面を設定する

待受画面でパソコンとUSBケーブルで接続したときに、データ転送モードへの移行確認画面を表示するかどうかを設定します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ USB ▶ 確認画面設定

1 「表示する」／「表示しない」→■

補 足

● 「**表示しない**」を選択すると、待受画面表示中にUSB接続しても、データ転送モードで接続するための確認画面は表示されませんが、メインメニューからデータ転送モードに切り替えることはできます(11-13ページ)。

パソコンと接続する

USBを使ってダイヤルアップ接続をする

本機をパソコンなどとUSB接続を行い、本機を経由してインターネットにアクセスできます。パソコンなどのモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になるパソコンなどの取扱説明書をご覧ください。

重 要

● 発信した相手から応答がない場合は、同じ相手には約3分以内に3回までしか発信されません。
● HSDPA(High Speed Downlink Packet Access)対応のエリア内では、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps の高速通信を行うことができます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

充電機能を利用する

パソコンと本機をUSBケーブルで接続したときに本機を充電するように設定できます。パソコンから充電するには、電池充電の設定を「**ON**」にします。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ USB ▶ 電池充電

1 「ON」／「OFF」→■

重　要

- パソコンや本機の電源を切った状態では、充電できません。
- パソコンとの接続環境によっては、充電できない場合があります。
- 本機とパソコンをUSBケーブルで接続している場合は、データ通信を行っていない状態でも、電池充電の設定によってパソコンのバッテリーまたは本機の電池が消耗します。
  ON：パソコンのバッテリーが消耗します。
  OFF：本機の電池が消耗します。

補　足

- USBケーブルを使用して充電すると、急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）を使用した場合より、充電に時間がかかることがあります。

音の設定

マナーモードを切り替える

マナーモードは以下の種類から選択することができます。

マナーモード	内容
サイレント（）	スピーカーから音を一切鳴らさないモードです。
アラーム（）	アラーム以外は鳴らさないモードです。
運転中モード（）	イヤホン接続時以外は音を一切鳴らさず、バイブレーターも振動しません。着信時は簡易留守録で応答します。
オリジナルマナー1〜3（／／）	以下の項目を個別に設定することができます。 ・着信音（着信音量・バイブ設定） ・アラーム（アラーム音量・バイブ設定） ・カレンダー（アラーム音量・バイブ設定） ・S!アプリ（S!アプリ音量） ・サウンド音量　・効果音 ・電池アラーム音　・簡易留守録

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ マナーモード設定

1 「マナーモード切替」→■→モードを選択→■

各モードの設定内容

お買い上げ時は以下のように設定されています。

<table>
<tr><th colspan="2">設定項目</th><th>サイレント</th><th>アラーム</th><th>運転中モード</th><th>オリジナルマナー1〜3</th></tr>
<tr><td rowspan="10">音量設定</td><td>音声着信</td><td rowspan="8">サイレント</td><td rowspan="8">サイレント</td><td rowspan="10">サイレント</td><td rowspan="8">サイレント</td></tr>
<tr><td>TVコール着信</td></tr>
<tr><td>メール受信</td></tr>
<tr><td>配信確認受信</td></tr>
<tr><td>着信お知らせ</td></tr>
<tr><td>サークルトーク着信</td></tr>
<tr><td>ホットステータス通知</td></tr>
<tr><td>S!アプリ</td></tr>
<tr><td>アラーム</td><td>サイレント</td><td>14-6ページの設定による</td><td>サイレント</td></tr>
<tr><td>カレンダー</td><td>サイレント</td><td>サイレント</td><td>サイレント</td></tr>
<tr><td rowspan="7">バイブ設定</td><td>音声着信</td><td rowspan="7">パターン1</td><td rowspan="7">パターン1</td><td rowspan="7">OFF</td><td rowspan="7">パターン1</td></tr>
<tr><td>TVコール着信</td></tr>
<tr><td>メール受信</td></tr>
<tr><td>配信確認受信</td></tr>
<tr><td>着信お知らせ</td></tr>
<tr><td>サークルトーク着信</td></tr>
<tr><td>ホットステータス通知</td></tr>
</table>

設定項目		サイレント	アラーム	運転中モード	オリジナルマナー1～3
バイブ設定（つづき）	アラーム	パターン1	14-6ページの設定による	OFF	パターン1
	カレンダー	パターン1	パターン1	OFF	パターン1
フィーリング設定		12-4ページの設定による	12-4ページの設定による	OFF	ON
サウンド音量		サイレント	サイレント	サイレント	サイレント
効果音（ボタン確認音、ウェイクアップ音、シャットダウン音、オープン音、クローズ音）		OFF	OFF	OFF	OFF
電池アラーム音※		OFF	OFF	OFF	OFF
簡易留守録		14-7ページの設定による	14-7ページの設定による	ON	ON

※ 通話中のみレシーバー（受話口）から聞こえます。

オリジナルマナーの設定内容を変更する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 音・バイブ設定 ▶ マナーモード設定

1 「オリジナルマナーモード」→[■]

2 設定するオリジナルマナーを選択→[■]

●オリジナルマナーを選択して[Y!]（メニュー）を押して「**名称編集**」を選択すると、オリジナルマナーの名称を変更することができます。

■着信音量を設定する

「着信音」→[■]→着信の種別を選択→[■]→「着信音量」→[■]→音量を調節→[■]

■着信／配信確認受信／着信お知らせ／サークルトーク着信／ホットステータス通知のバイブレーターを設定する

「着信音」→[■]→着信の種別を選択→[■]→「バイブ設定」→[■]→パターンを選択→[■]

■メール受信時のバイブレーターを設定する

「着信音」→[■]→「メール受信」→[■]→「バイブ設定」→[■]→「バイブパターン」→[■]→パターンを選択→[■]

■フィーリングメール受信時のバイブレーターを設定する

「着信音」→[■]→「メール受信」→[■]→「バイブ設定」→[■]→「フィーリング設定」→[■]→「ON」／「OFF」→[■]

■アラーム／カレンダーのアラーム音量を設定する

「アラーム」／「カレンダー」→[■]→「アラーム音量」→[■]→音量を調節→[■]

■アラーム／カレンダーのバイブレーターを設定する

「アラーム」／「カレンダー」→[■]→「バイブ設定」→[■]→パターンを選択→[■]

■S!アプリの音量を設定する
「S!アプリ」→■→音量を調節→■

■サウンド音量を設定する
「サウンド音量」→■→音量を調節→■

■効果音／電池アラーム音／簡易留守録
「効果音」／「電池アラーム音」／「簡易留守録」→■→「ON」／「OFF」→■

3 ✉(完了)

音・バイブ設定

着信音、着信音量などを各モードごとに設定できます。モードによっては表示されない項目もあります。

着信音を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 音・バイブ設定

1 「着信設定」→■→着信の種別を選択→■

2 「着信音」→■

■本体にあらかじめ用意されている音を設定する
「固定パターン」／「固定メロディ」→■→着信音を選択→■

■データフォルダ／メモリカードのファイルを設定する
「本体」／「メモリカード」→■→ファイルを選択→■(2回)

●選択したファイルに再生開始ポイントが含まれているときは、以下の操作を行います。
「本体」／「メモリカード」→■→ファイルを選択→■→再生開始ポイントを選択→■

重 要

- 着信音パターンに画像付きSMAFデータを設定しても画像が正しく表示されない場合があります。

着信音量を設定する

着信音量の大きさを5段階に調節したり、音が鳴らないようにできます。また、着信音量を徐々に上げたり(ステップアップ)、徐々に下げたり(ステップダウン)することもできます。

●マナーモード(12-1ページ)の着信音量は設定できません。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 音・バイブ設定

1 「着信設定」→■→着信の種別を選択→■

2 「着信音量」→■→音量を調節→■

鳴動時間を設定する

メールや配信確認などを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 音・バイブ設定

1 「着信設定」→■

2 「メール受信」／「配信確認受信」／「着信お知らせ」／「ホットステータス通知」→■→「鳴動時間」→■

■時間を直接入力して指定する
「時間指定」→■→時間を入力(1〜99秒)→■

■設定したファイルを最後まで再生する
「一周期」→■

バイブレーターを設定する

電話がかかってきたときやメールを受信したときに、振動でお知らせします。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 音・バイブ設定

1 **「着信設定」→[■]→着信の種別を選択→[■]**

■メール受信時のバイブレーターを設定する

「メール受信」→[■]→「バイブ設定」→[■]→「バイブパターン」→[■]→パターンを選択→[■]

■フィーリングメール受信時のバイブレーターを設定する

「メール受信」→[■]→「バイブ設定」→[■]→「フィーリング設定」→[■]→「ON」／「OFF」→[■]

2 **「バイブ設定」→[■]→パターンを選択→[■]**

サウンド音量を設定する

メロディファイルなどを再生する音量を調節します。また、音が鳴らないようにすることもできます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 音・バイブ設定

1 **「サウンド音量」→[■]**

2 **音量を調節→[■]**

受話音量を設定する

レシーバーから聞こえる相手の声の大きさを調節します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 音・バイブ設定

1 **「受話音量」→[■]→音量を調節→[■]**

補　足

- 通話中に調節した場合（2-5、5-2ページ）は通話終了後、通話前の設定音量に戻ります。

スピーカー音量を設定する

スピーカーから聞こえる相手の声の大きさを調節します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 音・バイブ設定

1 **「スピーカー音量」→[■]→音量を調節→[■]**

効果音／効果音量を設定する

電源を入れたときや切るときの音（ウェイクアップ音／シャットダウン音）、本体を開閉したときの音などを設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 音・バイブ設定

1 **「効果音」→[■]→効果音の種別を選択→[■]**

2 「音選択」→■

■本体にあらかじめ用意されているオリジナル音を設定する
「オリジナル」→■

■本体にあらかじめ用意されているメロディを設定する
「固定メロディ」→■→メロディを選択→■

■データフォルダ／メモリカードのファイルを設定する
「本体」／「メモリカード」→■→ファイルを選択→■（2回）

3 「音量」→■→音量を調節→■

重　要
- 画像を含んだファイルは設定できません。

ディスプレイの設定

待受画面設定

ディスプレイの壁紙や時計表示を設定できます。

●日付／時刻の設定については、1-15ページを参照してください。

壁紙に画像を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 待受表示

1 「壁紙」→■→「画像」→■

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する
「プリセット画像」→■→画像を選択→■

■データフォルダ／メモリカードの画像を設定する
「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■→◎で画像の位置を調節→✉（切取り）→■

壁紙にアニメーションを設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 待受表示

1 「壁紙」→■→「フォトアニメ壁紙」→■→「画像設定」→■

■表示方法を設定する
「デザイン設定」→■→パターンを選択→■（2回）→✉（設定）

■表示順を設定する
「表示順序」→■→表示順を選択→■→✉（設定）

2 「画像リスト」→■→画像リストを選択→■→✉（設定）

●あらかじめ画像リストにデータフォルダの画像を登録する必要があります。1件の画像リストには最大5フレームまで登録できます。

✉（編集）→画像リスト項目を選択→■→「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■（2回）→✉（設定）

■選択したフォルダ内の画像をアニメーション表示する
「フォルダ指定」→■→フォルダを選択→■→✉（設定）

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する
「固定」→■→✉（設定）

補　足

- 「**本体**」／「**メモリカード**」を選択した場合、✉(リサイズ)を押して画像のリサイズや回転などの操作を行うことができます(7-22ページ)。
- 「**本体**」／「**メモリカード**」を選択した場合、画像サイズがW640×H480(W480×H640)以下のときは、■を押して画像を設定できます。

時計表示を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 待受表示

1 「時計／カレンダー」→■→時計のタイプを選択→■

画面表示設定

本機の各画面表示のデザインを変更することができます。

画面のアイコン／パーツを設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 画面表示設定

1 「画面デコ 」／「画面デコ 」→■

■本体にあらかじめ用意されているアイコン／パーツを設定する

「ノーマル」／「くーまん」→■（2回）

■データフォルダのアイコン／パーツを設定する

「本体」→■→画面デコを選択→■（2回）→「YES」→■

補　足

- メインメニューのデザインは、メインメニュー→Y!(メニュー)→「**メニュー画像設定**」を選択して変更することができます(1-19ページ)。
- メインメニューをタブ表示(1-18ページ)に設定している場合は、Y!(メニュー)を押して「**画面デコ**」を選択するとタブ表示のデザインを変更することができます。

着信画像を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 画面表示設定

1 「着信イラスト」→■→「音声着信」／「TVコール着信」→■

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する

「ノーマル」／「くーまん」→■（2回）

■データフォルダ／メモリカードの画像を設定する

「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■→✣で画像の位置を調節→Y!（切取り）→■

重　要

- かかってきた相手の顔写真がアドレス帳に登録されていて、顔写真表示(12-7ページ)を「**ON**」にしている場合は、着信画像の設定にかかわらず、顔写真が表示されます。ただし、シークレットメモリ(4-3ページ)に設定している相手から電話がかかってきたときに、シークレットモード(13-5ページ)が「**表示しない**」に設定されていた場合は、着信画像が表示されます。
- 着信音(12-3ページ)にムービーファイルが設定されている場合は、着信画像は表示されません。

メール受信画像を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 画面表示設定

1 「メールアニメ」→■→「メール受信」／「配信確認受信」→■

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する

「ノーマル」／「くーまん」→■（2回）

■データフォルダ／メモリカードの画像を設定する

「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■→◎で画像の位置を調節→☒（切取り）→■

ダウンロード中／ウェイクアップ／シャットダウン画面を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 画面表示設定

1 「ダウンロード中」／「ウェイクアップ」／「シャットダウン」→■

2 「ノーマル」／「くーまん」→■（2回）

各画面を一括して設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 画面表示設定

1 ✉（一括）→「ノーマル」／「くーまん」→■

着信表示設定

発信者名表示を設定する

アドレス帳に登録している相手から音声／TVコール着信したときに、相手の名前を表示するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 着信時表示

1 「発信者名」→■→「ON」／「OFF」→■

顔写真表示を設定する

アドレス帳に顔写真（4-2ページ）を登録している相手から音声／TVコール着信したときに顔写真を表示するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 着信時表示

1 「顔写真」→■→「ON」／「OFF」→■

重　要

- 顔写真を「**ON**」にしている場合、着信画像は表示されません。また、シークレットメモリ（4-3ページ）に設定している相手から電話がかかってきても、シークレットモード（13-5ページ）が「**表示しない**」の場合、顔写真は表示されません。
- 着信音（12-3ページ）にムービーファイルが設定されている場合は、顔写真は表示されません。

時計表示を12／24時間制に切り替える

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 時計設定 ▶ 12h/24h設定

1 「12h」／「24h」→■

文字設定

ディスプレイに表示される文字サイズや文字色を変更することができます。

文字サイズを設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 文字設定

1 「文字サイズ」→■→設定する画面を選択→■→文字サイズを選択→■

文字色を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 文字設定

1 「文字色」→■→文字色を選択→■

各画面の文字サイズを一括して設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ 文字設定

1 「文字サイズ」→■→✉(一括)→文字サイズを選択→■

待受くーまん設定

3Dアニメーションのキャラクター「くーまん」が待受画面に表示されます。くーまんは、季節、一日の時間帯などの条件に応じて、さまざまな姿や身振りでコメントをお伝えします。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 待受くーまん

1 「ON」／「OFF」→■

重 要

- Language(12-10ページ)で「**English**」または自動設定で日本語以外が設定されている場合や、ライブモニターの新着情報(14-3ページ)を選択している場合は、待受くーまんを表示できません。
- 壁紙設定(12-5ページ)にFlash®が設定されている場合は、待受くーまんとFlash®画像を同時に表示できません。

バックライト設定

本体を操作したときの、バックライトの明るさ、点灯時間を設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ バックライト設定

1 「ディスプレイ」→■

■ディスプレイの照明時間を設定する

「照明時間」→■→照明時間を入力（0～60秒）→■

■明るさを調節する

「明るさ」→■→明るさを選択→■

メディアプレイヤー使用時のバックライトを設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ バックライト設定

1 「メディアプレイヤー」→■→「常時ON」／「常時OFF」／「通常設定連動」→■

補　足

- 「**通常設定連動**」を選択した場合は、バックライト設定の「**ディスプレイ**」（上記）に従います。

省電力設定を行う

音声通話中や待受画面表示中に無操作の状態で、設定した時間が経過したときに、ディスプレイの表示を消して電池の消耗を抑えることができます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ バックライト設定

1 「省電力」→■→時間を選択→■

キーバックライトの照明時間を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ バックライト設定

1 「キーバックライト」→■→照明時間を入力→■

イルミネーション設定

お知らせランプの設定

不在着信などの未確認の情報がある場合、本体を閉じた状態でイルミネーションが点滅します。また、点滅しないようにすることもできます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ イルミネーション設定

1 「お知らせランプ」→■

2 未確認情報の種別を選択→■→色／「OFF」を選択→■

着信イルミネーションの設定

着信時にイルミネーションが点滅します。また、点滅しないようにすることもできます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ ディスプレイ設定 ▶ イルミネーション設定

1 「着信イルミネーション」→■

2 着信の種別を選択→■→色／「OFF」を選択→■

■メール受信時の着信イルミネーションを設定する

「メール受信」→■→「イルミパターン」→■→色を選択→■

■フィーリングメール受信時の着信イルミネーションを設定する

「メール受信」→■→「フィーリング設定」→■→「ON」／「OFF」→■

重　要

- アドレス帳ごとの着信イルミネーション(4-3、4-6ページ)が設定されている場合は、アドレス帳の設定が優先されます。

表示言語の切り替え

ディスプレイの表示を日本語／英語に設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ Language

1 表示言語を選択→■

- 「**自動選択**」を選択すると、USIMカードで設定されている言語に自動的に切り替わります。

キー設定

マルチファンクションボタンの機能を設定する

マルチファンクションボタンの機能を設定できます。設定した機能は、待受画面でマルチファンクションボタンを押すと呼び出せます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ マルチファンクションボタン

■マルチファンクションボタンの機能を変更する

■→□に設定する機能を選択→■→□に設定する機能を選択→■→□に設定する機能を選択→■

- □には残りの機能が自動的に設定されます。

■お買い上げ時の状態に戻す

Y!（メニュー）→「初期化」→■→「YES」→■

上サイドキーの機能を設定する

上サイドキーの機能を設定できます。設定した機能は、待受画面で上サイドキーを長く（約1秒以上）押すと呼び出せます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ サイドキー設定

1 「マナーモード」／「簡単お知らせ」(15-3ページ)／「スポットライト」／「マイステータス」(20-6ページ)→■

サブメニュー履歴

Y!（メニュー）を押して表示されるサブメニューの項目が3つ以上ある場合に、最近選択した項目を先頭に表示するように表示順を設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ サブメニュー履歴

1 「表示する」／「表示しない」→■

重　要

- サークルトーク、サークルトーク発着信履歴、ホットステータスでは、本機能の設定は無効となります。

応答の設定

オープン通話を設定する

オープン通話を「**ON**」にすると、電話がかかってきたときやサークルトーク着信時に、本体を開くだけで応答できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 応答設定 ▶ オープン通話

1 「ON」／「OFF」→■

応答ボタンを設定する（エニーキーアンサー）

エニーキーアンサーを「**ON**」にすると、✆や■、TV文字（TVコールの場合）の他に、0～9、＊、＃のいずれを押しても電話やTVコール、サークルトークを受けることができます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 応答設定 ▶ エニーキーアンサー

1 「ON」／「OFF」→■

着信拒否の設定

電話番号非通知の着信や公衆電話からの着信などを拒否できます。また、受けたくない電話番号を拒否電話リストに登録して着信を拒否することもできます。

特定の着信を拒否する

拒否設定した項目に該当する相手から電話やサークルトークがかかってきた場合は、着信の動作は行いませんが、お知らせ一発メニュー（1-8ページ）が表示され、不在着信履歴（2-7ページ）で確認できます。

●着信規制（16-7ページ）が設定されている場合は、着信規制が優先されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 着信拒否

1 **操作用暗証番号（1-22ページ）を入力**

■指定した番号からの着信を拒否する

「電話番号指定」→■→「拒否／許可」→■→「拒否」／「許可」→■

■アドレス帳に登録されている番号以外からの着信を拒否する

「アドレス帳以外」→■→「拒否」／「許可」→■

■番号を通知しない電話からの着信を拒否する

「非通知」→■→「拒否」／「許可」→■

■公衆電話からの着信を拒否する

「公衆電話」→■→「拒否」／「許可」→■

■番号を通知できない電話からの着信を拒否する

「通知不可」→■→「拒否」／「許可」→■

拒否電話リストに登録する

受けたくない相手の電話番号を登録し、着信を拒否します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 着信拒否

1 **操作用暗証番号（1-22ページ）を入力**

2 **「電話番号指定」→■→「拒否リスト編集」→■**

3 **✉（追加）**

■アドレス帳から登録する

「アドレス帳」→■→相手を選択→■→電話番号を選択→■（2回）

■電話番号を直接入力して登録する

「電話番号入力」→■→電話番号を入力→■（2回）

■通話履歴から登録する

「通話履歴」→■→電話番号を選択→■（2回）

補足

● すでに電話番号が登録されている場合、「**拒否リスト編集**」を選択したあと、Y!（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
編集／**削除**

通知設定

電話をかけるとき、お客様の電話番号を相手に通知するかどうかをあらかじめ設定しておくことができます。

自動的に通知／非通知にする

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 発信者番号通知

1 通知の可否を選択→■

重 要

- 電話の場合は、「**番号通知**」にすると、発信者番号通知サービスのお申し込みに関係なく、相手にお客様の電話番号が常に通知されます。また、「**番号非通知**」にすると、お申し込みに関係なく、相手にはお客様の電話番号が一切通知されません。「**OFF**」にするとお申し込みいただいた設定になります。
- サークルトークの場合は、設定にかかわらず相手にお客様の電話番号が常に通知されます。

補 足

- 自動設定を設定しなくても電話番号表示中に、☒(メニュー)→「**番号非通知**」／「**番号通知**」を選択して電話をかけることもできます。

優先動作の設定

本機を操作中に着信やメール受信などがあったときの動作を設定します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 優先動作設定

1 操作中の機能を選択→■

■メディアプレイヤー再生中の着信動作を設定する場合

「メディアプレイヤー」→■→「再生優先」／「着信優先」→■

■S!アプリ実行中の着信動作を設定する場合

「S!アプリ」→■→着信の種類を選択→■→「着信動作優先」／「受信動作優先」／「アラーム動作優先」／「通知のみ」→■

■デジタルTV利用中の着信動作を設定する場合

「TV」→■→「視聴中」／「録画中」→■→着信の種類を選択→■→「割り込み」／「バックグラウンド」／「アラーム動作優先」／「TV優先」→■

2 着信の種類を選択→■

3 「割り込み」／「バックグラウンド」→■

メモリ設定

メモリ使用率を確認する

メールやデータフォルダ、メモリカードなどの使用率が確認できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ メモリ設定

1 「メモリ容量確認」→■→項目を選択→■

- 〔Y!〕（件数）を押すと、登録件数を確認できます（メモリカードのメモリ容量確認時を除く）。
- メモリカードのフォーマット（初期化）については9-3ページを参照してください。

外部機器設定

外部機器（パソコン）からパケット通信を行うときの接続先名（Access Point Name）を10件まで設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 外部機器設定

1 「未登録」→■→接続先名(APN)を入力→■→「YES」→■

ネットワーク設定

ネットワーク自動調整を行う

ネットワーク自動調整は、一度調整すると自動的に表示されなくなります。設定を変更する場合は、メインメニューからネットワーク自動調整を行います。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 外部接続 ▶ ネットワーク自動調整

1 「YES」→■

操作用暗証番号の変更

●操作用暗証番号（1-22ページ）は忘れないように、別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 暗証番号変更

1 現在の操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

2 新しい操作用暗証番号を入力

3 確認のためにもう一度新しい操作用暗証番号を入力

PIN 設定

PIN を設定する

USIMカードを本体に取り付けて電源を入れたときにPIN（1-3ページ）を入力して照合を行うかどうかを設定できます。第三者による本機の無断使用を防ぐため「**ON**」にすることをおすすめします。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ PIN設定

1 「ON／OFF」→■→「ON」／「OFF」→■

2 PINを入力→■

PIN を変更する

PIN ／ PIN2（1-3ページ）を変更できます。PINを変更する場合は、PIN設定（左記）を「**ON**」にしてください。

●PINは忘れないように別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ PIN設定

1 「PIN変更」／「PIN2変更」→■

2 現在のPIN／PIN2を入力→■

3 新しいPIN／PIN2を入力→■

4 確認のためにもう一度新しいPIN／PIN2を入力→■

PIN ロックを解除する

PIN ／ PIN2の入力を続けて3回間違えるとPIN ／ PIN2ロックがかかり、本機の使用が制限されます。PINロックの場合は自動的に電源が入れ直されます。PIN ／ PIN2ロックを解除するには、PINロック解除コード（PUK）を入力します。PINロック解除コードについては、**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。

1 PIN／PIN2ロック状態でPINの入力が必要な操作をする

2 PUK／PUK2を入力→■

3 新しいPIN／PIN2を入力→■

4 確認のためにもう一度新しいPIN／PIN2を入力→■

重　要

- PINロック解除コード（PUK）の入力を10回続けて間違うとUSIMカードがロック（USIMロック）されます。USIMカードがロックされた場合は、解除することはできません。**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。

無断で使用されたくないとき（キー操作ロック）

操作用暗証番号（1-22ページ）を入力または顔認証（13-4ページ）を行わない限り、ボタン操作を行えないように設定できます。本体操作ロックが有効になると待受画面に「🔑」と「**キー操作ロック**」が表示されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ キー操作ロック

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

■本体を閉じたときにロックをかける

「本体クローズ」→■→「ON」／「OFF」→■

■省電力のためディスプレイの表示が消えたときにロックをかける

「省電力」→■→「ON」／「OFF」→■

■電源を入れるたびにロックをかける

「パワーオフ」→■→「ON」／「OFF」→■

重　要

- キー操作ロックは、設定を「**OFF**」にするまで選択したタイミングでボタン操作がロックされます。
- 解除するには、操作用暗証番号（1-22ページ）を入力し、ロックを一時解除してからキー操作ロックの設定を「**OFF**」にしてください。顔認証設定（13-4ページ）が「**ON**」に設定されている場合は、HOLDを押すか、本体を閉じているときは本体を開いて、顔認証を行ってからロックを一時解除してください。
- 「**本体クローズ**」では、待受画面表示中に本体を閉じたときロックがかかります。また、「**省電力**」では、待受画面表示中にディスプレイ省電力設定（12-9ページ）で設定されている時間が経過し、ディスプレイの表示が消えたときロックがかかります。
- キー操作ロック中は、マイク付オーディオリモコン（オプション品）からワンタッチで電話をかけることはできません。

補　足

- キー操作ロック中でも以下の操作は行うことができます。
  - ・電源を入れる／切る
  - ・「**PIN設定**」(13-1ページ)を「**ON**」にしたときのPINの入力
  - ・キー操作ロックの一時解除
  - ・110番(警察)、119番(消防･救急)、118番(海上保安本部)へ電話をかける
  - ・電話を受ける(オープン通話、エニーキーアンサーでは、電話を受けられません)
  - ・サークルトーク着信(エニーキーアンサーでは受けられません)
  - ・アラームの停止(14-7ページ)
  - ・スケジュールのアラーム停止(14-17ページ)
  - ・応答保留(2-3ページ)
  - ・転送電話(16-2ページ)
  - ・着信拒否(2-5ページ)
  - ・着信中の着信音量調節(2-3、5-2ページ)
  - ・待受アプリ一時停止(19-5ページ)
- キー操作ロック中は、お知らせ一発メニュー(1-8ページ)は表示されません。
- キー操作ロックを「**ON**」にしても一時解除すると待受画面の「🔑」と「**キー操作ロック**」は表示されません。

機能ロック

操作用暗証番号（1-22ページ）を入力しない限り、アドレス帳、カレンダー、予定リスト機能の使用や、通話やメール送受信の履歴を表示できないように設定できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 機能ロック

1 **操作用暗証番号(1-22ページ)を入力**

2 **機能を選択→■→「ロックする」／「解除する」→■**

■アドレス帳を選択した場合

「禁止する」／「禁止しない」→■

顔認証設定

キー操作ロック（13-2ページ）を解除するときに、あらかじめ登録しておいたお客様の顔画像を本人確認の認証用に利用できます。

●ユーザは3件まで、1件のユーザに5つまでの顔画像を登録できます。
●顔認証の登録や設定操作などには、操作用暗証番号を使用します。よりセキュリティを向上させるため、操作用暗証番号も合わせて変更することをおすすめします(13-1ページ)。
●顔認証を設定しても、S! FeliCaは使用できます。ご注意ください。

13

セキュリティ

顔認証画像を登録する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 顔認証設定

1 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「ユーザ登録」→■

2 ユーザを選択→■→未登録の項目を選択→■→顔をディスプレイに表示→■

重　要

● 顔画像の撮影時は目、口、鼻、眉などの顔の特徴がはっきりと見えるようにしてください。目などに髪がかかっていたり、帽子をかぶっているときは正しく登録できない場合があります。また、暗い場所や光が強く当たる場所では正しく登録できない場合があります。
● 顔全体が画面内に入るようにしてください。顔の一部が画面内に入っていないと、登録できない場合があります。
● 1人あたり最低3枚は顔画像を登録してください。1枚、2枚の登録の場合、顔認証精度が下がります。
● 登録する顔画像はできるだけ異なる照明条件下で登録するようにしてください。
● 普段(認証時に)めがねをかけられている方は、めがねをかけたまま登録してください。めがねをかけたり、外していたりされる方は、めがねをかけた顔画像と外した顔画像を登録してください。

補　足

● ユーザ名を選択中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
ユーザ名編集／リセット

顔認証を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 顔認証設定

1 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「ON／OFF」→■

2 「ON」／「OFF」→■

顔認証を行う

顔認証設定を「**ON**」にしている場合は、キー操作ロック（13-2ページ）を設定中に本体を開いたときや、省電力のためディスプレイの表示が消えた状態から復帰したとき、電源を入れたときに顔認証を行って、キー操作ロックを一時解除できます。

●顔認証を行うには、認証する顔画像をあらかじめ登録（13-4ページ）する必要があります。

1 キー操作ロック中→[HOLD]→顔をディスプレイに表示

顔認証が行われ、キー操作ロックが解除されます。

■操作用暗証番号を入力してキー操作ロックを解除する

キー操作ロック中→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→[●]

●本体を閉じている場合は、本体前面部のいずれかのキーを押してから操作用暗証番号を入力してください。

●顔認証画面を表示中でも[✉](暗証番号)を押して操作用暗証番号を入力し、キー操作ロックを解除できます。

重　要

- 本機での顔認証機能は完全に本人認証を保証するものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 顔画像の認証時は目、口、鼻、眉などの顔の特徴がはっきりと見えるようにしてください。目などに髪がかかっていたり、帽子をかぶっているときは正しく認証できないことがあります。また、暗い場所や光が強く当たる場所では正しく認証できない場合があります。
- 顔全体が画面内に入るようにしてください。顔の一部が画面内に入っていないと、認証できない場合があります。

補　足

- 顔認証設定を「**ON**」にしている場合は、本体を閉じているときに本体を開いても顔認証を行うことができます。

シークレットモードの設定

シークレットメモリ（4-3ページ）として登録したアドレス帳を表示できます。シークレットモードを「**表示する**」にすると画面上に「[アイコン]」が表示されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ シークレットモード

1 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

2 「表示する」/「表示しない」→[●]

重　要

- 電源を切ると、シークレットモードは「**表示しない**」になります。

補　足

- シークレットメモリとして登録している相手との電話の発着信やメールの送受信があっても、シークレットモードを「**表示しない**」にしている場合は、電話番号またはE-mailアドレスだけが表示されます。
- シークレットメモリとして登録しているアドレス帳をホットステータスに登録している場合、シークレットモードを「**表示しない**」にすると、相手の現在の状況(ホットステータス情報)は表示されません。

IP サービス設定

ホットステータスおよびサークルトークを利用できるようにするかどうかを設定します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ IPサービス設定

1 「ON」／「OFF」→■

重　要

- IPサービスを設定するには、あらかじめネットワーク自動調整（1-15ページ）を行う必要があります。

誤動作防止設定

すべてのボタン操作を無効にすることで、カバンやポケットの中での誤動作を防ぎます。誤動作防止を設定すると待受画面に「」が表示されます。

誤動作防止を設定する

1 **待受画面で■を長く（約1秒以上）押す**

誤動作防止を解除する

1 **誤動作防止設定中に、待受画面で■を長く（約1秒以上）押す**

重　要

- Bluetooth®通信起動中や赤外線通信起動中は、誤動作防止を設定することができません。
- 誤動作防止設定中は、お知らせ一発メニュー（1-8ページ）は表示されません。

ホールド（HOLD）

本体を閉じているときの誤動作を防ぎます。開いた状態では通常の操作を行えます。ホールドを設定するとディスプレイに「🔒」が表示されます。

ホールドを設定する

1 本体を閉じた状態で、HOLDを長く（約1秒以上）押す

ホールドを解除する

1 ホールド設定中に本体を閉じた状態で、HOLDを長く（約1秒以上）押す

重　要

- 電池残量が少ないと本体を閉じてもホールドが有効にならない場合があります。

補　足

- 一度ホールドを設定すると、解除するまで本体を閉じるたびにホールドが有効になります。
- 電話／TVコール着信中やサークルトーク着信中はホールドが無効になります。

リセット

本体の各種設定内容や登録内容をお買い上げ時の状態に戻します。
リセットされる内容は以下のとおりです。

項目	内容
オールリセット	各種設定をお買い上げ時の状態に戻し、本機に登録したデータを消去します。
設定リセット	各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。
本体メモリクリア	アドレス帳やデータフォルダに登録したデータ、メールをすべて消去します。
確認画面リセット	「**今後通知しない**」を選択して表示しないように設定した確認画面をお買い上げ時の状態に戻して表示させます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ リセット

1 リセット項目を選択→■

2 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→■

選択した登録データ、設定内容がリセット（初期化）され、自動的に電源を入れ直します。

重　要

- リセットを行ってもUSIMカード、メモリカードのデータはお買い上げ時の状態に戻りません。
- ICカード内に生活アプリによって作成されたデータがある場合、「**オールリセット**」、「**本体メモリクリア**」を行うことはできません。生活アプリから作成されたデータを削除してから再度リセットを行ってください。
- オールリセットを行うと、S!アプリ、コンテンツが削除されるものがあり、お買い上げ時の状態に戻りません。

補　足

- 操作用暗証番号はオールリセットを行うと初期化されます。
- ICカードロック中(23-4ページ)は、確認画面が表示されます。ICカードロックを一時解除しないと「**オールリセット**」、「**本体メモリクリア**」を行うことはできません。

制限モード

発信を制限する

発信先リストに登録した相手にだけ電話をかけたりSMSを送信できるように設定できます。発信先リストにはすべての桁を登録しなくても使用でき、登録した番号から始まる電話番号には電話やSMSの送信ができます。また、発信先リストはUSIMカードに記憶されます。

●発信制限（発信先固定）は、対応したUSIMカードを使用時のみご利用できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 制限モード ▶ 発信先固定

1 「ON／OFF」→■→PIN2を入力→■

2 「ON」／「OFF」→■

発信先リストに登録する

●発信先リストに登録する場合は、発信制限（13-8ページ）を「**ON**」にしてください。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 制限モード ▶ 発信先固定

1 「発信先リスト」→■

2 「未登録」→■→PIN2を入力→■

3 「名前」→■→名前を入力→■

4 「電話番号」→■→電話番号を入力→■

●1つの桁にすべての番号（0〜9）を設定したい場合は、Y!（メニュー）を押し、「**ワイルドカード**」を選択し「**?**」を表示させます。

（例：「090????1234」に設定した場合は、「090**0000**1234」〜「090**9999**1234」の電話番号に発信できます。）

5 ✉（保存）

重　要

● SMS送信を行うには、SMSセンター番号（「+819066519300」）と宛先を発信先リストに登録する必要があります。

補　足

● 発信先リストに登録できる件数および名前の文字数は、USIMカードによって異なります。

パケット通信を禁止する

パケット通信を利用できないように設定できます。

●パケット制限は、対応したUSIMカードを使用時のみご利用できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 制限モード ▶ パケット制限

1 「ON」→■→PIN2を入力→■

2 「YES」→■

インターネット接続を制限する

URL入力（18-4ページ）からのインターネット接続ができないように設定します。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 制限モード ▶ インターネット規制

1 インターネット規制用暗証番号（1-22ページ）を入力→■

■インターネット規制用暗証番号が未登録の場合

■→インターネット規制用暗証番号を入力→■→確認のためにもう一度インターネット規制用暗証番号を入力→■→「登録しない」→■

●インターネット規制用暗証番号を入力するためのヒントを登録する場合は、「**登録する**」を選択してヒントを入力します。

2 「規制設定」→■→「ON」→■

インターネット規制用の暗証番号を変更する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ セキュリティ設定 ▶ 制限モード ▶ インターネット規制

1 インターネット規制用暗証番号(1-22ページ)を入力→■

2 「暗証番号変更」→■(2回)

3 新しいインターネット規制用暗証番号を入力→■

4 確認のためもう一度新しいインターネット規制用暗証番号を入力→■

5 「登録する」/「登録しない」→■

■インターネット規制用暗証番号を入力するためのヒントを登録する

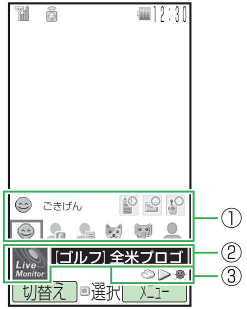
「登録する」→■→ヒントを入力→■

待ち受けウィンドウ

待ち受けウィンドウについて

待ち受けウィンドウとは、お気に入りの相手の情報をメンバーリストに登録することによって、メンバーへ簡単な操作で電話やメール、サークルトークの発信操作を行ったり、ライブモニターやお天気アイコンで最新の情報を確認したりできる機能です。

待ち受けウィンドウにはショートカットモードとコミュニケーションモードの2種類があり、モードは簡単に切り替えることができます。



ショートカットモード



コミュニケーションモード

①メンバーリスト

自分のホットステータス情報（マイステータス）（20-6ページ）と待ち受けウィンドウに登録しているメンバーを一覧で表示します。メンバーはアイコンまたは顔写真で表示されます。

メンバーをホットステータスメンバーリストから登録した場合、メンバーのホットステータス情報が表示されます。コミュニケーションモードでは、直接電話やメール、サークルトークの発信操作などができます（14-3ページ）。

②ライブモニター（ショートカットモードのみ）

新着情報と画像を表示します。

③お天気アイコン（ショートカットモードのみ）

待ち受けウィンドウを起動する

1 **待受画面→[キー]（2回）**

●[キー]（切替え）を押すたびに、ショートカットモードとコミュニケーションモードが切り替わります。

補　足

- 待ち受けウィンドウは、前回表示していたモードで起動します。
- 待ち受けウィンドウ表示中に[キー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます（モードやカーソルの位置によっては表示されない項目があります）。
  設定／詳細／メンバー変更／アイコン変更／メンバーリスト編集／メインメニュー／メール／Yahoo!ケータイ

メンバーリスト

ホットステータスメンバーリストまたはアドレス帳に登録している相手をメンバーリストに登録すると、登録した相手が待ち受けウィンドウに表示されます。メンバーリストには最大5人まで登録できます。
また、メンバーを変更、削除したり、アイコンの表示を変更したり、自分のホットステータス情報（マイステータス）（20-6ページ）を表示したりすることもできます。

メンバーリストに登録する

1 待ち受けウィンドウ→未登録の項目を選択→■（登録）

■メンバーを変更する場合
変更するメンバーを選択→Y!（メニュー）→「メンバー変更」→■→「YES」→■

2 「ホットステータス」／「アドレス帳」→■→相手を選択→■

補　足
- ホットステータスメンバーリストからメンバーを登録するには、あらかじめホットステータスメンバーリストに相手を登録しておく必要があります（20-3ページ）。

メンバーリストを編集する

1 待ち受けウィンドウ→Y!（メニュー）→「メンバーリスト編集」→■

2 メンバーを選択→■→「YES」→■

■新しいメンバーを登録する場合
「未登録」→■

3 「ホットステータス」／「アドレス帳」→■→相手を選択→■

補　足
- メンバーリスト編集画面で、すでに登録されているメンバーを選択中にY!（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  1件削除／全件削除

アイコンを変更する

1 待ち受けウィンドウ→メンバーを選択→Y!（メニュー）→「アイコン変更」→■

2 「顔写真」／「アイコン」→■→顔写真またはアイコンを選択→■

マイステータス表示を設定する

自分のホットステータス情報（マイステータス）（20-6ページ）を画面に表示するかどうかを設定します。

1 待ち受けウィンドウ→Y!（メニュー）→「メンバーリスト編集」→■

2 「マイステータス表示」→■（ON／OFF）

ホットステータス情報を表示する

登録しているメンバーや自分のホットステータス情報を表示します。

1 待受画面→[上](2回)

■ショートカットモードの場合

[左右]でメンバーを選択→[決定]

■コミュニケーションモードの場合

[上下]でメンバーを選択→[Y!](メニュー)→「詳細」→[決定]

補　足

- コミュニケーションモードでマイステータスを選択している場合は、[決定]を押してマイステータス画面(20-6ページ)を表示することができます。
- 相手がホットステータスの登録未許可の場合やオフラインの場合は、ホットステータス情報を表示できません。

メンバーに発信する

コミュニケーションモードでは、登録しているメンバーに直接電話やメール、サークルトークを発信することができます。

1 待ち受けウィンドウ→[上下]でメンバーを選択

2 [左右]で発信の種類を選択→[決定]

[電話アイコン]：電話をかける
[メールアイコン]：メールを作成・送信
[サークルトークアイコン]：サークルトークを発信

ライブモニター

ショートカットモードのライブモニターに表示されている新着情報の詳細を確認することができます。
新着情報を受信すると、待受画面に「[アイコン]」が表示されます。

●「**Yahoo!ケータイ**」の「**ライブモニター**」で登録したコンテンツ(18-16ページ)がショートカットモードのライブモニターに表示されます。

1 待ち受けウィンドウ→[上下]でライブモニターを選択→[決定]

●[メール](更新)を押すと、最新の情報内容に更新されます。[Y!](接続)を押すと、選択したサイトを表示します。

重　要

- 受信に失敗した新着情報がある場合は、お知らせ一発メニュー(1-8ページ)が表示されます。ライブモニターリスト(18-16ページ)を表示中に[Y!](メニュー)を押し、「**更新**」を選択して再度情報を受信してください。

補　足

- ライブモニターに表示される情報をお好きなサイトに変更する場合は、[Y!](メニュー)→「**設定**」→「**ライブモニター登録**」を選択します(18-16ページ)。
- 最新の情報内容に自動的に更新するように設定できます(14-4ページ)。

お天気情報

ショートカットモード時に表示されているお天気情報の詳細を確認することができます。

1 待ち受けウィンドウ→◎でお天気アイコンを選択→■

待ち受けウィンドウ設定

ショートカットモード時に、待ち受けウィンドウの表示設定を行うことができます。

待ち受けウィンドウのテンプレートを設定する

待ち受けウィンドウにホットステータス情報とニュースを表示するか、ホットステータスまたはニュースだけを表示するかを設定できます。

1 待ち受けウィンドウ→Y!(メニュー)→「設定」→■→「テンプレート設定」→■

2 「ホットステータス・ニュース」/「ホットステータス」/「ニュース」→■

自動更新を設定する

待ち受けウィンドウのライブモニターに表示される各種情報の自動更新を設定します。
自動更新する間隔は、「**速報**」（1 ／ 2 ／ 4 ／ 8時間から選択）、「**一般**」（24時間）、「**S!ループ**」（4時間）です。

1 待ち受けウィンドウ→Y!(メニュー)→「設定」→■→「表示設定」→■

2 「自動更新設定」→■→「速報」/「一般」/「S!ループ」→■

■「速報」の自動更新を設定する場合

自動更新する間隔を選択→■→◎→■→「YES」→■

- 「**自動更新なし**」を選択すると、速報は自動更新されません。

■「一般」／「S!ループ」の自動更新を設定する場合

「自動更新あり」→■→◎→■→「YES」→■

- 「**自動更新なし**」を選択すると、一般／ S!ループの自動更新はされません。

重　要

- 夜間から早朝の間は、ライブモニターの速報、S!ループリストの自動更新は行われません。
- 圏外または電波状況の悪い場所では自動更新されない場合があります。
- 何らかの事情で自動更新が停止している場合、手動で更新（14-3ページ）を行うと、自動更新が再開されます。

補　足

- 以下の操作でも自動更新を設定することができます。
  メインメニュー→「**Yahoo!ケータイ**」→「**ライブモニター**」→「**設定**」→「**自動更新設定**」

画像表示を設定する

待ち受けウィンドウのライブモニターに新着情報の画像を表示するかどうかを設定します。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター ▶ 設定

1 「画像取得設定」→■→「取得する」/「取得しない」→■

待ち受けウィンドウに表示する新着情報を設定する

待ち受けウィンドウのライブモニターにすべての新着情報を表示するか、未読の新着情報だけを表示するかを設定します。

1 **待ち受けウィンドウ→[Y!](メニュー)→「設定」→[■]→「表示設定」→[■]**

2 **「未読・既読設定」→[■]**

3 **「未読のみ」／「全て表示」→[■]**

補　足

- 「**未読のみ**」を選択した場合、未読の情報がなくなると、次の新着情報を受信するまでテロップは表示されなくなります。

テロップの速度を設定する

待ち受けウィンドウのライブモニターにテロップ表示する新着情報のスクロール速度や切替速度を設定します。

1 **待ち受けウィンドウ→[Y!](メニュー)→「設定」→[■]→「表示設定」→[■]**

2 **「マーキー速度設定」→[■]→速度を選択→[■]**

アラーム

アラームにはアラーム名、アラーム時刻、鳴動設定、起動設定、スヌーズを設定できます。アラームを設定すると待受画面に「⏰」が表示されます。設定した時刻になると、アラーム音、バイブレーター、画像でお知らせし、イルミネーションも点滅します。

アラームを登録する

メインメニュー ▶ ツール ▶ アラーム

1 **アラームを選択→[■]**

■アラーム名を設定する

アラーム名を選択→[■]→アラーム名を入力→[■]

■アラーム時刻を設定する

「時刻」→[■]→時刻を入力→[■]

2 **[✉](完了)→「OK」→[■]**

設定したアラームが有効になります。

- 電源OFF時にアラームが起動しないことを確認する画面で「**今後通知しない**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。
- 設定したアラームをOFFにするには、[✉]（ON ／ OFF）を押します。

重　要

- 電源がOFFのときは、アラームは起動しません。

補　足

- 操作中でも、設定した時刻になるとアラームが起動します。ただし、通話中や撮影中、データ通信中に設定した時刻になった場合は、それぞれの操作終了後にアラームが起動します。
- 世界時計でメイン都市切替（14-27ページ）を行った場合は、設定したアラームも変更後の都市の時刻に合わせて更新されます。また、サマータイムを「**ON**」にした場合、「**日時設定**」（1-15ページ）を変更した場合もアラームが更新されます。

14

便利な機能

アラーム音／アラーム音量／バイブレーター／鳴動時間／画像を設定する

メインメニュー ▶ ツール ▶ アラーム

1 アラームを選択→■

2 「鳴動設定」→■

■**本体にあらかじめ用意されている音をアラーム音に設定する**
「アラーム音」→■→「固定パターン」／「固定メロディ」→■→アラーム音を選択→■

■**データフォルダ／メモリカードのファイルをアラーム音に設定する**
「アラーム音」→■→「本体」／「メモリカード」→■→ファイルを選択→■（2回）

■**時刻読上げをアラーム音に設定する**
「アラーム音」→■→「時刻読上げ」→■

■**アラーム音量を設定する**
「アラーム音量」→■→音量を調節→■

■**バイブレーターを設定する**
「バイブ設定」→■→パターンを選択→■
●バイブレーターのパターンで「**SMAF連動**」を選択した場合は、アラーム音で設定しているメロディ（SMAF形式でバイブレーターが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

■**鳴動時間を設定する**
「鳴動時間」→■→鳴動時間を入力→■

■**オリジナル画像を設定時刻に表示する**
「画像設定」→■→「オリジナル」→■

■**データフォルダやメモリカードの画像を設定時刻に表示する**
「画像設定」→■→「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■→✣で画像の位置を調節→Y!（切取り）→■

3 ✉（決定）→✉（完了）→「OK」→■

補　足

- マナーモード（12-1ページ）を「**運転中モード**」に設定している場合は、アラームは鳴らず、バイブレーターも振動しません。
- オリジナルマナーのアラームのバイブ設定（12-2ページ）を「**OFF**」にしている場合は、振動しません。

起動日／スヌーズの設定をする

メインメニュー ▶ ツール ▶ アラーム

1 アラームを選択→■

■**起動日を設定する**
「1回のみ」→■→起動条件を選択→■
●「**曜日指定**」を選択した場合は、■→起動したい曜日の横に☑を表示→✉（完了）

■スヌーズを設定する

「スヌーズ」→[■]→「ON」／「OFF」→[■]→スヌーズ間隔を入力→[■]

●スヌーズを「**ON**」にすると、いったんアラームを止めても設定したスヌーズ間隔で再びアラームが鳴り、5回繰り返します。

アラームを削除する

メインメニュー ▶ ツール ▶ アラーム

■1件削除する

削除するアラームを選択→[Y!]（メニュー）→「リセット」→[■]→「YES」→[■]

■全件削除する

[Y!]（メニュー）→「全リセット」→[■]→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→[■]

アラームを停止する

アラームは設定した鳴動時間が経過すると自動的に停止しますが、手動でも停止できます。

1 アラーム起動中に、いずれかのボタンを押す

■待受画面に戻る

アラーム停止→[PWR]

■スヌーズを終了して待受画面に戻る

アラーム停止→「スヌーズ終了」→[■]→「YES」→[■]

簡易留守録

音声電話に出られないとき、応答メッセージが流れたあと、本体に相手のメッセージを録音できます。簡易留守録を「**ON**」にすると待受画面に「[留守録アイコン]」が表示されます。簡易留守録は、最大5件、1件あたり最大30秒録音できます。

簡易留守録を設定する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 簡易留守録

1 「留守録設定」→[■]

2 「ON」／「OFF」→[■]

●待受画面で[クリア/メモ]を長く（約1秒以上）押しても、簡易留守録の設定／解除ができます。

重　要

- 待受アプリ（19-5ページ）を設定するとメッセージを録音できない場合があります。
- TVコールや割込通話の着信（16-5ページ）では簡易留守録を使用できません。
- マナーモード（運転中モード／オリジナルマナー）設定中は、運転中モード／オリジナルマナーの簡易留守録設定（12-3ページ）が優先されます。マナーモード（運転中モード／オリジナルマナー）設定中に簡易留守録の設定／解除を行う場合は、オリジナルマナーの簡易留守録設定を変更してください。
- 「**留守録設定**」が「**OFF**」のとき、音声着信時に[クリア/メモ]を長く（1秒以上）押して相手のメッセージを録音終了すると、自動的に「**留守録設定**」が「**ON**」に設定されます。

14 便利な機能

補　足

- 自動応答設定(14-38ページ)を「**ON**」にしても、簡易留守録の応答が優先されます。
- 応答メッセージ再生中または相手のメッセージの録音中に■を押すと、通話できます。
- メッセージ録音中に✉(🔊)を押すと、録音中のメッセージをスピーカーで聞くことができます。

応答時間を設定する

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 簡易留守録

1 「応答時間設定」→■

2 応答時間を入力→■

録音されたメッセージを再生／削除する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 簡易留守録

■メッセージを再生する

「再生」→■→メッセージを選択→■

●録音されたメッセージが未再生の場合は「📼」が表示されます。再生済みの場合は「📼」が表示されます。

■メッセージを削除する

「再生」→■→メッセージを選択→✉（メニュー）→「削除」→■→「YES」→■

メモ帳

メインメニュー ▶ ツール ▶ メモ帳

1 空いている項目を選択→■→内容を入力→■

補　足

- 登録内容を編集する場合は、登録したメモを選択したあと✉(編集)を押します。
- すでに内容が登録されている項目を選択中に✉(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  削除／カテゴリ設定／エクスポート／メール送信

メモの内容別にアイコンを設定する

メインメニュー ▶ ツール ▶ メモ帳

1 設定するメモを選択→✉(メニュー)→「カテゴリ設定」→■

2 カテゴリを選択→■

選択したカテゴリの内容にあったアイコンが表示されます。

電卓

メイン メニュー ▶ ツール ▶ 電卓

ボタン	機能	ボタン	機能
0 〜 9	数字を入力	■	＝
上	＋	発信	＋／－切替
下	－	メール	Tax（税計算）
左	×	クリア/メモ	C（クリア）
右	÷	文字	小数点
PWR	Exit（電卓を終了）		

補　足

- メールを1回押すと税率計算結果が赤色の文字で、もう一度押すと税込み計算結果が緑色の文字で表示されます。
- 電卓表示中に、Y!（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

通貨換算：換算レートを入力し換算金額を表示します。
全クリア：入力値とメモリを消去します。
MS：入力値をメモリに保存します。
M+：入力値をメモリの数値に加算します。
MR：メモリに保存された値を表示します。
%：パーセント計算をします。
1／X：逆数計算をします。
SQRT：平方根計算をします。
税率設定：メールを押した場合に行われる税計算の設定を行います。税率を入力し、■を押します。

通貨換算を行う

メイン メニュー ▶ ツール ▶ 電卓

1. Y!（メニュー）→「通貨換算」→■→「換算レート」→■→「メイン通貨」／「サブ通貨」→■
2. レートを入力→■→クリア/メモ（3回）
3. 金額を入力→Y!（メニュー）→「通貨換算」→■→「メイン通貨に換算」／「サブ通貨に換算」→■

辞書

本機には、国語辞書（約4万語）、英和辞書（約4万語）、和英辞書（約3万6千語）の辞書データ（辞スパ）が収録されています。

国語･英和･和英辞書は © 株式会社学習研究社の「辞スパ」を使用しています。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 辞書

■単語（漢字、読み仮名）入力による意味検索をする

「国語辞書」→[■]→[文字]→キーワードを入力→[■]→単語を選択→[■]

■英単語入力による意味検索をする

「英和辞書」→[■]→[文字]→キーワードを入力→[■]→単語を選択→[■]

■単語（漢字、読み仮名）入力による英単語を検索する

「和英辞書」→[■]→[文字]→キーワードを入力→[■]→単語を選択→[■]

補　足

- 単語を選択中に[✉]（切替え）を押すと他の辞書に切り替えることができます。単語を選択して[■]を押すと、単語の意味を参照することができます。
- 単語を選択中に[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  キーワード入力／キーワードクリア／単語登録／見出し語コピー
- 単語を選択して[■]を押したあと[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  意味をコピー／見出し語コピー

カレンダー

カレンダーを表示して、スケジュールを400件まで登録できます（1日最大100件）。時計／カレンダー設定（12-6ページ）を「**カレンダー**」にしている場合には、スケジュールが登録されている日は待受画面のカレンダーにもアイコンで表示されます。

カレンダーを表示する

表示を1ヶ月表示、詳細1ヶ月表示、週間表示、4ヶ月表示、全件表示に切り替えることができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 [文字]→表示形式を選択

●スケジュール表示画面を1ヶ月表示、詳細1ヶ月表示、週間表示、4ヶ月表示、全件表示に切り替えることができます。

スケジュールに登録している情報を利用する

スケジュールに登録した電話番号やE-mailアドレス、URLを利用して、電話の発信、メールの作成、URL接続などができます。また、メール、ウェブページ、画像を呼び出して確認することもできます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 日付を選択→[■]→スケジュールを選択→[■]

2 項目を選択→■

■登録した電話番号に電話をかける

■→「発信」→■→Y!（メニュー）→「音声発信」／「TVコール」→■

■登録した電話番号にメールを送信する

■→「メール作成」→■→メール作成画面が表示されます

●以降の操作は、S!メールの作成／送信（17-4ページ）、SMSの作成／送信（17-9ページ）を参照してください。

■登録したE-mailアドレスにメールを送信する

■→メール作成画面が表示されます

●以降の操作は、S!メールの作成／送信（17-4ページ）を参照してください。

■登録したURLに接続する

■→「YES」→■

■メールを呼び出す

「関連メールあり」→■

■ウェブページを呼び出す

「関連ウェブあり」→■

■画像を呼び出す

「関連画像あり」→■

内容に登録している電話番号やメールアドレスを利用する

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 日付を選択→■→スケジュールを選択→■

2 「内容」の項目を選択→■

■選択した電話番号に電話をかける

■→「発信」→■→Y!（メニュー）→「音声発信」／「TVコール」→■

■選択した電話番号にメールを送信する

■→「メール作成」→■→「作成する」→■→メール作成画面が表示されます

●以降の操作は、S!メールの作成／送信（17-4ページ）、SMSの作成／送信（17-9ページ）を参照してください。

■選択したE-mailアドレスにメールを送信する

■→「メール作成」→■→「作成する」→■→メール作成画面が表示されます

●以降の操作は、S!メールの作成／送信（17-4ページ）を参照してください。

■選択した電話番号／E-mailアドレスをアドレス帳に登録する

■→「アドレス帳登録」→■→「新規登録」／「追加登録」→■→アドレス帳登録画面が表示されます

●以降の操作は、基本的な項目をアドレス帳に登録する（4-2ページ）を参照してください。

1ヶ月表示／詳細1ヶ月表示／4ヶ月表示画面でできること



1ヶ月表示画面

1ヶ月表示画面中のオレンジ色はカーソル、「■」はスケジュールが登録されていることを示します。1ヶ月表示画面の場合、スケジュールが登録されている日にはアイコンも表示されます。

[*]を押すと先月が表示されます。4ヶ月表示画面の場合は前の4ヶ月間が表示されます。

[#]を押すと翌月が表示されます。4ヶ月表示画面の場合は次の4ヶ月間が表示されます。

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

削除：「**当日分全件**」、「**過去全件**」、「**全件**」の削除を行います。

休日設定：指定した日や曜日の表示の色を変更します。

予定リストへ：予定リストを表示します。

ジャンプ：指定した日を表示します。

設定：お知らせ君の利用（14-18ページ）、カレンダーロックの設定（14-17ページ）、カレンダーの表示形式（14-10ページ）、文字色を設定（14-18ページ）します。

週間表示画面でできること

週間表示画面では、日付のオレンジ色はカーソルを示します。スケジュールが登録されている日は、開始時刻と用件が表示されます。

[*]を押すと先週が表示されます。

[#]を押すと翌週が表示されます。

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

削除：「**当日分全件**」、「**過去全件**」、「**全件**」の削除を行います。

休日設定：指定した日や曜日の表示の色を変更します。

予定リストへ：予定リストを表示します。

ジャンプ：指定した日を表示します。

設定：お知らせ君の利用（14-18ページ）、カレンダーロックの設定（14-17ページ）、カレンダーの表示形式（14-10ページ）、文字色を設定（14-18ページ）します。

一日表示画面でできること

[*]を押すと先日が表示されます。
[#]を押すと翌日が表示されます。
「**未消化予定あり**」が表示されている場合は、[■]を押して未消化の予定リストを表示することができます。
[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

編集　：スケジュールを編集します。
削除　：「**1件**」、「**当日分全件**」の削除を行います。
エクスポート　：「**本体**」／「**メモリカード**」にエクスポートします。
スケジュール送信　：スケジュールを「**メール送信**」／「**赤外線送信**」／「**Bluetooth送信**」で送信します。
ジャンプ　：指定した日を表示します。

全件表示画面でできること

[Y!]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

編集　：スケジュールを編集します。
削除　：「**1件**」、「**複数選択**」、「**全件**」の削除を行います。
検索　：スケジュールをスタンプアイコンを指定して検索します。
エクスポート　：「**本体**」／「**メモリカード**」にエクスポートします。
スケジュール送信　：スケジュールを「**メール送信**」／「**赤外線送信**」／「**Bluetooth送信**」で送信します。
設定　：お知らせ君の利用（14-18ページ）、カレンダーロックの設定（14-17ページ）、カレンダーの表示形式（14-10ページ）、文字色を設定（14-18ページ）します。

スケジュールを登録する

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 ✉(新規)

■用件を登録する

「用件」→■→用件を入力→■

■開始日時を登録する

「開始日時」→■→「日時設定」／「終日設定」→■→日時を入力→■

●時刻は24時間制で入力してください。

●「**終日設定**」を選択した場合は、日付のみ入力します。

■終了日時を登録する

「終了日時」→■→日時を入力→■

●時刻は24時間制で入力してください。

2 ✉(完了)

補　足

- 2000年1月2日〜2015年12月30日までのスケジュールを登録できます。他のソフトバンク携帯電話で登録した2015年12月30日以降のスケジュールを本機で取り込むことはできません。
- スケジュールを登録するには、「**用件**」、「**内容**」のいずれかを設定してください。
- スケジュールの登録中に(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(選択している項目によっては表示されない項目があります)。
  項目リセット／テレフォンリンク

アラームを設定する

スケジュールをアラームでお知らせするように設定できます。設定した時刻になると、アラーム音または時刻、バイブレーター、画像でお知らせし、アラーム日時および用件がディスプレイに表示されます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 ✉**(新規)→「アラーム」→■**

2 **「ON」→■**

■アラーム時刻を設定する

「アラーム時刻」→■→日時を入力→■

●時刻は24時間制で入力してください。

■鳴動時間を設定する

「鳴動時間」→■→鳴動時間を入力→■

■本体にあらかじめ登録されている音をアラーム音に設定する

「アラーム音」→■→「固定パターン」／「固定メロディ」→■→アラーム音を選択→■

■データフォルダ／メモリカードのファイルをアラーム音に設定する

「アラーム音」→■→「本体」／「メモリカード」→■→ファイルを選択→■(2回)

■時刻読上げをアラーム音に設定する

「アラーム音」→■→「時刻読上げ」→■

■アラーム音量を設定する

「アラーム音量」→■→音量を調節→■

■バイブレーターを設定する

「バイブ設定」→■→パターンを選択→■

■オリジナル画像を設定時刻に表示する

「画像設定」→■→「オリジナル」→■

■データフォルダやメモリカードの画像を設定時刻に表示する

「画像設定」→■→「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■→◎で画像の位置を調節→Y!（切取り）→■

3 ✉(決定)→✉(完了)→「OK」→■

●電源OFF時にアラームが起動しないことを確認する画面で「**今後通知しない**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

補　足

- 操作中でも、設定した時刻になるとアラームが起動します。ただし、通話中や撮影中、データ通信中に設定した時刻になった場合は、それぞれの操作終了後にアラームが起動します。
- マナーモード(12-1ページ)を「**サイレント**」に設定、またはオリジナルマナーのカレンダーのアラーム音量(12-2ページ)を「**サイレント**」にしている場合は、アラームは鳴りません。
- マナーモード(12-1ページ)を「**運転中モード**」に設定している場合は、アラームは鳴らず、バイブレーターも振動しません。
- オリジナルマナーのカレンダーのバイブ設定(12-2ページ)を「**OFF**」にしている場合は、振動しません。
- 世界時計でメイン都市切替(14-27ページ)を行った場合は、設定したアラームも変更後の都市の時刻に合わせて更新されます。また、サマータイムを「**ON**」にした場合、「**日時設定**」(1-15ページ)を変更した場合もアラームが更新されます。

その他の設定をする

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 ✉(新規)

■繰り返しを設定する

「オプション」→■→「繰り返し」→■→「繰り返しなし」／「毎日」／「毎週」／「毎月」／「毎年」／「月末」→■→繰り返し回数を入力→■

■スタンプを設定する

「スタンプアイコン」→■→スタンプを選択→■

■内容を設定する

「内容」→■→内容を入力→■

■場所を設定する

「場所」→■→場所を入力→■

■カテゴリを設定する

「オプション」→■→「カテゴリ」→■→カテゴリを選択→■

■電話発信／メール作成／URL接続を設定する

「電話番号」／「メールアドレス」／「URL」→■→電話番号／メールアドレス／URLを入力→■

●スケジュールの詳細画面で音声／TVコール発信、メール作成、URL接続を行うことができます（14-10ページ）。

■関連メール登録／関連ウェブ登録／関連画像登録を設定する

「関連メール登録」／「関連ウェブ登録」／「関連画像登録」→■→メール／ウェブページ／画像を選択→■

●スケジュールの詳細画面で設定したメール／ウェブページ／画像を呼び出すことができます（14-10ページ）。

■スケジュールの表示／非表示を設定する

「オプション」→■→「表示／非表示」→■→「表示する」／「表示しない」→■

重要

- 繰り返し設定をする場合、開始日時に月末の日付を設定していないと、「**月末**」を選択することはできません。
- 繰り返しが設定されているスケジュールを1件削除しようとすると、そのスケジュールを繰り返しから外すか確認画面が表示されます。「**外す**」を選択すると、そのスケジュールのみ繰り返しから外すことができます。
- スケジュールデータを送信し(10-11ページ)、他端末で受信した場合、繰り返しから外した日付が反映されない可能性があります。

補足

- 繰り返し回数を無制限にする場合は、「**00**」を入力します。
- 繰り返し設定で、30日または31日に「**毎月**」を設定し、翌月に30日または31日がない場合は、翌々月の30日または31日に設定されます。
- スケジュールの表示／非表示を「**表示しない**」に設定すると、操作用暗証番号を入力しない限り、スケジュールの確認や編集ができないようにします。カレンダー画面では、「🔒」のみ表示され、待受画面のカレンダーにはアイコンは表示されません。

スケジュールを編集する

登録したスケジュールを編集できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 日付を選択→■

2 スケジュールを選択→Y!(メニュー)→「編集」→■

3 項目を選択→■→項目を編集→■

4 ✉(完了)→「上書き保存」／「新規保存」→■

スケジュールを削除する

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

■1件削除する

日付を選択→■→削除するスケジュールを選択→Y!（メニュー）→「削除」→■→「1件」→■→「YES」→■

■当日分をすべて削除する

日付を選択→■→Y!（メニュー）→「削除」→■→「当日分全件」→■→「YES」→■

■前日以前をすべて削除する

Y!（メニュー）→「削除」→■→「過去全件」→■→「YES」→■

■全件削除する

Y!（メニュー）→「削除」→■→「全件」→■→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→■

■複数選択して削除する

文字→全件表示に切替え→Y!（メニュー）→「削除」→■→「複数選択」→■→スケジュールを選択→■→✉(削除)→「YES」→■

アラームを停止する

アラームは設定した鳴動時間が経過すると自動的に停止しますが、手動でも停止できます。

1 アラーム起動中に、いずれかのボタンを押す

■待受画面に戻る

アラーム停止→[PWR]

■スケジュールの内容を確認する

アラーム停止→[✉]（詳細）

指定した日へ移動する

1ヶ月表示、詳細1ヶ月表示、4ヶ月表示、週間表示、一日表示で指定した日へカーソルを移動できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 [Y!]（メニュー）→「ジャンプ」→[■]

2 日付を入力→[■]

カレンダーロックを設定する

操作用暗証番号（1-22ページ）を入力しない限り、カレンダーを確認できないように設定できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 [Y!]（メニュー）→「設定」→[■]→「カレンダーロック」→[■]

2 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

3 「ロックする」／「解除する」→[■]

重　要

● カレンダーロックを「**ロックする**」にしている場合は、アラーム起動時（14-14ページ）に用件は表示されません。また、詳細画面も表示できません。

日付や曜日の表示色を変更する

1ヶ月表示、詳細1ヶ月表示、4ヶ月表示、週間表示のスタイルや時計／カレンダー設定（12-6ページ）をカレンダーにした場合に待受画面に表示されるカレンダーについて、指定した日付や曜日の表示色を変更できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

■日付を指定して色を変更する

日付を選択→[Y!]（メニュー）→「休日設定」→[■]→「当日」→[■]→色／「解除」→[■]

■曜日ごとに色を変更する

[Y!]（メニュー）→「休日設定」→[■]→「曜日指定」→[■]→曜日を選択→[■]→色を選択→[■]→[✉]（完了）

補　足

● 「**当日**」、「**曜日指定**」で重ねて設定している場合は、「**当日**」で設定した色が優先されます。

14

便利な機能

お知らせ君を利用する

お知らせ君は、指定した時刻にアラームが鳴動し、当日または翌日のスケジュール、予定リスト（14-19ページ）を表示してお知らせする機能です。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 ■(メニュー)→「設定」→■→「お知らせ君」→■→「ON」→■

■表示内容を設定する

「当日の予定」→■→「当日の予定」／「翌日の予定」→■

■起動時刻を設定する

「時刻」→■→時刻を入力→■

●時刻は24時間制で入力してください。

■本体にあらかじめ登録されている音をアラーム音に設定する

「アラーム設定」→■→「アラーム音」→■→「固定パターン」／「固定メロディ」→■→アラーム音を選択→■

■データフォルダ／メモリカードのファイルをアラーム音に設定する

「アラーム設定」→■→「アラーム音」→■→「本体」／「メモリカード」→■→ファイルを選択→■（2回）

■アラーム音量を設定する

「アラーム設定」→■→「アラーム音量」→■→音量を調節→■

■バイブレーターを設定する

「アラーム設定」→■→「バイブ設定」→■→パターンを選択→■

■鳴動時間を設定する

「アラーム設定」→■→「鳴動時間」→■→鳴動時間を入力→■

■起動回数を設定する

「1回のみ」→■→起動回数を選択→■

2 ■(完了)

スタート表示を設定する

カレンダー起動時のスケジュール表示画面を1ヶ月、詳細1ヶ月、週間、4ヶ月から選択することができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 ■(メニュー)→「設定」→■→「スタート表示」→■

2 表示するスタイルを選択→■

文字色を設定する

一日表示画面／全件表示画面に表示されるスケジュールの文字色と縁取り色を設定することができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ カレンダー

1 ■(メニュー)→「設定」→■→「文字色」→■

2 文字色を選択→■

予定リスト

予定リストに100件まで予定を登録できます。登録した予定は、一覧で表示したり、未消化、消化済みに分けて確認することができます。また、優先度やカテゴリを設定することもできます。

予定を登録する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

1 Y!(メニュー)→「新規作成」→■

■**用件を入力する**
「用件」→■→用件を入力→■

■**期限日時を登録する**
「期限日時」→■→日時を入力→■
●時刻は24時間制で入力してください。

2 ✉(完了)

補足

- 2000年1月2日～2015年12月30日までの予定を登録できます。他のソフトバンク携帯電話で登録した2015年12月30日以降の予定を本機で取り込むことはできません。
- 予定を登録するには、「**用件**」、「**内容**」のいずれかを設定してください。

アラームを設定する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

1 Y!(メニュー)→「新規作成」→■→「アラーム」→■

2 「ON」→■

■**アラーム時刻を設定する**
「アラーム時刻」→■→日時を入力→■
●時刻は24時間制で入力してください。

■**鳴動時間を設定する**
「鳴動時間」→■→鳴動時間を入力→■

■**本体にあらかじめ登録されている音をアラーム音に設定する**
「アラーム音」→■→「固定パターン」／「固定メロディ」→■→アラーム音を選択→■

■**データフォルダ／メモリカードのファイルをアラーム音に設定する**
「アラーム音」→■→「本体」／「メモリカード」→■→ファイルを選択→■（2回）

■**時刻読上げをアラーム音に設定する**
「アラーム音」→■→「時刻読上げ」→■

■**アラーム音量を設定する**
「アラーム音量」→■→音量を調節→■

■**バイブレーターを設定する**
「バイブ設定」→■→パターンを選択→■

■**オリジナル画像を設定時刻に表示する**
「画像設定」→■→「オリジナル」→■

■データフォルダやメモリカードの画像を設定時刻に表示する

「画像設定」→■→「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■→◎で画像の位置を調節→Y!（切取り）→■

3 ✉(決定)→✉(完了)→「OK」→■

●電源OFF時にアラームが起動しないことを確認する画面で「**今後通知しない**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

14 便利な機能

補 足

- アラームの設定時刻になったときの動作については、14-14ページを参照してください。
- マナーモード(12-1ページ)を「**サイレント**」に設定、またはオリジナルマナーのカレンダーのアラーム音量(12-2ページ)を「**サイレント**」にしている場合は、アラームは鳴りません。
- マナーモード(12-1ページ)を「**運転中モード**」に設定している場合は、アラームは鳴らず、バイブレーターも振動しません。
- オリジナルマナーのカレンダーのバイブ設定(12-2ページ)を「**OFF**」にしている場合は、振動しません。
- 世界時計でメイン都市切替(14-27ページ)を行った場合は、設定したアラームも変更後の都市の時刻に合わせて更新されます。また、サマータイムを「**ON**」にした場合、「**日時設定**」(1-15ページ)を変更した場合もアラームが更新されます。

その他の設定をする

メインメニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

1 Y!(メニュー)→「新規作成」→■

■**スタンプを設定する**

「スタンプアイコン」→■→スタンプを選択→■

■**内容を設定する**

「内容」→■→内容を入力→■

■**予定の表示／非表示を設定する**

「オプション」→■→「表示／非表示」→■→「表示する」／「表示しない」→■

■**優先度を設定する**

「オプション」→■→「優先度」→■→優先度を選択→■

■**予定の状態を設定する**

「オプション」→■→「状態」→■→状態を選択→■

2 ✉(完了)

補 足

- 予定の表示／非表示を「**表示しない**」に設定すると、操作用暗証番号(1-22ページ)を入力しない限り、予定の確認や編集ができないようにします。予定リスト画面では、「🔑」のみ表示され、用件や期限は表示されません。

登録した予定リストを確認する

メイン メニュー ▶ ツール

1 「予定リスト」→■

■表示方法を切り替える

Y!（メニュー）→「表示切替」→■→表示方法を選択→■

■予定の状態を変更する

予定リストを選択→✉（状態）→「未消化」／「消化」／「期限切れ」→■

補　足

- 予定の一覧を表示中にY!(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  新規作成／**編集**／**削除**／**表示切替**／**ソート**／**検索**／**カレンダーへ**／**エクスポート**／**予定リスト送信**／**設定**

予定に登録している情報を利用する

予定の内容に登録した電話番号、E-mailアドレス、URLを利用して、電話の発信、メールの作成などができます。

メイン メニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

1 予定リストを選択→■→情報を含む「内容」を選択→■

2 情報を選択→■

■選択した電話番号に電話をかける

「発信」→■→Y!（メニュー）→「音声発信」／「TVコール」→■

■選択した電話番号／E-mailアドレスにメールを送信する

「メール作成」→■→「作成する」→■→メール作成画面が表示されます

●以降の操作は、S!メールの作成／送信（17-4ページ）を参照してください。

■選択した電話番号／E-mailアドレスをアドレス帳に登録する

「アドレス帳登録」→■→「新規登録」／「追加登録」→■→アドレス帳登録画面が表示されます

●以降の操作は、基本的な項目をアドレス帳に登録する（4-2ページ）を参照してください。

■選択したURLに接続する

「接続する」→■

●位置情報を含むURLを選択した場合は、「**インターネットアクセス**」／「**ナビアプリ**」／「**位置メモ登録**」を選択します。

予定リストを削除する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

■1件削除する

予定を選択→[Y!]（メニュー）→「削除」→[■]→「1件」→[■]→「YES」→[■]

■全件削除する

[Y!]（メニュー）→「削除」→[■]→「全件」→[■]→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→[■]

●全件削除は全件表示画面から行えます。

■複数選択して削除する

[Y!]（メニュー）→「削除」→[■]→「複数選択」→[■]→予定を選択→[■]→[✉]（削除）→「YES」→[■]

予定リストロックを設定する

予定リストを確認するときに操作用暗証番号（1-22ページ）の入力が必要となるように設定することができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 予定リスト

1 [Y!]（メニュー）→「設定」→[■]→「予定リストロック」→[■]

2 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

3 「ロックする」／「解除する」→[■]

時間割

月曜日から土曜日までの時間割を作成することができます。1日8時限までの科目や教室、文字色などを登録することができます。

時間割を登録する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ 時間割

1 時限を選択→[Y!]（メニュー）→「編集」→[■]

■科目／教室／教師／メモを登録する

各項目を選択→[■]→項目を入力→[■]

■背景色／文字色を設定する

「背景色」／「文字色」→[■]→背景色／文字色を選択→[■]

2 [✉]（完了）

時間割を確認する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ 時間割

1 時限を選択→[■]

補　足

- 時間割画面で[✉]（切替え）を押すと、科目表示画面と科目＋教室表示画面に切り替えることができます。

14 便利な機能

時間割をコピーする

登録した時間割を別の時間割にコピーすることができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ 時間割

1 時限を選択→Y!(メニュー)→「コピー」→■

2 コピー先の時限を選択→■

●複数箇所にコピーする場合は、この操作を繰り返します。

3 ✉(完了)

補　足

● 一度コピーした時間割を取り消す場合は、時間割をコピーしたあとY!(メニュー)→「**元に戻す**」を選択します。

時間割を削除する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ 時間割

■1件削除する

時限を選択→Y!(メニュー)→「削除」→■→「1件」→■→「YES」→■

■全件削除する

Y!(メニュー)→「削除」→■→「全件」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→■

時間割設定をする

各時間割の開始時刻/終了時刻を設定する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ 時間割

1 Y!(メニュー)→「時間割設定」→■→「時刻設定」→■

2 時限を選択→■→開始時刻を入力→■→終了時刻を入力→■

●時刻は24時間制で入力してください。

3 ✉(完了)

補　足

● 時刻設定をお買い上げ時の状態に戻すには、Y!(メニュー)→「**時間割設定**」→■→「**時刻リセット**」→■→「**YES**」→■

キッチンタイマー

設定時間が経過すると、アラーム音、バイブレーター、イルミネーションの点滅でお知らせします。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ キッチンタイマー

1 **アラーム起動までの時間を入力→■**

2 **■(スタート)**

3 **■(ストップ)**

補　足

- アラーム音量はサウンド音量(12-4ページ)の設定に従います。マナーモードが「**サイレント**」または「**アラーム**」(12-1ページ)に設定されている場合は鳴りません。
- マナーモード(12-1ページ)を「**運転中モード**」に設定している場合は、アラームは鳴らず、バイブレーターも振動しません。
- キッチンタイマーをスタート後に本体を閉じても、タイマーを利用できます。

ボイスレコーダー

音声を録音し、本体やメモリカードに保存できます。1件あたり90分まで録音できます。ただし、メモリの空き容量によって録音できる時間が短かくなる場合があります。

●ボイスレコーダー機能は、一般的なモラルやマナーを守ってお使いください。

音声を録音する

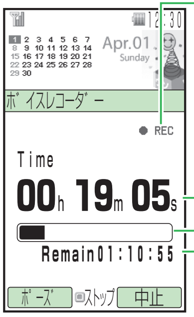
ボイスレコーダーで録音した音声は「**着うた・メロディ**」フォルダに自動的に保存されます。録音はマイク（送話口）で行います。

●実演および興行などには、個人として楽しむための録音自体が制限されている場合がありますので、ご注意ください。

●録音中に着信があった場合は、着信を優先するため、録音を停止し、自動保存します。録音中の着信を禁止する場合はオフラインモード（2-11ページ）に設定してください。

録音画面について

録音画面は、以下のように表示されます。



状態表示

● REC　：録音中

■STOP　：停止中

❚❚PAUSE　：一時停止中

録音時間

録音した時間を表示します。

録音バー

現在録音している位置を表示します。

録音可能時間

残りの録音可能時間を表示します。

録音する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ボイスレコーダー

1 「録音」→■（2回）

●一時停止する場合は✉（ポーズ）を押します。録音を再開する場合は■を、保存する場合は✉（保存）を押します。
●録音を終了するには■を押します。
●録音可能時間が10秒未満になると「● REC」が点滅します。

補 足

● 録音中のキー操作時や本体を開いた状態での録音時、または本体を閉じた状態での録音中に本体を開いた場合は、ダイヤルボタンのキーバックライトは点灯しません。

保存先を変更する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ボイスレコーダー

1 「録音」→■

2 Y!（メニュー）→「保存先設定」→■

3 「本体」／「メモリカード」→■

録音内容を再生する

通話中に録音した音声（2-5ページ）も再生できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ ボイスレコーダー

1 「再生」→■→「本体」／「メモリカード」→■

2 ファイルを選択→■

通話中番号メモ

通話中番号メモを確認する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ 通話中番号メモ

1 通話中番号メモを選択→■

補 足

● 通話中番号メモに登録した電話番号を選択し、✓を押すと相手に電話をかけることができます。
● 通話中番号メモに登録した電話番号を選択し、▲を押すとサークルトークの確認画面が表示されます。▲を長く（約1秒以上）押すと相手にサークルトークをかけることができます。
● 通話中番号メモを選択中に、Y!（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
TVコール（5-1ページ）／**サークルトーク発信**（20-12ページ）／**アドレス帳登録**（4-2ページ）／**番号非通知**（12-13ページ）／**番号通知**（12-13ページ）／**拒否リスト追加**（12-12ページ）／**メール送信**（17-4、17-9ページ）／**削除**

世界時計

時計表示、スケジュール、アラームに表示されている時刻は、メイン都市の切り替え（14-27ページ）で設定した都市の時刻です。都市1／都市2に時刻を設定し、時計／カレンダー設定（12-6ページ）で「**2都市ーデジタル**」または「**2都市ーアナログ**」を選択した場合は、都市1と都市2の日時を待受画面に表示できます。

2都市時計を設定する

都市1／都市2を設定する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 時計設定 ▶ 2都市時計設定

1 「都市1」／「都市2」→[■]

2 [◀▶]で都市を選択→[■]

GMTからオフセットで都市を設定する

GMT（グリニッジ標準時）との時差を入力することで、都市を選択できます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 時計設定 ▶ 2都市時計設定

1 「都市1」／「都市2」→[■]→[Y!]（メニュー）→「GMTオフセット」→[■]

2 [▲▼]で時差を選択→[■]（2回）

サマータイムを設定する

サマータイムの設定を「**ON**」にしている場合は、世界時計の画面上に「」が表示されます。待受画面の時計には「＊」が表示されます。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 時計設定 ▶ 2都市時計設定

1 「都市1」／「都市2」→[■]→[Y!]（メニュー）→「サマータイムON／OFF」→[■]

2 「ON」／「OFF」→[■]

都市名を編集する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 時計設定 ▶ 2都市時計設定

1 「都市1」/「都市2」→●

2 ◉で名称を編集する都市を選択→Y!(メニュー)→「都市名編集」→●

3 都市名を入力→●

補足

- 都市名をすべてお買い上げ時の状態に戻すには、「**都市1**」/「**都市2**」→●→Y!(メニュー)→「**都市名リセット**」→●→「**YES**」→●
- 都市名は、全角半角を問わず13文字まで設定できます。表示される場所によっては、都市名の一部を省略表示する場合もあります。

メイン都市の切り替えをする

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ 時計設定 ▶ 2都市時計設定

1 「メイン都市切替」→●

2 「都市1」/「都市2」→●

世界時計を表示する

世界時計表示では、主要都市の日付、時刻、時差を、地図上のカーソル(黄線)を動かすことにより確認できます。2都市時計設定(14-26ページ)で設定された都市1は緑線、都市2は赤線で表示されます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ 世界時計

1 ◉で都市を選択

●サマータイムの表示を切り替える場合は、✉(☀ON)または✉(☀OFF)を押します。

充電中画面設定

充電中に選択した画像をアニメーション表示させることができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ フォトdeショー

1 「ON/OFF」→●→「ON」/「OFF」→●

2 「表示設定」→●→「画像設定」→●

■表示方法を設定する

「テンプレート」→●→テンプレートを選択→●(2回)

■表示時間を設定する

「表示時間」→●→表示時間を入力→●

3 「画像リスト」→■→画像リストを選択→■

■アニメーションを作成して設定する

●あらかじめ画像リストにデータフォルダの画像を登録する必要があります。1件の画像リストには最大5フレームまで登録できます。

✉(編集)→画像リスト項目を選択→■→「本体」／「メモリカード」→■→画像を選択→■(2回)→✉(設定)

■選択したフォルダ内の画像をアニメーション表示する

「フォルダ指定」→■→フォルダを選択→■→✉(設定)

■本体にあらかじめ用意されている画像を設定する

「固定」→■→✉(設定)

ファイルのバックアップ

本体からメモリカードへアドレス帳やスケジュールなど各種データをファイルにしてバックアップできます。また、バックアップしたファイルをメモリカードから本体に読み込むこともできます。

メモリカードへ一括転送／個別転送する

メインメニュー ▶ ツール ▶ バックアップ

1 「データ一括転送」→■→「カードへ転送」→■

2 転送するデータを選択→■

●データを複数選択する場合は、この操作を繰り返します。

■すべてのデータを選択／選択解除する

Y!（メニュー）→「全件チェック」／「全チェック解除」→■

3 ✉(転送)→□→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

●アドレス帳を転送する場合は、アドレス帳に登録している画像も含めて転送するかどうかの確認画面が表示されます。「**NO**」を選択すると、登録画像を含めずに転送できます。

●スケジュール／予定リストを転送する場合は、前日以前のスケジュールも含めて転送するかどうかの確認画面が表示されます。「**過去を除く全データ**」を選択すると、当日以後のスケジュールだけを転送できます。

重　要

- データの内容によっては、メモリカードへ転送できないデータもあります。
- メモリカードに転送したファイルをパソコンなどで参照したり、書き替えたりしないでください。ファイルが破損するおそれがあります。
- 著作権で保護されているデータは、メモリカードへ転送できない場合や、転送時に本体から削除される場合があります。
- 本体で設定したセキュリティ設定は、転送されたデータには反映されません。

補　足

- 転送中は自動的にオフラインモードになります。メモリカードへの転送が完了すると解除されます。
- 転送したファイルの名前は、2桁の年月日と連番で登録されます。
- ブックマークを転送する場合は、Yahoo!ケータイ、PCサイト両方のブックマークが転送されます。

補　足

- コンテンツ･キーのバックアップファイルはメモリカードに1つしか保存されないため､再度別のコンテンツ･キーをバックアップすると､前回のバックアップで保存されたファイルが上書きされます｡前回バックアップしたコンテンツ･キーも残したいときは､メモリカードからコンテンツ･キーのバックアップファイルを本体へ読み込んだあと､あらためてバックアップの操作を行ってください｡
- コンテンツ･キーはバックアップにより本体からメモリカードへ移動するため､コンテンツ･キーを移動したファイルは使用できなくなります｡
- 本体へ読み込むとき､コンテンツ･キーは本体内のコンテンツ･キーを上書きせず､追加します｡

メモリカードから一括読込み／個別読込みする

メインメニュー ▶ ツール ▶ バックアップ

1 「データ一括転送」→■→「カードから読込A」／「カードから読込B」→■

●データのバックアップを行った機種により、読み込み方法が異なります。「カードから読込A」または「カードから読込B」のどちらかを選択した際に「データがありません」と表示された場合は、もう一方の項目を選択してください。

2 転送するデータを選択→■

●データを複数選択する場合は、この操作を繰り返します。

■すべてのデータを選択／選択解除する

Y!(メニュー)→「全件チェック」／「全チェック解除」→■

3 ✉(読込み)→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

■アドレス帳／スケジュール／予定リスト／メール／ブックマーク／メモ帳を読み込む場合

「追加登録」／「全て削除して登録」を選択→■(2回)→データを選択→■

●「**追加登録**」を選択すると、本体の登録内容を削除せずに追加登録できます。

重　要

- 著作権で保護されているデータは､本体へ読み込みできない場合や､読み込み時にメモリカードから削除される場合があります｡
- 本体に読み込むデータのファイル名が33文字以上の場合､32文字を超えたファイル名は削除されて転送されます｡
- 本体に読み込むデータにセキュリティが設定されていても､転送するデータには反映されません｡

補　足

- 転送中は自動的にオフラインモードになります｡本体への転送が完了すると解除されます｡
- メモリカードからアドレス帳を読み込む場合､読み込むアドレス帳の件数によっては､本体への読み込みが終了するまで時間がかかる場合があります｡
- ブックマークを転送する場合は､Yahoo!ケータイ､PCサイト両方のブックマークが転送されます｡

ソフトバンク携帯電話(3G以外)のデータを一括読込み/個別読込みする

メモリカードに保存されているソフトバンク携帯電話（3G以外）のデータを本体に転送することができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ バックアップ

1 「データ一括転送」→■→「3G以外から」→■

2 転送するデータを選択→■

●データを複数選択する場合は、この操作を繰り返します。

■すべてのデータを選択／選択解除する

(メニュー) →「全件チェック」／「全チェック解除」→■

3 ✉(読込み)→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

重 要

- ソフトバンク携帯電話(PDC)で作成したデータは一部読み込めない場合があります。
- 著作権で保護されているデータは、本体へ読み込みできない場合や、読み込み時にメモリカードから削除される場合があります。
- 本体に読み込むデータのファイル名が33文字以上の場合、32文字を超えたファイル名は削除されて転送されます。
- 本体に読み込むデータにセキュリティが設定されていても、転送するデータには反映されません。

補 足

- 転送中は自動的にオフラインモードになります。本体への転送が完了すると解除されます。
- 転送したデータは、対応した本体のデータフォルダにそれぞれ保存されます。

転送したデータを削除する

本体から転送したメモリカードのデータを、一括／個別に消去することができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ バックアップ

1 「データ一括転送」→■→「転送データ削除」→■

■データを全件削除する

「全データ」→■→「YES」→■→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

2 「データ選択」→■→データを選択→■

■アドレス帳／スケジュール／予定リスト／メール／ブックマーク／メモ帳を削除する場合

データを選択→■

●データを複数削除する場合は、この操作を繰り返します。

■すべてのデータを選択／選択解除する

(メニュー) →「全件チェック」／「全チェック解除」→■

3 ✉(削除)→「YES」→■

各機能で設定したデータを転送する（引っ越し機能）

各機能の設定データをメモリカードへバックアップできます。また、メモリカードから本体へ読み込むことができます。

設定データを一括／個別でバックアップする

メインメニュー ▶ ツール ▶ バックアップ

1 「引っ越し機能」→■→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「カードへ転送」→■

2 設定項目を選択→■

●項目を複数選択する場合は、この操作を繰り返します。

■すべての項目を選択／選択解除する

Y!（メニュー）→「全件チェック」／「全チェック解除」→■

3 ✉（転送）→□→■→バックアップ用暗証番号を入力→確認のためにもう一度バックアップ用暗証番号を入力→□→■

●バックアップ用暗証番号は4桁の暗証番号です。本体へ設定データを読み込むときに必要になります。

重　要

- バックアップ用暗証番号は忘れないように、別にメモなどを取り、他人に知られないよう管理してください。

補　足

- バックアップ中は自動的にオフラインモードになります。メモリカードへのバックアップが完了すると解除されます。

設定データをリストアする

メモリカードに保存している本機やソフトバンク携帯電話の設定データを本体に読み込むことができます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ バックアップ

1 「引っ越し機能」→■→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「カードから読込」／「3G以外から」→■

2 設定データを選択→■→バックアップ用暗証番号を入力→□（2回）→■

設定データがリストアされ、自動的に電源が入れ直されます。

補　足

- リストア中は自動的にオフラインモードになります。本体へのリストアが完了すると解除されます。
- 設定データを選択したあとY!（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

  1件削除／プロパティ表示

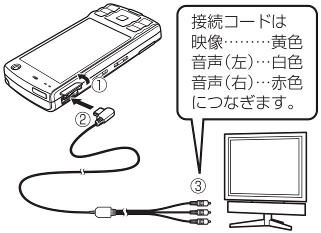
テレビに出力する

ビデオ出力ケーブル（オプション品）を使用して、テレビのビデオ入力端子に接続することにより、静止画、動画をテレビに出力できます。また、テレビ表示に対応したS!アプリ（19章）をテレビ表示することもできます。

1 **AV OUT端子のキャップを開ける(①)**

2 **ビデオ出力ケーブルの接続プラグをAV OUT端子に差し込む(②)**

3 **ビデオ出力ケーブルをテレビのビデオ入力端子(映像・音声)に接続する(③)**



4 **テレビ出力したい画面をディスプレイに表示→[文字]を長く(約1秒以上)押す→「YES」→[■]**

●終了する場合は、[文字]を長く（約1秒以上）押します。

重　要

- ファイルによってはテレビ表示できない場合があります。
- 動画撮影中、セルフタイマー起動中(7-18ページ)は、テレビ表示に変更できません。
- イヤホンマイク／AV OUT端子に接続プラグを抜き差しするときは、端子に対して接続プラグが平行になるように注意して行ってください。

海外でテレビ出力するとき

テレビの規格によっては、TV出力の設定をPALに変更する必要があります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 一般設定 ▶ TV出力

1 **「NTSC」／「PAL」→[■]**

国際電話サービスの設定

国際電話をかける際に、付加する国際コードの変更、国番号リストへの追加をすることができます。

●国際電話サービスをご利用になるには、別途お申し込みが必要です。詳しくは、**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。

国際コードを変更する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 国際設定

1 「国際コード」→■→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

現在設定されている国際コードが表示されます。

2 番号を入力→■

国番号リストに追加登録する

国番号リストにはあらかじめ17カ国の国番号が登録されています。また、この国番号リストは編集や追加登録できます。国番号リストの登録可能国数は最大20カ国です。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 国際設定

1 「国番号リスト」→■

2 Y!（メニュー）→「追加」→■

3 国名を入力→■

4 国番号を入力→■

国番号リストに登録されます。

補　足

● 国番号リストで国を選択したあとY!（メニュー）を押して、以下の操作を行うこともできます。
編集／削除※
※ 追加登録した3カ国のみ削除できます。

14 便利な機能

ショートカットメニュー

よく使う機能をショートカットメニューに登録すると、少ない操作でその機能を呼び出せます。

ショートカットメニューに登録する

本機の機能を最大40件登録することができます。また、登録した機能の名称やアイコンを変更することもできます。

1 登録する機能を呼び出す→[ショートカットキー]

2 [メールキー](登録)

補　足

- お買い上げ時は、以下の機能が登録されています。
  - ・メール作成　・メールボックス　・メインメニュー
  - ・メディアプレイヤー　・カレンダー　・時間割
  - ・国語辞書　・英和辞書　・和英辞書
  - ・電卓　・ICカードロック

ショートカットメニューから機能を呼び出す

1 待受画面→[ショートカットキー]

2 機能を選択→[●]

重　要

- ショートカットメニューから呼び出せる機能の数は2つまでです。

補　足

- 未確認の情報がある場合は、お知らせ一発メニュー(1-8ページ)のアイコンが表示され、その情報を確認することができます。
- ショートカットメニューに登録されているファイルを呼び出した場合、操作が制限される場合があります。

名称を変更する

1 待受画面→[ショートカットキー]

2 機能を選択→[Y!](メニュー)→「タイトル編集」→[●]

3 名称を入力→[●]

補　足

- あらかじめ登録されている機能(左記)は、名称の変更を行うことはできません。

アイコンを変更する

1 待受画面→[ショートカットキー]

2 機能を選択→[Y!](メニュー)→「アイコン変更」→[●]

■本体にあらかじめ用意されているアイコンを設定する

「プリセットアイコン」→[●]→アイコンを選択→[●]

■データフォルダ／メモリカードの画像を設定する

「本体」／「メモリカード」→[●]→画像を選択→[●]→[方向キー]で画像の位置を調節→[Y!]（切取り）→[●]

補　足

- あらかじめ登録されている機能（14-34ページ）は、アイコンの変更を行うことはできません。

アイコンを移動する

1 待受画面→[キー]

2 機能を選択→[Y!]（メニュー）→「アイコン移動」→[■]

3 移動したい位置を選択→[■]

ショートカットメニューから削除する

1 待受画面→[キー]

2 機能を選択→[Y!]（メニュー）

■1件削除する

「1件削除」→[■]→「YES」→[■]

■全件削除する

「全件削除」→[■]→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→[■]

補　足

- あらかじめ登録されている機能（14-34ページ）は、ショートカットメニューから削除することはできません。

プッシュトーンを送る

プッシュトーンを送って自動音声応答サービスなど各種プッシュホンサービスをご利用になれます。

プッシュトーンをひとつずつ送る

1 通話中に[0]～[9]、[＊]、[＃]のいずれかのボタンを押す

プッシュトーンを一括して送る

プッシュトーンで送りたい内容を、あらかじめアドレス帳に電話番号として登録（4-2ページ）しておき、プッシュホンサービスなどでご利用の際、一括して送ることができます。ポケットベルにメッセージを送るときなどに便利です。

1 相手とつながったあと、[Y!]（メニュー）を押す

2 「アドレス帳」→[■]→アドレス帳を選択→[■]

3 登録しておいたプッシュトーン（電話番号）を選択→[Y!]（メニュー）

4 「プッシュトーン送出」→[■]

●最大32桁まで一度に送信できます。

ポーズ「P」を使ってプッシュトーンを送る

ポーズ「P」を利用するとプッシュトーンを「P」ごとに区切って順に送信できます。ご自宅の電話機の遠隔操作番号など複数のプッシュトーンをまとめてアドレス帳に登録すると便利です。

アドレス帳に登録する

例 以下の3つの番号を登録する場合
電話番号　　　　　　　　:「**03-123X-XXX3**」
留守番電話の暗証番号　　:「**#7777**」
留守番電話の再生操作番号:「**#1**」

1 アドレス帳の電話番号に、「03123XXXX3P#7777P#1」を登録する

●アドレス帳の登録方法については4-2ページを参照してください。

プッシュトーンを送信する

1 送信したいプッシュトーンが登録されたアドレス帳を呼び出す

●アドレス帳の呼び出しかたについては4-7ページを参照してください。

2 [通話キー]

1つ目の「P」より前の電話番号に電話がかかります。

3 [■]

次の「P」までのプッシュトーンが送信されます。
●すべてのプッシュトーンを送信するまで、この操作を繰り返します。

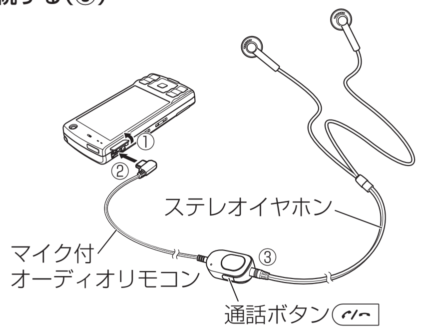
マイク付オーディオリモコン（オプション品）の利用

マイク付オーディオリモコン（オプション品）とステレオイヤホン（オプション品）を組み合わせて接続すると、マイクのスイッチを押すだけで、かかってきた電話を受けたり、あらかじめ設定した電話番号に電話をかけたりできます。また、自動応答を設定して、ボタン操作をすることなく電話を受けることもできます。

1 イヤホンマイク端子のキャップを開ける（①）

2 マイク付オーディオリモコンの接続プラグをイヤホンマイク端子に差し込む（②）

3 マイク付オーディオリモコンとステレオイヤホンを接続する（③）



重　要

- イヤホンマイク／AV OUT端子に接続プラグを抜き差しするときは、端子に対して接続プラグが平行になるように注意して行ってください。

イヤホン発信の番号登録

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ イヤホンマイク設定 ▶ 発信先設定

1 「ON／OFF」→■→「ON」→■

2 「電話番号指定」→■

■アドレス帳から登録する
「アドレス帳」→■→相手を選択→■→電話番号を選択→■（2回）

■電話番号を直接入力して登録する
「電話番号入力」→■→電話番号を入力→■（2回）

ワンタッチで電話をかける

1 待受画面でリモコンの[発/終]を長く（約1秒以上）押す

●発信中にリモコンの[発/終]を長く（約1秒以上）押すと、発信を中止します。

2 通話終了後、リモコンの[発/終]を長く（約1秒以上）押す

●[PWR]を押しても電話が切れます。

ワンタッチで電話を受ける

1 電話がかかってきたら、リモコンの[発/終]を長く（約1秒以上）押す

2 通話終了後、リモコンの[発/終]を長く（約1秒以上）押す

●[PWR]を押しても電話が切れます。

補　足

- マイク付オーディオリモコンとステレオイヤホンを組み合わせて接続したときにマナーモード（12-1ページ）にしていても、イヤホンからは通常モードで設定された着信音が聞こえます。

自動応答を設定する

マイク付オーディオリモコンとステレオイヤホンを組み合わせて接続したときに、ボタン操作をせずに音声電話を受けるように設定できます。また、電話を受けるまでの時間（応答時間）の変更や、発信先の電話番号を設定できます。

●マナーモードの設定（12-1ページ）にかかわらずスピーカーとイヤホンから「ピーピーピー」と音が鳴り、自動的に音声電話がつながります。

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ イヤホンマイク設定

1 「自動応答」→■→「ON／OFF」→■(2回)→「ON」→■

2 「時間指定」→■→応答時間を入力→■

重　要

- 自動応答設定と簡易留守録（14-7ページ）を設定している場合は、簡易留守録が優先されます。
- 自動応答設定と留守番電話サービス（16-4ページ）を設定している場合は、応答時間の短い方が優先されます。応答時間を同じにしている場合は、留守番電話サービスが優先されます。

イドコロメールについて

イドコロメールとは、あらかじめ登録しているエリアに到着またはエリアから出発したことをお知らせしたり、簡単な操作で位置情報をお知らせすることができる機能です。

重　要

- メモリが不足すると各種お知らせメールを作成できません。送信済みのメールまたは「**未送信ボックス**」内の不要なメールを削除（17-18ページ）するか、メールの自動削除設定（17-14ページ）を「**設定する**」にしてください。
- GPS衛星または基地局の信号による電波の受信状況が悪い場所でご利用の場合は、位置情報の精度が低くなることがあります。
- 正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。
- 提供した位置情報に起因する障害については、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 測位機能ロック中（21-4ページ）は測位できません。
- 各種お知らせメールの送信には、メール送信料と測位時の通信料がかかります。

補　足

- イドコロメールでは、測位した位置情報を添付したメールを相手に送信します。

お知らせリストを登録する

位置をお知らせする相手をお知らせリストに登録します。お知らせリストは5件まで登録できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ イドコロメール

1. 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「お知らせリスト」→■
2. お知らせリストを選択→■→「お知らせ先」→■→アドレス帳から相手を選択→■→電話番号／E-mailアドレスを選択→■
3. 各種お知らせメール（15-3ページ）を選択→■→「する」／「しない」→■
4. ✉（完了）

補　足

- お知らせリストの選択中に Y!（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  1件削除／全件削除
- お知らせリストに登録されているアドレス帳が削除されても、電話番号やE-mailアドレスは保持されたままとなります。

出発到着エリアリストを登録する

特定のエリアから出発または特定のエリアに到着したとき、お知らせリストで出発お知らせ・到着お知らせを「**する**」に設定している相手に、出発・到着お知らせメールを送信します。出発到着エリアリストは7件まで登録できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 便利機能 ▶ イドコロメール

1 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「出発到着エリアリスト」→■

2 エリアリストを選択→■→「エリア名」→■→エリア名を入力→■

3 「場所設定」→■→位置情報を設定する

■現在地の位置情報を設定する

「現在地」→■→測位開始

■位置履歴から設定する

「位置履歴」→■→位置情報を選択→■

■位置メモリストから設定する

「位置メモリスト」→■→位置情報を選択→■

■アドレス帳から設定する

「アドレス帳」→■→位置情報が登録されているアドレス帳を選択→■

4 「起動設定」→■→出発・到着お知らせメールを送信する時間帯を設定する

■日付を指定する

「日付指定」→■→「指定日」→■→日付を入力→■→「到着お知らせ時間」/「出発お知らせ時間」→■→「ON」→■→開始時刻・継続時間を入力→■→✉（決定）

■曜日を指定する

「曜日指定」→■→指定する曜日の「到着」/「出発」→■→「ON」→■→開始時刻・継続時間を入力→■→✉（決定）

5 ✉(完了)

補 足

- エリアリストの選択中に✉(ON/OFF)を押すと、エリアリストの有効・無効を切り替えることができます。
- 位置情報を取得すると測位精度が3段階で表示されます。測位精度「**3**」ではほぼ正確な位置情報が、「**2**」では比較的正確な位置情報が取得されています。「**1**」の場合は、正確な位置情報が取得されていない可能性がありますので、場所を変えてもう一度測位することをおすすめします。
- エリアリストの選択中にY!(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。

  1件削除/全件削除
- 出発到着エリアリストの登録中にY!(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(選択している項目によっては表示されない項目があります)。

  エリア設定リセット/詳細表示

お知らせメールを送信する

特定のエリアから出発したときやエリアに到着したとき、出発·到着お知らせメールを送信します。また簡単な操作で位置をお知らせすることもできます。

登録したエリアから出発またはエリアに到着したとき

あらかじめ設定されている時間帯に登録したエリアから出発またはエリアに到着すると、お知らせリスト(15-1ページ)で出発お知らせ・到着お知らせを「**する**」に設定している相手に出発お知らせメール·到着お知らせメールを自動的に送信します。

簡単お知らせで位置をお知らせするとき

お知らせリスト(15-1ページ)で簡単お知らせを「**する**」に設定している相手に、簡単な操作で位置をお知らせできます。

1 待受画面→[▲](約1秒以上)

測位を開始し、位置情報をお知らせします。

補足

- 送信した到着お知らせメール、出発お知らせメール、簡単お知らせメールは、「**送信メール**」ボックスの「**イドコロフォルダ**」に保存されます。ただし、お知らせリストに登録されているアドレス帳が削除された場合は、「**送信メール**」ボックスの「**一般フォルダ**」に保存されます。
- 上サイドキーの設定(12-11ページ)を「**簡単お知らせ**」以外に設定している場合は、簡単お知らせメールを送信できません。

オプションサービスの概要

- オプションサービスについてはサービスガイド（3G）をご覧ください。
- 電波の届かない場所では、本機からは操作できません。

サービス	内容
転送電話サービス	かかってきた電話を指定した電話に転送します（16-2ページ）。
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話にでられないときなどに、留守番電話センターで伝言をお預かりします（16-4ページ）。 **●着信お知らせ機能** 電波の届かない場所や電源を切っているときにかかってきた電話をお知らせ一発メニュー（1-8ページ）でお知らせします。
割込通話サービス	今まで話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます（16-5ページ）。
多者通話サービス	通話中に別の相手に電話をかけ、同時に複数の相手と通話できます（16-6ページ）。
発着信規制サービス	国際電話を含む、すべての発着信を規制できます（16-7ページ）。
発信者番号通知サービス	お客様の番号を相手に通知することができます（12-13ページ）。

転送電話サービス

電源を切っているときや電波の届かない場所にいるときなどに、かかってきた音声電話やＴＶコールを指定した電話へ転送します。転送条件を「**呼出なし**」に設定した場合は、待受画面に「」（全サービス）、「」（音声電話）、「」（TVコール）が表示されます。

転送電話サービスを設定／開始する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 留守番・転送

1 「転送ON」→■→「音声電話」／「TVコール」／「音声／TVコール」→■

●転送電話サービスの設定状況を確認する場合は、「**設定確認**」を選択します。

■転送条件を呼出なしに設定する

着信音は鳴らず、転送先に転送されます。

「呼出なし」→■

■転送条件を呼出ありに設定する

着信未応答の場合に転送します。このあと応答時間を設定します。

「呼出あり」→■→応答時間の設定→■

2 電話番号を登録する

■アドレス帳から登録する

「アドレス帳」→■→相手を選択→■→電話番号を選択→■（2回）→ネットワークに接続→■

■電話番号を直接入力して登録する

「電話番号入力」→■→電話番号を入力→■（2回）→ネットワークに接続→■

■通話履歴から登録する

「通話履歴」→■→相手を選択→■（2回）→ネットワークに接続→■

重　要

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。ただし、転送電話サービスの「**TVコール**」と留守番電話サービスは、同時に利用できます。
- すでに留守番電話サービスが開始されているときに、転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。
- 発着信規制サービス（16-7ページ）の「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定している場合は、転送電話サービスはご利用になれません（発着信規制サービスが優先されます）。
- TVコールを転送するときは、3G-324Mに準拠したTVコール対応機を転送先に設定してください。転送先が3G-324Mに準拠したTVコール対応機以外のときは、TVコールは転送されません。

16 オプションサービス

補　足

- 次の電話番号は転送先として登録できません。
  - ・「1」から始まる電話番号(例:110、119、118など)
  - ・「0120」から始まる電話番号(フリーダイヤル)
  - ・「00」から始まる電話番号(例:001、0041から始まる国際電話番号など)
  - ・「0990」から始まる電話番号(ダイヤルQ2など)
- 転送電話サービスを本機の簡易留守録(14-7ページ)と合わせてご利用になるときは、呼出時間の設定により、優先順位が変わります。

  例:転送電話サービスの呼出時間… 10秒
  　　簡易留守録の呼出時間………… 9秒

  と設定すると、簡易留守録が優先されます。ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。

転送電話サービス開始後の着信

●着信音が鳴っている間に[通話]を押すと、そのまま通話できます。
・「**呼出なし**」にしている場合は着信は行われず、そのまま転送先へ転送されます。

転送電話サービス・留守番電話サービスを停止する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 留守番・転送

1 「全てOFF」→[■]

●転送電話サービス・留守番電話サービスの設定状況を確認する場合は、「**設定確認**」を選択します。

重　要

- 「**全てOFF**」を選択すると、転送電話サービスと留守番電話サービスの両方が停止します。
- 転送電話サービスと留守番電話サービス(16-4ページ)を停止している場合は、着信中に[✉](転送)を押すと、着信を拒否します。

留守番電話サービス

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないときなどに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。留守番電話センターへの転送条件を「**呼出なし**」に設定した場合は、待受画面に「」が表示されます。留守番電話センターに新しくメッセージをお預かりすると、着信お知らせ機能（16-5ページ）を設定している場合はお知らせ一発メニュー（1-8ページ）が表示されます。また、待受画面に「」が表示されます。

留守番電話サービスを開始する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 留守番・転送

1 「留守番ON」→ ■

●留守番電話サービスの設定状況を確認する場合は、「**設定確認**」を選択します。

2 「呼出あり」→ ■ →応答時間を選択→ ■

●「**呼出なし**」を選択すると、着信を知らせずに留守番電話センターへ転送します。

重　要

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。ただし、転送電話サービスの「**TVコール**」と留守番電話サービスは、同時に利用できます。
- すでに転送電話サービスが開始されているときに、留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。
- 発着信規制サービス（16-7ページ）の「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定している場合は、転送電話サービスおよび留守番電話サービスはご利用になれません（発着信規制サービスが優先されます）。

留守番電話サービス開始後の着信

●着信音が鳴っている間に を押すと、そのまま通話できます。

・「**呼出なし**」にしている場合は着信は行われず、留守番電話センターへ転送されます。

留守番電話サービスの機能

●留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります（詳しくはサービスガイド（3G）をご覧ください）。

伝言メッセージを聞く

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 留守番・転送

1 「留守番再生」→■

補　足

- 海外でメッセージを聞く場合は「**+819066514170**（有料）」に電話をかけてください。

着信お知らせ機能

留守番電話の設定中に電波の届かない場所や、電源が入っていなかったために受けられなかった着信をお知らせ一発メニュー（1-8ページ）でお知らせします。また、通話中に留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりした場合もお知らせします。

1 待受画面で「1414」を入力し、✓を押す

●以降の操作は音声ガイダンスに従ってください。

補　足

- 以下の操作でも着信お知らせ機能を設定できます。
メインメニュー→「**設定**」→「**通話設定**」→「**通話サービス**」→「**着信通知機能**」→■
- 国内の固定電話から設定する場合は「**0906651414**」に電話をかけてください。
- 海外から設定する場合は「**+819066514191**（有料）」に電話をかけてください。

割込通話サービス

今まで話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。また、通話中の相手と保留中の相手を切り替えて通話できます。
●TVコールでは利用できません。

割込通話サービスを設定／停止する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 割込通話

1 「ON」／「OFF」→■

ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。
●割込通話サービスの設定状況を確認する場合は、「**設定確認**」を選択します。

割込通話を受ける

1 通話中に割込通話着信音が聞こえる

割込みをしてきた相手の名前と電話番号が表示されます。

2 Y!（メニュー）→「着信応答」→■

最初に話していた相手を保留にして、割込みをしてきた相手の着信に応答します。画面には両方の名前が表示されます。

補　足

- 留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスを「**呼出なし**」にしているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。
- 通話中の着信を転送する場合は、転送電話サービスを「**呼出あり**」にしてください。
- 割込着信中は、[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うこともできます。
  着信応答／**終話応答**／**着信拒否**／**着信転送**／**全て終話**

通話の相手を切り替える

1 割込通話中→[2][通話]

●[2][通話]を押すたびに、話す相手と保留中の相手が切り替わります。

割込通話中に通話中の相手が電話を切ると

●呼び出し音が鳴って画面に「**保留中**」と表示されます。[通話]を押すと、保留中の相手との通話になります。

多者通話サービス

通話中に、別の相手へ電話をかけ、相手を切り替えながら通話したり、複数で同時に通話できます。自分を含めて最大6人までの通話ができます。

●TVコールでは利用できません。

通話中に別の相手へ電話をかける

1 通話中→電話番号を入力→[通話]

通話していた相手を保留にし、別の相手と通話できます。

●[Y!]（メニュー）を押してアドレス帳（4-7ページ）、通話履歴（2-6ページ）から相手を呼び出すこともできます。

相手を切り替えながら通話する（切替通話）

1 通話中→電話番号入力→[通話]

2 [2][通話]

●[2][通話]を押すたびに、話す相手と保留中の相手が切り替わります。

切替通話中に通話中の相手の方が電話を切ると

●呼び出し音が鳴って画面に「**保留中**」と表示されます。[通話]を押すと、保留中の相手との通話になります。

複数で同時に通話する

1 **通話中→電話番号を入力→[通話]**

2 **相手が出たら、[Y!](メニュー)**

3 **「多者通話」→[■]→「多者通話」→[■]**

複数の相手と同時に通話することができます。

多者通話中に[PWR]を押すと

●通話していたすべての相手との電話が同時に切れます。

多者通話中に通話中の相手の1人が電話を切ると

●残された相手との通話になります。

多者通話中に1人とだけ通話する

●通話する相手を選択し、[Y!](メニュー)→「**多者通話**」→[■]→「**個別通話**」を選択します。選択した相手との通話となり、他の相手は保留となります。

発着信規制サービス

音声電話、TVコール、SMSの発信や着信を制限できます。

発着信規制サービスを開始する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 発着信規制

●発着信規制サービスの設定状況を確認する場合は、「**設定確認**」を選択します。

■発信規制サービスを開始する

「発信規制」→[■]→発信規制種別を選択→[■]→発着信規制用暗証番号(1-22ページ)を入力→自動的にネットワークに接続→[■]

全発信規制　：発信ができなくなります。
全国際発信　：国際電話がかけられなくなります。
国際発信規制※：海外で日本への国際電話を除く国際電話がかけられなくなります。

※本機は国際ローミングに対応していませんが、設定内容はUSIMカードに保存されます。

■着信規制サービスを開始する

「着信規制」→[■]→着信規制種別を選択→[■]→発着信規制用暗証番号(1-22ページ)を入力→自動的にネットワークに接続→[■]

全着信規制　：着信ができなくなります。
国際着信規制※：海外での着信ができなくなります。

※本機は国際ローミングに対応していませんが、設定内容はUSIMカードに保存されます。

●ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

重　要

- 発着信規制を設定しても110番(警察)、119番(消防･救急)、118番(海上保安本部)へは発信できます。
- 転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときは、「**全発信規制**」および「**全着信規制**」はご利用になれません(転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます)。
- 発着信規制用暗証番号(1-22ページ)の入力を3回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号(1-22ページ)の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、**お問い合わせ先**(25-34ページ)までご連絡ください。

補　足

- 発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されます。お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

発着信規制サービスを停止する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 発着信規制

1 「規制全停止」→■→発着信規制用暗証番号(1-22ページ)を入力→自動的にネットワークに接続→■

●ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

発着信規制用暗証番号を変更する

メインメニュー ▶ 設定 ▶ 通話設定 ▶ 通話サービス ▶ 発着信規制

1 「規制暗証番号」→■

2 現在の暗証番号を入力

3 新しい暗証番号を入力→■

4 確認のためもう一度新しい暗証番号を入力→■

●ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

メールについて

■S!メール

ソフトバンク携帯電話（S!メール対応機）やインターネットに接続されたE-mail対応機器に、長い文字メッセージや画像、メロディなどを添付して送受信することができます。

●S!メールの利用とE-mailの受信には、別途ご契約が必要です。

■SMS

ソフトバンク携帯電話（SMS対応機）との間で、電話番号を宛先として短い文字メッセージの送受信ができます。

補　足

- **リトライ機能について**
  相手が電源を切っていたり、電波の届かないところにいる場合は、サーバーメールボックスにメールが保管され、電波が届くようになると配信します。

メールアドレスの変更

E-mailサービスをご利用の場合、パソコンなどとのやりとりに使用するE-mailアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更できます。

（例：変更前）

□□□□□□□□□□□□@softbank.ne.jp

（例：変更後）

お好みのアカウント名@softbank.ne.jp

●詳しくは、サービスガイド（3G）をご覧ください。

●この操作は、Yahoo!ケータイを利用します。

●あらかじめネットワーク自動調整を行ってください（12-14ページ）。

●ご契約時にはランダムな英数字が設定されています。迷惑メール防止のためにも、メールアドレスの変更をおすすめします。

1 待受画面→[Y!]→「設定・申込」→[■]

2 「各種変更手続き」→[■]→「オリジナルメール設定（メール各種設定）」→[■]

●以降の操作は画面の指示に従ってください。

補　足

- 以下の操作でもメールアドレスを変更することができます。
  メインメニュー→「**メール**」→「**設定**」→「**メール・アドレス設定**」

新着メールの確認

メールを受信すると、着信音などとともに、アニメーションが表示され、「✉」が画面上に表示されます。フィーリングメールを受信したときは、お知らせ一発メニュー（1-8ページ）に感情を表す絵文字（感情アイコン）が表示されます。受信したメールはメールボックスの「**受信メール**」に保存されます。
受信したメールが未読の場合は、お知らせ一発メニューで確認できます。未読のフィーリングメールがあるときは、最後に受信したフィーリングメールの感情アイコンがお知らせ一発メニューの背景に表示されます。

- 「**受信メール**」には一般フォルダ、くーまんフォルダ、イドコロフォルダと17個のユーザフォルダがあります。また、受信メールを指定したフォルダへ自動的に保存できます（17-14ページ）。
- S!メールを受信した場合は、その情報量や添付ファイルの有無などによって受信方法が異なります。あらかじめメールの受信方法を「**全て**」（17-23ページ）にしている場合は、すべての内容を自動的に受信します。

1 **お知らせ一発メニュー表示→「新着メール」→■**

2 **フォルダを選択→■→メールを選択→■**

補足

- 通話中にメールを受信すると、電子音でお知らせします。
- 配信確認（17-22ページ）を「**確認する**」にしてメールを送信したときは、メールの配信状況のレポートが届きます。

新着メールを問い合わせる

メインメニュー ▶ メール

1 **「新着メール受信」→■**

受信メールを保存するメモリがなくなった場合

メールが送られてきたときに保存するメモリが足りないと、メールを受信できません。その場合は、警告メッセージが表示されます。メモリに空きがなくなったときは、待受画面に「✉」が表示されます。不要なメールを削除してください（17-18ページ）。

重　要

- メモリ不足により受信できなかったS!メール通知は、リトライ機能（17-1ページ）による再配信がされません。メールリストを取得して（17-19ページ）受信してください。受信通知再送機能については、サービスガイド（3G）をご覧ください。
- 自動削除設定（17-14ページ）を「**設定する**」にしている場合は、メモリに空きがなくなったとき、メールを受信すると既読の古いメールから自動的に削除されます。ただし、保護されたメール（17-17ページ）は自動削除されません。

待受画面以外を表示中にメールを受信した場合

優先動作設定（12-13ページ）でメール受信を「**割り込み**」に設定している場合は、操作中にメールを受信したとき、新着メールをすぐ読むかどうかの確認画面が表示されます。
すぐにメールを確認する場合は「**読む**」を、あとで確認する場合は「**後で**」を選択します。

受信したメールの確認

以下のいずれかに当てはまるS!メールが送られてくると、サーバーメールボックスに一時保存され、メールの一部（先頭部分）をお客様のソフトバンク携帯電話にS!メール通知として送信します。
S!メール通知を受信すると、画面上に「✉」が表示されます。
●メッセージが半角285文字（285バイト）以上の場合
●添付ファイルがある場合
●複数の宛先が指定されている場合
●件名が半角41文字以上の場合
●送信側のアドレスが半角61文字以上の場合

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス ▶ 受信メール

1 フォルダを選択→■→メールを選択→■

■S!メールの続きを受信する
S!メール通知を選択→■→「続きを受信」→■

重要
- 続きを受信するときには、受信側に料金がかかる場合があります。詳しくはサービスガイド(3G)をご覧ください。
- ファイルによってはコンテンツ･キー(コンテンツの使用権)を取得しないと表示／再生できません。取得中にキャンセル操作を行うと、コンテンツ･キーはしばらくたってから配信されます。
- 約300Kバイト以上のメールは受信できません。

補足
- 待受画面で✉を押しても、メールメニューを表示することができます。
- SMSで、半角161文字以上に相当するメッセージが送られてきたときは、メッセージを自動的に連結します。また、連結メッセージを受信中の場合は、メールボックスの受信メール内に「**SMS連結中**」と表示されます。
- 自動受信設定(17-23ページ)を「**全て**」にしている場合は、自動的にS!メールの続きを受信します。
- 受信したメールを利用して、返信や転送(17-15ページ)を行うこともできます。

サーバーメールボックス内のメールを転送する

S!メール通知を受信した場合に、サーバーメールボックス内のメールの全文をご自宅のパソコンなどに転送することができます。

1 S!メール通知を選択→Y!(メニュー)→「転送」→■

2 「サーバーメールのみ」→■

3 「残す」／「残さない」→■→宛先を入力する

●宛先の入力方法については17-4ページを参照してください。

4 ✉(転送)

S!メールの作成／送信

１件あたり全角約15,000文字／半角約30,720文字までの長いメッセージや画像、メロディを添付して送信できます。
●S!メールで送信できるファイルは、S!メールのアドレス、件名、本文などを合わせて最大約300Kバイトです。添付するファイルのデータ量によって、送信可能文字数は異なります。

メインメニュー ▶ メール ▶ 新規作成

1 「アドレス」→■→宛先を入力する

●電話番号（24桁まで）またはE-mailアドレス（254文字まで）を指定します。宛先をTo／Cc／Bcc合わせて最大20件設定できます。

■アドレス帳から選択する
「アドレス帳検索」→■→相手を選択→■→電話番号／アドレスを選択→■

■直接電話番号／アドレスを入力する
「電話番号入力」／「Eメール入力」→■→電話番号／アドレスを入力→■

■簡易宛先リストから選択する
●あらかじめ簡易宛先リスト（17-21ページ）に登録してある宛先を、リストから選択して指定できます。
「簡易宛先リスト」→■→相手を選択→■

■送信履歴／受信履歴から選択する
「送信履歴」／「受信履歴」→■→相手を選択→■

■メールグループから選択する
●あらかじめメールグループ（17-21ページ）に設定している宛先を選択できます。
「グループ呼出し」→■→メールグループを選択→■

2 「件名」→■→件名を入力→■

3 「本文」→■→本文を入力→■

■電話番号などを挿入する
メモ帳、署名、アドレス帳、オーナー情報、アドレス送信履歴などから電話番号、顔文字、定型文を挿入できます（3-13ページ）。

4 ファイルを添付する

●添付方法は17-7ページを参照してください。

5 ✉（送信）→「OK」→■

メールが送信されます。
●送信確認画面・送信完了画面で「**今後通知しない**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

重　要

- メモリが不足するとメールを作成できません。「**メールボックス**」の不要なメールを削除（17-18ページ）するか、メールの自動削除設定（17-14ページ）を「**設定する**」にしてください。
- 相手の携帯電話がS!メールをサポートしていない場合は、表示が異なることがあります。

補　足

- 待受画面で◀／▶を長く（約1秒以上）押すと、メール送信履歴／メール受信履歴が表示されます。履歴を選択し、✉（メール）を押しても、S!メールを作成することができます。

宛先入力時にできること

宛先は、設定したあと、追加、削除できます。アドレス帳に登録、宛先タイプの変更、メールグループの登録を行うこともできます。

1 メール作成画面→アドレス欄を選択

■宛先を追加する

[Y!](メニュー)→「アドレス追加」→[■]→宛先を選択→[■]→[✉](完了)

●宛先の入力のしかたは17-4ページを参照してください。

■宛先を1件削除する

[■]→宛先を選択→[Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「1件」→[■]

■宛先を全件削除する

[Y!](メニュー)→「全件削除」→[■]

■宛先を複数選択して削除する

[■]→[Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「複数選択」→[■]→宛先を選択→[■]→[✉](削除)→[✉](完了)

■アドレス帳に登録する

[■]→宛先を選択→[Y!](メニュー)→「アドレス帳登録」→[■]→「新規登録」/「追加登録」→[■]

●以降の操作は、基本的な項目をアドレス帳に登録する(4-2ページ)を参照してください。

■宛先を「To」、「Cc」、「Bcc」に設定する

[■]→宛先を選択→[Y!](メニュー)→「To/Cc/Bcc」→[■]→「Toへ変更」/「Ccへ変更」/「Bccへ変更」→[■]→[✉](完了)

Toへ変更　:通常の宛先です。

Ccへ変更　:メールのコピーを送信する宛先です。メールの内容やメールを出した事実を第三者に確認してもらいたい場合などに利用します。「**To**」の相手にも、「**Cc**」の宛先が表示されます。

Bccへ変更　:メールのコピーを送信する宛先です。「**To**」と「**Cc**」の相手には、「**Bcc**」で送信したアドレスがわかりません。

■すべての宛先をメールグループに登録する

[Y!](メニュー)→「グループ作成」→[■](2回)→グループを選択→[■]→グループ名を入力→[■]

本文入力時にできること

本文は、入力したあと、編集、削除できます。
メールテンプレートを挿入したり、作成した本文をテンプレートに保存することもできます。

1 メール作成画面→本文を選択

■本文を編集する

[■]→本文を編集→[■]

■本文を削除する

[Y!](メニュー)→「本文消去」→[■]

■テンプレートを挿入する

●本文作成中にテンプレートを呼び出すと、本文を削除してテンプレートを挿入するかどうかの確認画面が表示されます。「**YES**」を選択すると作成中の本文は削除されます。

[Y!](メニュー)→「テンプレート置換え」→[■]→「置き換える」→[■]→「本体」/「メモリカード」→[■]→テンプレートを選択→[■]→本文を編集→[■]

17 メール

■作成した本文をテンプレートに保存する
Y!(メニュー)→「テンプレート保存」→■→タイトルを編集→■→「本体」／「メモリカード」→■

本文を装飾する

本文の文字色・文字サイズや背景色などを変更したり、文字に動きをつけたり、区切り線や画像などを挿入して表現豊かなメールを作成することができます。また、テンプレートを利用して簡単に本文を装飾することもできます。

1 メール作成画面→本文を選択→■→Y!(メニュー)→「アレンジ設定」→■

装飾ウィンドウが表示されます。

2 本文を装飾する

■文字色／文字サイズを変更する
「文字色」／「サイズ」→■→文字色／文字サイズを選択→■→本文を入力

■文字を点滅／テロップ／スイング表示させる
「点滅」／「テロップ」／「スイング」→■→本文を入力

■文字位置を設定する
「行揃え」→■→文字位置を選択→■→本文を入力

■本文の区切り線を挿入する
「区切り線」→■

■本文に画像／サウンド／マイ絵文字を挿入する
「画像」／「サウンド」／「マイ絵文字」→■→画像／サウンド／マイ絵文字を選択→■

■背景色を設定する
「背景色」→■→背景色を選択→■

■本文の装飾を個別に解除する
「解除」→■→「個別解除」→■→解除する装飾を選択→■→✉(解除)

■本文の装飾を全解除する
「解除」→■→「全解除」→■→「YES」→■

補　足

- メール本文を装飾すると、画面上に「HTML」が表示されます。Y!(メニュー)を押して「**プレビュー**」を選択すると、本文のプレビューを表示します。
- HTMLメール対応のソフトバンク携帯電話以外(パソコンなど)に送信すると、装飾が正しく表示されない場合があります。
- 「**画像**」を選択した場合、データフォルダの「**ピクチャー**」フォルダにあらかじめ登録されているアニメーションを挿入することができます。挿入できるデータについては「ピクチャー一覧」(25-16ページ)を参照してください。

装飾を変更する

入力済みの本文を範囲選択して文字色、文字サイズ、点滅、テロップ、スイング、行揃えの装飾を設定します。また、設定済みの装飾を変更／解除できます。

1 メール作成画面→本文を選択→■→本文を入力

2 ✉(範囲・ペースト)→「始点」→■→終点を選択→■→「アレンジ設定」→■

3 装飾を設定する

■範囲選択した本文の装飾を解除する
「解除」→■→解除する装飾を選択→■→✉(解除)

テンプレートを利用する

メールテンプレート（ひな型）を挿入して簡単に本文を装飾できます。

1 **メール作成画面→本文を選択→■→✉(メニュー)→「テンプレート呼出し」→■→「本体」／「メモリカード」→■**

2 **テンプレートを選択→■→本文を編集→■**

補足

- 作成中の本文がある場合、本文を削除してテンプレートを挿入するかどうかの確認画面が表示されます。

ファイルを添付する

S!メールに画像やメロディを添付できます。

1 **メール作成画面→「ファイル」→■**

■データフォルダ／メモリカードからファイルを添付する
「データフォルダ」→■→「本体」／「メモリカード」→■→ファイルを選択→■

■静止画を撮影して添付する
「写真撮影」→■→撮影→■

■動画を撮影して添付する
「ムービー撮影」→■→録画→■(2回)

■添付ファイルの自動再生を設定する
●自動再生設定できる添付ファイルは1つのみです。
添付ファイルを選択→✉（メニュー)→「自動再生」→■→「ON／OFF」→■→「ON」／「OFF」→■→「表示する」／「表示しない」→■→ファイル再生時のメッセージを入力→■

重要

- ファイルによっては、メールに添付できない場合があります。添付の可、不可については、ファイルのプロパティで確認してください(10-9ページ)。

補足

- フォルダ内のファイルを選択する場合は、フォルダを選択し、■を押します。
- ファイルによっては、自動再生を設定できない場合があります。
- 宛先にE-mailアドレスを入力したり、アレンジ設定で本文を装飾した場合は、自動再生設定は自動的に解除されます。
- 添付ファイルを選択し、✉(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  削除／自動再生／プロパティ表示

フィーリング設定を行う

フィーリング設定とは、感情を表す絵文字（感情アイコン）を設定して、相手にアイコンでメール受信をお知らせできる機能です。

1 **メール作成画面→「フィーリング設定」→■ →絵文字を選択→■**

重要

- フィーリング設定非対応の携帯電話に送信した場合は、相手には通常の絵文字として件名に表示されます。

S!メール作成時のその他の機能

1 メール作成画面

■メールタイプをSMSに変更する

「メールタイプ」→■→「SMS」→■

●SMSでは送信できない内容がある場合は確認画面が表示されます。「**切替える**」を選択すると、これらの内容が削除されます。

●本文がSMSで送信できる文字数を超えている場合は、確認画面が表示されます。「**オーバー部分を削除**」を選択すると、送信可能最大文字数まで本文を削除します。

■作成したメールを下書き保存する

Y!(メニュー)→「下書き保存」→■→「保存する」→■

■プレビューを確認する

絵文字または、Y!(メニュー)→「プレビュー」→■

■メールが相手に届いたか確認する

「オプション」→■→「配信確認」→■→「ON」/「OFF」→■

■相手に配信される日時を指定する

「オプション」→■→「配信時間指定」→■→配信時間を選択→■

■メールがサーバーメールボックスに保存される期限を設定する

「オプション」→■→「有効期限」→■→有効期限を選択→■

■重要度を設定する

「オプション」→■→「重要度」→■→重要度を選択→■

■返信先設定を有効/無効にする

●返信先アドレスの登録については17-22ページを参照してください。

「オプション」→■→「返信先設定」→■→「有効にする」/「無効にする」→■

■送信先で確認後の受信メールを自動的に削除する

「オプション」→■→「メール自動消去」→■→「ON」→■

重　要

- S!メールからSMSに変更すると、以下の項目が削除されます。
 E-mailアドレス/Cc・Bcc設定/件名/添付ファイル/本文のテンプレート・アレンジ設定/フィーリング設定

補　足

- 「**配信時間指定**」で日付・時刻を指定しなかったときは即時に配信されます。
- サーバーメールボックスに保存されたS!メールは設定された有効期限が経過すると消去されます。

SMSの作成／送信

ソフトバンク携帯電話との間で、電話番号を宛先として短いメッセージの送信ができます。全角、半角カタカナおよび絵文字を含んだ場合は70文字（140バイト）、すべて半角英数字および半角記号で入力した場合は160文字まで送信できます。

メインメニュー▶ メール ▶ 新規作成

1 「本文」→■→本文を入力→■

2 「アドレス」→■→宛先の入力方法を選択

■アドレス帳から宛先を選択する

「アドレス帳検索」→■→相手を選択→■→電話番号を選択→■

■直接電話番号を入力する

「電話番号入力」→■→電話番号を入力→■

■簡易宛先リストから選択する

●あらかじめ簡易宛先リスト(17-21ページ)に登録してある宛先を、リストから選択して指定できます。

「簡易宛先リスト」→■→相手を選択→■

■送信履歴／受信履歴から選択する

「送信履歴」／「受信履歴」→■→相手を選択→■

■メールグループから選択する

●あらかじめメールグループ(17-21ページ)に設定している宛先を選択できます。

「グループ呼出し」→■→メールグループを選択→■

3 ✉(送信)→「OK」→■

メールが送信されます。

●送信確認画面·送信完了画面で「**今後通知しない**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

重　要

- 送信時には、宛先に設定した人数分の送信料がかかります。
- 発信先固定(13-8ページ)を「**ON**」に設定している場合、SMSセンター番号(「+819066519300」)と宛先が発信先リスト(13-9ページ)に登録されていないときは、SMS送信を行うことはできません。

補　足

- 操作2のあと、各項目を選択し[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うこともできます。
  プレビュー／下書き保存／アドレス追加／全件削除／アドレス帳登録／グループ作成
- 待受画面で[•□]／[□•]を長く(約1秒以上)押すと、メール送信履歴／メール受信履歴が表示されます。履歴を選択し、✉(メール)を押しても、SMSを作成することができます。

SMS 作成時のその他の機能

メールを送信するときに以下のオプションを設定できます。あらかじめ設定しておくこともできます（17-21、17-22ページ）。

1 メール作成画面

■メールタイプをS!メールに変更する
「メールタイプ」→■→「S!メール」→■

■メールがサーバーメールボックスに保存される期限を設定する
「オプション」→■→「有効期限」→■→有効期限を選択→■

■メールが相手に届いたか確認する
「オプション」→■→「配信確認」→■→「ON」／「OFF」→■

重　要

- 以下の操作でも自動的にメールタイプをSMSからS!メールに変更することができます。ただし、これらの項目が削除された場合は、再度メールタイプが自動的にSMSに戻ります。
  E-mailアドレス追加／Cc･Bcc設定／件名入力／ファイル添付／フィーリング設定
- 本文を入力中に(メニュー)を押して「**テンプレート呼出し**」や「**アレンジ設定**」を行った場合は、SMSからS!メールに切り替えるかどうかの確認画面が表示されます。S!メールに切り替える場合は「**S!メールへ切替え**」を、SMSとして作成する場合は「**SMS用に修正**」を選択してください。「**本文編集**」を選択すると、本文を再度編集できます。

補　足

- 保存されたSMSは設定された有効期限が経過すると消去されます。

下書きの利用

作成したメールを下書きとして保存する

メインメニュー ▶ メール ▶ 新規作成

1 項目を選択→■→項目を入力／選択→■

2 (メニュー)→「下書き保存」→■→「保存する」→■

下書きしたメールを編集／送信する

メインメニュー ▶ メール ▶ 下書き

1 メールを選択→■→項目を選択→■

2 項目を編集→■→(送信)→「OK」→■

補　足

- 下書きメール一覧で、メールを選択中に(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  削除／複数送信／表示設定／宛先へ発信／アドレス帳登録／エクスポート／ソート／フィルタ

メールボックス

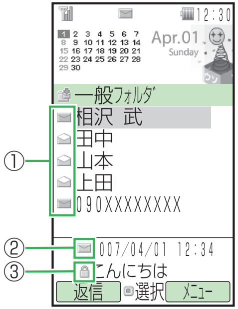
送受信したメールはそれぞれメールボックス内の「**受信メール**」、「**送信メール**」のメールボックスに保存されます。また、作成後、送信せずに保存したメールは「**下書き**」に、送信に失敗したメールは「**未送信ボックス**」のメールボックスに保存されます。

●保存件数については、メモリ容量一覧（25-17ページ）を参照してください。

●「**受信メール**」に未読メールがあるときは画面上に「」が表示されます。

メールの内容を確認する

メール一覧画面



受信メール一覧画面

①メールの種類

受信メール未読・添付あり
受信メール未読・添付なし
受信メール既読・添付あり
受信メール既読・添付なし
S!メール通知未読
S!メール通知既読
送信済み・配信確認済み・添付あり
送信済み・配信確認済み・添付なし
送信済み・配信確認未読・添付あり
送信済み・配信確認未読・添付なし
送信済み・配信確認中・添付あり
送信済み・配信確認中・添付なし
送信済み・配信確認なし・添付あり
送信済み・配信確認なし・添付なし
一部送信失敗メール・添付あり
一部送信失敗メール・添付なし
一部送信失敗メール・配信確認済み・添付あり
一部送信失敗メール・配信確認済み・添付なし
一部送信失敗メール・配信確認未読・添付あり
一部送信失敗メール・配信確認未読・添付なし
一部送信失敗メール・配信確認中・添付あり
一部送信失敗メール・配信確認中・添付なし
未送信・送信失敗・添付あり
未送信・送信失敗・添付なし
未送信・送信予約・添付あり
未送信・送信予約・添付なし
未送信・送信中・添付あり
未送信・送信中・添付なし
下書き・添付あり
下書き・添付なし

②S!メール／SMS

S!メール
SMS
USIMカード内のSMS

③重要度／保護表示

重要度「**高**」・保護あり
重要度「**普通**」・保護あり
重要度「**低**」・保護あり
重要度「**高**」・保護なし
重要度「**低**」・保護なし

17

メール

メールボックスにセキュリティを設定する

メールボックスにセキュリティを設定すると、メールボックスを選択したときに、操作用暗証番号（1-22ページ）の入力画面が表示されます。

メインメニュー ▶ メール

1 「メールボックス」→ Y!(メニュー)→「セキュリティロック」→ ■

2 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

3 「ロックする」／「解除する」→ ■

メールの内容を確認する

メインメニュー ▶ メール

1 「メールボックス」→ ■

2 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

3 フォルダを選択→ ■ →メールを選択→ ■

メールボックスの表示方法を変更する

フォルダ表示／メール一覧表示を切り替える

メールボックス内の受信メール・送信メールの表示方法をフォルダ表示またはメール一覧表示に切り替えることができます。

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

1 Y!(メニュー)→「表示設定」→ ■

2 「フォルダ表示」→ ■ →「フォルダ表示」／「フォルダ表示なし」→ ■

送受信別／送受信混在を切り替える

メールボックス内の受信メール・送信メールの表示方法を送受信個別表示または送受信混在表示に切り替えることができます。

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

1 Y!(メニュー)→「表示設定」→ ■

2 「送受信表示」→ ■ →「送受信混在」／「送受信別」→ ■

補　足

- メールボックスの画面より ✉(混在)／✉(個別)を押しても、送受信個別表示／送受信混在表示を切り替えることができます。

17 メール

メール一覧表示の表示項目を切り替える

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

1 フォルダを選択→■

2 Y!(メニュー)→「表示設定」→■

3 「件名/アドレス」→■→「件名表示」/「アドレス表示」→■

補足

- 文字を押しても、表示項目を切り替えることができます。

メール一覧表示を分割表示する

メール一覧を上下に2分割して、選択しているメールの件名や本文などを確認することができます。

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

1 フォルダを選択→■

2 Y!(メニュー)→「表示設定」→■→「リスト表示」→■

■本文の先頭のプレビュー(アレンジ設定あり)を表示する
「プレビューあり」→■

■本文の先頭のプレビュー(テキストのみ)を表示する
「プレビュー(テキスト)」→■

●件名/アドレス(左記)で「**件名表示**」を選択している場合は、プレビュー画面に相手のアドレスが表示され、件名/アドレスで「**アドレス表示**」を選択している場合は件名が表示されます。

●メール一覧を分割しない場合は、「**リストのみ**」を選択します。

メール表示中の各種操作

本文をコピーする

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

1 フォルダを選択→■→メールを表示

2 Y!(メニュー)→「テキストコピー」→■

3 コピーしたい文字の先頭または最後にカーソルを移動→■→コピーする範囲を指定→■

SMSをUSIMカードまたは本体に移動する

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

1 フォルダを選択→■→メールを表示

2 Y!(メニュー)→「移動」→■→「フォルダ」/「USIM」→■

メールのプロパティを確認する

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

1 フォルダを選択→■→メールを表示

2 Y!(メニュー)→「表示」→■→「詳細」→■

フォルダを管理する

メールボックス内の「**受信メール**」、「**送信メール**」にある一般フォルダや17個のユーザフォルダ、くーまんフォルダ、イドコロフォルダで受信メールや送信済みメールを分類して管理できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

■**フォルダ名を変更する**

フォルダを選択→Y!(メニュー)→「フォルダ名変更」→■→フォルダ名を入力→■

■**メールを指定したフォルダに自動的に保存する**

ユーザフォルダ、くーまんフォルダまたはイドコロフォルダを選択→Y!(メニュー)→「振分設定」→■→振分条件を選択→■→条件を指定→■

- 「**個人**」を選択すると、アドレス帳の個別登録データを振分条件に設定します。
- 「**グループ**」を選択すると、アドレス帳のグループを振分条件に設定します。
- 「**アドレス**」を選択すると、アドレス帳に登録のない特定のメールアドレスを指定して振分条件に設定します。
- 「**アドレス帳**」を選択すると、アドレス帳登録の有無を振分条件に設定します。
- 「**くーまん**」を選択すると、くーまんからのメールを振分条件に設定します。
- 「**イドコロメール**」を選択すると、出発お知らせ、到着お知らせ、簡単お知らせメールを振分条件に設定します。

■**メールを自動的に削除する**

フォルダを選択→Y!(メニュー)→「自動削除設定」→■→「受信メール」／「送信メール」→■→「設定する」／「設定しない」→■

■**フォルダにセキュリティを設定する**

- フォルダ内のメールを確認するときに操作用暗証番号の入力が必要となるように設定することができます。ただし、「**一般フォルダ**」には設定できません。

フォルダを選択→Y!(メニュー)→「セキュリティロック」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「ロックする」／「解除する」→■

重　要

- 自動削除設定を「**設定しない**」にしている場合は、メモリに空きがなくなると、メールを送受信できません。不要なメールを削除してください(17-18ページ)。
- 自動削除設定を「**設定する**」にしている場合は、メモリに空きがなくなったとき、メールを受信または作成すると既読の古いメールから自動的に削除されます。ただし、保護されたメール(17-17ページ)は自動削除されません。

補　足

- 送受信したメールが複数の振分条件に該当する場合は、「**イドコロメール**」→「**個人**」→「**グループ**」→「**アドレス**」→「**アドレス帳**」の優先順位でメールが振り分けられます。
- すでに振分条件が設定されているフォルダの条件を変更して再度振分を行う場合は、[Y!](メニュー)を押して「**振分を実行**」を選択します。

受信したメールに返信する

自動的に宛先が設定されたメール作成画面が表示されます。

●S!メールの場合は、件名も設定されます。件名には、返信を示す「**Re:**」がつきます。

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス ▶ 受信メール

1 フォルダを選択→[■]→メールを表示→[✉](返信)

■新たに本文を入力して返信する

「新規」→[■]

■受信メールの本文を引用して返信する

「引用」→[■]

■受信メールの本文を参照して返信する

「参照」→[■]

●宛先が複数ある受信メールの場合は、「**送信者へ返信**」または「**全員へ返信**」を選択します。

補　足

- アレンジ設定された受信メールに引用返信する場合は、装飾を引用した返信メールが作成されます。
- 受信メールの本文を参照してメールを作成する場合、アレンジ設定を行うと参照した本文は表示されなくなります。
- 自動消去が設定されている受信メールを引用･参照して返信できません。

受信したメールを転送する

転送元のメッセージが引用された、S!メール作成画面が表示されます。

●S!メールの場合は、件名も設定されます。件名には、転送を示す「**Fw:**」がつきます。

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス ▶ 受信メール

1 フォルダを選択→[■]→メールを選択→[Y!](メニュー)

2 「転送」→[■]

補　足

- 転送するメールに添付ファイルがある場合は、添付ファイルも転送されます。
- 装飾のある受信メールを転送する場合は、装飾も転送されます。

送信者に電話をかける

メールの送信者アドレスが電話番号の場合は、送信者に電話をかけることができます。

メインメニュー▶ メール ▶ メールボックス ▶ 受信メール

1 フォルダを選択→■→メールを選択→✉(メニュー)

2 「送信元へ発信」→■→✓

配信レポートを確認する

配信確認（17-22ページ）を「**確認する**」にすると、サーバーメールボックスから配信レポートを受信してメールの配信状況を確認できます。配信レポートは、お知らせ一発メニュー（1-8ページ）でも確認できます。

メインメニュー▶ メール ▶ メールボックス

1 「送信メール」→フォルダを選択→■

2 配信確認アイコン( )の付いたメールを選択→■

メール内のリンクを利用する

メールに含まれる電話番号やE-mailアドレス、URLのリンクを利用して、電話の発信、メールの作成、インターネット接続ができます。

●利用できる項目は、青文字で表示されています。

メインメニュー▶ メール ▶ メールボックス

1 フォルダを選択→■→情報を含むメールを表示

2 リンク情報を選択→■

■選択した電話番号に電話をかける

「発信」→■→✓

■選択した電話番号にTVコールをかける

「発信」→■→✉(メニュー)→「TVコール」→■

■選択した電話番号にサークルトークを発信する

「発信」→■→✉(メニュー)→「サークルトーク発信」→■

■選択した電話番号／E-mailアドレスにメールを送信する

「メール作成」→■→「作成する」→■→メール作成画面が表示されます

■選択した電話番号／E-mailアドレスをアドレス帳に登録する

「アドレス帳登録」→■→「新規登録」／「追加登録」→■→アドレス帳登録画面が表示されます

●以降の操作は、基本的な項目をアドレス帳に登録する(4-2ページ)を参照してください。

■位置情報からナビアプリを起動する場合

「ナビアプリ」→■→「起動する」→■

■選択した位置情報を位置メモに登録する

「位置メモ登録」→■

■インターネットにアクセスする場合
「接続する」→■

添付ファイルを保存する

S!メールに添付されているファイルをデータフォルダに保存できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス ▶ 受信メール

1 **フォルダを選択→■→ファイルが添付されているメールを表示**

2 **ファイルを選択→■→「保存」→■**

● ファイルを表示／再生する場合は、「**表示**」または「**再生**」を選択します。

3 **ファイル名を入力→■→「本体」／「メモリカード」→■**

重 要

- ファイルによっては保存できない場合があります。
- データによっては正しく表示／再生できない場合があります。
- 受信したメールにファイルが20件以上添付されていた場合は、20件を超えた分のファイルは表示／再生できません。

未送信メールを編集／送信する

メインメニュー ▶ メール ▶ 未送信ボックス

1 **メールを選択→■→項目を選択→■**

2 **項目を編集→■**

3 **✉(送信)→「OK」→■**

補 足

- メールを編集できるのは、送信失敗メールのみです。
- 未送信ボックスを開いた状態でY!(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  削除／**複数送信**／**表示設定**／**宛先へ発信**／**アドレス帳登録**

メールを保護する／保護を解除する

メールを誤って削除したり、自動削除（17-14ページ）されないように保護できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

1 **「受信メール」／「送信メール」→フォルダを選択→■**

■1件保護／解除する
メールを選択→Y!(メニュー)→「保護／解除」→■→「1件」→■→「保護」／「解除」→■

■複数のメールを一括で保護／解除する
Y!(メニュー)→「保護／解除」→■→「複数選択」→■→「保護」／「解除」→■→メールを選択→■→✉(保護)／(解除)

■フォルダ内のメールをすべて保護／解除する
Y!(メニュー)→「保護／解除」→■→「全件」→■→「保護」／「解除」→■(2回)

メールを削除する

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

■1件削除する

フォルダを選択→■→メールを選択→(メニュー)→「削除」→■→「1件」→■→「YES」→■

■複数のメールを一括で削除する

フォルダを選択→■→(メニュー)→「削除」→■→「複数選択」→■→メールを選択→■→(削除)→「YES」→■

■フォルダ内のメールをすべて削除する

フォルダを選択→(メニュー)→「削除」→■→「フォルダ内全件」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→■

■受信メール／送信メールのメールをすべて削除する

(メニュー)→「削除」→■→「全件」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→■

メール一覧画面でできること

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

■メールを並び替える

フォルダを選択→■→(メニュー)→「ソート」→■→並び替える条件を選択→■

■指定した条件でメールを表示する

フォルダを選択→■→(メニュー)→「フィルタ」→■→表示条件を選択→■

■電話発信を行う

フォルダを選択→■→メールを選択→(メニュー)→「送信元へ発信」／「宛先へ発信」→■→

■電話番号／E-mailアドレスをアドレス帳に新規登録する

フォルダを選択→■→メールを選択→(メニュー)→「アドレス帳登録」→■→「新規登録」→■→項目を入力→(完了)

■電話番号／E-mailアドレスをアドレス帳に追加登録する

フォルダを選択→■→メールを選択→(メニュー)→「アドレス帳登録」→■→「追加登録」→■→登録先のアドレス帳を選択→■→(完了)

未読／既読を切り替える

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス ▶ 受信メール

1 フォルダを選択→■

■1件のメールを切り替える

メールを選択→Y!(メニュー)→「未読／既読」→■→「1件」→■→「未読へ」／「既読へ」→■

■複数のメールを一括で切り替える

Y!(メニュー)→「未読／既読」→■→「複数選択」→■→「未読へ」／「既読へ」→■→メールを選択→■→✉(変換)

■フォルダ内のメールをすべて切り替える

Y!(メニュー)→「未読／既読」→■→「全件」→■→「未読へ」／「既読へ」→■→「変換する」→■

メールを他のフォルダに移動する

メインメニュー ▶ メール ▶ メールボックス

1 「受信メール」／「送信メール」→フォルダを選択→■

■1件移動する

メールを選択→Y!(メニュー)→「フォルダ移動」→■→「1件」→■→移動先のフォルダを選択→■

■複数のメールを一括で移動する

Y!(メニュー)→「フォルダ移動」→■→「複数選択」→■→メールを選択→■→✉(移動)→移動先のフォルダを選択→■

■フォルダ内のメールをすべて移動する

Y!(メニュー)→「フォルダ移動」→■→「全件」→■→移動先のフォルダを選択→■

サーバーメール操作

メールリストを利用する

受信するメールが以下の条件に当てはまる場合、メールはサーバーメールボックスに一時保存されます。

- 携帯電話の電源を切っていたり、電波の届かないところにいる場合
- メッセージが半角285文字（285バイト）以上の場合
- 添付ファイルがある場合
- 複数の宛先が指定されている場合
- 件名が半角41文字以上の場合
- 送信側のアドレスが半角61文字以上の場合

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

■メールリストを取得／更新する

✉(更新)→「更新する」→■

■メールリストからS!メールの続きを受信する

メールを選択→Y!(メニュー)→「続きを受信」→■→「1件」／「複数選択」／「全件」→■

■複数のメールを一括で受信する

Y!(メニュー)→「続きを受信」→■→「複数選択」→■→メールを選択→■→✉(受信)

補足

- 受信したメールはメールボックスの「**受信メール**」に保存され、メールリストから削除されます。

サーバーメールボックス内のメールを転送する

サーバーメールボックスに保存されているメールを、パソコンなどに転送できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

1 メールを選択→[Y!](メニュー)→「転送」→[■]

2 「残す」/「残さない」→[■]→宛先を入力

- 「**残さない**」を選択すると、転送したメールはサーバーメールボックスから削除されます。
- 宛先の入力方法については17-4ページを参照してください。

3 [✉](転送)

サーバーメールボックス内のメールを削除する

サーバーメールボックスに保存されているメールを削除します。

1件削除する

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

1 メールを選択→[Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「1件」→[■]

■サーバーメールボックスに保存されているメールを削除する
「サーバーメールのみ」→[■]→「YES」→[■]

■S!メール通知とサーバーメールボックスに保存されているメールを削除する
「通知/サーバーメール」→[■]→「YES」→[■]

複数削除する

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

1 [Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「複数選択」→[■]

■サーバーメールボックスに保存されているメールを削除する
「サーバーメールのみ」→[■]

■S!メール通知とサーバーメールボックスに保存されているメールを削除する
「通知/サーバーメール」→[■]

2 メールを選択→[■]

3 [✉](削除)→「YES」→[■]

全件削除する

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

1 [Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「全ての既読メール」/「全件」→[■]

■サーバーメールボックスに保存されているメールを削除する
「サーバーメールのみ」→[■]

■S!メール通知とサーバーメールボックスに保存されているメールを削除する
「通知/サーバーメール」→[■]

2 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→[■]

サーバーメールボックス情報を確認する

サーバーメールボックスの使用率を確認できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ サーバーメール操作

1 Y!(メニュー)→「メールボックス容量」→■

●メールボックス容量を更新する場合は、✉(更新)を押します。

重　要

- サーバーメールボックスの使用率が80%を超えると、警告画面が表示されます。サーバーメールボックスに保存されているメールを受信するか(17-19ページ)、削除してください(17-20ページ)。

メールの各種設定

表示設定

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ 表示設定

■表示する文字のサイズを選択する

「文字サイズ」→■→サイズを選択→■

■▲▼を押したときのスクロール単位を設定する

「スクロール単位」→■→スクロール単位を選択→■

■メール送受信時の送信者名／件名表示を設定する

「アドレス表示」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→表示方法を選択→■

メール作成設定

簡易宛先リストを作成する

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ メール作成設定

1 「簡易宛先リスト」→■→リストを選択→■→宛先を入力

●宛先の入力方法については17-4ページを参照してください。

メールグループを設定する

メールグループを利用すると複数の宛先にまとめてメールを送信することができます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ メール作成設定

1 「メールグループ設定」→■

■グループ名を変更する

グループを選択→Y!(メニュー)→「グループ名変更」→■→グループ名を入力→■

2 グループを選択→■→✉(追加)→宛先を入力

●宛先の入力方法については17-4ページを参照してください。

■宛先タイプを変更する

宛先を選択→Y!(メニュー)→「To／Cc／Bcc」→■→宛先タイプを選択→■

署名を設定する

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ メール作成設定

1 「署名設定」→■

2 「署名1」/「署名2」→■→署名を入力→■

■署名を挿入しない場合

「署名なし」→■

■登録済みの署名を編集する

「署名1」/「署名2」→[Y!](メニュー)→「編集」→■→署名を編集→■

メールタイプを設定する

メールを新規作成するときの送信メールタイプ(SMS/S!メール)を設定します。メールタイプはメール作成時にも変更できます(17-8、17-10ページ)。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ メール作成設定

1 「初期メールタイプ」→■→「SMS」/「S!メール」→■

■メールタイプ切替通知の表示/非表示を設定する

「メール切替通知」→■→「表示する」/「表示しない」→■

送信設定

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ 送信設定

■送信確認画面の表示/非表示を設定する

「確認画面設定」→■→「表示する」/「表示しない」→■

■送信確認時のバイブレーターを設定する

「確認バイブ設定」→■→「ON」/「OFF」→■

■メールが相手に届いたか確認する

「配信確認」→■→「確認する」/「確認しない」→■

■メールがサーバーメールボックスに保存される期限を設定する

「有効期限」→■→「SMS」/「S!メール」→■→有効期限を選択→■

■重要度を設定する

「重要度」→■→重要度を選択→■

■相手に配信される日時を指定する

「配信時間指定」→■→配信時間を選択→■

■返信先を登録する

「返信先設定」→■→「ON」→■→返信先を入力

●返信先の入力方法については17-4ページを参照してください。

■SMSセンター番号を編集する

「SMSセンター番号」→■(3回)→SMSセンター番号を入力→■

重 要

- SMSセンター番号を変更すると、SMSを送信できない場合があります。
- 編集したSMSセンター番号は、リセット(13-7ページ)を行ってもお買い上げ時の状態に戻りません。

受信設定

受信方法を設定する

サーバーメールボックスに届いたS!メールの受信方法を設定します。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ 受信設定

1 「自動受信設定」→■

2 「全て」/「電話番号のみ」/「手動取得」→■

添付ファイルの自動展開を設定する

受信したS!メールを確認するときに、添付されている画像や音ファイルを自動的に表示/再生するように設定します。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ 受信設定

1 「自動展開」→■

■画像ファイルの自動表示を設定する

「画像ファイル」→■→「表示する」/「表示しない」→■

■音ファイルの自動再生を設定する

「音ファイル」→■→「再生する」/「再生しない」→■

迷惑メールを設定する

アドレス帳に登録されていない電話番号/E-mailアドレスからのメールを、特定のフォルダに振り分けることができます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ 受信設定

1 「迷惑メール設定」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

2 「迷惑メール振分」→■→「振分ける」/「振分けない」→■

3 「振分先」→■→フォルダを選択→■

デルモジ表示設定

デルモジ表示とは、テキスト中の単語や絵文字、顔文字などに対応して3Dアニメーションが表示される機能です。デルモジ表示の条件や背景色、表示速度を設定できます。

メインメニュー ▶ メール ▶ 設定 ▶ デルモジ表示設定

■受信メールをデルモジ表示する条件を設定する

「自動再生」→■→条件を選択→■

■表示する文字や背景の色を選択する

「文字色・背景色」→■→色を選択→■

重　要

- 本文のないSMS、S!メール通知はデルモジ表示されません。
- 音楽ファイルのバックグラウンド再生中にデルモジ表示をすると、バックグラウンド再生が一時停止する場合があります。

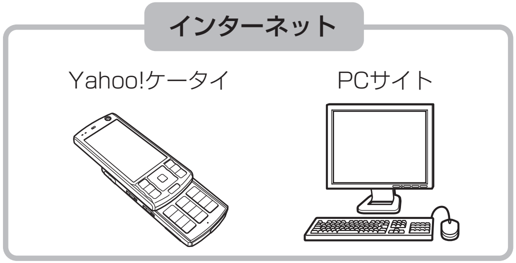
補　足

- 表示できる文字数は、全角半角問わず150文字までです。以降は「…」と表示されます。
- デルモジ表示のスピードは、デルモジ表示／一時停止中に[◂○▸]で変更することができます。

インターネットをご利用になる前に

Yahoo!ケータイ・PCサイトについて

インターネットに接続して、ソフトバンク携帯電話で閲覧できる携帯専用のポータルサイト「Yahoo!ケータイ」とPCサイトブラウザを利用した情報の閲覧ができます。
本書では、総称を「インターネット」、携帯専用ポータルサイトを「Yahoo!ケータイ」、PCサイトブラウザを利用するサイトを「PCサイト」と表記します。



■**Yahoo!ケータイでできること（18-3ページ）**
- ●Yahoo!ケータイの情報画面の閲覧
- ●画像などのデータのダウンロード
- ●動画／音楽のストリーミング
- ●ライブモニターへの登録

■**PCサイトでできること（18-4ページ）**
- ●PCサイトブラウザを利用したPCサイトの情報画面の閲覧

重　要

- HSDPA(High Speed Downlink Packet Access)対応のエリア内では、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbps の高速通信を行うことができます。データ量の大きいファイルの送受信を行った場合、通信料金が高額になりますのでご注意ください。

情報の保存について

インターネットで入手したメニューや情報は、「キャッシュ」と呼ばれるメモリ内に一時保存されます。
キャッシュに保存されている情報は、メモリが一杯になると古い情報から自動的に消去されます。
- ●一度表示した情報画面をもう一度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュに一時保存されている情報が表示されることがあります。最新の内容を見るには、情報を更新してください（18-7ページ）。
- ●保存容量については、メモリ容量一覧（25-17ページ）を参照してください。

補　足

- キャッシュに一時保存されている情報は消去できます（18-13ページ）。
- キャッシュに保存されない情報もあります。
- 保存された情報は、インターネットを終了したり、電源を切っても消去されません。

SSL／TLSについて

SSL（Secure Sockets Layer）とTLS（Transport Layer Security）とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL／TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。本機では、あらかじめ認証機関から発行されたサーバー証明書が登録されていて、確認もできます（18-10ページ）。

SSL／TLS利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任において SSL ／ TLS を利用するものとします。
お客様自身による SSL ／ TLS の利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社 、エントラストジャパン株式会社、日本ジオトラスト株式会社、RSA セキュリティ株式会社、セコムトラストネット株式会社は、お客様に対し SSL ／ TLS の安全性に関して何ら保証を行うものではありません。万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

情報画面の操作のしかた

画面のスクロール

上下や左右に画面があるときは、画面の右または下にスクロールバーが表示されます。またはを押すと、続きの画面を表示できます。

カーソルの移動

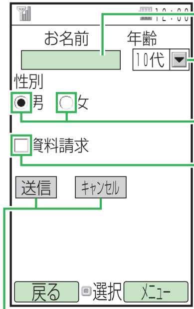
画面内に選択可能な項目がある場合は、カーソルはを押すと次の項目に、を押すと前の項目に移動します。

次の画面に進む／前の画面に戻る

表示した情報画面は一時的に記憶されています。情報画面で（戻る）を押すと前の画面に戻り、（メニュー）を押して「**進む**」を選択すると次の画面に進みます。

情報内の文字入力や選択／実行ボタンについて

入力欄や選択項目が表示された場合は、以下のように操作します。



文字入力欄
文字が入力できる部分です。
□内の位置にカーソルを合わせて■を押すと、文字の入力画面が表示されます。文字を入力して■を押します。

セレクトメニュー
□内の位置にカーソルを合わせて■を押すと、セレクトメニューが表示されます。選択する項目にカーソルを合わせて■を押します。

ラジオボタン
項目を選択する部分です。
○にカーソルを合わせて■を押すと、◉に変わり、選択されていることを示します。

チェックボタン
□にカーソルを合わせて■を押すと、☑に変わり、選択されていることを示します。

実行ボタン
登録内容の送信やキャンセルなど、動作を選択する部分です。
□の位置にカーソルを合わせて■を押すと、□内の動作を行います。

重　要

- 左記の画面は内容を説明するための一例です。実際の画面とは異なる場合があります。

Yahoo! ケータイへのアクセス

知りたい情報、見たい情報や聞きたい情報を検索して入手できます。また、直接「http://www.△△.ne.jp」などで表示されるアドレス（URL）を入力して接続することもできます。
●通信中は画面上に「」が表示されます。通信中に中断したい場合は、Y!（中止）を押します。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ

■メニューからアクセスする
「Yahoo!ケータイ」→■

■URLを入力してアクセスする
「URL入力」→■→「直接入力」→■→URLを入力→■（2回）

■URL履歴からアクセスする
「URL入力」→■→「URL履歴」→■→履歴を選択→■（2回）

■履歴を使ってアクセスする
履歴には、アクセスしたページのアドレスが新しいものから最大20件まで記憶され、同じホームページへもう一度アクセスできます。
「アクセス履歴」→■→履歴を選択→■

補足

- 待受画面で[Y!]を押しても、Yahoo!ケータイを呼び出すことができます。
- 履歴を選択中に[Y!](メニュー)を押して「**削除**」を選択すると、URL履歴を削除できます。

PCサイトへのアクセス

パソコン向けに作成されたウェブページを表示できます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ

1 「PCサイトブラウザ」→[■]

●[✉](💻)を押してもPCサイトブラウザのメニューを表示できます。

■ホームに設定したウェブページにアクセスする
「ホームページ」→[■]

■ブックマークからアクセスする
「ブックマーク」(18-5ページ)→[■]

■URLを入力してアクセスする
「URL入力」→[■]→「直接入力」→[■]→URLを入力→[■](2回)

■URL履歴からアクセスする
「URL入力」→[■]→「URL履歴」→[■]→履歴を選択→[■](2回)

■履歴を使ってアクセスする
「アクセス履歴」→[■]→履歴を選択→[■]

2 「毎回確認する」/「今後確認しない」→[■]

●「**今後確認しない**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

重要

- サイトによっては正しく表示されなかったり、表示に時間がかかったりする場合があります。

お気に入り

よく利用する情報をお気に入りに登録しておくと、あとでインターネットに接続しなくても簡単に呼び出せます。

お気に入りを登録する

1 情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)→「お気に入り」→[■]

2 「登録」→[■]→タイトルを入力→[■]

重要

- 著作権などの制限により情報が保存できないことがあります。
- すでに保存されているページと同じURLのページを保存した場合は、別のページとして保存されます。

補足

- お気に入りにはURLや添付データなどのリンク情報を含むコンテンツページが保存されます。

お気に入りに登録した情報を確認する

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ

1 「お気に入り」→■

■PCサイトのお気に入りを確認する
「PCサイトブラウザ」→■→「お気に入り」→■

2 お気に入りを選択→■

ブックマーク

よく利用する情報のブックマークを登録しておくと、簡単な操作でインターネットに接続します。

ブックマークを登録する

1 情報画面を表示させる→Y!(メニュー)→「ブックマーク」→■

2 「登録」→■

- タイトルまたはURLを編集しない場合は、✉(完了)を押してください。

3 タイトルの欄を選択→■→タイトルを編集→■→✉(完了)

- フォルダに登録する場合は、フォルダを選択します。

ブックマークから接続する

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ

1 「ブックマーク」→■

■PCサイトのブックマークから接続する
「PCサイトブラウザ」→■→「ブックマーク」→■

2 情報のタイトルを選択→■

サービスセンターとの通信後、情報が表示されます。

補 足

- 情報画面表示中も、ブックマークから情報を呼び出せます。
  情報画面表示→Y!(メニュー)→「**ブックマーク**」→■→「**リスト呼出し**」

ブックマークを管理する

ブックマークを分類するためのフォルダを作成したり、ブックマークやフォルダのタイトル変更、削除などができます。

フォルダを作成する

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ

1 「ブックマーク」→■

■PCサイトのブックマークにフォルダを作成する
「PCサイトブラウザ」→■→「ブックマーク」→■

2 Y!(メニュー)→「フォルダ作成」→■

3 フォルダ名を入力→■

ブックマークのタイトルを編集する

メインメニュー▶ Yahoo!ケータイ

1 「ブックマーク」→■

■PCサイトのブックマークのタイトルを編集する
「PCサイトブラウザ」→■→「ブックマーク」→■

2 ブックマークを選択→[Y!](メニュー)

3 「編集」→■→タイトルの欄を選択→■

4 タイトルを編集→■→[✉](完了)

●フォルダ名を編集する場合は、ブックマーク一覧画面で編集したいフォルダを選択し、[Y!](メニュー)→「**フォルダ名編集**」を選択します。

ブックマークを指定したフォルダに移動する

メインメニュー▶ Yahoo!ケータイ

1 「ブックマーク」→■

■PCサイトのブックマークを移動する
「PCサイトブラウザ」→■→「ブックマーク」→■

■1件移動する
ブックマークを選択→[Y!](メニュー)→「移動」→■→「1件」→■

■複数選択して移動する
[Y!](メニュー)→「移動」→■→「複数選択」→■→ブックマークを選択→■→[✉](移動)

■全件移動する
[Y!](メニュー)→「移動」→■→「全件」→■

2 フォルダを選択→■

ブックマークをメールで送信する

メインメニュー▶ Yahoo!ケータイ

1 「ブックマーク」→■

■PCサイトのブックマークをメールで送信する
「PCサイトブラウザ」→■→「ブックマーク」→■

2 ブックマークを選択→[Y!](メニュー)→「URLメール送信」/「メール送信」→■

ブックマークを削除する

メインメニュー▶ Yahoo!ケータイ

1 「ブックマーク」→■

■PCサイトのブックマークを削除する
「PCサイトブラウザ」→■→「ブックマーク」→■

■1件削除する
ブックマークを選択→[Y!](メニュー)→「削除」→■→「1件」→■→「YES」→■

■複数選択して削除する
(メニュー)→「削除」→■→「複数選択」→■→ブックマークを選択→■→(削除)→「YES」→■

■全件削除する
(メニュー)→「削除」→■→「全件」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→■

補　足
- フォルダを削除する場合は、ブックマーク一覧画面で削除したいフォルダを選択し、(メニュー)→「**フォルダ削除**」を選択します。

セキュリティロックを設定する

操作用暗証番号（1-22ページ）を入力しない限り、ブックマーク、お気に入り、URL入力、アクセス履歴を表示できないように設定できます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ

1 **「ブックマーク」／「お気に入り」／「URL入力」／「アクセス履歴」→(メニュー)**

■ブックマークのフォルダにセキュリティロックを設定する
「ブックマーク」→■→フォルダを選択→(メニュー)

■PCサイトにセキュリティロックを設定する
「PCサイトブラウザ」→■→「ブックマーク」／「お気に入り」／「URL入力」／「アクセス履歴」→(メニュー)

2 **「セキュリティロック」→■ →操作用暗証番号(1-22ページ)を入力**

3 **「ロックする」／「解除する」または「設定」／「解除」→■**

情報表示中の各種操作

URL を入力してアクセスする

情報画面を表示中に「http://www.△△.co.jp」などで表示されるアドレス（URL）を入力し、ホームページへアクセスして、情報を入手できます。

1 **情報画面を表示させる→(メニュー)→「URL入力」→■**

- 履歴からアクセスする場合は、「**URL履歴**」を選択します（18-3、18-4ページ）。

2 **「直接入力」→■→URLを入力→■(2回)**

Yahoo! ケータイ／ PC サイトを切り替える

1 **情報画面を表示させる→(メニュー)→「ブラウザ切替」→■→「このページ」／「リンク先」→■**

2 **「毎回確認する」／「今後確認しない」→■**

- 「**今後確認しない**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

最新の情報に更新する

表示中の情報を最新の情報に更新できます。

1 **情報画面を表示させる→(メニュー)→「更新」→■**

情報画面内のリンクの利用

情報に含まれる電話番号やE-mailアドレス、URLのリンクを利用して、電話の発信、メール作成、情報画面の閲覧ができます。また、電話番号やE-mailアドレスをアドレス帳に登録できます。

●利用できる項目には、アンダーラインが表示されます。

1 **情報画面を表示させる**

■電話をかける／アドレス帳に登録する
リンクを選択→■→「発信」／「アドレス帳登録」→■

■E-mailアドレスにメールを送信する／アドレス帳に登録する
リンクを選択→■→「メール送信」／「アドレス帳登録」→■

■リンクしてあるページにアクセスする
リンクを選択→■

情報内の文字をコピーする

情報画面の文字をクリップボードにコピーします。

1 **情報画面を表示させる→Y!(メニュー)→「テキストコピー」→■**

2 **コピーしたい先頭または最後の文字にカーソルを移動→■→コピーしたい範囲を指定→■**

●コピーされるのは文字と絵文字だけです。

情報表示中の便利な機能

情報画面の文字列を検索する

1 **情報画面を表示させる→Y!(メニュー)→「便利機能」→■**

2 **「検索」→■→検索する文字を入力→■**

3 **検索方法を選択→■→「上へ」／「下へ」または「ON」／「OFF」→■→✉(検索)**

表示している情報画面の文頭／文末にジャンプする

1 **情報画面を表示させる→Y!(メニュー)→「便利機能」→■**

2 **「先頭へジャンプ」／「最後へジャンプ」→■**

画面URLをメールで送信する

URLが本文に貼り付けられたメールの作成画面が表示されます。

1 **情報画面を表示させる→Y!(メニュー)→「便利機能」→■→「URLメール送信」→■**

情報画面をスケジュールに登録する

表示している情報画面をカレンダーのスケジュールに登録することができます。登録した情報画面はお気に入りに保存されます。

1 情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)→「便利機能」→[●]

2 「スケジュール登録」→[●]→スケジュールを登録 (14-14ページ)

情報画面を位置メモに登録する

位置情報を含んだ情報画面を表示しているときに、位置メモを登録できます。

1 情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)→「便利機能」→[●]

2 「位置メモ登録」→[●]

情報画面のプロパティを確認する

情報画面のタイトル、ファイルサイズ、保存・転送の可・不可、URLを確認できます。

1 情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)→「便利機能」→[●]→「プロパティ表示」→[●]

2 「ページプロパティ」→[●]

選択したフレームを全面表示する

パソコン向けに複数のフレームで作成された情報画面で、フレームを選択して全面表示に切り替えることができます。

1 情報画面を表示させる→フレームを選択

2 [Y!](メニュー)→「便利機能」→[●]→「フレームイン」→[●]

■全面表示を解除する

[Y!](メニュー)→「便利機能」→[●]→「フレームアウト」→[●]

Flash®再生を操作する

1 情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)→「便利機能」→[●]

2 「Flash(R)メニュー」→[●]→「始めから再生」/「続きから再生」→[●]

■再生を一時停止する

「一時停止」→[●]

情報画面を拡大/縮小する

1 PCサイトの情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)→「便利機能」→[●]→「拡大縮小表示」→[●]

2 拡大率/縮小率を選択→[●]

表示方法を切り替える

PCサイトの情報画面を、縮小表示／等倍表示に切り替えて表示できます。

1 **PCサイトの情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)**

2 **「PCスクリーン」／「スモールスクリーン」→[■]**

表示方向を切り替える

PCサイトの情報画面の表示方向を横向き／縦向きに切り替えることができます。

1 **PCサイトの情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)→「便利機能」→[■]**

2 **「横向き表示」／「縦向き表示」→[■]**

サーバー証明書を確認する

SSL／TLS通信対応の情報画面を表示中に、適用されている証明書を確認できます。

●SSL／TLSについては18-2ページを参照してください。

1 **SSL／TLSで保護されている情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)→「便利機能」→[■]→「プロパティ表示」→[■]**

2 **「サーバー証明書」→[■]**

情報内のファイルを利用する

携帯サイトの情報内に含まれる画像やメロディファイルをデータフォルダに保存、利用できます。

データフォルダに保存する

1 **ファイルを含む情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)**

2 **「ファイル保存」→[■]→ファイルを選択→[■]**

3 **「保存」→[■]→「本体」／「メモリカード」→[■]**

■マイ絵文字を本体のデータフォルダに登録する

「マイ絵文字登録」→[■]→「本体」／「メモリカード」→[■]

重　要

- 著作権などの制限によりファイルが保存できない場合があります。

プロパティを確認する

1 **ファイルを含む情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)**

2 **「ファイル保存」→[■]→ファイルを選択→[■]**

3 **「ファイルプロパティ」→[■]**

ファイルを再生する

1 ファイルを含む情報画面を表示させる→[Y!](メニュー)

2 「ファイル保存」→[■]→ファイルを選択→[■]

3 「再生／表示」→[■]

重　要

- ファイルによっては正しく表示／再生できない場合があります。

リンクからファイルを利用する

1 ファイルを含む情報画面を表示させる

2 リンクを選択→[■]

ダウンロードが開始されます。

■ファイルを再生する

「再生／表示」→[■]

■ファイルを保存する

「保存」→[■]

■ファイルのプロパティを確認する

「ファイルプロパティ」→[■]

■ファイルを保存して壁紙に設定する

「設定」→[■]→[■](決定)

■ファイルを保存して着信音に設定する

「保存して設定」→[■]→「着うた･メロディ」／「ミュージック」→[■]→「音声着信」／「TVコール着信」／「メール受信」／「配信確認受信」／「着信お知らせ」／「サークルトーク着信」／「ホットステータス通知」→[■](2回)

重　要

- 著作権などの制限によりファイルが保存できない場合があります。
- ファイルによっては正しく表示／再生できない場合があります。

補　足

- ストリーミングについては、8-8ページを参照してください。
- ファイルを保存して壁紙に設定する場合、ファイルによっては、表示したあとに[✉]でリサイズ、[Y!]で切り取りを行うことができます。

ブラウザの設定

●PCサイトのブラウザ設定をする場合は、「**Yahoo!ケータイ**」で「**PCサイトブラウザ**」を選択してから「**ブラウザ設定**」を選択してください。

文字のサイズを変更する

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定

1 「文字サイズ」→■→サイズを選択→■

補　足

- 情報画面の表示中に文字のサイズを変更する場合は、情報画面でY!(メニュー)→「**ブラウザ設定**」→■→「**文字サイズ**」を選択します。

情報画面のスクロール単位を設定する

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定

1 「スクロール単位」→■→スクロール単位を選択→■

補　足

- 情報画面の表示中にスクロール単位を変更する場合は、情報画面でY!(メニュー)→「**ブラウザ設定**」→■→「**スクロール単位**」を選択します。

文字コード種別を変更する

画面の文字が正しく表示されないときに、文字コード種別を変更して再表示します。

1 情報画面を表示させる→Y!(メニュー)→「ブラウザ設定」→■

2 「文字コード変換」→■→文字コード種別を選択→■

サウンドの音量を調節する

1 情報画面を表示させる→Y!(メニュー)→「ブラウザ設定」→■→「サウンド音量」→■

2 音量を調節→■

画像やメロディの受信を拒否する（テキストブラウズ）

インターネットから文字情報だけを受信するように設定できます。受信完了までの時間を短縮できます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定

1 「テキストブラウズ設定」→■

■画像の受信を拒否する

「イメージ」→■→「取得しない」→■

■メロディの受信を拒否する

「サウンド」→■→「取得しない」→■

補 足

- 受信を拒否した画像やメロディはアイコン（□、□）で表示されます。
- 情報画面の表示中にテキストブラウズを設定する場合は、情報画面で□（メニュー）→「**ブラウザ設定**」→■→「**テキストブラウズ**」を選択します。

ブラウザ切替時の警告画面を設定する

PCサイトと携帯サイトを切り替えるときに、警告画面を表示するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ PCサイトブラウザ ▶ ブラウザ設定

1 「警告画面表示」→■→「PCサイトブラウザ」／「携帯サイトブラウザ」→■

2 「表示する」／「表示しない」→■

メモリを管理する

キャッシュをすべて消去する

「キャッシュ」と呼ばれるメモリ内に一時的に保存されている情報をすべて消去します。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ メモリ操作

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「キャッシュ消去」→■→「YES」→■

保存されているCookieをすべて消去する

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ メモリ操作

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「Cookie消去」→■→「YES」→■

認証情報を消去する

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ メモリ操作

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「認証情報消去」→■→「YES」→■

セキュリティ設定を行う

製造番号通知を設定する

ネットワークから要求があったときに、本体の製造番号（IMEI）をお客様のユーザIDとして自動的に送信するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ セキュリティ設定

1 「製造番号通知」→■

2 「通知する」／「通知しない」→■

Referer（リファラ）送信を設定する

別の情報画面に移動するときに、リンク元のページ（Refererページ）を送信するかどうかを設定できます。Referer送信を「**送出する**」に設定すると、ブラウザから送出されるRefererページを検査し、不正ページからの要求が拒否されます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ セキュリティ設定

1 「Referer送出」→■→「送出する」／「送出しない」→■

Cookieの有効／無効を設定する

Cookieとはサービスセンターと本機の間でやりとりするユーザ情報やアクセス履歴などの情報です。Cookieを有効（「**有効にする**」）にすると、サイトに接続したときの設定情報がCookieとして保存されるため、次回接続時に保存されているお客様専用の環境を利用できます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ セキュリティ設定

1 「Cookie設定」→■

2 「有効にする」／「無効にする」／「毎回確認する」→■

スクリプト設定を行う

スクリプト（プログラム）が設定されている情報画面を表示するときに、確認画面を表示するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ セキュリティ設定

1 「スクリプト設定」→■→「接続時確認」／「実行する」／「実行しない」／「毎回確認する」→■

SSL ／ TLS 証明書を確認する

本機にあらかじめ登録されている、認証機関から発行された証明書を確認できます。

●SSL ／ TLSについては18-2ページを参照してください。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ セキュリティ設定

1 「ルート証明書表示」→■→証明書を選択→■

認証情報を設定する

情報画面で認証を行った場合、ユーザ名／パスワードの認証情報を保持するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ セキュリティ設定

1 「認証情報保持」→■→「保持」／「ブラウザ終了で破棄」／「保持しない」→■

SSL通信を設定する

SSL通信による暗号化データの送信時に確認画面を表示するかどうかを設定できます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定 ▶ セキュリティ設定

1 「サーバー証明書」→■ →「表示する」/「表示しない」→■

ダウンロードしたコンテンツの保存先を設定する

音楽ファイルなどのコンテンツを、情報画面からダウンロードしたときの保存先を設定できます。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定

1 「保存先設定」→■→「本体」/「メモリカード」→■

補　足

- 情報画面の表示中に保存先を変更する場合は、情報画面でY!(メニュー)→「**ブラウザ設定**」→■→「**保存先設定**」を選択します。

ブラウザを初期化する

ブラウザの各種設定や、ブックマーク、お気に入り、アクセス履歴、認証情報、Cookie、キャッシュのデータをお買い上げ時の状態に戻します。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定

1 「ブラウザ初期化」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

2 「YES」→■

ブラウザの各種設定をリセットする

ブラウザの各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ブラウザ設定

1 「設定リセット」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

2 「YES」→■

ライブモニター

情報サービス提供者が配信するさまざまな最新情報やS!ループ（20-1ページ）の項目を、設定した時間おきに自動更新して待ち受けウィンドウ（14-1、14-3ページ）から確認することができます。

表示する新着情報を登録する

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター

1 「ライブモニターリスト」／「S!ループリスト」→■

2 「コンテンツリスト」／「S!ループ」→■→「YES」→■

3 コンテンツを選択→■

●画面の指示に従ってコンテンツを登録してください。

重　要

- 夜間から早朝の間は、ライブモニターの速報、S!ループリストの自動更新は行われません。

補　足

- ライブモニターリスト／S!ループリスト表示中にY!（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  更新／削除
- S!ループリストにはS!ループに登録された項目が表示されます。S!ループについては、S!ループのヘルプを参照してください。

登録したリストをリセットする

登録したライブモニターリストとS!ループリスト（左記）をすべて消去します。

メインメニュー ▶ Yahoo!ケータイ ▶ ライブモニター ▶ 設定

1 「リストオールクリア」→■ →操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

2 「YES」→■

S!アプリをご利用になる前に

S!アプリは、S!アプリを提供しているインターネットの情報画面からダウンロードできます。ダウンロードするには、インターネット利用時と同様の通信料がかかります。

●詳しくは、サービスガイド（3G）をご覧ください。

●本機では、ソフトバンク携帯電話専用のS!アプリのみご利用できます。

S!アプリについて

■インターネットでダウンロード（19-2ページ）

インターネットからダウンロードしたゲームや3D画像などのS!アプリは、S!アプリライブラリに保存されます。

■ネットワーク接続型S!アプリ（右記）

ネットワークに接続してゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報を入手できます。

■待受設定（19-5ページ）

S!アプリを待受画面に設定することができます。

ネットワーク接続型S!アプリについて

S!アプリには利用時に、本機だけで動作するものと、ネットワーク（インターネット）に接続する必要があるもの（ネットワーク接続型S!アプリ）があります。ネットワーク接続型S!アプリでは、ネットワークに接続してゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報を入手できます。

●ネットワーク接続型S!アプリを利用するときは、接続するたびにインターネットの通信料がかかります。

●ネットワーク接続型S!アプリを利用するときに、あらかじめセキュリティ設定（19-4ページ）で「**ネットワーク接続**」を「**初回確認のみ**」にしている場合は、初回利用時のみ確認画面が表示され、それ以降は自動的にネットワークに接続されます。

S!アプリのダウンロード

メインメニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 「S!アプリダウンロード」→■→「YES」→■→S!アプリを選択→「ダウンロード」→■

2 「本体」/「メモリカード」→■

S!アプリのダウンロードが始まります。
●ダウンロードが完了すると確認画面が表示されます。

重要

- 電池残量が少ないとダウンロードを正常に終了できない場合があります。
- USIMカードを差し替えると、ダウンロードしたS!アプリは利用できなくなります。

補足

- **保存先のメモリが一杯または保存可能件数を超えた場合**
  - ・保存先が本体の場合、確認画面が表示されます。「**YES**」を選択し、不要なデータを削除してください。
  - ・保存先がメモリカードの場合、S!アプリをダウンロードできません。不要なS!アプリを削除するか(19-3ページ)、本体に保存してください。

S!アプリの起動

メインメニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 S!アプリを選択→■

補足

- S!アプリ実行中に着信やメール受信などがあった場合の動作は、着信優先動作設定(19-5ページ)に従います。
- 実行中のS!アプリの画面サイズによっては、ミニツール(1-21ページ)は表示されません。

S!アプリの一時停止/再開/終了

S!アプリを一時停止/再開/終了する

1 S!アプリの実行中→PWR

2 「一時停止」/「再開」/「終了」→■

一時停止中のS!アプリを再開/終了する

メインメニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 「再開」/「終了」→■

S!アプリライブラリ

S!アプリを削除する

メインメニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

■1件削除する

S!アプリを選択→[Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「1件」→[■]→「YES」→[■]

■複数選択して削除する

[Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「複数選択」→[■]→S!アプリを選択→[■]→[✉](削除)→「YES」→[■]

■全件削除する

[Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「全件」→[■]→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→[■]

重　要

- お買い上げ時にあらかじめ登録されているS!アプリを削除すると、オールリセット(13-7ページ)を行ってもS!アプリはお買い上げ時の状態に戻りません。

補　足

- お買い上げ時にあらかじめ登録されているS!アプリの種類によっては、削除できない場合があります。

S!アプリライブラリの表示を切り替える

S!アプリライブラリの表示を本体（データフォルダ）のライブラリからメモリカードのライブラリに切り替えることができます。メモリカード内のライブラリを表示中は、タイトルの左に「[SD]」が表示されます。

メインメニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 [✉]([SD])

- メモリカードから本体に切り替える場合は、[✉]([📱])を押します。

S!アプリのプロパティを確認する

メインメニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 **S!アプリを選択→[Y!](メニュー)→「プロパティ表示」→[■]**

補　足

- プロパティでは、アプリ名、ベンダー名、バージョンなどの詳細情報を確認できます。確認できる項目は、S!アプリによって異なります。

S!アプリを移動する

S!アプリを本体(データフォルダ)のS!アプリライブラリまたはメモリカードのS!アプリライブラリに移動できます。

メイン メニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

■1件移動する

S!アプリを選択→Y!(メニュー)→「移動」→■→「1件」→■→「YES」→■

■複数選択して移動する

Y!(メニュー)→「移動」→■→「複数選択」→■→S!アプリを選択→■→✉(移動)→「YES」→■

■全件移動する

Y!(メニュー)→「移動」→■→「全件」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→■

重　要

- 待受設定されているS!アプリをメモリカードに移動すると、待受設定は解除されます。
- お買い上げ時にあらかじめ登録されているS!アプリの種類によっては移動できない場合があります。またダウンロードしたS!アプリによっては、メモリカードに移動できない場合があります。
- 本体とメモリカード内に同じS!アプリがある場合は、S!アプリが上書きされます。

セキュリティを設定する

S!アプリ実行中、通話発信やネットワーク接続など、特定の機能を利用するときに確認画面を表示するかどうかを設定できます。

メイン メニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリライブラリ

1 **S!アプリを選択→Y!(メニュー)→「セキュリティ設定」→■**

2 **機能を選択→■**

■確認画面を表示せず、機能を許可する

「全て許可」→■

■機能を利用するたびに毎回確認画面を表示する

「毎回確認」→■

■S!アプリを起動するたびに1回だけ確認画面を表示する

「初回確認のみ」→■

■機能を実行せず、確認画面も表示しない

「許可しない」→■

補　足

- 表示方法の種類は機能によって異なります。

S!アプリ設定

S!アプリの各種設定ができます。

S!アプリを待受画面に設定する

待受画面にS!アプリを1件設定しておくことができます。待受設定されたS!アプリの開始時間も設定できます。

メインメニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリ設定

1 「待受設定」→■

■S!アプリを選択する

「S!アプリ待受リスト」→■→S!アプリを選択→■→「YES」→■

■S!アプリの起動開始時間を設定する

Y!(メニュー)→「開始時間」→■→起動開始までの時間を入力→■

重　要

- 待受アプリ設定中や「**着信優先動作設定**」(右記)の「**音声着信**」を「**通知のみ**」に設定している場合は、電話がかかってきても簡易留守録(14-7ページ)は動作しません。
- 待受アプリの種類によっては、省電力(12-9ページ)の設定時間が過ぎると、一時停止する場合があります。

補　足

- 待受アプリ起動中にPWRを押すと、待受設定されているS!アプリは一時停止状態になりますが、待受設定は解除されません。待受設定されているS!アプリを解除する場合は、「**待受設定**」で「**OFF**」を選択します。
- S!アプリライブラリ(19-3ページ)から待受設定可能なS!アプリを選択しても、待受設定を行うことができます。

S!アプリ実行中の優先度を設定する

S!アプリ実行中に電話がかかってきたときなどに着信を優先してS!アプリを一時停止するか、S!アプリを一時停止せずに着信の通知だけを行うかを設定します。

メインメニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリ設定

1 「着信優先動作設定」→■

■音声着信したときの設定をする

「音声着信」→■→「着信動作優先」/「通知のみ」→■

■TVコール着信したときの設定をする

「TVコール着信」→■→「着信動作優先」/「通知のみ」→■

■メールを受信したときの設定をする

「メール受信」→■→「受信動作優先」/「通知のみ」→■

■アラームが起動したときの設定をする

「アラーム通知」→■→「アラーム動作優先」/「通知のみ」→■

S!アプリの再生音量を設定する

メイン メニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリ設定

1 「音量設定」→■

2 音量を調節→■

補足

- マナーモードを「**オリジナルマナー**」(12-1ページ)に設定している場合は、再生音量はオリジナルマナーで設定したS!アプリの音量に従います。

S!アプリのバックライトを設定する

メイン メニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリ設定

1 「バックライト設定」→■

■バックライトの点灯方法を設定する

「ON／OFF」→■→「常時ON」／「常時OFF」／「通常設定連動」→■

■バックライト点滅動作を設定する

「点滅設定」→■→「ON」／「OFF」→■

補足

- 「**通常設定連動**」を選択した場合は、バックライト設定(12-9ページ)に従います。

S!アプリのバイブレーターを設定する

メイン メニュー ▶ S!アプリ ▶ S!アプリ設定

1 「バイブ設定」→■

2 「ON」／「OFF」→■

メモリカードのS!アプリ情報を更新する

メモリカードを他のソフトバンク携帯電話やパソコンなどで利用（データ編集や追加、消去など）したときは、メモリカードのS!アプリの情報を更新する必要があります。

メイン メニュー ▶ S!アプリ

1 「メモリカード同期」→■→「YES」→■

補足

- S!アプリの数やサイズによっては、情報の更新が終了するまで時間がかかる場合があります。

S!アプリのライセンス情報の確認

メインメニュー ▶ S!アプリ

1 「インフォメーション」→■

S!アプリのルート証明書の確認

メインメニュー ▶ S!アプリ

1 「S!アプリルート証明」→■→証明書を選択→■

S!タウン

S!タウンは、オンライン・コミュニケーション・アプリです。自分の分身となるキャラクターを選んで3D空間の「街」を歩き、街中で起こるさまざまなイベントを楽しみながら、他の気の合う仲間とコミュニケーションができます。

- S!タウンの利用には、S!タウン専用S!アプリが必要です。本機にはあらかじめS!アプリ「**S!タウン**」が登録されています。
- あらかじめ登録されているS!アプリ「**S!タウン**」は削除できません。
- S!タウンの利用には、パケット通信料が発生します。パケット通信料が高額となる場合がありますのでご注意ください。
- ウェブ利用制限を申し込まれた場合はS!タウンを利用できません。

S!タウンを利用する

S!タウンを初めて利用する場合は、必ず利用規約に同意いただいた上で、ユーザー登録（無料）およびプロフィール登録する必要があります。

S!タウンの利用方法について詳しくは、S!アプリ「**S!タウン**」のヘルプを参照してください。

メインメニュー ▶ コミュニケーション

1 「S!タウン」→ ■

- S!タウンの登録状態確認および登録解除はYahoo!ケータイから操作できます。詳しくは、S!アプリ「**S!タウン**」のヘルプを参照してください。
- S!タウン起動時にバージョンアップ通知が表示される場合があります。画面の指示に従ってバージョンアップして、引き続きS!タウンを利用してください。

ライブラリを利用する

ライブラリにはS!タウンを拡張するS!アプリを保存します。対応するS!アプリをダウンロードした場合は、自動的にライブラリに保存されます。

お買い上げ時はライブラリにS!アプリは保存されていません。

メインメニュー ▶ コミュニケーション

1 「S!タウン」→ ✉（ライブラリ）

- ライブラリに保存されたS!アプリを直接起動することができます。このときS!アプリの種類によって、S!アプリ「**S!タウン**」が起動される場合があります。

S!ループ

S!ループはコミュニケーションサービスです。

メインメニュー ▶ コミュニケーション

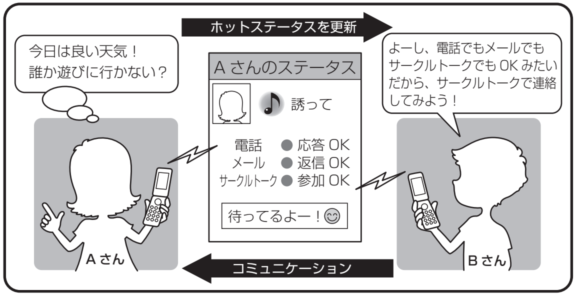
1 「S!ループ」→ ■ →「YES」→ ■

インターネットに接続し、S!ループのトップメニュー画面が表示されます。

- 以降の操作は、S!ループのヘルプを参照してください。

ホットステータス

ホットステータスとは、今の気分や電話やメール、サークルトークに応答できるかどうかなど、現在の状況（ホットステータス情報）をホットステータスメンバーリストに登録した相手とお互いに確認し合える機能です。
ホットステータスメンバーリストに登録した相手を待ち受けウィンドウに登録すると、待受画面から簡単な操作でホットステータス情報を確認することができます。



重　要

- IPサービス設定（13-6ページ）を「**OFF**」に設定している場合は、ホットステータスを操作することができません。

補　足

- ホットステータス情報は自動的に更新されます。また、手動で更新することもできます（20-10ページ）。

ご契約について

●ホットステータスのご利用には、お申し込みが必要です。また、月額料金がかかります。

ホットステータス通知について

登録許可通知や登録要求通知などのホットステータス通知を受信すると、着信音が鳴り、メッセージが表示されます。
ホットステータス通知には以下の5種類があります。

種　類	説　明
登録許可通知	自分から相手への登録要求に対し、相手が登録を許可した場合に受信します。受信するとお互いにホットステータス情報を確認できるようになります。
登録不可通知	自分から相手への登録要求に対し、相手が登録を拒否した場合、相手が24時間以内に応答しなかった場合、相手がすでに30件登録していて登録を許可できない場合に受信します。
登録解除通知	相手がホットステータスメンバーリストから自分を削除したときに受信します。受信するとお互いにホットステータス情報が確認できなくなります。
登録要求通知	相手がホットステータスメンバーリストに自分を登録したときに受信します。登録を許可するとお互いにホットステータス情報を確認できるようになります。 登録要求通知を受信した場合は、待受画面に「[icon]」が表示されます。 登録要求通知にはホットステータス通知リストで「[icon]」が表示されます。

コミュニケーション
20

種　類	説　明
オフライン通知	ネットワーク障害によりホットステータス接続状況が自動的に「**オフライン**」に変更された場合に受信します。

ホットステータス通知を確認する

ホットステータス通知はホットステータス通知リストで確認できます。

1 お知らせ一発メニュー表示→「ホットステータス通知」→■→ホットステータス通知を選択→■

●登録許可通知または登録解除通知の確認後にホットステータスメンバーリストを表示する場合は、「**YES**」を選択します。

補　足

- ホットステータス通知を操作すると、ホットステータス通知リストから削除されます。
- ホットステータスの操作中にホットステータス通知を受信すると、ホットステータス通知受信のメッセージが表示される場合があります。「**今すぐ確認**」を選択すると、ホットステータス通知リストが表示されます。「**後で確認**」を選択すると、操作を継続します。
- ホットステータス通知リストは、ホットステータスメンバーリスト表示中にY!(メニュー)→「**ホットステータス通知**」を選択しても表示することができます。
- ホットステータス通知リストの表示中にY!(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  1件削除／全件削除

ホットステータスメンバーリストを作成する

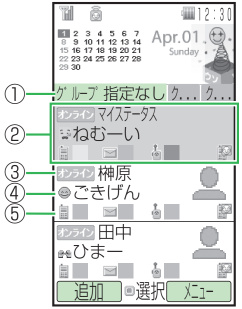
ホットステータスメンバーリストには30件まで登録できます。また、グループに分けて管理することができます。ひとつのグループには10件まで、「**グループ指定なし**」グループには30件まで登録できます。

重　要

- ホットステータスメンバーリストに登録できるのは、ホットステータス対応のソフトバンク携帯電話のみです。
- ホットステータスメンバーリストを作成するには、マイステータスを「**オンライン**」にしてください(20-7ページ)。

ホットステータスメンバーリスト画面

各グループに登録されているメンバーが一覧で表示されます。



①グループタブ

表示するグループを切り替えることができます。

②マイステータス

自分の情報です。表示しているグループにかかわらず、常に先頭に表示されます。

③ホットステータス接続状況

メンバーの現在のネットワークへの接続状況が表示されます。

④状態

メンバーの現在の気分や状態などが表示されます。

⑤応答ステータス

各通信方法の受信可否状態が色で表示されます。

電話の応答ステータス

緑：応答OK　黄：急用のみ　赤：応答NG　白：不明

メールの応答ステータス

緑：返信OK　黄：後で確認　赤：利用不可　白：不明

サークルトークの応答ステータス

緑：参加OK ／自動参加

赤：参加NG ／応答NG ／利用不可

補　足

- ホットステータスメンバーリストの表示中に[メニュー](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(選択しているメンバーによっては表示されない項目があります)。
  メンバー追加／登録解除要求／発信／サークルトーク発信／アドレス帳登録／ホットステータス設定／待受ウィンドウ／ホットステータス通知／グループ名変更／グループ変更

アドレス帳または電話番号から登録する

ホットステータスメンバーリストへ相手を登録すると、相手に登録要求通知が送信されます。

●相手から登録許可のホットステータス通知を受信すると(20-2ページ)、お互いにホットステータス情報を確認できるようになります。

メインメニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 **[✉](追加)→「アドレス帳検索」／「直接入力」→[■]**

●「**アドレス帳検索**」で検索できるアドレス帳は、本体に登録されているアドレス帳のみです。

2 **メンバーを選択または電話番号を入力→[■]**

■グループを選択する

「[Gr]」→[■]→グループを選択→[■]

コミュニケーション

20

3 ✉(登録)→「YES」→■

相手に登録要求通知が送信され、ホットステータスメンバーリスト画面に「**ホットステータス待機中**」と表示されます。

重 要

- ホットステータスメンバーリストにすでに30件登録されている相手に対して登録要求を行った場合、自動的に登録不可通知が送信されます。

補 足

- マイステータスが「**オフライン**」の場合は、ホットステータスを起動したあと「**オンライン**」に変更するかどうかのメッセージが表示されます。「**YES**」を選択すると、「**オンライン**」に変更されます。
- メンバーが1人も登録されていない場合は、ホットステータスを起動したあと今すぐメンバーを追加するかどうかのメッセージが表示されます。「**YES**」を選択すると、メンバーを追加することができます。
- メンバーを選択したあとに Y!(メニュー)→「**再入力**」を選択してメンバーを選択し直すことができます。

登録要求通知から登録する

相手からホットステータスメンバーリストの登録要求があると、登録要求のホットステータス通知を受信します（20-2ページ）。登録を許可すると、相手はホットステータスメンバーリストに登録され、お互いにホットステータス情報を確認できるようになります。

1 お知らせ一発メニュー表示→「ホットステータス通知」→■

2 登録要求通知を選択→■→「YES」→■

- 「**NO**」を選択すると、相手に登録不可通知を返信し、相手はホットステータスメンバーリストに登録されません。

重 要

- 「**NO**」を選択し、登録不可通知を返信した場合は、通知の相手に対して24時間ホットステータスメンバーリストへの登録要求ができなくなります。
- 「**NO**」を選択し、登録不可通知を返信したとき、相手が24時間以上、圏外またはオフラインで登録不可通知を受信できなかった場合は、相手がオンラインになると、再度登録要求を受信します。

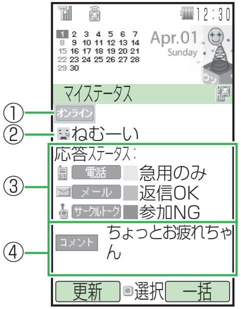
補 足

- アドレス帳に登録されていない相手からの登録要求を拒否したり、登録要求を常に拒否するように設定できます（20-9ページ）。

自分のホットステータス情報を設定する

マイステータス画面を表示して、自分の現在の状況を変更したり、オンライン／オフラインを切り替えたりできます。

マイステータス画面



①ホットステータス接続状況
自分のネットワークへの接続状況を設定します。

②状態
自分の現在の気分や状態などを設定します。

③応答ステータス
各通信方法の受信可否状態を設定します。

④コメント
メンバーに表示するメッセージを入力します。

マイステータスを変更する

自分のホットステータス情報（マイステータス）を変更します。

メインメニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 マイステータスを選択→[■]

●待受画面で[＊]を長く（約1秒以上）押しても、マイステータスを表示できます。

■状態を変更する
状態を選択→[■]→項目を選択→[■]

■応答ステータスを変更する
応答ステータスを選択→[■]→項目を選択→[■]

■応答ステータスを一括で変更する
[Y!]（一括）→項目を選択→[■]→設定内容を確認→[■]

●「**ユーザー設定**」を選択した場合は、以下の操作で各項目の設定を自由に組み合わせて、オリジナルの一括設定を登録できます。
[Y!]（一括）→「ユーザー設定」→[■]→[✉]（編集）→各項目を設定→[✉]（保存）→[■]

2 [✉]（更新）

コメントを入力する

ホットステータス情報に表示するメッセージを入力します。

メインメニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 マイステータスを選択→[■]

●待受画面で[＊]を長く（約1秒以上）押しても、マイステータスを表示できます。

2 コメント欄を選択→[■]

3 コメントを入力→[■]→[✉](更新)

オンライン/オフラインを切り替える

オフラインに切り替えると、自分と相手の現在の状態をお互いに確認できなくなります。また、ホットステータスメンバーリストの作成やサークルトーク発信などの操作もできなくなります。

メインメニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 マイステータスを選択→[■]

●待受画面で[＊]を長く(約1秒以上)押しても、マイステータスを表示できます。

2 「オンライン」/「オフライン」→[■]

■オンラインに切り替える

「オンライン」→[■]→「YES」→[■]

■オフラインに切り替える

「オフライン」→[■]→[✉](更新)

ホットステータスメンバーリストを編集する

グループ名を編集する

メインメニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 [◉]でグループを選択→[Y!](メニュー)→「グループ名変更」→[■]

2 グループ名を編集→[■]

補　足

● 「**グループ指定なし**」グループは名前を変更できません。

グループを変更する

ホットステータスに登録しているメンバーを別のグループに変更することができます。

メインメニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 [◉]でグループを選択

■1件変更する

メンバーを選択→[Y!](メニュー)→「グループ変更」→[■]→「1件」→[■]→グループを選択→[■]

■複数選択して変更する

マイステータス以外を選択→[Y!](メニュー)→「グループ変更」→[■]→「複数選択」→[■]→メンバーを選択→[■]→[✉](移動)→グループを選択→[■]

■全件変更する

マイステータス以外を選択→[Y!](メニュー)→「グループ変更」→[■]→「全件」→[■]→グループを選択→[■]

補　足

● 複数選択または全件選択でグループ変更した結果、変更先のグループのメンバーが 10 件を超える場合は、グループは変更されず、複数選択画面に戻ります。10 件以内になるようメンバーを選択し直してください。

メンバーを削除する

ホットステータスメンバーリストからメンバーを削除すると、相手に登録解除通知が送信されます。

メインメニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 ⊡でグループを選択

■**1件削除する**

メンバーを選択→Y'(メニュー)→「登録解除要求」→■→「1件」→■→「YES」→■

■**複数選択して削除する**

マイステータス以外を選択→Y'(メニュー)→「登録解除要求」→■→「複数選択」→■→メンバーを選択→■→✉(削除)→「YES」→■

■**全件削除する**

マイステータス以外を選択→Y'(メニュー)→「登録解除要求」→■→「全件」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→■

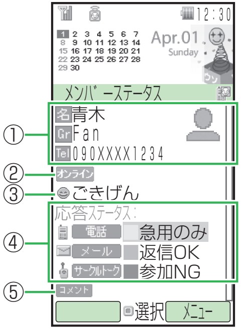
重　要

- ホットステータスメンバーリストから削除した場合は、削除した相手への登録要求通知の送信や、相手からの登録要求通知の受信が24時間できなくなります。

メンバーのホットステータス情報を確認する

メンバーステータス画面で、登録しているメンバーの現在の状況の確認や、電話、メール、サークルトークの発信ができます。

メンバーステータス画面



①メンバー情報
アドレス帳に登録されている名前と画像、ホットステータスグループ、電話番号が表示されます。

②ホットステータス接続状況
メンバーの現在のネットワークへの接続状況が表示されます。

③状態
メンバーの現在の気分や状態などが表示されます。

④応答ステータス
各通信方法の受信可否状態が表示されます。

⑤コメント
メンバーからのメッセージが表示されます。

メイン
メニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 [•▢•]でグループを選択→[◎]でメンバーを選択→[■]

2 メンバーの状況に応じて発信操作を行う

■電話をかける
電話の応答ステータスを選択→[■]→[Y!](メニュー)→「音声発信」/「TVコール」→[■]

■メールを送信する
メールの応答ステータスを選択→[■]→メールを作成する→[✉](送信)

■サークルトークを発信する
サークルトークの応答ステータスを選択→[■]

補　足

- 電波の受信状況などによって、最新の情報が表示されない場合があります。手動で更新を行って最新の情報を表示することができます(20-10ページ)。
- 電話番号から登録したメンバーは、メンバーステータス画面で[Y!](メニュー)→「**編集**」を選択してアドレス帳に登録できます。アドレス帳に登録した名前と顔写真は、ホットステータスのメンバーリスト画面やメンバーステータス画面に表示されます。
- 「**オールリセット**」「**本体メモリクリア**」(13-7ページ)を行うと、メンバー情報の名前と画像は表示されなくなり、ホットステータスグループは「**グループ指定なし**」となります。
- メンバーステータス画面の表示中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
編集/グループ変更

メンバーを待ち受けウィンドウに登録する

よく確認するメンバーを待ち受けウィンドウ(14-1ページ)に登録することができます。

メイン
メニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 [•▢•]でグループを選択→[◎]でメンバーを選択

2 [Y!](メニュー)→「待受ウィンドウ」→[■](2回)→「未登録」→[■]

補　足

- マイステータスを待ち受けウィンドウに登録することもできます。

ホットステータス設定

登録要求に対する応答方法を設定する

登録要求通知を受信したときの応答方法をあらかじめ設定しておくことができます。
設定できる応答方法は以下のとおりです。

項　目	内　容
常に応答	すべての登録要求を受信します。
アドレス帳のみ	アドレス帳に登録している相手からの登録要求のみ受信します。アドレス帳に登録されていない相手から登録要求があった場合、相手に登録不可通知が送信されます。
応答しない	すべての登録要求を受信しません。相手には登録不可通知が送信されます。

メイン メニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 ✉(メニュー)→「ホットステータス設定」→■→「メンバー登録応答」→■

2 応答方法を選択→■

状態設定を編集する

マイステータスに表示する状態の内容を編集します。
お買い上げ時は以下の状態が設定されています。

ごきげん	ハッピー	ひまー
あそぼー	やばっ	がっくり
うえーん	ぷんぷん	めらめら
だるーい	ねむーい	連絡して
誘って	ひみつ	任意設定(2つ)

メイン メニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 ✉(メニュー)→「ホットステータス設定」→■→「状態設定」→■

2 項目を選択→■(変更)

■**アイコンを設定する**
「アイコン」→■→アイコンを選択→■

■**ラベルを設定する**
「ラベル」→■→ラベルを入力→■

■**応答ステータスを一括設定する**
「一括設定」→■→項目を選択→■

●「**ユーザ設定**」を選択すると、マイステータス画面の✉(一括)で編集したユーザ設定(20-6ページ)の内容が適用されます。

3 ✉(保存)→「YES」→■

ホットステータス情報を手動で更新する

ホットステータス情報は、自動的に更新されますが、手動で更新することもできます。

メイン メニュー ▶ コミュニケーション ▶ ホットステータス

1 ✉(メニュー)→「ホットステータス設定」→■→「最新情報更新」→■

サークルトークについて

サークルトーク対応のソフトバンク携帯電話どうしで、複数の人（自分を含めて最大11人まで）と同時に通話できます。
ボタンを押している間に発言することができ、発言中、他のメンバーは聞くだけになります。
また、サークルトークに参加中のメンバーや発言中のメンバーは画面で確認することができます。

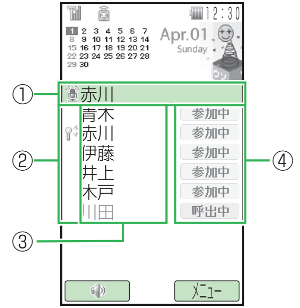
重　要

- IPサービス設定（13-6ページ）を「**OFF**」に設定している場合は、サークルトークを操作することができません。
- ホットステータス接続状況（20-6ページ）が「**オフライン**」のときは、サークルトークの発着信ができません。「**オンライン**」に切り替えてください（20-7ページ）。
- 音声通話中、TVコール中はサークルトークの発着信はできません。また、すでにサークルトーク中の場合、新たにサークルトークの着信はできません。

ご契約について

●サークルトークのご利用には、ホットステータス（20-2ページ）へのお申し込みが必要です。また、別途通信料がかかります。

サークルトーク中画面



①発言中のメンバー名が表示されます。自分が発言中の場合は、「**自分**」と表示されます。また、発言できる場合は、「**長押しで話せます**」と表示されます。
②発言中のメンバーに「」が表示されます。
③サークルトークに参加しているメンバーが表示されます。
アドレス帳に登録しているメンバーは、アドレス帳に登録している名前が表示されます。アドレス帳に登録がないメンバーは、電話番号が表示されます。
④メンバーの状態が表示されます。

- 呼出中：サークルトークへの参加を呼びかけ中です。
- 参　加：サークルトークに参加しました。
- 参加中：サークルトーク中です。
- 退出：サークルトークから退出しました。
- 参加不可：サークルトークに参加できませんでした。

サークルトーク発信

1 待受画面で電話番号を入力し、[↑]を長く(約1秒以上)押す

サークルトークに接続されます。

●サークルトークメンバーリスト(20-14ページ)から発信する場合は、待受画面で[↑]を押してサークルトークメンバーリストから個人またはグループを選択し、[✉](発信)を押してください。

2 [↑]を押したまま発言する

「[🎙]**自分**」が表示されると発言することができます。

●サークルトークの接続直後は、発信者に発言権が付与されます。まずは発信者から発言を開始してください。

●「[🎙]**自分**」が表示されてから30秒が経過すると、発言権がなくなります。

●他のメンバーの発言中は、発言できません。

3 退出するには、[PWR]→「YES」→[■]

●サークルトーク中に参加者が自分だけになった場合は、自動的にサークルトークが終了します。

補　足

● サークルトークメンバーリストの選択中に[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(選択しているサークルトークメンバーリストによっては表示されない項目があります)。
  メンバー登録／グループ編集／削除／スピーカー設定
● 以下の操作で、同時に発信する相手を追加したり削除することができます。10人までチェックマークを付けて選択できます。
  ・待受画面で電話番号を入力→[Y!](メニュー)→「サークルトーク発信」→[■]→[Y!](メニュー)→「追加」→[■]
  ・サークルトークメンバーリストでメンバー(個人)を選択→[■](2回)→[Y!](メニュー)→「追加」→[■]
  ・サークルトークメンバーリストでグループを選択→[■]→[Y!](メニュー)→「追加」／「削除」→[■]
● メインメニューの「**コミュニケーション**」→「**サークルトーク**」から、サークルトークメンバーリストを表示させることもできます。
● 以下の機能からサークルトークを発信することもできます。
  ・発着信履歴
  ・アドレス帳
  ・待ち受けウィンドウ
  ・ホットステータスメンバーリスト
● 最新のサークルトーク発信履歴からサークルトーク発信すると(2-6ページ)、そのサークルトークが継続されている場合は、再度参加することができます。サークルトークが継続されていない場合は、新しくサークルトークを発信するかどうかの確認画面が表示されます。

サークルトーク着信

1 サークルトークがかかってきたら、■(応答)を押す

サークルトークに接続されます。

- 着信を拒否する場合は、Y!(拒否)を押します。
- ▲を押しても応答できます。

2 ▲を押したまま発言する

「自分」が表示されると発言することができます。

- 「自分」が表示されてから30秒が経過すると、発言権がなくなります。
- 他のメンバーの発言中は、発言できません。

3 退出するには、PWR→「YES」→■

- サークルトーク中に参加者が自分だけになった場合は、自動的にサークルトークが終了します。

補　足

- 自分のホットステータス情報（マイステータス）（20-6ページ）で、サークルトークの応答ステータスを「**自動参加**」に設定している場合は、サークルトークがかかってくると自動的に接続されます。
- 最新のサークルトーク着信履歴からサークルトーク発信すると（2-7ページ）、そのサークルトークが継続されている場合は、再度参加することができます。サークルトークが継続されていない場合は、新しくサークルトークを発信するかどうかの確認画面が表示されます。

サークルトーク中の操作

他のメンバーを呼び出す

1 サークルトーク中にY!(メニュー)→「追加」→■

■サークルトークメンバーリストから呼び出す場合

「メンバーリスト」→■→メンバーリストを選択→■

■ホットステータスメンバーリストから呼び出す場合

「ホットステータス」→■→相手を選択→■

■アドレス帳から呼び出す場合

「アドレス帳」→■→相手を選択→■→電話番号を選択→■

■電話番号を直接入力する場合

「直接入力」→■→電話番号を入力→■

受話音量を調節する

1 通話中→◎→◎

補　足

- 相手の声の出力先をスピーカーに設定している場合は、スピーカー音量の調節となります。

相手の声の出力先を切り替える

1 通話中→✉(🔊／🔇)

補　足

- 出力先は、サークルトークメンバーリストの表示中にY!（メニュー）→「**スピーカー設定**」を選択しても切り替えることができます。

サークルトークメンバーリストを利用する

サークルトークメンバーリストを作成する

あらかじめサークルトークメンバーリストに相手を登録しておくと、特定のメンバーに同時にサークルトークを発信することができます。
サークルトークメンバーリストには相手を50件まで登録でき、アドレス帳やホットステータスに登録している相手を登録したり、直接電話番号を入力して登録することができます。

個人を登録する

メインメニュー ▶ コミュニケーション ▶ サークルトーク

1 [Y!](メニュー)→「メンバー登録」→[■]

●サークルトークメンバーリストに１人も登録されていない場合は、[✉](登録)を押すとメンバーの登録画面が表示されます。

2 「個人」→[■]→「アドレス帳検索」／「ホットステータス」／「直接入力」→[■]

●「**アドレス帳検索**」で検索できるアドレス帳は、本体に登録されているアドレス帳のみです。

3 メンバーを選択または電話番号を入力→[■]

グループを作成する

グループを作成して複数のメンバーを登録しておくと、同時に複数のメンバーにサークルトークを発信することができます。
ひとつのグループに相手を10件まで登録できます。

メインメニュー ▶ コミュニケーション ▶ サークルトーク

1 [Y!](メニュー)→「メンバー登録」→[■]

●サークルトークメンバーリストに１人も登録されていない場合は、[✉](登録)を押すとメンバーの登録画面が表示されます。

2 「グループ」→[■]→「新規作成」→[■]

3 「未登録」→[■]→「アドレス帳検索」／「ホットステータス」／「直接入力」→[■]

●「**アドレス帳検索**」で検索できるアドレス帳は、本体に登録されているアドレス帳のみです。

4 メンバーを選択または電話番号を入力→[■]

●続けてメンバーを登録する場合は、操作3、4を繰り返します。
●電話番号を変更したい場合は、メンバーを選択して[■]を2回押し、電話番号を入力してください。

5 [✉](登録)→グループ名を入力→[■]

補　足

● 新規グループ作成画面で[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます(選択しているメンバーによっては選択できない項目があります)。
1件削除／全件削除

ホットステータスメンバーリストのグループを登録する

ホットステータスメンバーリストのグループ（20-4ページ）をそのままサークルトークのメンバーリストとして登録できます。

メインメニュー ▶ コミュニケーション ▶ サークルトーク

1 Y!(メニュー)→「メンバー登録」→■

●サークルトークメンバーリストに1人も登録されていない場合は、✉(登録)を押すとメンバーの登録画面が表示されます。

2 「グループ」→■→「ホットステータス」→■

3 グループを選択→■

補　足

● ホットステータスグループが「**グループ指定なし**」のホットステータスメンバーは、この方法ではサークルトークメンバーリストに登録できません。

グループ名を編集する

1 待受画面→▲→サークルトークメンバーリストのグループを選択→Y!(メニュー)

2 「グループ編集」→■→「グループ名変更」→■

3 グループ名を編集→■

グループメンバーを編集する

メンバーの追加や削除、登録したメンバーの電話番号を変更することができます。

1 待受画面→▲→サークルトークメンバーリストのグループを選択→Y!(メニュー)

2 「グループ編集」→■→「メンバー変更」→■

■メンバーを追加する

「未登録」→■→「アドレス帳検索」／「ホットステータス」／「直接入力」→■→メンバーを選択または電話番号を入力→■

■メンバーを1件削除する

削除するメンバーを選択→Y!(メニュー)→「1件削除」→■→「YES」→■

■メンバーを全件削除する

Y!(メニュー)→「全件削除」→■→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→■

■メンバーの電話番号を変更する

変更するメンバーを選択→■(2回)→電話番号を入力→■

3 ✉(保存)

サークルトークメンバーリストのグループ／個人を削除する

1 **待受画面→[▲]**

■1件削除する

メンバーまたはグループを選択→[Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「1件」→[■]→「YES」→[■]

■複数選択して削除する

[Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「複数選択」→[■]→メンバーやグループを選択→[■]→[✉](削除)→「YES」→[■]

■全件削除する

[Y!](メニュー)→「削除」→[■]→「全件」→[■]→操作用暗証番号(1-22ページ)を入力→「YES」→[■]

補　足

- 以下の操作でもサークルトークメンバーリストを表示させることができます。
  メインメニュー→「**コミュニケーション**」→[■]→「**サークルトーク**」→[■]

S! GPS ナビの利用

S! GPS ナビについて

S! GPSナビは、GPS衛星による測位情報と、基地局との通信による測位情報を使用しています。
自分のいる場所を地図で確認したり、他の位置情報対応ソフトバンク携帯電話に知らせることができます。また、ナビアプリを利用して、自分のいる場所の周辺情報を検索したり、目的地までのルート案内などのサービスが利用できます。
本機にはあらかじめナビアプリが登録されています。詳しくは、「S! GPSナビ使い方ガイド」をご覧ください。

重　要

- GPS衛星または基地局の信号による電波の受信状況が悪い場所でご利用の場合は、位置情報の精度が低くなることがあります。
- 正しい位置情報が取得できない場合は、天空が見える場所へ移動してください。
- 提供した位置情報に起因する障害については、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 測位機能ロック中(21-4ページ)は測位できません。

ナビアプリを起動する

ナビアプリを使って、現在地の周辺情報を取得したり、目的地までのルートを確認したりできます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「ナビアプリ」→■

補　足

- 他のS!アプリが一時停止中の場合は、S!アプリを終了してからナビアプリを起動してください。

現在地を確認する

ナビアプリを起動して現在地を表示します。

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「現在地地図」→■

- 位置情報を送信するかどうかの確認画面が表示されます。「**今後確認せず送信**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

重　要

- 位置情報送信の設定(21-4ページ)を「**送信しない**」にしていると、現在地を確認できません。「**毎回確認する**」または「**送信する**」にしてください。

補　足

- 位置情報を取得すると測位精度が3段階で表示されます。測位精度「**3**」ではほぼ正確な位置情報が、「**2**」では比較的正確な位置情報が取得されています。「**1**」の場合は、正確な位置情報が取得されていない可能性がありますので、場所を変えてもう一度測位することをおすすめします。

現在地を送信する

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「現在地メール」→[■]

現在地を測位したあと、位置情報が本文に挿入され、メール作成画面が表示されます。

位置履歴を利用する

過去に取得した位置情報を最新の20件まで確認できます。位置履歴の左側に表示される「 」は測位に成功したことを、「 」は失敗したことを表します。

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「位置履歴」→[■]→位置情報を選択→[Y!](メニュー)

■位置情報から地図を確認する

「地図表示」→[■]→「送信する」/「今後確認せず送信」→[■]→ナビアプリを起動し地図を表示

●「**今後確認せず送信**」を選択すると、次回から確認画面は表示されません。

■ナビアプリを起動

「ここへ行く」→[■]→ナビアプリ起動

■位置情報をS!メールで送信する

「位置情報メール」→[■]

■位置情報を位置メモリストに登録する

「位置メモ登録」→[■]

■アドレス帳に位置情報を登録する

「アドレス帳登録」→[■]

■1件削除する

「削除」→[■]→「1件削除」→[■]→「YES」→[■]

■全件削除する

「削除」→[■]→「全件削除」→[■]→操作用暗証番号（1-22ページ）を入力→「YES」→[■]

詳細を確認する

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「位置履歴」→[■]→位置情報を選択→[■]

補　足

- 位置履歴の件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に削除されます。
- 途中で測位を中止した場合は位置履歴に記憶されません。

位置メモリストに登録する

取得した位置情報を位置メモリストに登録できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「位置メモリスト」→■→未登録の位置メモを選択→■

2 位置情報を追加→■→タイトルを入力→■

補足

- 位置メモリストに登録済みの場合は、「**位置メモリスト**」を選択したあと、✉(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  地図表示／ここへ行く／位置情報メール／アドレス帳登録／位置情報更新／削除／タイトル編集

設定

クイック GPS を設定する

クイックGPSの有効時間内では、通常よりも位置情報を早く取得するために、常に基地局と通信をして測位情報を取得します。クイックGPSを設定すると画面上に「🛰」が表示されます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「クイックGPS」→■

2 時間を選択→■→「YES」→■

重要

- クイックGPSを設定すると常にインターネットに接続している状態になるため、通信料がかかります。

補足

- 圏外などで位置情報が取得できない状態になると表示が「🛰」(グレー)に変わります。

地図の URL を設定する

インターネットで地図を表示させるときの地図プロバイダを設定します。

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「ナビ設定」→■→「地図URL設定」→■

■地図URLを登録する
未登録の項目を選択→✉(メニュー)→「URL編集」→■→URLを入力→■

■表示名を編集する
地図URLを選択→✉(メニュー)→「表示名編集」→■→表示名を編集→■

■地図URLを編集する
地図URLを選択→✉(メニュー)→「URL編集」→■→「YES」→■→URLを編集→■

■地図URLを設定する
地図URLを選択→■

■地図URLを削除する
地図URLを選択→✉(メニュー)→「削除」→■→「YES」→■

重　要

- お買い上げ時に設定されている地図URLは編集／削除できません。

ナビアプリ選択

起動するナビアプリを選択します。

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「ナビ設定」→■→「ナビアプリ選択」→■

2 設定したいナビアプリを選択→■

重　要

- USIMカードの差し替えによってナビアプリが使用できなくなった場合は、オールリセットまたは本体メモリクリア（13-7ページ）を行ってください。

測位機能をロックする

測位機能を使用できないように設定できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「ナビ設定」→■→「測位機能ロック」→■

2 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

3 「ON」／「OFF」→■

プライバシー設定

測位要求のプッシュ（携帯電話やパソコンなどの位置情報サービスによる現在地測位要求）を受信した場合の通知方法を設定できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「イチなび」→■

●以降の操作は画面の指示に従ってください。

位置情報の送信を設定する

情報取得時に位置情報の送信要求があったとき、位置情報を自動的に送信するかどうかを設定します。

メインメニュー ▶ ツール ▶ S! GPSナビ

1 「ナビ設定」→■→「位置情報送信」→■→□→■

2 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

■毎回確認画面を表示させる

「毎回確認する」→■

■確認画面を表示せずに位置情報を送信する

「送信する」→■

■確認画面を表示させずに位置情報の送信もしない

「送信しない」→■

S!キャスト

サービスに登録することにより、定期的に情報が自動配信されます。
情報の配信は深夜から早朝にかけて行われます。ダウンロード中は待受画面に「」が表示されます。ダウンロードが完了すると、待受画面にアイコン「」(新着S!キャストあり)が表示され、同時にお知らせ一発メニュー(1-8ページ)も表示されます。
●S!キャストによる課金は、サービスの月額使用料のみで、ダウンロード時の通信料は発生しません。

サービスの登録/解除をする

専用サイトへ接続し、配信情報の登録･解除や番組選択をします。
●インターネットに接続中は、通信料がかかります。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ S!キャスト

1 「サービス登録･解除」→■→「YES」→■

●以降の操作は画面の指示に従ってください。

新着情報を確認する

最新の情報を確認できます。
S!キャストのメニュー画面で表示される「**最新情報**」のアイコンは、未読の場合は「」、既読の場合は「」で表示されます。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ S!キャスト

1 「最新情報」→■

補足

- 「**最新情報**」を選択中にY!(メニュー)を押して「**1件削除**」を選択すると、最新情報を削除できます。
- 表示する情報によっては、画面下部が空白になる場合があります。

お知らせ一発メニューから確認する

お知らせ一発メニュー(1-8ページ)から最新情報を閲覧できます。

1 お知らせ一発メニュー表示→「新着S!キャスト」→■

補足

- 情報閲覧中にY!(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  進む/**テキストコピー**/**ファイル保存**/**便利機能**/**Yahoo!ケータイ**/**設定**

手動でダウンロードする

電源を切っていたり、電波状態が悪く情報のダウンロードに失敗した場合、配信日当日に限り再配信ページからダウンロードできます。ダウンロードできるのは、最新の情報です。過去の情報はダウンロードできません。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ S!キャスト

1 「再配信要求」→■→「YES」→■

●再配信ページへ接続します。

重　要

- 情報の配信がない日は、ダウンロードできません。

お知らせ一発メニューから再配信要求をする

お知らせ一発メニュー（1-8ページ）から、再配信ページへ接続できます。

1 お知らせ一発メニュー表示→「S!キャスト情報」→■

2 「YES」→■

バックナンバーを確認する

過去に配信された情報を確認できます。
S!キャストのメニュー画面で表示される「**バックナンバー**」のアイコンは、未読の情報がある場合は「」、すべて既読の情報の場合は「」で表示されます。
最大7件までリストに表示されます。7件を超えると、古い情報から順に削除されます。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ S!キャスト

1 「バックナンバー」→■

2 情報を選択→■

補　足

- 過去の情報を選択中に（メニュー）を押して「**1件削除**」を選択すると、過去の情報を削除できます。
- バックナンバーリスト画面で表示される過去の情報のアイコンも、未読の場合は「」、既読の場合は「」で表示されます。
- 配信された情報は最新情報を含めて3Mバイトまで保存しておけます。件数、容量のどちらかでも超えると、リストの古い情報から削除されます。
- リストを並び替えることはできません。

お天気アイコン

お天気アイコンとは、現在のエリアの天気予報を待ち受けウィンドウ(14-1ページ)にアイコンでお知らせするサービスです。表示されるアイコンは自動的に更新されます。

●お天気アイコンをご利用になるには、別途お申し込みが必要です。

お天気アイコンを設定する

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ S!キャスト

1 「お天気アイコン」→[■]→「表示設定」→[■]

2 「アイコン表示」→[■]→「表示する」/「表示しない」→[■]

■お天気アイコンを「表示する」に設定した場合
「YES」→[■]

お天気アイコンの通知を設定する

お知らせ一発メニュー（1-8ページ）からお天気アイコンの通知をするかどうかを設定します。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ S!キャスト

1 「お天気アイコン」→[■]→「表示設定」→[■]→「インフォメーション表示」→[■]

2 「表示する」/「表示しない」→[■]

補足

● 表示されるお天気アイコンは、天候の目安としてご利用ください。

天気予報を確認する

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ S!キャスト

1 「お天気アイコン」→[■]→「天気予報」→[■]

●未読の天気予報がある場合は、項目に「•」が表示されます。

補足

● 待ち受けウィンドウでお天気アイコンを選択して[■]を押しても、天気予報の詳細を確認できます。

天気予報を更新する

お天気アイコンの自動更新ができなかった場合に、最新の情報に更新します。

メインメニュー ▶ エンタテイメント ▶ S!キャスト

1 「お天気アイコン」→[■]→「手動更新」→[■]→「YES」→[■]

電子ブックを読む

「**ブックサーフィン**」「**ケータイ書籍**」は電子コミック、電子写真集、電子書籍（小説など）の電子ブックを閲覧するためのビューアです。
画像を拡大／縮小したり、簡単な操作で画面をスクロールしたり、サウンドやバイブレーションなどの効果により、臨場感ある演出も可能です。
●電子ブックを閲覧するにはコンテンツ・キーが必要な場合があります。

ビューア	対応ファイル形式
ブックサーフィン	CCF(.CCF)
ケータイ書籍	XMDF(.ZBK、.ZBF、.ZBS)

※非対応ファイルの作品タイトルは表示されません。
※ファイル形式によって起動するビューアが異なります。ファイル形式の確認方法については10-6ページを参照してください。
※「**ケータイ書籍**」は、一部PCコンテンツを閲覧できない場合があります。

メインメニュー▶ エンタテイメント

■**ブックサーフィンを利用する**
「ブックサーフィン」→■

■**ケータイ書籍を利用する**
「ケータイ書籍」→■

●以降の操作については、「**ブックサーフィン**」／「**ケータイ書籍**」のヘルプを参照してください。

補　足

- 電子ブックは、データフォルダ「**ブック**」から直接作品タイトルを選択しても閲覧できます。選択した電子ブックのファイル形式に応じて、自動的にビューアを起動します。
- S!アプリ「**ブックサーフィン**」／「**ケータイ書籍**」から閲覧することもできます。ただし、S!アプリ「**ブックサーフィン**」／「**ケータイ書籍**」から閲覧する場合、各S!アプリに対応しているファイル形式の電子ブックだけ閲覧できます。

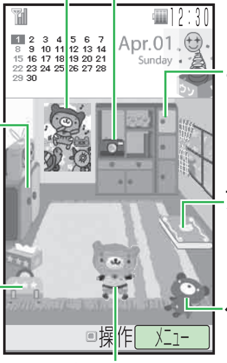
くーまんの部屋

自由気ままな星の輪熊のあかちゃん「くーまん」の部屋を起動すると、くーまんを変身させたり、くーまんからメールを受信したりできます。

重　要

- Languageを「**English**」に設定している場合は、くーまんの部屋を起動できません。「**日本語**」に設定してください。

くーまんの部屋について



ポスター
貼り替えることができます。

さつえい
くーまんの写真を撮ることができます。

とだな
トロフィーが飾られます。さまざまな賞があるようです。

きがえ
くーまんの着替えが入っています。

アルバム
くーまんの写真を集めたアルバムです。

たからばこ
くーまんが大事にしているものが入っています。

へんし～ん！
待受くーまんがぬいぐるみをかぶって変身します。

くーまん
自由気ままな星の輪熊のあかちゃん「くーまん」です。ふらりと旅行に行くことがあります。

補　足

- くーまんの秘密は、本機専用のウェブサイトToshiba User Club Site（22-6ページ）で一部公開されています。

くーまんの部屋を起動する

メインメニュー ▶ エンタテイメント

1 「くーまんの部屋」→■

●くーまんの部屋起動確認画面が表示されたときは、「**起動する**」を選択します。

●待受くーまん（12-8ページ）の設定確認画面が表示されたときは、「**YES**」または「**NO**」を選択します。

補足

- くーまんの部屋で[Y!](メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  模様がえ:くーまんの部屋を模様がえすることができます。くーまんデータ内の「**お部屋データ**」に保存されている部屋に変更できます。
  くーまんメール:くーまんからのメール(くーまんメールボックス)を確認することができます(22-7ページ)。
  くーまんデータ:くーまんデータ内のファイルの表示、消去、メール添付などを行うことができます。
  マイデータ登録:自分の名前を設定すると、くーまんが名前を覚えてくれます。また、誕生日、記念日(アニバーサリー)を設定すると、くーまんがお祝いしてくれます。
  UserClubSite:本機専用のウェブサイトToshiba User Club Siteに接続して、くーまんと遊ぶためのアイテムをダウンロードすることができます。接続方法については、Toshiba User Club Siteガイドをご覧ください。
  ヘルプ:ヘルプ機能を呼び出します。くーまんの部屋の操作内容などを確認することができます。
  メモリ容量確認:くーまんデータで使用しているメモリの使用状況を確認することができます。
  くーまんOFF:くーまん機能(くーまんメール、待受くーまん、くーまんの部屋)を終了します。
- くーまんと遊ぶためのアイテムは、くーまんの部屋メニューから「**UserClubSite**」を選択したときのみダウンロードできます。

補足

- くーまんと遊ぶためのアイテムが一杯になった場合は、残しておきたいアルバム画像を選択したあと、[Y!](メニュー)を押して、データフォルダやメモリカードにコピーしてから、くーまんデータ内から削除してください。
- くーまんは、ふらりと旅行に行くことがあります。旅行中は会うことができませんが、旅行先からメールを送ってくれることがあります。しばらくすると部屋に戻ってきますので、時間をおいて何度かくーまんの部屋を起動してみてください。

くーまんと遊ぶ

くーまんが大事にしている宝箱をのぞいたり、待受くーまん(12-8ページ)を変身させたり、記念撮影したりできます。

例:待受くーまんを変身させる場合

1 くーまんの部屋→[■]

くーまんの部屋が操作できるようになります。

2 [✉](前へ)/[Y!](次へ)で「へんし〜ん!」を選択→[■]

3 変身用キャラクターを選択→[■]

●くーまんの部屋では変身前の洋服を着ています。

補　足

- 「**たからばこ**」を選択した場合は、くーまんの「**たからもの**」が表示されます。「**たからもの**」を選択し、Y!(メニュー)→「**メール送信**」を選択すると、メールに添付することができます。添付した「**たからもの**」は「**たからばこ**」からなくなります。
- 「**きがえ**」を選択した場合は、くーまんを着替えさせることができます。くーまんは、日中と夜で別の洋服を着ていますので、新しい洋服は、着替えた時間帯(日中または夜)にだけ着るようになります。
  たとえば、以下の表のように、日中に洋服Bに着替えた場合は、日中だけ洋服Bを着るようになります。夜になると、夜の洋服Cに着替えます。続いて夜に洋服Cから洋服Dに着替えると、次の日は、日中は洋服Bを着て、夜は洋服Dを着るようになります。

例	日中	夜
ある日の洋服	洋服Aを着る	洋服Cを着る
日中(洋服Aを着ているとき)に洋服Bに着替えると	洋服Bを着る	洋服Cを着る
続いて、夜(洋服Cを着ているとき)に洋服Dに着替えると	洋服Bを着る	洋服Dを着る
次の日になると	洋服Bを着る	洋服Dを着る

  また、季節ごとにも別の洋服を着ますので、時間帯と同様に季節ごとに着替えることができます。

くーまんからのメールを確認する

初めてくーまんの部屋を起動したあとや、くーまんが旅行に出かけているときなどに、メールを送ってくれることがあります。くーまんからのメールには、プレゼントが添付されていることがあります。

1 **くーまんの部屋→Y!(メニュー)→「くーまんメール」→■**

2 **メールを選択→■**

補　足

- くーまんからメールが送られてこないようにするには、くーまんの部屋でY!(メニュー)→「**くーまんOFF**」を選択します。
- くーまんメールは、メールボックス(17-11ページ)と同様の操作で確認、保護、消去が行えます。
- くーまんメールは、メールボックス内の「受信メール」(17-11ページ)とメモリを共有しています。受信メールのフォルダから全件消去の操作を行ったり、受信メールの自動削除設定(17-14ページ)を「**設定する**」に設定してメールフォルダが一杯になったりすると、くーまんメールも消去の対象となります。
- 添付されていたデータは、データフォルダまたはくーまんデータフォルダに保存できます。
- くーまんメールは、サービスセンターを利用しない疑似メールです。通信料はかかりません。
- くーまんメールは以下の方法でも起動できます。
  メインメニュー→「**メール**」→「**メールボックス**」→「**受信メール**」

S! FeliCaについて

S! FeliCaは、非接触ICカード技術を搭載した携帯電話でご利用いただけるサービスです。本体背面のマークをリーダー／ライターにかざし、電子マネーでのショッピング、メンバーズカードやポイントカードなどにご利用いただけます。S! FeliCaは、本体の電源を切った状態でもご利用になれます。ただし、電池パックを取り外した状態では、S! FeliCaの利用はできません。

S! FeliCaをご利用になる前に

■「FeliCa」とは

リーダー／ライターにかざすだけで、データの読み書きができる非接触ICカード技術方式です。

■「ICカード」とは

S! FeliCa対応端末に搭載されているICチップです。

■「生活アプリ」とは

S! FeliCaを利用するためのS!アプリです。

●本機には、あらかじめ電子マネー用生活アプリ「**Edy（エディ）**」が搭載されています。
「**Edy（エディ）**」は、ビットワレット株式会社が管理するプリペイド型電子マネーサービスのブランドです。

S! FeliCa利用時のご注意

●万一、お客様がS! FeliCa対応端末を盗難・紛失された場合、ICカード内のデータを不正に利用されてしまう可能性があります。そのことによりお客様に生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●S! FeliCa対応サービスのご利用にあたっては、当該サービスの提供条件などを必ずサービス提供者にお問い合わせいただき、お客様の判断でご利用ください。
●生活アプリのダウンロードおよび通信機能を有する生活アプリのご利用には、通信料が発生する場合があります。
●電池カバーの裏側や本体の電池パック装着部周辺に貼ってあるシールをはがしたり、電池カバーを外したりしないでください。S! FeliCaをご利用になれない場合があります。
●ICカード内には、サービス内容やご利用状況に応じて各種データが保存されます。ICカード内のデータの消去方法は、生活アプリによって異なります。詳しくは、S! FeliCa対応サービス提供者にお問い合わせください。

S! FeliCaを利用する

生活アプリを利用するためには、事前にS! FeliCa対応サービスの加入登録や各種設定が必要です。電子マネーを利用する前には、入金（チャージ）を行ってください。

S! FeliCa利用の流れ

生活アプリのダウンロード

メインメニュー ▶ データフォルダ ▶ 生活アプリ ▶ ダウンロード

インターネットの情報画面から生活アプリをダウンロードする

・生活アプリはデータフォルダの「**生活アプリ**」に保存されます。

S! FeliCa対応サービスの加入登録／各種設定

メインメニュー ▶ ツール ▶ 生活アプリ ▶ 生活アプリ

登録／設定したい生活アプリを選択→■

・S! FeliCa対応サービス（以降、サービスと記載）の加入登録や、各種設定を行います。
・生活アプリによって登録方法や設定方法が異なります。以降の操作は画面の指示に従ってください。

S! FeliCa対応サービスの利用

重 要

- 生活アプリのお申し込みやご利用方法は、生活アプリによって異なります。詳細については、S! FeliCa対応サービス提供者にお問い合わせください。
- 故障または修理の際にICカード内のデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 各サービスの暗証番号やお問い合わせ先などはメモをとるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。

補 足

- 生活アプリを同時に2つ以上起動できません。

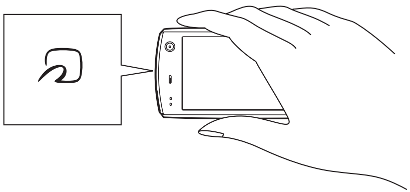
S! FeliCaの利用方法

ここでは電子マネーの利用方法を例に、ICカード内のデータをリーダー／ライターで読み取る方法を説明します。

●あらかじめ、サービスの登録、設定および入金（チャージ）などを行ってください。
●利用時に生活アプリを起動する必要はありません。
●電源を切っているときもS! FeliCaを利用できます。ただし、生活アプリは起動しません。

1 リーダー／ライターにマークをかざす

●認識されにくいときは、本機を前後左右にずらしてみてください。



2 リーダー／ライターの表示で読み取ったことを確認する

重　要

- マークとリーダー／ライターとの間に金属などがあると、データを読み取れない場合があります。
- 電池残量が不足している場合は、S! FeliCaを利用できません。充電したあとで、利用してください。

生活アプリを追加する

あらかじめ登録されている生活アプリの他に、ご利用になりたいS! FeliCa対応の生活アプリをインターネットに接続して、ダウンロードすることができます。

●ダウンロードした生活アプリは、ご利用になる前にS! FeliCa対応サービスへの登録が必要です。

メインメニュー ▶ データフォルダ ▶ 生活アプリ

1 「ダウンロード」→■→生活アプリを選択

重　要

- 電池残量が少ないとダウンロードが正常に終了できない場合があります。
- 他のUSIMカードに差し替えると、ダウンロードした生活アプリはご利用になれません。

ICカードの情報を確認する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 生活アプリ ▶ ICカード設定

1 「ICカードステータス」→■

●ICカードロック中（23-4ページ）は確認できません。

S! FeliCaの利用を禁止する

本機でICカードとリーダー／ライターの通信をできないように設定できます。ICカードロック中は、待受画面に「🔒」が表示されます。

ICカードロックを設定／解除する

メインメニュー ▶ ツール ▶ 生活アプリ ▶ ICカード設定 ▶ ICカードロック

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

2 「ON」／「OFF」→■

3 「有効にする」／「有効にしない」→■→ロック解除時間を入力→■

- 「**有効にする**」を選択した場合には、ICカードロック中に✉を長く（約1秒以上）押してロックを一時解除できます。ロック解除時間が経過すると、ICカードロックが自動的に設定されます。

ICカードロックを一時解除する

1 ICカードロック中に待受画面で✉を長く（約1秒以上）押す

2 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

重　要

- 待受アプリ起動中は、ICカードロックを一時解除することはできません。
- ICカードロック一時解除中に生活アプリを起動した場合は、生活アプリを終了または一時停止するまで、「**ICカードロック**」（左記）で設定したロック解除時間が経過しても、ICカードロックは設定されません。
- 「**ICカードロック**」（左記）で設定したロック解除時間が経過し、ICカードロックが設定された状態に戻ったときは、本機が振動しますので落とさないようにご注意ください。

補　足

- ICカードロック一時解除は、「**ICカードロック**」（左記）で設定したロック解除時間が経過すると、再度ICカードロックが自動的に設定されます。
- ICカードロック一時解除中に電源を切った場合は、ICカードロックが設定されます。

遠隔地からS! FeliCaの利用を禁止する

他の電話から本機に電話をかけたり（電話リモートロック）、あらかじめ設定した件名のメールを送る（メールリモートロック）ことで、S! FeliCaを利用できないようにすることができます。

ロック用電話番号を設定する

電話リモートロックを行う電話を登録します。ロック用電話番号は最大8件まで登録できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 生活アプリ ▶ ICカード設定 ▶ リモートロック

1 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

2 「電話リモートロック」→■→「ロック用電話番号」→■

3 ✉(メニュー)→「追加」→■

■アドレス帳から設定する
「アドレス帳」→■→相手を選択→■→電話番号を選択→■(2回)

■直接電話番号を入力して設定する
「電話番号入力」→■→電話番号を入力→■(2回)

■通話履歴から設定する
「通話履歴」→■→相手を選択→■(2回)

■公衆電話からの着信を設定する
「公衆電話」→■

■非通知電話からの着信を設定する
「非通知」→■

補　足

- 設定したロック用電話番号を選択したあと✉(メニュー)を押して以下の操作を行うことができます。
  追加／**編集**／**削除**

ロック用着信回数を設定する

ICカードをロックさせるための着信回数を設定します。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 生活アプリ ▶ ICカード設定 ▶ リモートロック

1 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

2 「電話リモートロック」→■→「着信回数」→■

3 着信回数の入力→■

ロック用パスワードを設定する

メールリモートロックを行うパスワード（件名）を登録します。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 生活アプリ ▶ ICカード設定 ▶ リモートロック

1 操作用暗証番号(1-22ページ)を入力

2 「メールリモートロック」→■→「ロックパスワード」→■

3 ロックパスワードを入力→■

ロック通知アドレスを設定する

ICカードロック通知用のアドレスを設定します。ロック通知アドレスは最大2件まで登録できます。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 生活アプリ ▶ ICカード設定 ▶ リモートロック

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

2 「メールリモートロック」→■→「ロック通知アドレス」→■

3 ☒（メニュー）→「追加」→■

■**リモートロックメールの送信元アドレスを設定する**
「送信元へ返信」→■

■**アドレス帳から設定する**
「アドレス帳」→■→相手を選択→■→アドレスを選択→■

■**送信履歴／受信履歴から設定する**
「送信履歴」／「受信履歴」→■→相手を選択→■

■**直接電話番号／E-mailアドレスを入力して設定する**
「電話番号入力」／「Eメール入力」→■→電話番号／E-mailアドレスを入力→■（2回）

4 クリア/メモ

5 「通知設定」→■→「通知する」／「通知しない」→■

補　足

- 設定したロック通知アドレスを選択したあと☒（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  追加／**編集**／**削除**

メールリモートロック／電話リモートロックを設定／解除する

「**ロックパスワード**」（23-5ページ）または「**ロック用電話番号**」（23-5ページ）を設定しないと、「**ON**」にできません。

メインメニュー ▶ ツール ▶ 生活アプリ ▶ ICカード設定 ▶ リモートロック

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

2 「メールリモートロック」／「電話リモートロック」→■

3 「ON／OFF」→■→「ON」／「OFF」→■

リモートロックをかける

遠隔操作でICカードをロックできます。
●あらかじめメールリモートロック（23-5ページ）または電話リモートロック（23-5ページ）を設定し、「**ON**」（23-6ページ）にしてください。

メールリモートロックをかける

1 あらかじめ設定したロックパスワードをメールの件名に入力して、本機に送信する

●その他の項目には何も入力しないでください。
メールを受信すると、ICカードロックが設定されます。
ロック通知アドレス（23-6ページ）を設定している場合は、指定したアドレスへICカードロックを設定した旨のメールが送信されます。

重　要
- 本機がメール受信できないときは、リモートロックメールを送信してもICカードロックは設定されません。

リモートロックを解除する

リモートロックを解除する場合、ICカードロック（23-4ページ）を「**OFF**」にしてください。

電話リモートロックをかける

1 あらかじめ登録した電話から本機に電話をかける

2 電話を切る

●3分以内にあらかじめ設定した着信回数（23-5ページ）になるまで不在着信を繰り返します。

重　要
- 以下の場合、着信回数のカウントはクリアされます。
  - ・カウント中にあらかじめ登録した別の電話番号からの着信があった場合
  - ・着信応答時
  - ・電源が切れた場合
  - ・3分以内にあらかじめ設定した回数の着信がなかった場合
- TVコール通話時、電話リモートロックを行った場合は、ICカードロックは設定されますが、ロックがかかったことをお知らせするメッセージは流れません。
- 音声通話時、割込通話サービス（16-5ページ）を「**OFF**」に設定している場合は、電話リモートロックを行うことはできません。

補　足
- 設定した回数の着信を行うと、メッセージでロックがかかったことをお知らせします。

外部起動設定

特定のリーダー／ライターにかざしたとき取得したデータからの要求によって各機能（ブラウザ、メール、バイブ、メッセージ、S!アプリ）を起動させるかどうか設定できます。

メインメニュー▶ツール▶生活アプリ▶ICカード設定▶外部起動設定

1 操作用暗証番号（1-22ページ）を入力

2 各機能を選択→■

3 「ON」／「OFF」→■

Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the SoftBank Website (www.softbank.jp) for the full manual* or dial 157 from a SoftBank handset for Customer Service.

* Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check SoftBank Website again at a later date.

What's in the Box

- Handset
- Battery Pack (TSBAR1)
- Battery Cover
- AC Charger (TSCS01)
- Desktop Cradle (TSEAR1)
- USB Cable (TSDAC1)
- User Guide
- First Step Guide (Japanese only)
- BeatJam 2007 for 911T Guide Book (Japanese only)
- Utility Software for 911T (CD-ROM)*[1]*[2]

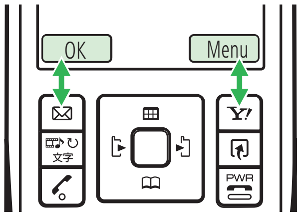
*[1] Complimentary sample not available for purchase.
*[2] Upgrades or updates of included utility software may become available on the SoftBank Website (www.softbank.jp) without prior notification. Please check for the newest versions of utility applications and download as required.

- For information about optional items, contact your nearest SoftBank Shop or SoftBank General Information (page 24-54).
- Your handset is compatible with microSD™ memory card. A microSD™ memory card is not included in this package. Purchase a microSD™ memory card to use memory card functions.
  - In this manual, microSD™ memory card is referred to as "memory card."
  - Your handset supports memory cards with a storage capacity of up to 2 GB (as of February, 2007). There is no guarantee that all memory cards will work with your handset.

Keys & Notations

Soft Keys

Use Soft Keys to perform operations indicated at the bottom of the Display.



- Press ✉ to select OK.
- Press Y! to access Option menu.

Navigation Key

The following notations are used to indicate Navigation Key operations.

Notation/ Operation	Function
Press up	Opens Active Window Increases volume Moves cursor up
Press down	Accesses Phone Book Decreases volume Moves cursor down
Press left	Accesses Dialed Moves cursor left
Press right	Accesses Received Moves cursor right
Press center	Accesses Main menu Confirms the selected item or performs the selected operation Acts as the camera shutter-release

TOSHIBA CORPORATION

IMPORTANT NOTE: PLEASE READ BEFORE USING YOUR HANDSET

BY ATTEMPTING TO USE ANY SOFTWARE ON THE SUPPLIED HANDSET THIS CONSTITUTES YOUR ACCEPTANCE OF THESE EULA TERMS. IF YOU REJECT OR DO NOT AGREE WITH ALL THE TERMS OF THIS EULA, PLEASE DO NOT ATTEMPT TO ACCESS OR USE THE SUPPLIED SOFTWARE.

End User License Agreement

This End User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you (as the user) and TOSHIBA CORPORATION ("Toshiba") with regard to the copyrighted software as installed in a Toshiba 3G handset supplied to you (the "Handset").
Use or disposal of any software installed in the Handset and related documentations (the "Software") will constitute your acceptance of these terms, unless separate terms are provided by the Software supplier on the Handset, in which case certain additional or different terms may apply. If you do not agree with the terms of this EULA, do not use or dispose the Software.

1. License Grant. Toshiba grants to you a personal, non-transferable and non-exclusive right to use the Software as set out in this EULA. Modifying, adapting, translating, renting, copying, making available, transferring or assigning all or part of the Software, or any rights granted hereunder, to any other persons and removing any proprietary notices, labels or marks from the Software is strictly prohibited, except as expressly permitted in this EULA. Furthermore, you hereby agree not to create derivative works based on the Software.
2. Copyright. The Software is licensed, not sold. You acknowledge that no title to the intellectual property in the Software is or will be transferred to you. You further acknowledge that title and full ownership rights to the Software will remain the exclusive property of Toshiba, Toshiba's affiliates, and/or their suppliers, and you will not acquire any rights to the Software, except as expressly set out in this EULA. You may keep a back-up copy of the Software only so far as necessary for its lawful use. All copies of the Software must contain the same proprietary notices as contained in or on the Software and are subject to the terms of this EULA. All rights not expressly granted under this EULA are reserved to Toshiba, Toshiba's affiliates and/or their suppliers.
3. Reverse Engineering. You agree that you will not attempt, and if you are a business organization, you will use your best efforts to prevent your employees, servants and contractors from attempting to reverse engineer, decompile, modify, translate or disassemble the Software in whole or in part except to the extent that such actions cannot be excluded by mandatory applicable law and only if those actions are taken in accordance with such applicable law. Any failure to comply with the above or any other terms and conditions contained herein will result in the automatic termination of this license and the reversion of the rights granted hereunder to Toshiba.
4. **DISCLAIMER OF WARRANTY.** The Software is provided "AS IS" without warranty of any kind. **TOSHIBA, TOSHIBA'S AFFILIATES, AND THEIR SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, CONDITIONS OR OTHER TERMS (WHETHER EXPRESS OR IMPLIED), INCLUDING BUT NOT LIMITED TO WARRANTIES, CONDITIONS AND TERMS OF SATISFACTORY QUALITY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE**

AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD-PARTY RIGHTS; AND THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE SOFTWARE IS WITH YOU. YOU ACCEPT THAT SOFTWARE MAY NOT MEET YOUR REQUIREMENTS AND NO WARRANTY CAN BE GIVEN THAT OPERATION OF THE SOFTWARE WILL BE UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE.

5. **LIMITATION OF LIABILITY. TO THE FULLEST EXTENT LEGALLY PERMITTED, IN NO EVENT SHALL TOSHIBA, TOSHIBA'S AFFILIATES OR THEIR SUPPLIERS BE LIABLE TO YOU FOR ANY DAMAGES FOR (A) LOST BUSINESS OR REVENUE, BUSINESS INTERRUPTION, LOSS OF BUSINESS DATA; OR (B) CONSEQUENTIAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR INDIRECT DAMAGES OF ANY KIND (WHETHER UNDER CONTRACT, TORT OR OTHERWISE) ARISING OUT OF: (I) THE USE OR INABILITY TO USE THE SOFTWARE, EVEN IF TOSHIBA, TOSHIBA'S AFFILIATES OR THEIR SUPPLIER HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES; OR (II) ANY CLAIM BY A THIRD PARTY. SAVE AS SET OUT IN THIS SECTION, TOSHIBA'S ENTIRE LIABILITY UNDER THIS EULA SHALL NOT EXCEED THE PRICE PAID FOR THE SOFTWARE, IF ANY.**

   PLEASE MAKE AND RETAIN A COPY OF ALL DATA YOU HAVE INSERTED INTO YOUR PRODUCT, FOR EXAMPLE NAMES, ADDRESSES, PHONE NUMBERS, PICTURES, RINGTONES ETC, BEFORE SUBMITTING YOUR PRODUCT FOR A WARRANTY SERVICE, AS SUCH DATA MAY BE DELETED OR ERASED AS PART OF THE REPAIR OR SERVICE PROCESS.
6. Laws. This EULA will be governed by the laws of Japan. All disputes arising out of this EULA shall be subject to the exclusive jurisdiction of the Tokyo District Court.
7. Export Laws. Any use, duplication or disposal of the Software involves products and/or technical data that may be controlled under the export laws of applicable countries or region and may be subject to the approval of the applicable governmental authorities prior to export. Any export, directly or indirectly, in contravention of the export laws of applicable countries or region is prohibited.
8. Third Party Beneficiary. You agree that certain suppliers of the Software to Toshiba have a right as a third party beneficiary to enforce the terms of this EULA against you as a user.

Safety Precautions

- To ensure proper usage, be sure to read the Safety Precautions thoroughly before using your handset. Always keep this manual available for future reference.
- Be sure to follow the safety information contained in the instruction manuals and indicated on the product to prevent injury to the user and other persons, as well as damage to property.
- When a child uses the handset, it is recommended that a parent or guardian reads the instruction manuals thoroughly and provides proper instructions to the child.
- The following describes the meaning of safety symbols and signal words. Be sure to understand their meanings before proceeding to read this manual.

Pictograph Descriptions

Pictograph	Meaning
⚠ Danger	Indicates an imminently hazardous operation that could result in death or serious injury[1] of the user.
⚠ Warning	Indicates a potentially hazardous operation that could result in death or serious injury[1] of the user.
⚠ Caution	Indicates a potentially hazardous operation that could result in minor or moderate injury[2] to the user or damage to property[3].

1 Serious injury includes loss of sight, wounds, high temperature burns, low temperature burns (burns causing reddish areas, blistering and other damage to the skin as a result of heat exceeding the body temperature contacting your skin for a prolonged time), electric shock, fractures and poisoning requiring hospitalization or long-term medical treatment.

2 Injury includes wounds, burns and electric shock not requiring hospitalization or long-term medical treatment.

3 Damage to property includes extensive damage to homes and household property, as well as livestock and pets.

Symbol Descriptions

Symbol	Meaning
⃠ Prohibited	⃠ indicates a prohibited action. The prohibited action is indicated graphically or described in text in or near the symbol.
❗ Compulsory	❗ indicates a compulsory action that must be carried out. The compulsory action is indicated graphically or described in text in or near the symbol.

Limitation of Liability

- SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from natural disasters such as earthquakes, lightning, storms and floods, as well as fires through no fault of SoftBank and Toshiba, acts by third parties, other accidents, improper use by the user, whether intentionally or negligently, or use under other abnormal conditions.
- SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for incidental damages arising out of the use or inability to use the product, including, but not limited to, corruption or loss of data, lost business revenue or suspension of business operations.
- SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from improper use not conforming to the instructions in the instruction manuals.
- SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from malfunctions caused by use in combination with connection equipment or software that is not authorized for use by SoftBank and Toshiba.
- Image data recorded with the camera, downloaded data and other data may be corrupted or lost due to malfunction, repair or other improper handling of the product. SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for the restoration of corrupted or lost data, as well as any damages or lost revenue and profits.
- SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for corruption or loss of stored data resulting from failures or malfunctions of the product, regardless of the cause. Be sure to keep a separate memo of important data to limit damage caused by data corruption or loss to a minimum.

⚠ Danger

No disassembly

Do not disassemble, modify or repair the handset, battery pack, charger, Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone

Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock, injury or malfunction. Modification of the handset is prohibited by Japanese Radio Law. For repair, contact your nearest SoftBank Shop or SoftBank Customer Assistance (page 24-54).

No flames

Do not dispose of the handset, battery pack, charger, Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone in a fire or expose it to heat

If the handset, battery pack, charger, Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone is exposed to water, do not dry it artificially in heating equipment (microwave oven, etc.)

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

No flames

Do not charge, use or leave the handset, battery pack, charger, Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone in hot places such as near a fire or heater

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

⚠ Danger

Keep water away

Do not expose the handset, battery pack, charger, Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone to fluids such as water, perspiration or seawater

Do not leave the handset, battery pack, charger, Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone outdoors, in a bathroom or wherever water or any other fluid is used

Do not place the handset, battery pack, charger, Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone near cups, vases or other containers of fluids

Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock or malfunction. If the handset is dropped accidentally in water or any other fluid, immediately turn off the handset and remove the battery pack. If the handset, battery pack or charger is exposed to fluids such as water during charging, remove the power plug from the outlet immediately. Do not charge the battery pack while it is wet or damp. Contact your nearest SoftBank Shop or SoftBank Customer Assistance (page 24-54).

Prohibited

Do not use excessive force when inserting the battery pack into the handset or connecting the handset to the charger

Do not connect any cords with reverse polarity

Doing so may cause the battery pack to leak, rupture, overheat or catch fire, as well as cause electric shock or malfunction.

Prohibited

Do not touch the battery pack terminal (metal parts) with any metal objects (necklace, hairpin, etc.)

Doing so may cause the battery pack to overheat, rupture or catch fire, as well as the metal object to overheat.

Prohibited

Do not charge, overheat, disassemble or short the dry cell battery of Bluetooth® Stereo Headset or put it into a fire

Doing so may cause ignition, rupturing, malfunction or fire.

Compulsory

Do not use a battery pack other than one supplied with or designated for the handset

Do not use the battery pack for any other handset

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Compulsory

Do not use a charger other than one supplied with or designated for the handset to charge the battery pack

Do not use the charger for any other handset

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Compulsory

If electrolyte fluid leaking from the battery pack or the dry cell battery of Bluetooth® Stereo Headset comes into contact with your skin or clothes, wash it immediately with clean water as this may hurt your body

And if it gets into your eyes, do not rub them, and have them immediately treated by an ophthalmologist after washing them with clean water

If the fluid sticks to the equipment, wipe it out without touching it directly

If the fluid is left as it is, your skin may get irritated or there may be fear of losing your sight.

⚠ Warning

Prohibited

Do not use the handset while driving
Do not make or receive a call and do not use other functions (messaging, game, camera, TV, video, music, Mobile Light, etc.)

Doing so may cause a traffic accident. Use of the handset while driving is prohibited by law. Before using the handset, stop the vehicle in a safe area where parking is permitted.

Compulsory

Be sure to turn off the handset before you approach to the place where flammable gas may exist or may be produced

Doing so may ignite the gases and start a fire. Turn off the handset and do not charge it wherever gases may be present (gas station, etc.). Be sure to turn off the handset before using S! FeliCa-compatible reader/writer within gas stations. (When the IC Card Lock is set, turn off the handset after unlocking the setting.)

Prohibited

Do not swing the handset by its strap, TV rod antenna, Stereo Earphone, USB cable, a video output cable or audio remote control with microphone

Doing so may cause an injury, accident or damage.

Compulsory

Turn off the handset while you are near any precision electronic equipment

Radio waves may adversely affect the operation of electronic equipment. Examples of such equipment: medical electronic equipment such as cardiac pacemakers and hearing aids or fire alarms and automatic doors. If you use medical electronic equipment, consult with the equipment manufacturer or distributor about the influence of radio waves.

Unplug power cable

Remove the power plug from the outlet if the AC Charger is not to be used for a long period of time or before cleaning

Failing to do so may cause an electric shock, fire or malfunction.

Compulsory

Turn off the handset wherever its use is prohibited such as on an aircraft

Failing to do so may adversely affect the operation of electronic equipment and cause an accident.
Use of the handset on an aircraft is prohibited by law.

Compulsory

Check your surroundings to confirm that it is safe to make/receive calls, send/receive messages, take pictures, record videos or watch TV

Failing to do so may cause you to trip over or cause a traffic accident.

⚠ Warning

Compulsory

Do not use the handset with any power voltage other than the specified voltage

Doing so may cause a fire. The power voltages are 100 to 240 V AC for the AC Charger and 12 or 24 V DC (for a negative ground car only) for the In-Car Charger.

Compulsory

Wipe away any dust on the plug of the AC Charger with a dry cloth after removing the plug from the outlet

Dust on the plug or outlet may cause a fire.

Compulsory

Follow the instructions below when installing and wiring in-vehicle devices

- **Make sure that devices do not interfere with driving and safety equipment such as airbags**
- **Make sure that wires are not caught in seatbelt buckles, doors or other moving parts**

Any wire caught around a foot, brake pedal, accelerator pedal, etc. may interfere with driving and cause a traffic accident. If any part of an in-vehicle device drops onto the floor, it may startle you into abrupt braking or steering, leading to a traffic accident.

Compulsory

When thunder is heard outside, stop using the handset immediately

Turn off the handset and do not touch it

Failing to do so may attract lightning and cause electric shock. When thunder is heard, stop using the handset and move to a safe place such as inside a building.

Compulsory

If the battery pack fails to charge in the specified time, stop charging immediately

Failing to do so may cause overheating, rupturing or fire. Contact your nearest SoftBank Shop or SoftBank Customer Assistance (page 24-54).

Compulsory

When inserting the AC Charger plug into an AC household outlet, make sure that a metal strap or any other metal object does not touch the plug

Failing to do so may cause electric shock, short circuit or fire.

⚠ Warning

Compulsory

If something unusual happens to the handset, battery pack or charger; for example, it emits smoke or an unusual odor or is damaged, perform the following steps immediately

1. If the battery pack is charging, unplug the AC Charger from the AC household outlet or unplug the In-Car Charger from the cigarette lighter socket.
2. Make sure that the handset is not hot, then turn it off and remove the battery pack.

Failing to do so and continuing use (charging) may cause the battery pack to overheat, rupture or catch fire or the handset to overheat. If something unusual happens, contact your nearest SoftBank Shop or SoftBank Customer Assistance (page 24-54).

Prohibited

Do not drop the handset or battery pack or subject it to excessive shock

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Prohibited

Do not sit down with the handset in your trousers pocket

Excess weight may damage the Display, battery pack or other parts resulting in overheating, fire or injury.

Compulsory

If the handset is used near an implanted cardiac pacemaker, defibrillator or other electronic medical equipment, radio waves may interfere with such a device or equipment

Observe the following guidelines

1. If you have an implanted cardiac pacemaker or defibrillator, carry and use the handset at a distance of at least 22 centimeters away from the implanted device.
2. Turn off the handset in crowded places such as packed trains because a person with an implanted cardiac pacemaker or defibrillator may be nearby. Radio waves can interfere with the operation of a cardiac pacemaker or other medical device.
3. Follow the precautions below in medical institutions.
   - Do not bring the handset into an operating room, intensive care unit or coronary care unit.
   - Turn off the handset in a hospital ward.
   - Turn off the handset in a lobby or other location close to medical equipment.
   - Observe the instructions of individual medical institutions and do not use the handset in or bring it into prohibited areas.
4. When using electronic medical devices other than an implanted cardiac pacemaker or defibrillator outside of medical institutions (such as at home), consult with the individual medical device manufacturer about the possible influence of radio waves.

⚠ Warning

The above information conforms to "The Guidelines on Use of Mobile Phones and Other Devices to Prevent Electromagnetic Wave Interference with Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference Japan, April 1997), as well as refers to "The Investigative Research Report on the Influence of Electromagnetic Waves on Medical Equipment" (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Prohibited

Do not use the AC Charger with any power supply other than a 100 to 240 V AC household power supply

Doing so may result in a fire, as well as cause the charger to overheat, catch fire or malfunction.

Prohibited

Do not insert the dry cell battery of Bluetooth® Stereo Headset with wrong polarity [(+) & (-)]

Doing so may cause the malfunction of the equipment as well as cause the dry cell battery to leak.

Prohibited

Do not use the dry cell battery of Bluetooth® Stereo Headset after the "Recommended Use-by Date" displayed on the battery expired, or do not leave the used-up dry cell battery as being inserted

Doing so may cause the malfunction of the equipment as well as cause the dry cell battery to leak.

Prohibited

Keep the dry cell battery of Bluetooth® Stereo Headset out of the reach of small children

If it is mistakenly swallowed, consult a doctor as soon as possible because this may cause suffocation or injury to stomach etc.

⚠ Caution

Prohibited **Do not use or leave the handset or battery pack in places where it will be exposed to direct sunlight or in hot places such as inside a car in the sun**

Doing so may cause overheating, fire or malfunction.

Prohibited **Keep the handset, battery pack and charger away from infants and small children**

Failing to do so may result in the battery pack or memory card being accidentally swallowed or cause an injury.

Prohibited **Make sure that the charger terminals (metal parts) do not come into contact with wires or other metal objects**

Failing to do so may cause overheating or burns.

Prohibited **Do not pull the cord when unplugging the AC Charger or In-Car Charger from an AC household outlet or socket**

Damage to the cord may cause electric shock, overheating or fire.

Hold the plug when unplugging the AC Charger or In-Car Charger.

Prohibited **Do not pull, bend with excessive force or twist the cords of the AC Charger and In-Car Charger**
Do not damage or modify them
Do not place objects on them
Do not apply heat and keep them away from heaters

Damage to a cord may cause electric shock, overheating or fire.

No wet hands **Do not plug or unplug the AC Charger with wet hands**

Doing so may cause electric shock or malfunction.

Prohibited **Keep magnetic cards away from the handset and make sure that a magnetic card is not trapped when closing the handset**

Failing to do so may cause the magnetic data on a cash card, credit card, telephone card or floppy disk to be lost.

Prohibited **Do not use the handset in a vehicle if it affects in-vehicle electronic devices**

Use of the handset in some types of vehicles may, in some rare cases, affect in-vehicle electronic devices and interfere with safe driving.

⚠ Caution

Prohibited

Do not place the handset on an unstable or unlevel surface

Doing so may result in the handset falling and causing injury or malfunction. Be particularly careful when vibration is set.

Prohibited

Do not dispose of the used battery pack with ordinary garbage

Insulate the terminal with tape and then dispose of the used battery pack separately from ordinary garbage or take it to your nearest SoftBank Shop. Be sure to observe local regulations on the separate collection of used batteries, wherever applicable.

Prohibited

Do not touch the handset with sweaty hands or place it into a pocket of sweaty clothes

Sweat and humidity may erode the internal components of the handset and cause overheating or malfunction.

Prohibited

Do not use the In-Car Charger when the car engine is not running

Doing so may result in a flat battery.

Prohibited

Do not use any other dry cell batteries than the AAA battery for Bluetooth® Stereo Headset

Doing so may cause the malfunction of the equipment as well as cause the dry cell battery to leak.

Compulsory

If the fuse for the In-Car Charger blows, replace it with a designated fuse

Replacing the fuse with other than a designated fuse may cause overheating and fire.

For details on replacing the fuse, refer to the instruction manual of the In-Car Charger.

Compulsory

Use the handset in well-lighted places and with an appropriate distance between your eyes and its screen when you watch TV

Failing to do so may cause decreased vision.

Compulsory

Do not leave the TV rod antenna extended except when using TV

Talking on the handset without retracting the TV rod antenna may cause injury.

⚠ Caution

If your skin becomes irritated, immediately stop using the handset and consult with a dermatologist

Compulsory

The following materials and surface treatments have been used for the handset. Some of these materials may cause itching, irritation, eczema, etc. in some rare cases depending on the individual's constitution and physical condition.

Part	Material (Surface Treatment)
Outer housing (Display side)	Magnesium alloy (Acrylic baking coating)
Outer housing (side of Keypad, Main Camera side, Battery Cover), Keys, Side Keys, Memory Card Slot Cap (hard area), Earphone Microphone Jack Cap (hard area), Screw Cover (back of Display, Main Camera side)	PC resin (UV cured acrylic coating)
Outer housing (back of Display, upper side of Keypad, bottom of Keypad), External Terminal Cap (hard area)	PC resin (UV cured acrylic coating)*
Display Panel	Acrylic resin (UV cured acrylic ink processing)
Key Panel	Urethane UV cured resin
Main Camera Panel	Acrylic resin (UV cured acrylic coating)
Mesh for Speaker Holes	Non-woven cloth
Memory Card Slot Cap (soft area), Earphone Microphone Jack Cap (soft area), External Terminal Cap (soft area)	Elastomer resin
Handset Charging Terminal	Stainless steel (gold plating, nickel undercoat)
Infrared Port	Acrylic resin
Screws, Strap Tag	Steel (nickel coating)
TV Rod Antenna (top part)	PC/ABS resin
TV Rod Antenna (pullout part, top part)	PA resin
TV Rod Antenna (pullout part, base part)	Elastomer resin
TV Rod Antenna (sleeve part)	Cadmium-less brass
Antenna (hinge part)	Stainless steel
Slide (flat part)	Stainless steel (Fluorine baked coating)
Slide (rail part)	POM resin
Slide (stopper part)	Elastomer resin

* Tin undercoat for Silver model

⚠ Caution

Compulsory

Before using the handset, make sure that no metal objects (such as pins) are stuck to the Earpiece or Stereo Speakers

Failing to do so may result in a metal object causing an ear or hand injury, etc.

Compulsory

If you have a weak heart, be careful with the call vibration and ringtone volume settings

Failing to do so may startle you and may be harmful to your heart.

Prohibited

Do not use the Mobile Light for purposes other than taking pictures, recording videos or lighting

Doing so may dazzle the eyes and cause impaired vision or other injury.

Prohibited

Make sure things like paper, cloth and bedding are not placed on the handset during charging using a USB connection, In-Car Charger, AC Charger, etc.

Failing to do so may cause overheating, fire, burns or malfunction.

Compulsory

Do not turn the volume up too high while using Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone

Do not use Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone continuously for long periods of time

Exposure to high sound levels may impair hearing and prolonged use may cause hearing defect regardless of the volume level. Sound leakage may annoy other people and surrounding sounds may not be heard clearly resulting in an accident.

Prohibited

Do not insert objects other than the memory card into the Memory Card Slot

Doing so may cause overheating, electric shock or malfunction. Cover the slot with the cap at times other than when you are inserting or removing the memory card.

Prohibited

Keep your face away from the Memory Card Slot when inserting or removing the memory card

Keep the memory card out of the reach of small children

If the memory card is let go of suddenly, it may fly out and hit your face resulting in injury.

⚠ Caution

Prohibited

Do not subject the memory card to vibration or shock or remove it from the slot or turn off the handset while data is being written to or read from the memory card

Doing so may cause data loss or malfunction.

Prohibited

Use only the memory card supported by the handset

Failing to do so may cause data loss or malfunction.

The handset supports memory cards with a storage capacity of up to 2 GB (as of February, 2007).

Prohibited

Do not let children use cables such as USB cable, a video output cable, Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone unsupervised and keep cables out of infant's reach

An injury may be caused if, for instance, the cable is wrapped around a neck.

Prohibited

Do not point the infrared beam at anyone's eye during infrared communication

Doing so may cause eye damage.

Prohibited

Do not use the Mobile Light close to eyes

Doing so may cause eye damage. Be especially careful not to take pictures or record videos with the Mobile Light too close to the eyes of infants.

Prohibited

Do not use excessive force when inserting or removing the USIM card

Doing so may cause a malfunction. Be careful not to injure a hand or finger when removing the card.

Prohibited

Use only a USIM card designated for the handset

Failing to do so may cause data loss or malfunction.

Prohibited

Do not bend the TV rod antenna with excessive force

Doing so may result in damage or distortion of the TV rod antenna and cause injury.

Compulsory

Do not pinch hair, finger, charger's cord, strap, etc. when you open/close the handset

If you try to pull out a pinched thing too hard, or to move the slide, it may cause an injury or damage.

General Notes

Using Your Handset

- The handset employs radio waves. Signals may be disrupted even within service areas if you are indoors, underground, inside a tunnel or inside a vehicle. If you move to a location with poor signal reception, a call or the TV image/sound may be suddenly cut off.
- When using the handset in public places, take care not to annoy other people around you. Use of the handset is prohibited in some public places such as in theaters or on buses and trains.
- The handset is a radio transceiver under Japanese Radio Law. You may be requested to submit the handset for inspection based on this law.
- Use of the handset near a landline phone, TV or radio may affect the image and sound quality of the equipment.
- The handset employs a digital system to maintain a high level of communication quality even at very low signal levels. However, calls may be suddenly cut off when the signal strength becomes too weak.
- The digital system provides a high level of privacy protection. However, the possibility of someone eavesdropping on your conversation cannot be ruled out as long as radio waves are used.
- The handset is exclusively for use in Japan. It cannot be used outside Japan.
- Data stored on the handset may be corrupted or lost on the following occasions.
  - The handset is used improperly.
  - The handset is exposed to static electricity or electric noise.
  - The handset is turned off during operation.
  - The battery pack is completely discharged.
  - The handset malfunctions or is sent for repairs.

  SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for the corruption or loss of stored data. Be sure to keep a separate memo of important data to limit damage caused by data corruption or loss to a minimum.
- Be sure to charge the battery pack before using the handset for the first time or if the handset has not been used for a long time. When the battery pack is stored for a long time, it discharges over time even if it is not used.
- Before using a memory card, read the instruction manual of the memory card thoroughly to ensure safe and proper operation.
- When the handset is used for extended periods of time, especially in high temperature conditions, the handset surface could become hot. Please use caution when touching the handset under such conditions.
- When certain items are taken out of the country, documentation may be required to certify that the export of the items is not controlled, prohibited, or restricted by the Export Trade Control Order and Foreign Exchange Order. Basically, no such documentation is required if you take the handset out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips. In some cases, however, an export permit may be required if the handset is to be used by or transferred to anyone else.

  Furthermore, a US government export permit may be required when taking the handset to countries for which the US government has imposed export restrictions (Cuba, Libya, North Korea, Iran, Sudan, Syria). For details on export laws, regulations and procedures, refer to the Web page of the Security Export Control Policy Division of the Ministry of Economy, Trade and Industry.
- If you have hearing aids, use of the handset may interfere with some operations of the hearing aids. If there is any interference, consult with the manufacturer or distributor of the hearing aids.

Inside Vehicles

- Do not use the handset while driving. Use of the handset while driving is prohibited by law.
- Before using the handset, stop the vehicle in a safe area where parking or stopping is permitted.

Aboard Aircraft

- Do not use the handset on an aircraft. Do not turn the handset back on while you are on the aircraft. Use of the handset on an aircraft is prohibited by law.

Electromagnetic Waves

- For body worn operation, this phone has been tested and meets RF exposure guidelines when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 15 mm from the body. Use of other accessories may not ensure compliance with RF exposure guidelines.

Handling Basics

- Do not use the handset in extreme temperatures, direct sunlight and humid or dusty places.
- Do not drop the handset or subject it to excessive shock.
- To clean the handset, wipe it with a dry soft cloth. Do not use alcohol, thinner, benzene or other solvents. Doing so may cause discoloration and remove the printed logo.
- Avoid exposing the handset to rain, snow or high humidity. The handset, battery pack, charger, Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone and other optional accessories are not waterproof.
- Do not remove the battery pack while handset power is on to avoid malfunction.
- If the battery pack has been removed from the handset or the handset has not been charged for a long time, stored data and settings may be lost or altered. SoftBank and Toshiba accept no liability whatsoever for any damage or loss resulting from such negligence.
- The battery pack is a consumable item employing lithium ions. Replace the battery pack with a new one if the operation time becomes extremely short after it is fully charged. Buy a new battery pack designated for the handset.
- Do not dispose of a used battery pack after battery pack replacement or discontinued use of the handset with municipal waste. Insulate the terminal with tape or place the battery pack into a plastic bag and then take it to your nearest SoftBank Shop or battery pack recycling cooperative store. Be sure to observe local regulations on the separate collection of used batteries, wherever applicable.

Li-ion

- Some handset display pixels may be missing or remain lit. This is not a defect or malfunction. If the Display is left on for a long period of time, pictures may be permanently burned into it.
- Make sure the audio remote control with microphone is securely plugged into Earphone Microphone Jack and Stereo Earphone into the jack of audio remote control with microphone. Failing to do so may generate noise on the other party's phone during calls.
- Do not turn the volume up too high while using Stereo Earphone, Bluetooth® Stereo Headset or audio remote control with microphone. Exposure to high sound levels may impair hearing and prolonged use may cause hearing damage regardless of the volume level. Sound leakage may annoy other people and surrounding sounds may not be heard clearly when walking, resulting in an accident.

- When Earphone Microphone Jack and External Terminal are not in use, make sure to replace the caps. Otherwise dust or water may enter the handset causing handset malfunction.
- Hold the plug and do not pull the cord when unplugging Stereo Earphone or audio remote control with microphone. Pulling the cord may cause damage or malfunction.
- The communication antenna of the handset is built into the body and does not protrude. Signal sensitivity may be reduced if you touch or cover the portion of the body containing the internal antenna (page 24-23). In particular, do not affix things like stickers onto this portion of the body. Doing so may prevent you from making/receiving calls, sending/receiving messages or accessing Web.
- When you replace the handset or send it for repair, messages and other data stored in the handset cannot be transferred to another handset.
- Do not drop the USIM card or subject it to excessive shock. Doing so may cause a malfunction.
- Do not bend the USIM card or place a heavy object on it. Doing so may cause a malfunction.
- Do not allow the USIM card to get wet or leave it in places of high humidity. Doing so may cause a malfunction.
- Do not use or leave the USIM card in hot places such as near a fire or heater. Doing so may cause a malfunction.
- Avoid storing the USIM card in direct sunlight or hot and humid places. Failing to do so may cause a malfunction.
- Keep the USIM card out of infants' reach. Failing to do so may result in the USIM card being accidentally swallowed or cause an injury.
- Before using the USIM card, read the instruction manual of the USIM card thoroughly to ensure safe and proper operation.
- Do not put the handset into the bag or pocket without retracting the TV rod antenna. Doing so may apply excessive force on the TV rod antenna and result in damage.

Mobile Camera

- Be sure to observe proper etiquette when using the camera.
- Do not expose the camera lens to direct sunlight. Concentrated sunlight through the lens may cause the handset to malfunction.
- Be sure to try taking and previewing pictures before using the camera on important occasions like wedding ceremonies.
- Do not commercially use or transfer pictures taken with the camera without the permission of the copyright holder (photographer), except for personal use.
- Do not use the camera in locations where taking photos and recording videos are prohibited.

Mobile Light & External Light

- Do not use the Mobile Light in hot, cold or humid places. Doing so may shorten its life.
- The Mobile Light and External Light have a limited life. Repeated use will decrease the light intensity.

Copyrights

Copyrighted materials, such as music, images, computer programs and databases, and their respective holders are protected by copyright laws. Duplication of copyrighted materials is permitted only for individual or home use. Making copies (including data conversion), modifications, transfers or network distributions of copies for purposes other than stated above without proper authorization constitutes an infringement of copyrights and moral rights, potentially resulting in claims for reparations or criminal punishment. If you use the handset to make copies, observe the copyright laws. Furthermore, recording materials using the camera is also subject to the same laws.

Right of Portrait

Portrait right is the right of an individual to refuse to be photographed by others and protects from the unauthorized publication or use of an individual's photograph by others. Right of personality is a portrait right applicable to all citizens and right of publicity is a portrait right (property right) designed to protect celebrities' interests. Be careful when taking pictures with the handset camera. Photographing, publicizing and distributing photographs of citizens and celebrities without permission are illegal.

USIM Card

The USIM card is an IC Card that stores customer information such as your phone number. Only insert the USIM card in a USIM card compatible SoftBank handset.

- If the USIM card is not inserted, the handset cannot be used.

USIM PINs

For security, the USIM card has two security codes: PIN and PIN2. Do not forget these codes and do not reveal them to others.

PIN

This is a four to eight digit security code to prevent others from using your handset. The default setting is "9999."

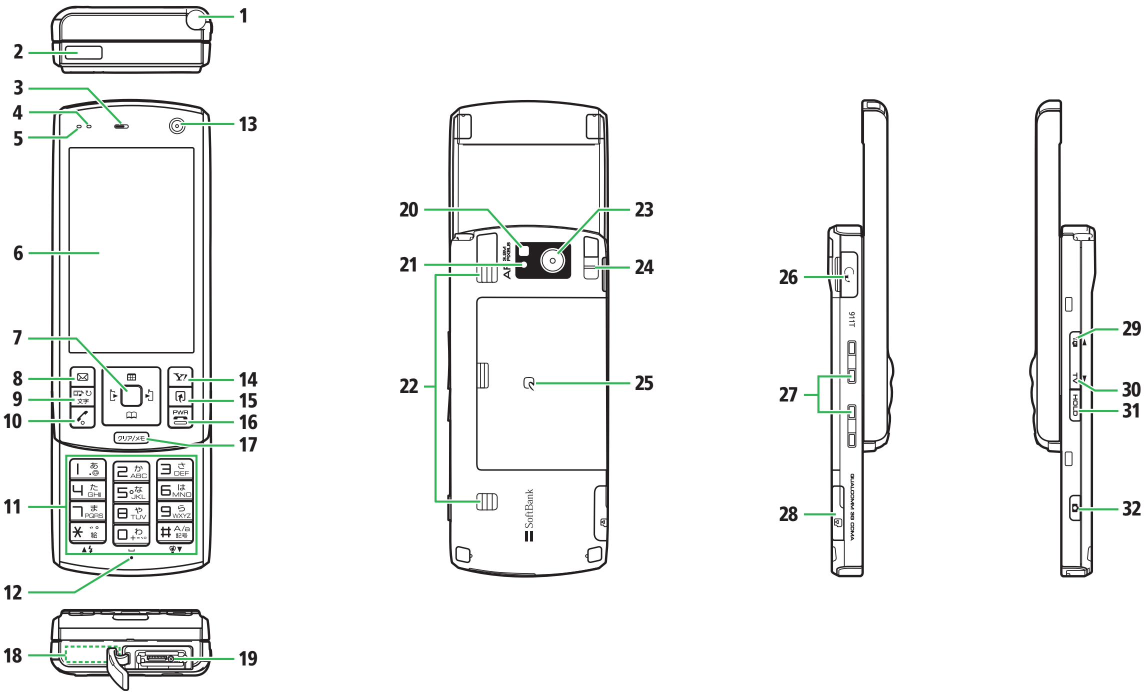
PIN2

This is the four to eight digit security code required for operations such as resetting ***Call Time&Cost*** and setting ***Fixed Dial #***. The default setting is "9999."

PIN Lock & PUK

PIN lock is set when an incorrect PIN or PIN2 is entered three times consecutively. PUK (Personal Unblocking Key) codes are required to cancel PIN lock/PIN2 lock. To obtain PUK/PUK2, contact SoftBank General Information (page 24-54). If PUK/PUK2 is incorrectly entered ten consecutive times, USIM card is locked. USIM card lock cannot be canceled. Contact SoftBank General Information (page 24-54).

Handset Parts & Functions



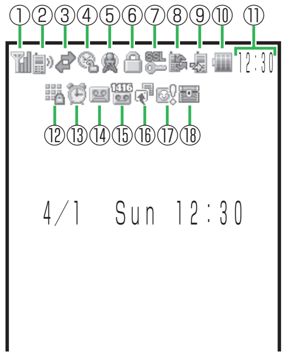
1. **TV Rod Antenna**: Extend for TV reception.
2. **Infrared Port**: Use for infrared transmissions.
3. **Earpiece**
4. **External Light**: Flashes for incoming calls, messages, etc.
5. **Charging Indicator**: Lights during charging and goes out when charging is complete.
6. **Display**
7. **Navigation Key** : Move cursor up, down, left or right, access functions assigned to the Navigation Key, etc.
   Center Key : Access the Main menu from standby. Use this key to confirm selected items and perform selected operations.
8. **Left Soft Key** : Access the Messaging menu from standby.
9. **Media Player Key** : Access Media Player (Audio menu) from standby or use to make/answer video calls.
10. **Send Key** : Make and answer calls.
11. **Keypad**: Enter phone numbers, characters, etc.
    Press and hold a key (1 to 9) from standby to search for Phone Book entries of the column assigned to the key.
    ※/ϟKey: In a menu list, use to scroll to the previous page and in camera mode, use to turn on Mobile Light.
    To display My Status, press and hold ※ from standby.
    #/ Key #: Switch between uppercase, lowercase and numeric input modes, etc. In a menu list, use to scroll to the next page.
    To set or cancel Manner Mode, press and hold # from standby.
12. **Microphone**
13. **Sub Camera**: Used for video call, etc.
14. **Right Soft Key** : Access Yahoo! Keitai from standby.
15. **Shortcut Key** : Access the Shortcuts menu.
16. **End/Power Key** : Power handset on/off, end calls/operations and return to standby.
17. **Clear/Memo Key** クリア/メモ: Delete characters and return to the previous operation. Also use this key to access Answer Machine from standby.
18. **Internal Antenna**: The antenna is built into your handset.
19. **External Terminal**: Connect AC Charger and other devices.
20. **Mobile Light**: Used as flash when taking pictures or recording videos at night time or while indoors.
21. **Camera/Video Indicator**: Flashes when the camera or video is activated.
22. **Stereo Speakers**
23. **Main Camera**: Used for taking pictures and recording videos.
24. **Handstrap Hole**
25. **Logo**: S! FeliCa contactless IC Card embedded. Place the logo near a reader/writer.
26. **Earphone Microphone/AV OUT Jack**: Connect Stereo Earphone or video output cable.
27. **Handset Charging Terminal**: Used for charging your handset with the desktop cradle.
28. **Memory Card Slot**
29. **Side Key (Up)** : Access Circle Talk Members List. Press and hold to set/cancel Manner Mode, send a Simple Notice of your location, turn the Mobile Light on, or display the My Status. The key function can be changed.

30. Side Key (Down) : Use to display Wide Menu. Press and hold from standby to watch Digital TV.

31. HOLD Key : Press and hold while handset is closed to lock Side Keys or cancel the lock feature.

32. Camera Key : Activate the camera, etc. This key also acts as the shutter button during camera use.

Display Indicators



① **Signal Strength**

Strong   Weak

Moderate   Faint

Out of Range

Offline Mode On

② / **Voice/Video Call**

Dial-up Connection

Location Position

/ **Quick GPS Activated/Paused**

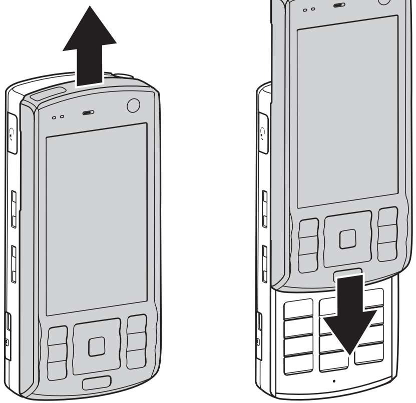
③ Packet Transmission
Displaying Picture File with Location Information
My Status Online
Packet Transmission Ready
Packet Network Range
3G Network Unconnected
④ IC Card Lock Temporarily Disabled
IC Card Lock Active
⑤ New S! Cast
Reception of Rights Object
Indicates the reception of a content key during operation.
Message Box Full
Message Delivery Failed
New S! Mail/SMS
Delivery Report
New S! Mail/SMS and Delivery Report
⑥ Hold Active
PC Website Connected
New Live Monitor Info
Memory Card Inserted
⑦ Web SSL
Indicates a connection to an information page with security protection.
/ Bluetooth® Connection Established/Connection Standby
Bluetooth® Connection Established (SCMS-T device supported)
Some Bluetooth® Connections Lost
Bluetooth® Connection(s) Lost
Infrared Communication
USB Connection
⑧ Updating Software
External Connection for Data Synchronization
Digital TV Recording in Progress
/ S! Appli Activated/Paused
Music File Playing
Music File Playback Paused
Video File Playing
Streaming
⑨ Missed Call
Manner Mode (Silent)
Manner Mode (Alarms)
Manner Mode (Drive)
// Original Manner Mode
⑩ Battery Level

Sufficiently Charged	Very Low
Low	Charge Immediately

Charging
⑪ Time
⑫ Keypad Lock Active
Password Lock Active
⑬ Alarm Set
⑭ ///// Answer Machine On and You Have a Message
//// Answer Machine Off and You Have a Message
⑮ New Voice Mail Message
Call Forwarding (Ringer Off for Voice Call)
Call Forwarding (Ringer Off for Video Call)
Call Forwarding (Ringer Off for Voice and Video Calls)
⑯ Information Prompt
⑰ Hot Status Notice (Saving Request)
⑱ Secret Mode On

Opening Your Handset

To use keypad, slide open handset until it clicks open (as pictured below). When keypad is not in use, gently slide handset shut.



Codes

Your security code, center access code, call barring service code and Internet security code are required for some functions and settings.

Security Code

Security code is "9999" by default. It is required to use various functions.

Center Access Code

Center access code is a pre-assigned four-digit number. It is required to perform optional service operations from a fixed-line phone.

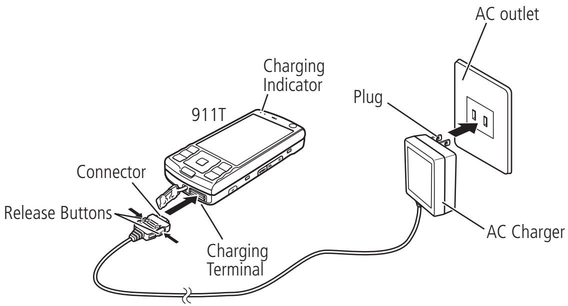
Call Barring Service Code

Call barring service code is a pre-assigned four-digit number.

Internet Security Code

It is required to set Internet security.

Charging the Battery Pack



1 Connect AC Charger to Handset and plug into an AC outlet

Inscription on the AC Charger Connector should face up.
Charging Indicator lights red and goes out when charging is complete.

2 Disconnect AC Charger from the AC outlet and then from Handset

Press and hold Release Buttons to remove AC Charger from Handset.

Note

- AC Charger supports a power supply of 100 to 240 V AC.
- The plug of AC Charger can only be used in Japan.

Basic Operations

Turning Handset Power On

1 Press and hold [PWR]

Turning Handset Power Off

1 Press and hold [PWR]

Retrieving Network Information

Before using Yahoo! Keitai, Messaging or S! Appli, retrieve the network connection information. The first time you press [●], [✉], [Y!] or [▾] after purchasing your handset, a prompt appears.

1 In standby mode, press [●], [✉], [Y!] or [▾]

2 Select *YES* and press [●]

A network connection is established and the network information is retrieved.

Language Setting

1 **In standby mode, press ■**

The Main menu appears.

2 **Select** ***設定 → 一般設定 → Language***

3 **Select a language and press ■**

自動選択 : Automatically selects the language set for USIM card.
日本語 : Sets the language to Japanese.
English : Sets the language to English.

Time & Date

1 **In standby mode, press ■**

2 **Select** ***Settings → Phone Settings → Clock → Date&Time***

3 **Enter the year, month, day and time and press ■**

Making a Call

1 **Enter a phone number and press [send key]**

2 **Press [PWR] to end the call**

Redialing

1 **In standby mode, press [left key]**

2 **Select a phone number and press [send key]**

3 **Press [PWR] to end the call**

Answering a Call

1 **Press [send key] to answer a call**

2 **Press [PWR] to end the call**

Placing an Incoming Call on Hold

1 **Press [PWR] when a call is received**

Voice guidance in Japanese notifies the caller that you are unable to answer the call at the moment.

2 **Press [send key] to answer the call**

3 **Press [PWR] to end the call**

Rejecting a Call

1 **Press [Y!] (Reject) when a call is received**

Viewing Call Log

1 In standby mode, press

Dialed appears.

2 Press

Received appears.

Tip

- To display Received, press from standby. Press once to switch to Dialed.

Viewing the Call Time

1 In standby mode, press

2 Select *Settings* → *Call Settings* → *Call Time&Cost*

3 Select *Last Call* or *All Calls* → *Time*

Note

- The displayed call time serves as a guide only and may differ from the actual call time.

Viewing the Call Cost

1 In standby mode, press

2 Select *Settings* → *Call Settings* → *Call Time&Cost*

3 Select *Last Call* or *All Calls* → *Cost*

Note

- The displayed call cost serves as a guide only and may differ from the actual call cost.

Viewing Your Phone Number

1 In standby mode, press

2 Select *Phone Book* → *My Details*

Tip

- To view your phone number during a call, press (Menu), select *My Details* and press .

Setting/Cancelling Manner Mode

1 In standby mode, press and hold

Answer Machine

This feature can record a caller's message when you are unable to answer a voice call.

Setting Answer Machine

1 When receiving a call, press and hold クリア/メモ

Playing a Message

1 In standby mode, press ●

2 Select *Tools* → *Ans Machine* → *Recordings*

3 Select a message and press ●

Text Entry

Text Entry Modes

1 From a text entry window, press 文字

2 Select a text entry mode and press ●

T9 abc/T9 Abc/T9 ABC: Enter characters in T9 mode.
abc/Abc/ABC (Multi Tap mode): Enter characters using the Keypad.
Pict: Enter pictographs.
Numeric: Enter numbers using the Keypad.
My Pictograms: Enter My Pictograms.

Tip

- In T9 mode or Multi Tap mode:
  - Press # to switch between initial caps, lowercase, numeric and uppercase, input modes.
  - Press and hold # to switch between T9 mode and Multi Tap mode.
  - Press 0 to enter a space.
  - Press and hold a digit key to enter a number.
- To enter symbols and pictographs:
  - Press ⊡ once to access symbol list.
  - Press ✱ once to access pictograph list.
- To delete a character, press クリア/メモ.
- To enter +, press and hold 0 in a number entry mode.
- To switch to Japanese entry mode, press Y! (Menu) from a text entry window and select *Customize* → *Input Method* → *Standard*. To switch back to T9 mode, press Y! (Menu) and select *Customize* → *Input Method* → *T9*.

T9 Mode

In T9 mode, press a key once for each character you want to enter. This feature displays word predictions while you enter characters.

Example: Entering "dog"

1 Press 3 6 4

2 Press ▢ to display the next prediction

3 Press ● to confirm your selection

24 Abridged English Manual

Tip

- To enter a symbol, press [1] and use [navigation key] to select a symbol.

Multi Tap Mode

In Multi Tap mode, each press of a key cycles through the alphanumerics and symbols assigned to the key.

Example: Entering "dog"

1 Press [3 DEF] once, [6 MNO] three times and [4 GHI] once

Tip

- To enter a symbol, press [1] to select a symbol.

Phone Book

Save Phone Book entries to your handset, USIM card and memory cards. Save up to 1,000 Phone Book entries to your handset. The maximum number of entries you can save depends on the capacity of the USIM card and the memory card.

Creating a New Entry

1 In standby mode, press [●]

2 Select *Phone Book* → *New Entry*

3 Select an item, enter information and press [●]

4 Press [✉] (OK)

Dialling from Phone Book Entries

1 In standby mode, press [navigation key]

2 Select an entry and press [●]

3 Select a phone number and press [send key]

S! Address Book

Use this service to back up your Phone Book to Data Synchronization Server. Edit entries on your handset or computer and periodically synchronize Phone Book contents to reflect the changes. Should Phone Book contents be lost or damaged, use S! Address Book to restore contents*.

* Some contents cannot be saved to S! Address Book. See the full manual for more details.

Video Call

A video call allows two parties with video call compatible handsets to see each other's image during the call.

Making a Video Call

1 Enter a phone number and press [文字]

2 Press [●]

3 Press [PWR] to end the call

Answering a Video Call

1 Press [✓] or [文字]

Select ***YES*** and press [●] to send your live image.

2 Press [PWR] to end the call

Placing an Incoming Call on Hold

1 Press [PWR] when a video call is received

Voice guidance in Japanese notifies the caller that you are unable to answer the call at the moment.

2 Press [✓] to answer the call

3 Press [PWR] to end the call

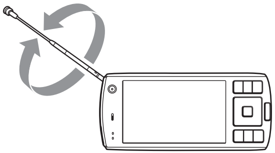
Rejecting a Call

1 Press [Y!] (Menu) and select *Reject Call* when a video call is received

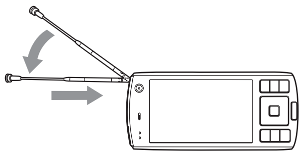
Digital TV

Extending/Retracting TV Rod Antenna

Extending TV Rod Antenna
Pull antenna and fully extend it until it locks into position. Rotate the antenna (as pictured below) to adjust signal reception.



Retracting TV Rod Antenna
Return antenna to horizontal position (as pictured below) then gently push in the antenna.



Watching Digital TV

1 In standby mode, press [■]

2 Select *TV* → *Watch TV*

3 Press [■] and select *Manual*

4 Select an area and press [■]

Channel setting is completed.
Steps 3 and 4 are required when channels are not set.

5 Press [0] to [9], [*], [#], or [◀▶] to select a channel

6 Press [PWR] to end Digital TV

Recording Programs

Record up to four hours per recording while TV is activated.

1 In standby mode, press [■]

2 Select *TV* → *Watch TV*

3 Press [0] to [9], [*], [#], or [◀▶] to select a channel

4 Press [Y!] (Menu) and select *Record*

Recording starts.

5 Press [■] or [side key] and select *YES* to stop recording

Note

- Some programs cannot be recorded due to restrictions such as copyright.

Watching Recorded Programs

1 In standby mode, press [■]

2 Select *TV* → *TV Player*

3 Select the recording and press [■]

Camera

Taking a Picture

Mobile: Take pictures at WVGA (W480×H800) size or smaller for use as wallpaper, etc.
Digital: Take pictures at VGA (W640×H480) size or larger.

1 In standby mode, press

2 Frame subject and half-press or press

The focus is locked.

3 Press or completely

The shutter clicks.

4 Press

Recording a Video

Video: Record videos up to 20 minutes long and save them to your handset or a memory card.
Video Mail: Record videos for sending as S! Mail attachments.
Short Video: Record videos for sending as S! Mail attachments to MPEG-4 compatible SoftBank handsets (PDC).

1 In standby mode, press and hold

2 Frame the subject and press or

The start sound is heard and recording begins.

3 Press or

The end sound is heard.

4 Press

Tip

- In Video mode, press (Pause) to pause recording and press (Record) to resume recording.

Media Player

Play audio/video files, stream files and create your own playlists from audio files.

Playing a Media File

1 In standby mode, press ■

2 Select *Media Player* → *Audio* or *Videos*

3 Select a category and press ■

4 Select a file and press ■

Creating a Playlist

Group files together in playlists.

1 In standby mode, press [key] and select *Playlist*

2 Press [Y!] (Menu) and select *New Playlist* → *Phone Memory* or *Memory Card*

3 Enter the name of the playlist and press ■

4 Select *YES* → *All Music*, *Artist* or *Album*

5 Select a file and press ■

To add another file, repeat this step.

6 Press [✉] (Create)

Playing a Playlist

1 In standby mode, press [key]

2 Select *Playlist*

3 Select a playlist and press [✉] (Play)

Memory Card

Save pictures, videos and other files to a memory card.

- If the battery level is low, your handset may not read or write files.
- If the memory card or battery pack is removed while reading/writing data or formatting the memory card, the data may be lost or the memory card may be damaged.
- Processing may take a while for some types of files.
- Some files saved from a PC or other device, may not be displayed/played on your handset.
- Do not affix any label or sticker on the memory card.

Memory Card Configuration

Folder Name	Description
DCIM	Stores pictures taken in Digital mode.
PRIVATE	
MYFOLDER	
Mail	The configuration is identical to Message Box on your handset.
My Items	Stores folders (Pictures, My Pictograms, Videos, Ring Song・Tone, Music, Templates, Flash(R), Flash(R) Tones, Books, S! Appli, Other Documents) of memory card Data Folder. Bookmark backup files are also stored.
TS_Folder	Stores setting data of which backups are made with Relocate function, files for Gamendeco, and files which can be viewed only from the Media Player.
Utility	
Calendar	Stores appointment backup files.
Contacts	Stores Phone Book data and backup files.
Memo	Stores Notepad backup files.
Rights	Stores Content Key backup files.
Tasks	Stores Tasks backup files.

Data Folder

Save pictures, videos and various downloaded files to Data Folder.

- Pictures, My Pictograms, Ring Song・Tone, S! Appli, Music, Videos, Lifestyle-Appli, Books and Templates folders contain a link to a download site in Yahoo! Keitai.

Data Folder Configuration

Data Folder

Folder	Contents
Pictures	Picture files/**My Pictograms** folder
Digital Camera*[1]	Pictures taken in Digital mode
Ring Song・Tone	Sound files such as melodies/Sound recorded with Voice Recorder
S! Appli	Downloaded S! Appli
Music	Downloaded music files/Chaku-Uta Full®
Videos	Video files
TV*[2]	Recorded files of Digital TV
Lifestyle-Appli*[2]	Lifestyle-Appli
Books	Downloaded e-books, e-comics, etc.
Templates	Mail templates
Flash(R)	Flash® files/**Flash(R) Tones** folder
Main Menu*[2]	Image files for Main menu
Gamendeco	Icon/image files for screen decoration
Mini Tool*[2]	Mini Tool image files/**Mini Photo** folder
Other Documents	Other files

*[1] Available only for memory card Data Folder
*[2] Available only for handset Data Folder

Files Storable in Data Folder

Folder	File Format (Extension)
Pictures*1	JPEG (.JPEG, .JPG, .JPE) GIF (.GIF) PNG (.PNG)
My Pictograms	GIF (.GIF) GPK (.GPK)
Digital Camera*2	JPEG (.JPG)
Ring Song · Tone*1	AMR (.AMR) SMAF (.MMF) MPEG-4*4 (.3GP, .MP4, .M4A)
S! Appli	Java (.JAD, .JAR, .RMS)
Music*1	MPEG-4 (.3GP*5, .MP4*5, .M4A, .SMC)
Videos*1	MPEG-4*4 (.3GP, .3G2, .MP4)
TV*1*3	DTV (.DTV)
Lifestyle-Appli*3	Java (.JAD, .JAR, .RMS)
Books*1	CCF (.CCF) XMDF (.ZBK, .ZBF, .ZBS)
Templates	HTML mail templates (.HMT)
Flash(R)*1	SWF (.SWF)
Flash(R) Tones	Ringtone Flash® (.SWF)
Main Menu*1*3	Image files for Main menu (.TMF)
Gamendeco*1	/ / Icon/image files for screen decoration (.TSBI1, .TSBW1, .TSBT1)
Mini Tool*1*3	Mini Tool image files (.TGF)
Mini Photo*3	Animation files for Mini Tool (.TFF)
Other Documents*1	vCard (.VCF) vCalendar (.VCS, .ICS) vMessage (.VMG) EML (.EML) vBookmark (.VBM, .URL) vNote (.VNT) Text (.TXT) PDF (.PDF) Word (.DOC) Excel (.XLS) PowerPoint® (.PPT) Other files*6 (other extensions)

*1: Folders can be created in each folder.
*2: Only Data Folder on the memory card can be viewed. Files that do not comply with the DCF standard cannot be displayed.
*3: Only Data Folder on the handset can be viewed.
*4: Playback of some files may not be possible.
*5: Only Chaku-Uta® files are saved.
*6: The files cannot be displayed/played on your handset.

Note

- Chaku Uta®, S! Appli, video and other files saved to the handset or memory card may become inaccessible after handset repairs, handset upgrades or the USIM card is replaced.
  - Chaku Uta® is a registered trademark of Sony Music Entertainment Inc.
- You may not be able to open a file on a PC, PDA, or other device if: You change the file name on your handset or the file name includes a " ～ " or " — ."

Tip

- DCF is an abbreviation for "Design rule for Camera File system," a standard developed by the Japan Electronic Industry Development Association (JEIDA) for the purpose of facilitating the transfer of digital camera images among various devices.
- Whether a file can be sent via infrared communication or Bluetooth® connection or moved to the memory card depends on the forwarding and memory card forwarding permission properties. However, the files in the "My Pictograms" folder can be sent via infrared communication or Bluetooth® connection even if the forwarding permission property is ***Unavailable***.
- Flash® is an animation technology that combines images and sound.

Connectivity

Using Infrared

Use the Infrared feature to transfer files between your phone and other infrared compatible devices.

- Bring the Infrared Port of your phone to within 20 cm of the Infrared Port of the destination device and align both ports. Make sure no objects are placed between them.
- Do not move the devices until the file transfer is complete.
- Direct sunlight or fluorescent light may interfere with infrared communication.
- A dirty Infrared Port may cause an infrared communication failure. If the Infrared Port is dirty, gently wipe it with a soft cloth while making sure not to scratch the port.

Sending Data

1. **Select a file from a function that supports infrared**
2. **Press [Y!] (Menu)**
3. **Select *Send* or *Send vCard* and press [●]**
4. **Select *Via Infrared* and press [●]**

Receiving Data

1 **When connection is requested by a sending device, select *YES* and press ■**

To reject the reception of files, select *NO*.

2 **Select *Phone Memory* or *Memory Card* and press ■**

Using Bluetooth®

Transfer Phone Book, picture and other files between your handset and another Bluetooth® compatible device. Also use a handsfree compatible device to make a handsfree call.

- Communication tests have not been performed for all Bluetooth® compatible devices. There is no guarantee of connection with all Bluetooth® devices.
- The security function used for wireless communication complies with the standard specifications of Bluetooth®. However, take care when using Bluetooth® for data communication because, in some cases, security may be inadequate depending on the operating environment and configuration.
- SoftBank accepts no liability whatsoever for any data generated or information leaked during Bluetooth® communication.
- The default setting for the Bluetooth® connection standby status is OFF.
- The default setting for Visibility is Show My Phone.

Sending Data

1 **Select a file from a function that supports Bluetooth®**

2 **Press Y! (Menu)**

3 **Select *Send* or *Send vCard* and press ■**

4 **Select *Via Bluetooth* and press ■**

5 **Select the destination device and press ■**

Receiving Data

1 **In standby mode, select *YES* and press ■ when a connection is requested by another Bluetooth® compatible device**

2 **Select *YES* and press ■**

To reject the reception of files, select *NO*.

3 **Select *Phone Memory* or *Memory Card* and press ■**

Using USB

Use the USB cable to connect your handset to a PC to transfer music files.

- Install the USB driver and Phone Monitor software before connecting the USB cable. For details on the installation procedure, refer to the Phone Monitor's Manual on the supplied Utility Software for 911T (CD-ROM).
- For details on the PC operating environments supported, refer to the Phone Monitor's Manual on the supplied Utility Software for 911T (CD-ROM).
- For details on connecting the USB cable to a PC, refer to the Phone Monitor's Manual on the supplied Utility Software for 911T (CD-ROM).

Sending/Receiving Data

1 Use the USB cable to connect your handset to a PC

2 Follow the instructions on the PC

Idokoro Mail

Sending Departure/Arrival Notification

Automatically send notifications to specified parties when you leave/arrive at a predefined area during a preset time.

Sending Simple Notice of Your Current Location

Press and hold [▲] to retrieve your current location and send a message with your location information to specified parties.

Optional Services

Call Fwd

Use this service to forward calls to a preset phone number.

Voice Mail

This service allows a caller to leave a message at the Voice Mail Center when your handset is out of range or a call is in progress. This service is unavailable when Call Fwd is set.

Call Waiting

This service allows you to place a call on hold to receive another incoming call.

Multiparty Call

Make or receive a call during a call and talk to multiple parties simultaneously.

Call Barring

Stop all outgoing and incoming calls including international calls.

Caller ID

This service allows you to notify the other party of your phone number when you make a call and allows you to confirm the phone number of a caller.

Messaging

S! Mail

Exchange long text messages with S! Mail compatible SoftBank handsets and email compatible handsets/devices. Send images, melodies and other files as attachments.

SMS

Exchange short text messages with SMS compatible SoftBank handsets.

Changing Your Mail Address

Change the account name (part before @) of your email address.

1. **In standby mode, press [Y!]**
2. **Select *設定・申込* (Settings/Applications) and press [■]**
3. **Select *各種変更手続き* (Change Settings/ Subscription) and press [■]**
4. **Select *ｵﾘｼﾞﾅﾙﾒｰﾙ設定（ﾒｰﾙ各種設定）* (Original Mail/ Mail Settings) and press [■]**
5. **Press [■]**
6. **Enter your center access code and press [■]**
7. **Select *OK* and press [■]**
8. **Select *1.ﾒｰﾙ関連設定* (Messaging Settings) and press [■]**
9. **Select *1.ﾒｰﾙｱﾄﾞﾚｽ設定* (Setting Mail Address) and press [■]**
10. **Press [■]**
11. **Enter an account name and press [■]**
12. **Select *OK* and press [■]**

Note

- If the message *ご希望のＥメールアドレスは既に登録されています。他のアドレスを入力してください。(The requested E-mail address is already taken. Please choose another address.)* appears, press [clear], select text entry field and repeat from Step 10.
- The above procedure may change without prior notice. For further information, contact SoftBank General Information (page 24-54).

Receiving Messages

Opening Messages

1. **In standby mode, press [✉]**
2. **Select *Message Box* and press [■]**
3. **Select a folder and press [■]**

4 Select a message and press ■

New message | S! Mail Notification
S! Mail | SMS

Tip

- Press Y! (Menu) after Step 4 to perform the following. (Available items will vary depending on the message type.)

Menu Item		Description
View	View Details	View message properties.
	View Files	Allows you to display a list of pasted files into an S! Mail message.
	3D	Displays a message as a 3D picture.
	Play	Plays S! Mail message.
Delete		Deletes the message.
Save Address		Save the sender's phone number and email address to Phone Book.
Save Template		Save the message as a template.
Text Copy		Copy text.
Move	To Folder	Moves the SMS/S! Mail message to your USIM card or handset.
	To USIM	

Retrieving S! Mail Message

When an S! Mail exceeds 284 characters (284 bytes), the initial portion of the message is delivered as a notification. To retrieve the complete message, perform the following steps:

1 Open an S! Mail notification

For details on displaying messages, see page 24-42.

2 Select *Retrieve Mail* and press ■

The complete message is downloaded.

Tip

- To delete the message from the server, press Y! (Menu) after Step 1 and select *Delete*.

Replying to a Message

1 Open the message

For details on displaying messages, see page 24-42.

2 Press ✉ (Reply)

3 Select *Blank*, *With Text* or *Refer* and press ■

For details on creating messages, see "Sending Messages" (page 24-44).

Forwarding a Message

1 Open the message

For details on displaying messages, see page 24-42.

2 **Press ☐ (Menu)**

3 **Select *Divert* and press ☐**

For details on creating messages, see below.

Sending Messages

1 **In standby mode, press ☐**

2 **Select *Create New* and press ☐**

3 **Select *Address* and press ☐**

4 **Enter an address and press ☐**

Alternatively, search for an address from Phone Book, Simple Input, Sent Log, Received Log, or set a group.

5 **Select *Subject* and press ☐**

6 **Enter the subject and press ☐**

7 **Select *Text* and press ☐**

8 **Enter the body text and press ☐**

9 **Select *Files* and press ☐**

10 **Specify an attachment file and press ☐**

11 **Press ☐ (Send), select *OK* and press ☐**

Messaging Settings

1 **In standby mode, press ☐**

2 **Select *Settings* and press ☐**

3 **Select an item and press ☐**

You can configure the following settings.

Mail Address	Connects to the network to change your mail address.
Display	● Font Size ● Scrolling ● Show Address
Creating	● Simple Input ● Category ● Signature ● Default Type ● Notify Type
Sending	● Confirmation ● Vibration ● DeliveryCheck ● Expiry ● Priority ● Delivery Time ● Reply to ● Message Ctr

Receiving	● Retrieve Mode ● Auto-extract ● Anti-Spam
3D Pictograms	● Auto Play ● Colors

Internet

Searching the Mobile Internet

Search for information from the Yahoo! Keitai menu.

1 In standby mode, press [Y!]

2 Select an item and press [●]

The information appears.
To continue searching, repeat Step 2.

Using the PC Browser

1 In standby mode, press [●]

2 Select *Yahoo! Keitai* → *PC Browser* → *Homepage*

3 Select *Always Ask* or *Ask Once Only* and press [●]

S! Appli

S! Appli are Java™ compatible applications for use on SoftBank handsets. Download and enjoy a variety of applications.

Downloading S! Appli

Download applications from S! Appli providers, via the Web.

Network S! Appli

Play network games online and download information in real time.

Standby Setting

Set an application to run in standby mode.

Communications

S! Town (Japanese Only)

S! Town is a 3D virtual space. Chat or play games with other participants. Please note, packet connection fees will apply.

1 In standby mode, press ●

2 Select *Communications* → *S! Town*

S! Loop (Japanese Only)

Use S! Loop to keep a diary on the web or exchange information via BBS.

1 In standby mode, press ●

2 Select *Communications* → *S! Loop* → *YES*

Hot Status

Share and view current status/availability with members saved to Hot Status Members List. Check each member's mood and availability (for calls, messaging or Circle Talk session) on Active Window.

Note

- Some Hot Status items are available only in Japanese.

Circle Talk

Use Circle Talk to talk one-to-one or to a group of people (up to 10 other participants).
Press and hold ▲ while talking (one person at a time). Check each participant's status and see who is currently speaking in the Circle Talk session window.

Initiating a Circle Talk Call

1 In standby mode, enter a phone number

2 Press and hold ▲

Circle Talk session begins.

3 Press and hold ▲

Talk when " *Myself*" appears.
Press and hold ▲ while talking, release to allow another party to talk.

4 To exit the Circle Talk session, press PWR, select *YES* and press ●

Answering a Circle Talk Call

1 Press ● when a Circle Talk call is received

2 Follow Steps 3 - 4 in "Initiating a Circle Talk Call"

S! GPS Navi

Use S! GPS Navi to access navigation functions. Send and receive location information to and from compatible SoftBank handsets.

Navi Appli

Access the preinstalled navigation application.

Note

- The preinstalled application is only in Japanese.

Location Mail

Locate your current position and send the information by S! Mail.

S! Cast

Subscribe to contents and receive automatic updates. Content updates are received during the night. When updates are received, Information Prompt appears and the following indicators appear:

Downloading content
New S! Cast content
Download failed

- A monthly subscription fee is required to use this service. No additional fees are required for receiving content.
- S! Cast contents are available only in Japanese (as of February, 2007).
- S! Cast is only available in Japan.

Subscribing/Cancelling Subscription

1 In standby mode, press ■

2 Select *Entertainment* and press ■

3 Select *S! Cast* and press ■

4 Select *Reg./Cancel* → *YES*

Follow the onscreen instructions.

Note

- Connection fees apply while you are connected to the Web.

Checking Content Updates

1 In standby mode, press ■

2 Select *Entertainment* and press ■

3 Select *S! Cast* and press ■

4 Select *What's new?* and press ■

Indicator Description:

Unread
Read

Checking Content from Information Prompt

1 **Information Prompt appears**

2 **Select *New S! Cast* and press ■**

Downloading Content Manually

When an update cannot be received because your handset is turned off or the signal is weak, manually download the update. Only updates for that day can be downloaded.

1 **In standby mode, press ■**

2 **Select *Entertainment* and press ■**

3 **Select *S! Cast* and press ■**

4 **Select *Get Latest* → *YES***

Requesting Redelivery from Information Prompt

1 **Information Prompt appears**

2 **Select *S! Cast Info.* → *YES***

Checking History

Past updates are saved to History.

1 **In standby mode, press ■**

2 **Select *Entertainment* and press ■**

3 **Select *S! Cast* and press ■**

Indicator Description:

You have unread content

You have read all content

4 **Select *History* and press ■**

Indicator Description:

Unread

Read

5 **Select content and press ■**

Note

- Up to seven items are saved to History. The oldest item is deleted automatically.
- Up to 3 MB of content including the latest item can be saved. When either the maximum number of content items or the maximum content size is reached, the oldest item is deleted each time there is a new item.

S! FeliCa

S! FeliCa is a service that incorporates contactless IC Card technology. The 911T is an S! FeliCa compatible phone. Use services such as e-money, membership cards, or reward point systems. Simply place the handset near a reader/writer. This feature is even available when your phone is turned off. However, it is not available when the battery pack is removed.

Basics

FeliCa

FeliCa is a contactless IC Card technology for reading and writing data in an IC Card using a reader/writer.

IC Card

IC Card is a FeliCa chip embedded in FeliCa-compatible SoftBank handsets.

Lifestyle-Appli

Lifestyle-Appli is a type of S! Appli required for using S! FeliCa.

- Your handset is preinstalled with Edy e-money. Edy is a brand name of the prepaid-type electronic money service managed by bitWallet, Inc.

Note

- IC Card stores data such as service and usage information. The procedure for deleting data in the IC Card varies depending on the Lifestyle-Appli. For details, contact the S! FeliCa provider.

Downloading a Lifestyle-Appli

Connect to the Web and download a Lifestyle-Appli.

1. **In standby mode, press ●**
2. **Select *Data Folder* → *Lifestyle-Appli* → *Download***
3. **Connect to the Web, select a Lifestyle-Appli**

   Downloading begins.

Service Registration

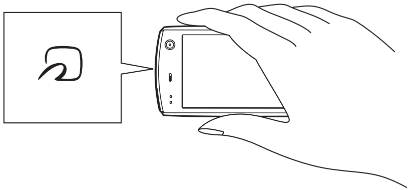
1. **In standby mode, press ●**
2. **Select *Tools* → *Lifestyle* → *Lifestyle***
3. **Select Lifestyle-Appli and select the initial setup and press ●**

   Follow the onscreen instructions.

Using S! FeliCa

Complete the service registration, initial setup and buy credits prior to using FeliCa.

1 Place the handset near a reader/writer



2 Confirm IC Card scan results

- Check the scan results on the reader/writer display, etc.
- If scanning takes too long, move your handset slightly.
- Reader/writer will scan FeliCa IC Card during calls or Yahoo! Keitai transmissions.

IC Card Lock

Disable S! FeliCa. Use this feature to prevent others from making transactions. [icon] appears when IC Card Lock is active.

1 In standby mode, press [■]

2 Select *Tools* → *Lifestyle* → *Card Settings* → *IC Card Lock*

3 Enter your security code (page 24-26)

4 Select *ON* or *OFF* and press [■]

5 Select *Allow* or *Do not Allow* and enter the duration to unlock IC Card temporarily

When ***Allow*** is set, press and hold [✉] to temporarily unlock IC Card. After the unlock time elapses, IC Card is locked again.

Remote Lock

Remotely disable S! FeliCa from another phone (Call Lock), or by sending an email with the preset password (Mail Lock).

Remote Lock Setup

1 In standby mode, press [■]

2 Select *Tools* → *Lifestyle* → *Card Settings* → *Remote Lock*

3 Enter your security code (page 24-26)

4 Select *Mail Lock* or *Call Lock* → *ON/OFF*

5 Select *ON* or *OFF* and press [■]

Count for Lock

Set the number of calls for activating Call Lock.

1 In standby mode, press [■]

2 Select *Tools* → *Lifestyle* → *Card Settings* → *Remote Lock*

3 **Enter your security code (page 24-26)**

4 **Select *Call Lock* → *Missed Count***

5 **Enter the number of calls to receive and press ■**

Setting a Phone Number

Save phone numbers to ***Phone Numbers***. Call from these preset numbers to activate Call Lock.

1 **In standby mode, press ■**

2 **Select *Tools* → *Lifestyle* → *Card Settings* → *Remote Lock***

3 **Enter your security code (page 24-26)**

4 **Select *Call Lock* → *Phone Numbers***

5 **Press Y! (Menu) and select *Add* → *Phone Number***

6 **Enter a phone number and press ■ (twice)**

Setting a Password

Set a password for activating Mail Lock. Enter that password in an email subject field to activate Mail Lock.

1 **In standby mode, press ■**

2 **Select *Tools* → *Lifestyle* → *Card Settings* → *Remote Lock***

3 **Enter your security code (page 24-26)**

4 **Select *Mail Lock* → *Lock PW***

5 **Enter the lock password and press ■**

Activating Remote Lock

Call your handset from a preset phone number to lock IC Card. ***Call Lock*** or ***Mail Lock*** must be set to *ON*, prior to activating Remote Lock (see Remote Lock Setup).

Setting Call Lock

1 **Call your handset from the preset phone number**

2 **End the call**

Make consecutive calls within a three-minute period. Once your handset receives the set number of missed calls, Remote Lock is activated.

Setting Mail Lock

1 **Enter the password in the subject field of an email message, and send it to your handset**

Once your handset receives the message, Remote Lock is activated.

Main Specifications

Frequency Range	1920 - 2170 MHz
Continuous Talk Time	Approx. 140 min. (Video call: Approx. 80 min.)
Continuous Standby Time	Approx. 330 hrs
Charging Time	Approx. 120 min.
Dimensions when closed (W×H×D)	Approx. 51 × 112 × 18 mm
Maximum Output	0.25 W
Weight	Approx. 145 g (with battery pack)

- The values above were calculated with the battery pack attached.
- The continuous talk time refers to the average length of time a signal can be received normally when the handset is in a stationary state and a new fully charged battery pack is attached.
- The continuous standby time refers to the average length of time a signal can be received normally when the handset is closed, the handset is in a stationary state, a new fully charged battery pack is attached and there are no calls made/received or operations performed. If the handset is in a location outside the service area or where it is difficult to receive a signal (in a building, vehicle, bag, etc.), this time may be reduced to half or less.
  This time may also be affected by other factors such as the operating environment (battery state, temperature, etc.).
- The operating time of the battery was calculated when a stable signal was received constantly. However, this time may be reduced to half or less if the handset is used in a location where the signal is weak or the handset is left in standby mode when it is outside the service area.
  Repeated charging and discharging a battery shortens the operating time.
  If the operating time becomes too short, purchase a new battery pack.
- If the Mobile Light is used frequently for taking pictures and recording videos or as a flashlight, the continuous talk time and continuous standby time become shorter.
- When an S! Appli is activated, the continuous talk time and continuous standby time become significantly shorter.
- If the handset is used with the Display illuminated frequently (for Yahoo! Keitai use, etc.), the continuous talk time and continuous standby time become shorter.
- Note that the LCD Display may have defective pixels (dead or stuck pixels).

AC Charger

Input Voltage: 100 to 240 V AC
: 50/60 Hz

Charging Temperature Range : 5 to 35°C

Customer Service

If you have any questions about a SoftBank handset or service, please call General Information. For service or handset repairs, please call Customer Assistance.

SoftBank Customer Centers
From a SoftBank handset, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance.

SoftBank Global Call Center
From outside Japan, dial
+81-3-5351-3491 (Please take care to dial the correct number. International charges will apply to this call.)

Call These Numbers Toll Free from Fixed Line Phones

Region	Service	Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane, Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi, Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付　録

機能一覧

機能名		初期値	参照先
S!アプリ	S!アプリ設定	待受設定：OFF、開始時間：3秒、着信優先動作設定（音声着信：着信動作優先、TVコール着信：着信動作優先、メール受信：通知のみ、アラーム通知：アラーム動作優先）、音量設定：レベル3、バックライト設定（バックライト設定：通常設定連動、点滅設定：ON）、バイブ設定：ON	19章
待ち受けウィンドウ	設定	テンプレート設定：ニュース、自動更新設定（速報：自動更新なし、一般：自動更新なし、S!ループ：自動更新なし）、未読・既読設定：全て表示、マーキー速度設定：標準	14-4ページ
ブラウザ設定		文字サイズ：小さめ（携帯サイトブラウザ）／極小(PCサイトブラウザ)、スクロール単位：1行、テキストブラウズ設定（イメージ：取得する、サウンド：取得する)、セキュリティ設定（製造番号通知：通知しない、Referer送出：送出する、Cookie設定：有効にする、スクリプト設定：接続時確認(携帯サイトブラウザ)／実行する(PCサイトブラウザ)、認証情報保持：ブラウザ終了で破棄、サーバー証明書：表示する)、保存先設定：本体	18-12ページ
カメラ	カメラ	画像サイズ（モバイルカメラ：W480×H800、デジタルカメラ：W2048×H1536）、日付スタンプ：OFF、日付スタンプ文字色：白文字黒フチ、画質：ファイン、画像効果：OFF、シャッター音：パターン1、地域設定：自動、テンキーショートカット：ON、保存先設定：本体、アイコン表示切替：表示あり、ファイル名設定：日時、自動保存設定：OFF、撮影モード：モバイルカメラ、自分撮り設定：OFF、連写モード：OFF、フレーム撮影：OFF、タイマー撮影：OFF、モバイルライト：OFF、ホワイトバランス：オート、色調調整：標準、露出補正：±0.0EV、フォーカスモード：オート、撮影シーン：OFF、手ぶれ軽減：OFF、グリッド線：OFF	7章

機能名		初期値	参照先
カメラ（つづき）	ムービー	画質(ビデオカメラ：ファインに固定(W640×H480)／ノーマル（W320×H240)、ムービーメール：ノーマル、ムービー写メール：エコノミーに固定)、画像効果：OFF、開始／終了音：パターン1、スクリーン表示切替：ノーマルスクリーン表示、アイコン表示切替：表示あり、プレビュー設定：ON、ファイル名設定：日時、保存先設定：本体、自動保存設定：OFF、地域設定：自動、テンキーショートカット：ON、録画モード：ムービーメール、録画サイズ（ビデオカメラ：W640×H480)、自分撮り設定：OFF、音声録音：ON、タイマー撮影：OFF、モバイルライト：OFF、ホワイトバランス：オート、色調調整：標準、露出補正：±0.0EV、エンコード：MPEG4	7章
	バーコードリーダー	露出補正：±0.0EV	7-13ページ
メール	表示設定	文字サイズ：小さめ、スクロール単位：1行単位、アドレス表示：全て表示	17-21ページ
	メール作成設定	簡易宛先リスト：未登録、メールグループ設定：未登録、署名設定：署名なし、初期メールタイプ：SMS、メール切替通知：表示する	17-21ページ
	送信設定	確認画面設定：表示する、確認バイブ設定：ON、配信確認：確認しない、有効期限：最大、重要度：普通、配信時間指定：すぐに配信、返信先設定：OFF、SMSセンター番号：USIMカードに登録されている番号	17-22ページ
	受信設定	自動受信設定：全て、自動展開（画像ファイル：表示する、音ファイル：再生しない）、迷惑メール設定（迷惑メール振分：振分けない、振分先：フォルダ17）	17-23ページ
	デルモジ表示設定	自動再生：OFF、文字色・背景色：パターン1	17-23ページ
	受信メール	自動削除設定：設定しない	17-14ページ
	送信メール	自動削除設定：設定する	
エンタテイメント	お天気アイコン	表示設定（アイコン表示：表示する、インフォメーション表示：表示する）	22-3ページ
	くーまんの部屋	くーまんデータ：サムネイル表示、マイデータ登録（名前：あのね、、誕生日：01月01日、アニバーサリー：だいじな日、01月01日）	22-5ページ

機能名		初期値	参照先
ツール	アラーム	アラーム：OFF、アラーム音：パターン1、アラーム音量：レベル3、バイブ設定：OFF、鳴動時間：60秒、画像設定：オリジナル、起動設定：1回のみ、スヌーズ：OFF	14-5ページ
	簡易留守録	留守録設定：OFF、応答時間設定：18秒	14-7ページ
	メモ帳	−	14-8ページ
	電卓	税率設定：5%	14-9ページ
	辞書	−	14-10ページ
	カレンダー	スケジュール：未登録、アラーム（お知らせ君：OFF、鳴動時間：60秒、アラーム音：パターン1、アラーム音量：レベル3、バイブ設定：OFF、画像設定：オリジナル）、カレンダーロック：解除する、スタート表示：1ヶ月、文字色：白文字黒フチ	14-10ページ
	予定リスト	予定リスト：未登録、アラーム（お知らせ君：OFF、鳴動時間：60秒、アラーム音：パターン1、アラーム音量：レベル3、バイブ設定：OFF、画像設定：オリジナル）、予定リストロック：解除する	14-19ページ
	時間割	時間割：未登録、時刻設定：未設定	14-22ページ
	キッチンタイマー	10秒	14-24ページ
	ボイスレコーダー	保存先設定：本体	14-24ページ
	通話中番号メモ	−	14-25ページ
	世界時計	−	14-26ページ
	ピクチャーつく〜る	−	7-22ページ
	イドコロメール	お知らせリスト：未登録、出発到着エリアリスト：未登録	15章
	フォトdeショー	ON／OFF：OFF、表示設定（テンプレート：クリップ、画像設定：固定、表示時間：60分）	14-27ページ

機能名		初期値	参照先
ツール（つづき）	生活アプリ（ICカード設定）	ICカードロック：OFF、リモートロック（メールリモートロック：OFF、ロックパスワード：未設定、通知設定：通知する、ロック通知アドレス：送信元へ返信、電話リモートロック：OFF、着信回数：3回、ロック用電話番号：未登録）、外部起動設定：ON	23章
	S! GPSナビ	クイックGPS：OFF、地図URL設定：NAVITIME（http://map.navitime.jp/）、ナビアプリ選択：NAVITIME、測位機能ロック：OFF	21章
	データ一括転送	－	14-28ページ
	引っ越し機能	－	14-31ページ
	ソフトウェア更新	－	25-13ページ
データフォルダ		表示形式：サムネイル（3×3）	10章
メディアプレイヤー		プレイモード：全曲再生、サラウンド：OFF、イコライザ：Flat、出力先設定：スピーカー／イヤホン、背景設定：ノーマル	8章
TV		字幕：ON、音声切替え：主音声、明るさ：明るさ3、チャンネル設定：未登録、データ放送設定（接続確認：確認する、セキュア通信確認：確認する、メモリアクセス確認：確認しない、位置情報送信：毎回確認する、製造番号通知：通知しない、保存先設定：本体）、オフタイマー：OFF、音量設定：VOL12、出力先設定：スピーカー／イヤホン、画質設定：ノーマル、起動時画面設定：フルスクリーン	6章
アドレス帳		オーナー情報：自局電話番号のみ、スピードダイヤル：未登録、保存先設定：本体、アドレス帳使用禁止：禁止しない、検索切替：リスト表示、S! アドレスブック（自動同期設定：OFF、同期タイプ：通常同期）	4章

機能名		初期値	参照先
音・バイブ設定	通常モード	着信音量：レベル3、着信音：パターン1、鳴動時間：5秒、フィーリング設定：ON、バイブ設定：OFF、ボタン確認音量：レベル1、ボタン確認音：オリジナル1、効果音量：レベル1、効果音：オリジナル、サウンド音量：レベル3、受話音量：レベル5、スピーカー音量：レベル5、電池アラーム音：ON	12章
	マナーモード（サイレント）	音量：サイレント、バイブ設定：パターン1、アラーム：OFF、フィーリング設定：通常設定連動、効果音：OFF、電池アラーム音：OFF、簡易留守録：通常設定連動	
	マナーモード（アラーム）	音量：サイレント、バイブ設定：パターン1、アラーム（アラーム：通常設定連動、バイブ設定：通常設定連動）、フィーリング設定：通常設定連動、効果音：OFF、電池アラーム音：OFF、簡易留守録：通常設定連動	
	マナーモード（運転中モード）	音量：サイレント、バイブ設定：OFF、アラーム：OFF、フィーリング設定：OFF、効果音：OFF、電池アラーム音：OFF、簡易留守録：ON	
	マナーモード（オリジナルマナー1～3）	音量：サイレント、バイブ設定：パターン1、アラーム：OFF、フィーリング設定：ON、効果音：OFF、電池アラーム音：OFF、簡易留守録：ON	
マナーモード設定		サイレント	12-1ページ
ディスプレイ設定	待受表示	壁紙：プリセット画像、時計／カレンダー：1行デジタル	12章、1-21ページ
	画面表示設定	画面デコ（アイコン）：ノーマル、画面デコ（ウィンドウ）：ノーマル、着信イラスト：ノーマル、メールアニメ：ノーマル、ダウンロード中：ノーマル、ウェイクアップ：ノーマル、シャットダウン：ノーマル	
	ミニツール設定	ミニツール：プリセット	
	着信時表示	発信者名：ON、顔写真：ON	
	ワイド表示設定	待受表示：ON、メール作成：ON、メール閲覧：ON	

機能名		初期値	参照先
ディスプレイ設定（つづき）	文字設定	文字サイズ（操作画面：中、メール閲覧：小さめ、PCブラウザ：極小、携帯ブラウザ：小さめ、文字入力：小さめ）、文字色：パターン1	12章
	バックライト設定	省電力：15秒、キーバックライト：5秒、ディスプレイ（照明時間：5秒、明るさ：明るさ3）、メディアプレイヤー：常時ON	
	イルミネーション設定	お知らせランプ(不在着信:カラー1、メール:カラー2、配信確認:カラー3、着信お知らせ:カラー4、サークルトーク不在:カラー6、ホットステータス通知:カラー5)、着信イルミネーション(音声着信:カラー1、TVコール着信:カラー2、メール受信(イルミパターン:カラー3、フィーリング設定:ON)、配信確認受信:カラー4、着信お知らせ:カラー5、サークルトーク着信:カラー6、ホットステータス通知:カラー5)	
一般設定	時計設定	12h/24h設定：24h、2都市時計設定（都市1：東京、都市2：東京、メイン都市切替：都市1、サマータイムON／OFF：OFF）	12-8、14-26、14-27ページ
	サブメニュー履歴	表示する	12-11ページ
	TV出力	NTSC	14-32ページ
	Language	日本語	12-10ページ
	マルチファンクションボタン	：待受ウィンドウ、：アドレス帳、：発信履歴、：着信履歴	12-10ページ
	サイドキー設定	マナーモード	12-11ページ

機能名		初期値	参照先
セキュリティ設定	PIN設定	─	13-1ページ
	PIN変更	─	
	PIN2変更	─	
	暗証番号変更	9999	
	キー操作ロック	本体クローズ：OFF、省電力：OFF、パワーオフ：OFF	13-2ページ
	機能ロック	アドレス帳：禁止しない、カレンダー：解除する、予定リスト：解除する、通話履歴：解除する、メール送受信履歴：解除する	13-3ページ
	顔認証設定	OFF	13-4ページ
	シークレットモード	表示しない	13-5ページ
	制限モード	発信先固定（発信先リスト：未登録）、インターネット規制：OFF	13-8ページ
	IPサービス設定	ON	13-6ページ
通話設定	通話サービス	国際設定（国際コード：0046010）	14-33ページ
	通話時間・料金	直前の通話時間：000：00：00、累積通話時間：000：00：00、直前の通話料金：－円、累積通話料金：－、通貨設定(単位：－、レート：－)、通話料金表示：OFF、通話料金上限：－	2-8、2-9ページ
	イヤホンマイク設定	自動応答：OFF、発信先設定（発信先設定：OFF、電話番号指定：未登録）	14-37ページ
	応答設定	オープン通話：OFF、エニーキーアンサー：OFF	12-11ページ
	TVコール設定	代替画像：OFF、受信画質：標準、保留設定（通話中保留：プリセット画像、応答保留：プリセット画像）、音声ミュート設定：OFF、スピーカーホン：ON、自動応答（自動応答：OFF、自動応答リスト：未登録）、自画像確認：ON	5章

機能名		初期値	参照先
通話設定（つづき）	着信拒否	電話番号指定（電話番号指定：許可、拒否リスト編集：未登録）、アドレス帳以外：許可、非通知：許可、公衆電話：許可、通知不可：許可	12-12ページ
	オフラインモード	OFF	2-11ページ
	発信者番号通知	OFF	12-13ページ
	外部機器設定	未登録	12-14ページ
外部接続	Bluetooth®	ON／OFF：OFF、登録済デバイス（登録済デバイス：登録なし、信頼設定：OFF）、マイデバイス設定（公開設定：公開、ハンズフリー設定：ハンズフリーモード）	11-6ページ
	赤外線通信	ON／OFF：OFF	11-2ページ
	USB	確認画面設定：表示しない、電池充電：ON	11-14ページ
くーまん設定	待受くーまん	OFF	12-8ページ
優先動作設定		操作中（メール受信：割り込み、配信確認受信：バックグラウンド）、ムービー録画中（メール受信：割り込み、配信確認受信：バックグラウンド）、メディアプレイヤー：着信優先、ボイスレコーダー（メール受信：割り込み、配信確認受信：バックグラウンド）、S!アプリ（音声着信：着信動作優先、TVコール着信：着信動作優先、メール受信：通知のみ、アラーム通知：アラーム動作優先）、TV（メール受信：割り込み、配信確認受信：バックグラウンド、アラーム通知：アラーム動作優先）	12-13ページ
メモリ設定	メモリ容量確認	―	12-14ページ
	メモリカードフォーマット	―	9-3ページ

機能名		初期値	参照先
オプションサービス	転送電話サービス	－	16-2ページ
	留守番電話サービス	－	16-4ページ
	割込通話サービス	－	16-5ページ
	多者通話サービス	－	16-6ページ
	発着信規制サービス	－	16-7ページ
通話履歴	発信履歴	－	2-6、2-7ページ
	着信履歴	－	
	サークルトーク発信履歴	－	
	サークルトーク着信履歴	－	
文字入力		入力予測：ON、入力方式：標準入力、文字サイズ：小さめ、クリップボード：未登録	3章
ショートカットメニュー		メール作成、メールボックス、メインメニュー、メディアプレイヤー、カレンダー、時間割、国語辞書、英和辞書、和英辞書、電卓、ICカードロック	14-34ページ
長押し※	ホールド	解除	13-7ページ
#長押し	マナーモード	解除	2-10ページ

※ 本機を閉じた状態での操作です。

25 付録

故障かな？と思ったら

現象	確認すること／対処方法
電源が入らない	・電池パックは正しく取り付けられていますか？（1-11ページ） ・電池切れになっていませんか？（1-10ページ）
「充電器との接続を確認してください」と表示され、充電できない	・充電端子や外部接続端子、電池パックの端子などが汚れていませんか？ 乾いた綿棒などで清掃してください。
電源を入れたあと、通常の操作ができない	・PIN認証画面が表示されていませんか？ 「**PIN設定**」（13-1ページ）を「**ON**」にしています。PINを入力してください。 ・「🔑」、「**キー操作ロック**」と表示されていませんか？ キー操作ロックが設定されています（13-2ページ）。操作用暗証番号（1-22ページ）を入力してください。 ・「**有効なUSIMカードを挿入してください**」と表示されていませんか？ 電源をオフにし、USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください（1-2ページ）。
電話やTVコールがつながらない、またはメールやインターネットが利用できない	・「圏外」が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ・内蔵アンテナ部分（1-5ページ）を手などで覆っていませんか? ・「オフライン」、「**オフラインモード**」と表示されていませんか？ オフラインモードを解除してください（2-11ページ）。
電話やTVコールがかけられない	・市外局番からかけていますか？ ・「**現在電話がかかりにくくなっております**」と表示されていませんか? 回線が混み合っています。しばらくたってからもう一度かけ直してください。 ・発信先固定を設定していませんか？（13-8ページ） ・発信規制を設定していませんか?（16-7ページ）

現象	確認すること／対処方法
電話やTVコールが着信しない	・着信拒否を設定していませんか？（12-12ページ） ・転送電話サービス（16-2ページ）や留守番電話サービス（16-4ページ）で、「**呼出なし**」の設定をしていませんか？ ・着信規制を設定していませんか？（16-7ページ）
メールが送信できない	・発信先固定を設定していませんか？（13-8ページ） ・発信規制を設定していませんか？（16-7ページ）
メールが受信できない	・着信規制を設定していませんか？（16-7ページ）
通話の途中に途切れたり、切れたりする	・「圏外」が表示されていませんか？電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。 ・内蔵アンテナ部分（1-5ページ）を手などで覆っていませんか？
ボタンを押しても、何も反応しない	・「🔑」、「**キー操作ロック**」と表示されていませんか？ キー操作ロックが設定されています（13-2ページ）。操作用暗証番号（1-22ページ）を入力してください。 ・本体を閉じた状態で操作し、ディスプレイに「🔒」が表示されていませんか？ ホールドが設定されています（13-7ページ）。本体を閉じた状態でHOLDを長く（約1秒以上）押して、ホールドを解除してください。
FeliCa機能を利用できない	・「¥🔒」が表示されていませんか? ICカードロックを解除してください（23-4ページ）。

25

付録

ソフトウェア更新

本機のソフトウェアを更新する必要があるかどうかをチェックし、必要な場合にはネットワークを利用して更新することができます。

●ソフトウェアの更新には、通信料は発生しません。

●ソフトウェアの更新方法には、「**今すぐ更新**」と「**予約更新**」の2種類があります。

「**今すぐ更新**」：すぐにソフトウェア更新を行います。

「**予約更新**」：更新する日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。

●ソフトウェア更新には時間がかかることがあります。

●ソフトウェア更新は、電池が十分に充電されている状態で実行してください。また、更新中には電池パックを取り外さないでください。

●ソフトウェア更新は、電波状態の良い環境で、移動せずに実行してください。

●ソフトウェア更新中は、他の機能は操作できません。また、他の機能が起動しているときはソフトウェア更新を行うことはできません。

●ソフトウェア更新は、本機に登録されたアドレス帳、画像、サウンドなどを残したまま行うことができますが、本機の状態（故障・破損・水漏れ等）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。

重　要

- ソフトウェア更新に失敗した場合、本機が使用できなくなることがあります。**ソフトバンクお客さまセンターの故障受付**(25-34ページ)までご連絡ください。

ソフトウェアを更新する

メインメニュー ▶ ツール ▶ ソフトウェア更新

1 「YES」→■

2 **「同意する」→■(2回)→交換機用暗証番号(1-22ページ)を入力→■→✉(決定)**

チェックの結果が表示されます。

■すぐにソフトウェアを更新する場合

「今すぐ更新」→■→ダウンロードが完了したら■

ダウンロード完了のメッセージが表示されます。

●ソフトウェアが更新されると、自動的に電源が入れ直されます。再起動後、更新情報の確認画面が表示されます。



25

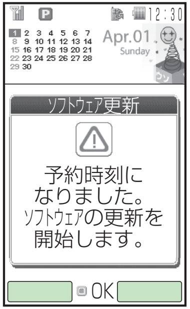
付録

■日時を予約してソフトウェアを更新する場合

「予約更新」→ ■ → ✉（YES）→希望日を選択→ ■ →希望時刻を選択→ ■（2 回）

●希望する予約日／予約時刻が表示されていない場合は、「**次の週に進む**」／「**次の時刻に進む**」を選択してください。

●予約時刻になると、ソフトウェア更新の確認画面が表示されます。■ を押すか、そのまま約 10 秒間経過すると自動的にソフトウェア更新が実行されます。



重　要

● 他の機能を操作しているときは、予約した日時にソフトウェア更新は実行されません。
● 予約日時に圏外表示の状態になった場合は、ソフトウェア更新は実行されません。

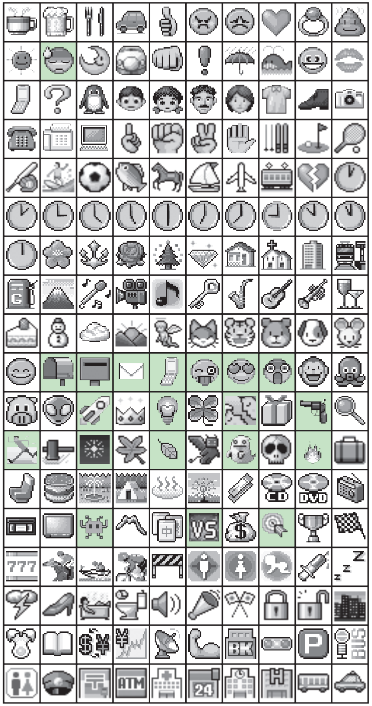
補　足

● ソフトウェア更新の予約をキャンセルするには、以下の操作を行います。
メインメニュー→「**ツール**」→「**ソフトウェア更新**」→「**YES**」→ ■ →「**同意する**」→ ■（2回）→交換機用暗証番号（1-22ページ）を入力→ ■ → ✉（決定）→ ✉（YES）→「**予約キャンセル**」→ ■ → ✉（YES）→ ■

25

付録

絵文字一覧







- □部分の絵文字は、動く絵文字となります。
- 一部の絵文字は、受信したソフトバンク携帯電話の機種により正しく表示されない場合があります。

ピクチャー一覧

お買い上げ時に登録されているS! メール本文に挿入して送信できる画像は以下のとおりです（17-6 ページ）。

キラキラライン	
星空	
おめでとう	
ありがとう	
ごめんね	
好き	
ぷんぷん	
つかれた	

やったー！	
がんばれ！	
OK	
びっくり	
くーまんライン1	
くーまんライン2	
くーまんダンス	

メモリ容量一覧

データフォルダ

データフォルダ	最大約 1G バイト※

※S!アプリライブラリはデータフォルダとメモリを共有しています。

メール

受信メール	最大約 5M バイト 最大 2,000 件
送信メール、 未送信ボックス	最大約 1.5M バイト 最大 600 件
下書き	最大約 700K バイト 最大 60 件

インターネット

キャッシュ	最大約 300K バイト
ブックマーク	最大 50 件
履歴（URL）	最大 10 件

主な仕様

周波数範囲	1920 ～ 2170MHz
連続通話時間	約140分（TVコール時：約80分）
連続待受時間	約330時間
充電時間	約120分
スライドクローズ時のサイズ（W × H × D）	約51×約112×約18mm
最大出力	0.25W
質量	約145g（電池パック装着時）

●上記は、電池パック装着時の数値です。
●連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
●連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、本体を閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。
●電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
なお、利用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。利用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
●モバイルライトを使用した撮影のご利用が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
●S!アプリを起動させた状態では、著しく通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
●ディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（Yahoo! ケータイご利用時など）が多い場合は、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
●液晶ディスプレイは、ドット落ち（画素欠け）や常時点灯する画素がある場合もありますので、あらかじめご了承ください。

急速充電器

入力電圧　：AC100 ～ 240V
　　　　　　：50 ／ 60Hz
充電可能温度：5 ～ 35℃

用語集

用　語	説　明
3G	第3世代（3G）移動体通信システムです。
USIM カード	本機に取り付けて使います。カード内にはお客様の電話番号や契約している携帯電話機の情報などが記憶されています。また、アドレス帳などを保存することができます。携帯電話機を変更する際も同じUSIMカードを継続して利用することにより、その情報を新しい携帯電話機へ引き継ぐことができます。
PIN	Personal Identification Number（個人識別番号）の略で、本機でUSIMカードを使うために必要な暗証番号のことです。本機が紛失･盗難などにあった場合でも、第三者が携帯電話を使えないようにできます。
S!メール	長い文字のメッセージや静止画、動画、メロディを添付して送受信できます。
SMS	携帯電話どうしで短い文字のメッセージを送受信できます。
SSL	インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法です。プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号などを安全に送受信でき、盗聴、改ざん、なりすましなどのインターネット上の危険を防げます。SSL通信ではサーバー証明書を利用します。
サーバー証明書	サーバーを運用しているサイトが信頼できることを示す電子的な証明書です。SSL通信（暗号化された通信）に必要な情報、サーバーの情報、また、そのサーバーが本物であると証明した認証機関の電子的な署名がされています。
キャッシュ	インターネットで表示されたホームページなどのデータを本機に一時的に記憶しておく場所です。
S!アプリ	S!アプリを提供しているインターネットの情報画面から、ゲームや3D画像などのいろいろなアプリケーションをダウンロードして楽しむことができます。また、ネットワークに接続してリアルタイムに情報を入手したり、壁紙として起動させておくこともできます。
FeliCa	ソニー株式会社が開発した非接触ICカード技術方式です。読み取り装置にかざすだけでデータのやりとりができます。911T本体の中で複数のデータを管理できるため、電子マネーや会員カードなどに利用できます。
HSDPA	High Speed Downlink Packet Accessの略で、第3世代(3G)携帯電話方式「W-CDMA」のデータ通信を高速化した通信規格です。

索引

T

き

く

け

こ

さ

し

す

ふ

ほ

ま

も

ゆ

よ

ら

り

る

れ

わ

保証とアフターサービス

保証について

お買い上げいただいた場合には、保証書が添付されています。保証書に「お買上げ日」および「販売店名」が記載されているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。

重　要

- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」（25-11 ページ）をお読みになり、もう一度お調べください。
それでも正常に戻らない場合には、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**（25-34 ページ）までご連絡ください。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

● **保証期間経過後の修理**
修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

※修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

重　要

- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切なアドレス帳などは控えを取っておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に本機に登録したデータ（アドレス帳やデータフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

補　足

- アフターサービスについてご不明な場合は、最寄りの**ソフトバンクショップ**または**お問い合わせ先**（25-34ページ）までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。
電話番号はお間違いのないようおかけください。

ソフトバンクお客さまセンター	ソフトバンク国際コールセンター
総合案内：ソフトバンク携帯電話から157（無料） **紛失・故障受付：ソフトバンク携帯電話から113（無料）**	**海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡** **+81-3-5351-3491（有料）**

一般電話からおかけの場合

地域	窓口	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

SoftBank 911T 取扱説明書

2007年3月　第2版発行

ソフトバンクモバイル株式会社

※ご不明な点はお求めになられたソフトバンク携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：SoftBank 911T

製造元：株式会社 東芝

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS 事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（アドレス帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

PRINTED WITH SOY INK™
この取扱説明書は大豆油インキで印刷しています

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています